

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 27 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|-----------------|---|-----------------------------------|----------|
| 要請番号(JL 551 - 13- B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | ● グループ型 ○ 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | ● 2 年 | ○ 1 年 |
| ザンビア | PCインストラクター | | | ○ ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | | 日系/短期 年 月 から | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キトエ職業訓練センター | | | | ○ NGO |
| | 3) 任地 コッパーベルト州キトエ郊外 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 360 Km 主要都市(キトエ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.25 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1998年に設立された職業訓練センターで、自動車、電気設備、板金・溶接、服飾等のコースを有し、主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業者)を中心に職業訓練が行われている。学生数は約170名。本年7月に新たにコンピュータコースが開講され、実習用PCも揃え終わり、専任の講師も1名配置した。学校設立当初、自動車コースにJICAより教育省(当時)を通して車両の供与があったが、現在はJICA(ボランティア含む)や他国からの援助は入っていない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ザンビアでは公官庁・民間企業におけるPCの普及が進み、就職のための必須技術となりつつあるが、PCスキルを身につけている人は少ない。同センターでは本年7月にコンピュータコースを開講したが、講師の知識および数ともに十分ではないため、ボランティアの要請があった。ボランティアは主にコンピュータコースの講義を担当するが、他のコースの学生に対するPC基本操作の指導および同僚講師に対するPCスキル向上の指導も求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・コンピュータコースの学生に対し、PC操作の基礎から応用までを指導。 ・全コースの学生に対し、PCの基本的な知識やソフトウェア(MS-Office等)の操作方法について指導。 ・同僚講師に対し、PCスキル向上の指導。 ・コンピュータコースに対して、カリキュラム改善等の助言。 ・コンピュータールームの運営。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC34台(Windows7、WindowsXP)、MS-Office2010 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・副校長 40代/男性 ・同僚講師 1名/40代/男性 | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 講師として活動するため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 現役講師を指導するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) | | 電気(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) 水道(○ 安定 ● 不安定 ○ なし) | | |
| 特記 事項 | 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 ☐ 無線) | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 6 月 27 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---------------------------------------|--------------------|
| 要請番号(JL 551 - 13- B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 26 / 3 | 日系/短期 年 月 から |
| ザンビア | | PCインストラクター | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 2) 配属先名 (日本語) ルカシャ職業訓練校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 北部州カサマ郡カサマ市内 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北東 方向 850 Km 主要都市(カサマ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.25 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1941年に設立された歴史のある国立の職業訓練校で、ビジネス学科とエンジニア学科の2つに分かれ、それぞれが秘書コースや自動車修理コース等を有している。主に国家試験合格者(日本でいう高校卒業者)を中心に職業訓練が行われており、約50haの広大な敷地の中で、約700名の学生が学んでいる。20年以上前に自動車整備と電子機器のJVが派遣されているが、現在はJICAを含め他国からの援助は入っていない。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ザンビアでは公官庁・民間企業におけるPCの普及が進み、就職のための必須技術となりつつあるが、PCスキルを身につけている人は少ない。同校では、ほぼ全コースのカリキュラムのなかにPCスキル習得の授業が組み込まれているが、講師の知識および数ともに十分ではないため、ボランティアの要請があった。同JVにはビジネス学科のコンピュータ短期コースおよび全コースの学生に対する講義が求められている。なお、同僚講師に対するPCスキル向上の指導も期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・ビジネス学科コンピュータ短期コースの学生に対し、PC操作の基礎から応用までを指導。 ・全コースの学生に対し、PCの基本的な知識やソフトウェア(MS-Office等)の操作方法について指導。 ・同僚講師に対し、PCスキル向上の指導。 ・コンピュータの維持管理。 ・コンピューターームの運営。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC50台(Windows7、WindowsXP)、MS-Office2010、プロジェクター、プリンター 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 ・副校長 50代/男性 ・同僚講師 2名/20~30代/男性 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 講師として活動するため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 現役講師を指導するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | (ここに特記事項を記入してください) | | | | | |



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|---|---------------------------|-------|
| 要請番号 (JL 551 - 13 - B - 14) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| ザンビア | PCインストラクター | | | 2 | 26 / 1 | 日系/短期 |
| | | | | 3 | 26 / 2 | |
| | | | ○ 2 年 | 26 / 3 | 年 月 から | |
| | | | ○ 1 年 | | | |
| | | | ○ ヶ月 | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ドミニカン・コンベント中等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 コッパーベルト州ンドラ市 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 300 Km 主要都市(ンドラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 カソリック教会が運営する女子中等学校で、グレード8から12(日本の中学2年から高校3年程度)までの生徒約700名が在籍しており、卒業時に行われる国家試験(日本のセンター試験にあたる)の合格率が毎年98%以上の優秀校である。同校を含むコッパーベルト州の小中高校では、ザンビア政府主導で現職教員の教授力向上のための研修が行われており、JICAも技術協力プロジェクト「授業実践能力強化プロジェクト(STEPS)」を実施している。現在、同校において、PCインストラクター以外に理数科教師のJVが活動している。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ザンビアでは公官庁・民間企業におけるPCの普及が進み、就職のための必須技術となりつつあるが、学校レベルにおけるPC教育は遅れている。同校では2012年より正規の授業としてPC教育を実施し、生徒のPCスキルの習得を図っているが、専任の教員が不在のため初代JVが授業を受け持っている。今後、PC教育専任の教員を配置する予定があり、2代目JVに対しては、生徒に対する授業とともに、同教員へのPCスキル向上の指導も望まれている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・全学年の生徒に対し、PCの基本的な知識やソフトウェアの操作方法について、週15コマの授業を実施。 ・同僚教員に対し、WindowsやMS-Office等についてのPCスキル向上の指導。 ・PCクラブ(クラブ活動)顧問として、生徒への指導。 ・コンピュータの維持管理。 ・コンピュータールームの運営。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC40台(Windows7、Edubuntu ver6)、MS-Office2010、プロジェクター、プリンター | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・副校長(女性、40代) ・同僚教員(男性、40代) ※PC教育専任の教員は不在で、理科を担当している教員がJVをサポートしている。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 教員として活動するため ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 現職教員を指導するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|---|
| 要請番号(JL 551 - 13 - B - 24) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| ザンビア | PCインストラクター | | | 日系/短期 年 月 から | |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムコンチ高校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 中央州カピリムボシ郡ムコンチ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北東 方向 140 Km 主要都市(カブエ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 全校生徒数約550名 教員数約45名の全日制高校。同校はザンビアの小さな農村に所在する高校であるが、教員の教授能力向上と、生徒の将来を見据えた職業能力開発の一環として、情報処理・情報通信に関する教育を熱心に行っている。また、当国政府が推進している、現職教員教能力向上プログラムを積極的に実施中であり、その中で学校現場での授業研究活動の定着が進んでいる。同プログラムに対しては、JICAも技術協力プロジェクト「授業実践能力強化プロジェクト(STEPS)」と、ボランティア派遣を通じて支援しており、本校についてはこれまで同プロジェクトと共に授業研究活動の定着と改善を進めてきた。 |

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ザンビアは基礎教育の充実に力を入れており、義務教育無償化、就学率の向上等の目標に向け、教育改革を行っている。改革を進める上で様々な課題を抱えているが、学校現場レベルでの課題として、生徒が卒業後の就業機会を得やすくするため、彼らに産業界が望む技術を身に付けさせることと、それを実現するための現職教員教授力の向上があり、本要請はその一環として、ICT技術(Information - Communication Technology情報通信)と現地で呼ばれている、PCの基礎的な技術を生徒に指導することと、その技術を現職教員へ伝え、更なる向上を図るための支援を得るため要請された。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・グレード10~12(日本の高校1~3年生程度)のICT授業を週15コマ受け持ち、PCについての基礎的なハードウェアの知識、Windows、MS-Office等ソフトウェアの操作方法、インターネットを通じた情報収集・公開・共有手法を教授する。 ・同僚教員に対してICT指導手法の紹介を行うと共に、同僚と協力してICT授業の質的な向上を図る手法を開発する。 ・課外活動である、科学技術クラブ(JETS)や運動クラブを可能な範囲で担当する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピューター教室1室、デスクトップPC8台(20台追加予定)、WindowsXP (一部Win98)、MS-Office2003、プリンタ1台、インターネット接続用携帯電話モデム6個 |

| | |
|--|---|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 ICT教師:1名 ※ただし他教科の教員による掛け持ちで担当。 また転勤等により、人数は増減する | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|--|---|

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 教員として活動するため必須 ・経歴 (指導経験) (3年以上) 理由: 現職教員を指導するため理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

特記事項 主要都市(カブエ)との間に、公共交通機関(バス、タクシー)の本数は限られるが、日常生活に必要な物資は現地で入手可能。緊急時には学校のバス、トラックでの送迎が可能。

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|--|
| 要請番号(JL 554 - 13 - B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 2 2 26 / 3 3 / |
| ジンバブエ | PCインストラクター | | 年 月 日 から | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムタレ技術工科専門学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムタレ JICA事務所の所在地(ハラレ)から 南東 方向 270 Km 主要都市(ムタレ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はモザンビークとの国境に接するジンバブエ東部の都市ムタレにある公立の総合技術専門学校。全校生徒数は、約1300人。日本の高校卒業レベルの学生が入学するほか、地域の産業界から技術習得のために学びに来る社会人も少なくない。年間予算は約1,500万米ドル。2012年より前任者を含む3名のJV(料理、デザイン、PCインストラクター)が派遣されている。他の外国からの援助はない。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 近年、ジンバブエでは各界でICT(インフォメーション・コミュニケーション・テクノロジー)の導入が求められており、配属先においても地域の産業界のニーズに応えるべく、ICTのコースを開講している。このコースには100人程度の学生が在籍しているが、レベルはまちまちである。1クラスの人数は10~30人程度。コース履修者は週あたり24時間の授業を受けることになる。この分野は、歴史が浅く、学生数が急増しているにもかかわらず、指導者も設備も不足している。また、共通教材がないため、講師によって質に差がでており、指導要領、指導方法、指導内容も手探りの状態である。これらの理由により、知識と経験の豊富なボランティアの支援を希望する同校より要請が出された。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ATEC PENTIUM4;256mb, MS OFFICE 2013/2007,MS VISUAL STUDIO6.0 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 講師(短大卒)10名、(大卒)3名 30代 すべて男性 学生: 18~22歳程度 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 高等教育機関での活動のため ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 指導対象のレベルに対応 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(5~25 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 住居については複数の同性隊員とハウスシェアとなる。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---|---|---------|--------|
| 要請番号(JL 554 - 13- B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ジンバブエ | PCインストラクター | | | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 2 | | |
| | | 3 | 26 / 3 | | |

配属先概要

1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省

2) 配属先名 (日本語) マシゴティーチャーズカレッジ NGO

3) 任地 マシゴ
 JICA事務所の所在地(ハラレ)から 南 方向 290 Km
 主要都市(マシゴ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間)

4) 配属先の規模・事業内容
 ジンバブエと南アフリカを結ぶ南北回廊沿いに位置し、世界遺産であるグレートジンバブエ遺跡を有する街、マシゴにある公立の小学校および幼稚園教員養成校。学生は高校卒業相当レベル。20代中心であるが、資格取得のために入学する40代の学生もいる。在籍学生数は約1200人だが、その半数以上が約2年間の教育実習に赴いている学生であるため、全員が校内にて授業を受けている訳ではない。年間予算は約140万米ドル。外国からの援助はない。

要請概要

1) 要請理由・背景
 教育人材の育成と職業訓練分野は、ジンバブエでのJICAの取り組みにおける重要課題である。本件は、小学校教員養成への協力であり、専門技術を習得することによる職業訓練分野への貢献をおこなうものである。ジンバブエでは、ICT(information and communication technology)分野での人材育成が求められており、配属先の卒業生は、専攻科目に関係なく、ICTの活用が可能な人材として、社会に貢献できるようになることを期待されている。小学校教員養成課程では、ICTは必須科目となっており、すべての学生は、ICTの単位を修得する必要がある。ジンバブエにおいては、ICT技術者の活躍の場が多く、教員以外に職に就くケースも多く、同校でも講師は不足気味である。

2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
 同校のICT課に所属し講師として以下の活動する。
 1. コンピュータの基本操作の指導
 2. システム理解のための講義
 3. 学校全体のコンピュータのメンテナンスとIT化に関する助言
 4. 定期試験のサポート

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
 コンピュータ60台(WindowsXP、7)、office2003,2007,2010、ワイヤレスインターネット

4) 配属先同僚及び活動対象者
 全校における講師は100名、ICT教員3名。(大卒)30代—50代
 学生: 18~22歳程度

5) 活動使用言語 (英語)
 6) 生活使用言語 (その他)
 7) 選考指定言語
 英語 (レベル: C)
 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)
 ・免許 ()
 又は ()
 ・性別 () 理由:
 ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 教員養成校での活動のため
 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 指導対象のレベルに対応
 理由:

活動上の単車/自転車の必要性
 単車 自転車 不要

現職教員特別参加制度
 可 不可

地域概況

気候(温帯夏雨気候) 気温(0~30℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 通信(インターネット可 電話可 無線) 水道(安定 不安定 なし)

特記事項

住居については複数の同性隊員とハウスシェアとなる。

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 554 - 13- B - 10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ジンバブエ | PCインストラクター | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムタレ・ティーチャーズ・カレッジ <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムタレ JICA事務所の所在地(ハラレ)から 南東 方向 370 Km 主要都市(ムタレ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 モザンビークとの国境の街、ムタレにある公立の中等教員養成校。学生はプライマリー校7年、セカンダリー校4年教育課程を修了したOレベルと呼ばれる層で、年齢は18~40代と幅広い。1学年は500人程度、3年制で、全校での学生数は1500名程度になる。学生の70%は女性。講師は全学で105人。年間予算1000万米ドル。外国からの援助はない。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 教育人材の育成と職業訓練分野は、ジンバブエでのJV活動の取り組みにおける重要課題である。本件は、中等学校教員養成への協力であり、専門技術を習得することによる職業訓練分野への貢献をおこなうものである。ジンバブエでは、ICT(information and communication technology)分野での人材育成が求められており、配属先の卒業生は、専攻科目に関係なく、ICTの活用が可能な人材として、社会に貢献できるようにすることを期待されている。中等教員養成課程では、ICTは必須科目となっており、すべての学生は、ICTの単位を修得する必要がある。ジンバブエにおいては、ICT技術者の活躍の場が多く、教員以外に職に就くケースも多く、同校でも講師は不足気味である。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同校のICT課に所属し講師として活動する。 ①コンピュータの基本操作の指導 ②システム理解のための講義 ③学校全体のコンピュータのメンテナンスとIT化に関する助言 ④定期試験のサポート |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ60台(WindowsXP、7)、office2010、ワイヤレスインターネット |

| | |
|---|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚講師 女性1名、男性3名、40~50代 大卒 経験年数9~30年 | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|---|--|

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由:) ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚の教育水準に合わせる ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 同僚と同等の経験が必要 理由:) | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨) 気温(0~28 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

特記事項 住居について、物件が限られているため複数の同性隊員とルームシェアをしての生活となる。

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|--|---|--|--|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 554 - 13- B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ジンバブエ | PCインストラクター | | | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 2 | | |
| | | 3 | 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 農業・機械化・灌漑開発省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) リオテント農業大学 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 ジョンベ JICA事務所の所在地(ハラレ)から 南西 方向 140 Km 主要都市(カドマ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 公立の農業大学。農場経営者を育成するための教育機関。18歳から40歳くらいまでの幅広い層の学生が在籍している。正規の学生は200名弱。一般公開講座も開講しており、現役農家の40~60代の高齢の受講生もいる。講師は18名、うち女性2名。一般的な農業実習や畜産コースと並行して農業経営コースがあり、本件のICTコースはこれに含まれる。これまでにJICAの援助実績はない。外国からの援助も受けていない。年間予算22万米ドル | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 教育人材の育成と職業訓練分野は、ジンバブエでのJV活動の取り組みにおける重要課題である。本件は、農業経営者を育成するための教育機関への協力であり、専門技術を習得することによる職業訓練分野への貢献をおこなうものである。ジンバブエでは、ICT(information and communication technology)分野での人材育成が求められており、配属先の卒業生は、農業分野においても、ICTの活用が可能な人材として、社会に貢献できるようになることを期待されている。農業経営学コースでのICT講義の導入は近年のことであり、各校とも体制づくりの段階である。ICT分野での指導者はジンバブエ国内では不足気味であり、配属先でも講師が不足していることから要請に至った。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同校のICT課に所属し講師として活動する。 ①コンピュータの基本操作とソフトウェア(Office2003,2007)操作の指導 ②システム理解のための講義 ③学校全体のコンピュータのメンテナンスとIT化に関する助言 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Winxp、Win7デスクトップ19台。MS office2007、2003 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 同僚講師 男性4名 修士1名、大卒1名 20~40代 | | | 5)活動使用言語 (英語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(高等専門学校卒) (理系) 理由:同僚の教育水準に合わせる ・経験(実務経験) (2年以上) 理由:同僚と同等の経験が必要 理由: | | | 6)生活使用言語 (英語) | |
| 地 域 概 況 | 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | | |
| 地域概況 気候(温帯夏雨) 気温(0~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 554 - 13 - B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ジンバブエ | PCインストラクター | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1)受入省庁名 (日本語) 農業・機械化・灌漑開発省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) クシンガビケレラ農業訓練校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 マロンデラ JICA事務所の所在地(ハラレ)から 南西 方向 75 Km 主要都市(マロンデラ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 配属先は、農業実践者を育成する公立の職業訓練校。理論と実技の両面から、人材育成をおこなっている。年間予算120万米ドル。正規の訓練生だけでなく、現役の農民向けの公開講座も実施している。同校の講師は16名。うち3名がICT課の講師である。同校は学位の習得を目指すのではなく、実践的に技術を身につけ、農業における即戦力の育成を目的としている。訓練生は25～55歳と幅広い。正規コースは2年制で1学年は60名程度。外国からの援助はない。 | | | | |
| 要請概要 | 1)要請理由・背景 産業人材の育成と職業訓練分野は、ジンバブエでのJV活動の取り組みにおける重要課題である。本件は、農業従事者を育成するための職業訓練機関への協力であり、専門技術を習得することによる職業訓練分野への貢献をおこなうものである。ジンバブエでは、ICT(information and communication technology)分野での人材育成が求められており、配属先の卒業生は、農業分野においても、ICTの活用が可能な人材として、社会に貢献できるようになることを期待されている。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ICT部に所属し、講師として活動する。 ①訓練生に対して、理論と実技の両面でICTの指導をする。 ②授業や試験を通じて、訓練生の評価をおこなう。 ③一般農民向け短期公開講座の企画と実施。 ④定期的なカリキュラムの見直し。 ⑤WEBやEメールなどの初歩的な内容からMS・OFFICEの活用につき指導。 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 Winxpデスクトップ11台、Win7デスクトップ9台。MS office2007、2003 | | | | |
| 資格条件等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 同僚講師 男性 2名、女性1名、20代 大卒 経験年数5年 | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (英語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:同僚の教育水準に合わせる ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:同僚と同等の経験が必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨) 気温(0~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 通信 | (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|--|--|--|---|--|---------------------------|-------|
| 要請番号(JL 560 - 13 - B - 23) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| ベナン | PCインストラクター | | | 2 | 26 / 1 | 日系/短期 |
| | | | | 3 | 26 / 2 | |
| | | | | 年 | 月 | |
| から | | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 地方分権・地方統治・行政・国土整備省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) コメ市役所土地登記課 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 コメ JICA事務所の所在地(コヌー)から 西 方向 65. Km 主要都市(コヌー)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 コメ市は人口7.8万人の農村地方都市である。配属先には技術サービス課、総務課、経理課など10の課があり、町長を含めた職員数は約50名、年間予算は約1.1億円。フランスのギウヤンクール市と姉妹都市協定を結んでおり、図書館の書籍やパソコンなどの供与やプロジェクト予算の支援を受けている。またギウヤンクール市との人材交流も積極的に行っている。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ベナンでは地方分権化、IT化が進められており、市役所の役割が重要視されるようになってきた。この流れを受け、これまで市役所で扱ってきた出生届、住民票、登記簿などの市民に関する情報をデータ化し、作業の効率を高めることが推進されている。しかし、2010年以降、各職員にパソコンが配布されても、ワード、エクセル、パワーポイントのPCソフトを使いこなせる人材が少なく、業務の作業効率は改善されていない。配属先においては、業務効率化の必要性について認識されているものの、かかるノウハウを有する人材が不足しており、今後、持続的にノウハウを獲得、蓄積していくための協力が求められ、本要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・市役所職員へPCソフト(ワード、エクセル、パワーポイント)の操作指導(業務で使用できるレベルを目指す) ・エクセル、パワーポイントの操作マニュアルの作成 ・講習会の企画・実施 ・可能であれば、配属先所有のPCの保守管理、および修理 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン(HP社、WINDOWS XP、OFFICE 2007)、プリンター(20台) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 指導対象者:市役所職員(約15名、レベル:ワード初級、エクセルが使えない) | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) | | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (フランス語) | | |
| | | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | |
| 地 域 概 況 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | | 活動上の単車/自転車の必要性 | | |
| | ・免許 () 又は () | | | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | |
| | ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・エクセルの指導経験 理由:活動上不可欠 | | | 現職教員特別参加制度 | | |
| | | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | |
| 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 569 - 13- B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| カメルーン | PCインストラクター | | | 1 | JOCV/SV | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | / | | | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 中等教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ヌーン県中等教育事務所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 西部州ヌーン県フンバン市 JICA事務所の所在地(ヤウンデ)から 北西 方向 365 Km 主要都市(ヤウンデ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 7 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、県内に76ある公立、私立の中学校や高校、中高一貫校を管轄している中等教育省の県事務所である。活動先となる中高一貫校や高校では、全生徒が週平均2時間程度の情報処理教育を受けている。配属先年間予算は約120万円。外国の援助実績無し。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 中等教育省は、近年、情報処理教育の普及および強化に力を注いでいるが、活動予定先各校には2000~3800名の生徒が在籍する中、わずか5~8名の情報処理教育担当教師しか配置されていない。2013年度より、情報処理が中等教育の試験科目に導入されることになったことを受けて、より情報処理教育が重要視されることになり、情報処理教育担当教師の人材不足問題の早期解決や当教師の技術力向上が望まれている。特に任国は電圧の急変動や落雷が多くPC関連機器の故障が多いため修理に関する技術指導も求められている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の県事務所長の指示の下、活動先の校長や教師と協力しながら、以下の活動を行う。 ①情報処理教育補助教師として、生徒に基本PC操作やWORD・EXCELなどの指導を行う。 ②PC教室の環境整備(PC修理、ウイルス対策・駆除)を必要に応じて自ら行い、教師が実践できるように支援する。 ③県事務所と協力し、情報処理教育担当教師やその他の教師に対し、技術向上のためのセミナーを開催する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各校にあるPC20~50台(Windows XP、Office 2007)、インターネット接続一部有、サーバー導入一部有。 |

| | |
|---|---|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 県事務所長:男性、40代(博士) 県事務所職員:男性、女性19名、30~50代 情報処理教育担当教師:各校1~3名(大卒)、男性、女性、30~40代 情報処理教育契約講師:各校4~5名、男性、女性 生徒:10~25歳、男性、女性 | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|---|---|

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:配属先の要望 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:配属先の要望 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-------|
| 要請番号(JL 569 - 13 - B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| カメルーン | PCインストラクター | | | 2 | 26 / 1 | 日系/短期 |
| | | | | 3 | 26 / 2 | |
| | | | | 年 月 | から | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 中等教育省 |
| | 2)配属先名 (日本語) オー・ンカム県中等教育事務所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 西部州オー・ンカム県バファン市 JICA事務所の所在地(ヤウンデ)から 北西 方向 290 Km 主要都市(ヤウンデ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 配属先は、県内に55ある公立、私立の中学校や高校、中高一貫校を管轄している中等教育省の県事務所である。活動先となる中高一貫校や高校では、全生徒が週平均2時間程度の情報処理教育を受けている。配属先年間予算は約100万円。外国の援助実績無し。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 中等教育省は、近年、情報処理教育の普及および強化に力を注いでいるが、活動予定先各校には1200~2000名の生徒が在籍する中、わずか1~3名の情報処理教育担当教師しか配置されていない。2013年度より、情報処理が中等教育の試験科目に導入されることになったことを受けて、より情報処理教育が重要視されることになり、情報処理教育担当教師の人材不足問題の早期解決や当教師の技術力向上が望まれている。特に任国は電圧の急変動や落雷が多くPC関連機器の故障が多いため修理に関する技術指導も求められている。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の県事務所長の指示の下、活動先の校長や教師と協力しながら、以下の活動を行う。 ①情報処理教育補助教師として、生徒に基本PC操作やWORD・EXCELなどの指導を行う。 ②PC教室の環境整備(PC修理、ウイルス対策・駆除)を必要に応じて自ら行い、教師が実践できるよう支援する。 ③県事務所と協力し、情報処理教育担当教師やその他の教師に対し、技術向上のためのセミナーを開催する。 |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各校にあるPC30~80台(Windows XP、Office 2007)、インターネット接続一部有、サーバー導入無。 |
| | 4)配属先同僚及び活動対象者 県事務所長:男性、50代(大卒) 県事務所職員:男性、女性 20~50代 17名 情報処理教育担当教師:各校1~3名(大卒)、男性、女性 30代 生徒:10~24歳、男性、女性 |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:配属先の要望 ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由:配属先の要望 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(20~35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 特記事項 | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|-----------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 569 - 13- B - 10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| カメルーン | PCインストラクター | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / | 年 月 から |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 中等教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ロム・ジェレム県中等教育事務所 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 東部州県ロム・ジェレム県ベルトア市 JICA事務所の所在地(ヤウンデ)から 東 方向 350 Km 主要都市(ヤウンデ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、県内に60ある公立、私立の中学校や高校、中高一貫校を管轄している中等教育省の県事務所である。活動先となる中高一貫校や高校では、全生徒が週平均2時間程度の情報処理教育を受けている。配属先年間予算は約100万円。外国の援助実績無し。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 中等教育省は、近年、情報処理教育の普及および強化に力を注いでいるが、活動予定先各校には1000~2300名の生徒が在籍する中、わずか2~7名の情報処理教育担当教師しか配置されていない。2013年度より、情報処理が中等教育の試験科目に導入されることになったことを受けて、より情報処理教育が重要視されることになり、情報処理教育担当教師の人材不足問題の早期解決や当教師の技術力向上が望まれている。特に任国は電圧の急変動や落雷が多くPC関連機器の故障が多いため修理に関する技術指導も求められている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の県事務所長の指示の下、活動先の校長や教師と協力しながら、以下の活動を行う。 ①情報処理教育補助教師として、生徒に基本PC操作やWORD・EXCELなどの指導を行う。 ②PC教室の環境整備(PC修理、ウイルス対策・駆除)を必要に応じて自ら行い、教師が実践できるよう支援する。 ③県事務所と協力し、情報処理教育担当教師やその他の教師に対し、技術向上のためのセミナーを開催する。 |

| | |
|---|---|
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各校にあるPC30~50台(Windows XP、Office 2003・2007)、インターネット接続一部有、サーバー導入一部有。 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 県事務所長:男性、50代(大卒) 県事務所職員:男性、女性 20~50代 17名 情報処理教育担当教師:各校2~7名(大卒)、男性、女性 20~30代 生徒:11~25歳、男性、女性 |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由:配属先の要望 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:配属先の要望 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|----------|---|
| 地域 概況 | 気候(熱帯性) 気温(20~35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|----------|---|

| | |
|----------|--|
| 特記 事項 | |
|----------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

| | | | | | | | |
|-------------------------------|---------------|--|---|--------|---------|--------|--------|
| 要請番号 (JL 630 - 13 - B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| モザンビーク | PCインストラクター | | | 1 | 2 年 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 1 年 | 26 / 2 | |
| 3 | ヶ月 | 26 / 3 | | | | | |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 農業省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) 国立農業研究所・リシंगा <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ニアサ州リシंगा JICA事務所の所在地(マプト)から 北 方向 1500 Km 主要都市(リシंगा)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.1 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 当研究所はモザンビークの北部地域の農業振興のために、野菜、穀物、家畜等の品種研究や土壌研究、農業機器、土木技術の導入調査・評価等、農業全般について幅広い調査研究を行っている1975年に設立した国立機関である。本要請を行ったリシंगाの研究施設は、リシंगा州を中心にモザンビーク北西部地域の調査研究を行う施設であり、ナンブラ州ナンブラに所在する同様の施設が北東部地域を統括している。JICAではモザンビーク、およびブラジルと共にProSAVANAと呼ばれる当国北部地域における総合農業開発事業(プログラム)を実施中で、当研究所へも専門家を派遣し、技術協力をを行っている。 |

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 当研究所では、30名程の研究者や技術者が調査研究活動を行っているが、その情報整理と分析に使用しているPC等の情報機器について、ソフトウェアのバージョンアップやウィルス対策、基本的なハードウェアの維持管理ができる人材がおらず、研究所の設備・機材管理責任者が自身の限られた知識だけで対応している。モザンビーク国内でもこの分野の人材が不足しているため、JICAに対して人材支援の要請が行われた。JICAでは、配属先概要に記したとおりProSAVANAと呼ばれるプログラムを実施中であり、当研究所に対して技術専門家による技術支援を行っているが、本件要請の骨子は、上述の責任者や研究員に対して、基本的(一般的)な情報機材の維持管理の知識・手法を教授し、彼ら自身が自らそれができるように支援を行うことであるため、ボランティアによる支援活動に適していると判断され、本要請が行われた。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・当研究所の設備・機材管理責任者と研究員に対して、基本的(一般的)な情報機材の維持管理の知識・手法を教授し、彼ら自身が自らそれができるように支援を行う。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 研究員に1台ずつ貸与されているDesk Top、またはNote PC ※OSはWinXP、Win7混在。ソフトもOfficeのバージョン混在、ウィルス対策ソフト混在の状態 |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 設備・機材管理責任者1名(カレッジ卒業レベル) 農業研究員17名(学士、修士レベル) 農業技術者14名(学士、短大・専門学校卒業レベル) |
| | 5) 活動使用言語 (ポルトガル語) 6) 生活使用言語 (ポルトガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 同僚と同等の学歴が必要。 ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

特記事項 配属先の住居提供都合により、要請番号JL630-13-B-07の合格者と同性的の場合、同居になる可能性があります。ただし、その場合でも寝室は個室です。

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 642 - 13 - B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| セネガル | PCインストラクター | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | 3 | 26 / 2 | 年 月 日から |
| | | | | / | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 職業訓練・研修・手工業省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ジョールファデトゥ職業訓練センター | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 テイエス州ンブル県ジョール市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 南東 方向 120 Km 主要都市(ンブル)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 小・中学校を中途退学した者(14~23歳)を受け入れている3年制の職業訓練学校。電気、木工、溶接、建築作図(昨年からは始まった)の課がある。1年生は国語、算数、英語の基礎および専門科目の概要を学ぶ。2年目から専門科目の理論と実習を学び、3年生末にテストを受け合格すれば職業適性証明書が得られる。講師15人、生徒約60人。ジョールの若者は、漁業や観光に職を求めるものが多いが、それ以外の選択肢を示す役割を果たしている。フランスのNGOの支援がある。2012年に国際NGO、Plan InternationalからPC10台を供与された。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 当国において若者の雇用は大きな問題であり、セネガル政府は人口が急増する若年層に職業訓練の機会を提供し雇用に結びつけることが求められているが、職業訓練生の資格取得率が低い、就職先の不足等の問題がある。学生が卒業後に社会で必要となる基本的な技術を身につけさせるため、専門技術と同時にPCの基本操作方法を学ばせることは有効である。最近配属先に事務用および生徒用PC10台が供与され、PC技術を学ぶ機会が設けられた。建築作図課では手書きの図面を教えているが、PCとソフトがあるため、生徒にAutoCADを学ばせたいが知識がある教員がいないため、隊員の要請となった。PCを専門に教える教員は現在はいない。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 建築作図課の生徒にPCを用いた基本的な作図を生徒および、教員に教える(ソフトはAutoCAD2008)。 ② 全生徒にワード、エクセル、パワーポイント等の基本的な使用方法を指導する。 ③ 増設が考えられている秘書課の生徒に対しワード、エクセル、メールソフトの使い方などを指導する。 ④ PCを長期間良い状態で使用していけるよう、維持管理(ほこりを避ける、管理台帳をつけるなど)の指導を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務機、デスクトップ型パソコン(WindowsXP)8台 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(男性、40代)、英語教師(男性)、他講師14名 | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 ・ 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 () 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 () () 理由: ・ 経験 () () 理由: ・ AutoCAD2008の知識 理由:実践的な内容の指導に必要 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 地域概況 気候(ステップ) 気温(15~45 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 21 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|--|----------------------------------|
| 要請番号(JL 745 - 13- B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| キルギス | PCインストラクター | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育科学省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) プリスタン第7学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 イシククリ州カラコル市プレジパルスク地区 JICA事務所の所在地(ビシュケク市)から 南東 方向 380 Km 主要都市(カラコル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 カラコル市からバスで30分程に位置する同校は1954年に設立された、生徒数310名、教員数23名の小中学校である。そのうちITを学ぶのは7年生から9年生の約80名である。ITの授業ではワード、エクセル、パワーポイント、アクセスを主に、9年生では簡単なプログラミング(Pascal)の基礎の指導も行われている。これまで青少年活動の隊員が活動していた事があり、PCの授業以外にも課外活動で日本文化の講座を開催する事も期待されている。年間の予算は236万ソム(約470万円)である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校の周辺では自宅でのPC保有率が低く、授業で初めてPCに触れる学生も多いためIT分野のレベルは高いとは言えず、熱心にPCを学ぶ生徒は少ない。そのような現状を改善するため、同校では生徒にIT分野に興味を持たせたいと考えているが、未だ手探りの状況である。そのため生徒の興味を引き出す実践的な授業、課外活動を支援するボランティアが要請された。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先スタッフと協力し、下記の活動を行なう。 1. 生徒のIT分野への興味を引きだすことを念頭に、演習授業を中心とした初歩的なPascalプログラミング、あるいはJavaプログラミングの指導を行う。 2. ボランティアの趣味や特技を生かした青少年育成活動を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC19台(windows xp 2003、2005)、プロジェクター、プリンター、コピー機 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学校長(女性、40代) 教員数 23人(25~70歳、2年~40年の経験、高等教育卒) 同僚教師1名(Officeソフトの指導は可能) 生徒数 310人 7年生から9年生(日本の中学1年生から中学3年生)の生徒 | | | 5) 活動使用言語 (ロシア語) 6) 生活使用言語 (ロシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 専門知識が必要なため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(内陸性) 気温(-25~35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記 事項 | 農村部での生活となるため、キルギス人宅にホームステイをすることになる。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 21 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|-----------------|--------------------|--|----------------------------------|
| 要請番号(JL 745 - 13- B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | ○ グループ型 ● 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV |
| キルギス | PCインストラクター | | | ● 2年 ○ 1年 ○ ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 年 月 から | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育科学省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キロフ学校 ○ NGO | | | | |
| | 3) 任地 イシククリ州チオルボンアタ市 JICA事務所の所在地(ビシュケク市)から 東 方向 250 Km 主要都市(チオルボンアタ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 観光地として有名なイシククリ湖を擁するチオルボンアタにある、1969年設立の小中高一貫校である。生徒数は約1200名、教員は75名。学校内に中国センターがあり、中国人教師が語学講座を開催するなど国際的活動にも力をいれており、約600名の生徒が学んでいる。隣接のイシククリ県庁教育局では、現在2代目の隊員が環境系の村落開発普及員として活動中である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校のIT授業では7年生から9年生に対しワードやエクセルを指導しているが、ITに関心のある一部の生徒からプログラミングの指導を求められている。同校のIT担当教員はBasicとPascalについては指導できるが、JavaやCについては知識・経験がないため、課外活動として、将来プログラマーを目指す生徒約20名に対し、簡単なJavaやCのプログラミング指導が出来るボランティアが要請された。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先スタッフと協力し、下記の活動を行なう。 1.同僚教師と協力しながら7年生から9年生(日本の中学1年生から中学3年生)の生徒に対しワード、エクセル、パワーポイントの実践的な指導を行う。 2.課外活動として、将来プログラマーを目指す生徒約20名に対し、JavaやCのプログラミングの指導を行う。 3.可能な範囲で日本文化を紹介する活動を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 10台のPC(windows 2000)、1台のプリンター | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教師 75名(23才~60才) 7年生から9年生(日本の中学1年生から中学3年生)の生徒約400名 | | | 5) 活動使用言語 (ロシア語) 6) 生活使用言語 (ロシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由:プログラミングの知識も必要な為 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(内陸性) 気温(-20~35 ℃位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | | | |
| 特記 事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | | |
|---|--|--|---|--|---------------------------|-------|
| 要請番号(JL 763-13-B-01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| ウズベ キスタン | PCインストラクター | | | 2 | 26 / 1 | 日系/短期 |
| | | | | 3 | 26 / 2 | |
| | | | | 26 / 3 | 年 月 から | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国民教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ウチ・クプリキ郡4番学校 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 フェルガナ州ウチ・クプリキ郡 JICA事務所の所在地(タシケント)から 東 方向 320 Km 主要都市(フェルガナ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 フェルガナ州にある1922年創設の小中一貫校。現在の校舎は1966年に設立され、2011年に改修を行った。1コマ45分授業の2部制の学校であり、前半は8:00~13:00、後半は13:00~18:00で授業を行っている。生徒数は970名でIT教科を学ぶのは5年生から9年生。25年度からは2年生からIT教育を行う予定。教員は74名でIT教科担当は3名おり、物理も兼任している。これまで外国からの支援を受けたことはない。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校では5年生から9年生に対してIT教育を実施しており、ペイント、ワード、エクセルに始まり、9年生の終わりには簡単なプログラミング(Pascal)を指導している。しかし、担当教師の専門が物理であるため、ITの最新情報に乏しく、生徒たちのITに対する興味に十分応えることができていないという課題を抱えている。また同国の知識中心の授業形式のため、PCの実践に関する指導力が不足しており、PCの演習授業の支援のニーズも高い。なお、2012年から大統領令により全国的に外国語教育に力を入れて取り組むことが決定されたため、同校でも生徒の外国への興味を引き出すことを目的に、日本文化紹介等の活動が期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①同僚教師と協力しながら5年生から9年生のIT授業で週17コマあるPCの演習授業を指導する。 ②同僚教師に対し、初歩的なPascalプログラミングの指導法や、子供のIT分野への興味を引き出す授業の実施について指導・助言する。 ③生徒の日本への関心を高めるために可能な範囲で日本文化紹介や日本に関するイベント等を企画・実施する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC教室1室、PC15台(Windows XP) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 5年生から9年生の生徒(2年生から9年生に変更の可能性がある。) IT担当同僚教師3名(物理担当と兼任、Officeソフトの指導は可能) | | | 5) 活動使用言語 (ウズベク語) | | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (ウズベク語) | | |
| 地 域 概 況 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | | 活動上の単車/自転車の必要性 | | |
| | ・免許 () 又は () | | | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | |
| | ・性別 () 理由: () ・学歴 () () 理由: () ・経歴 () () 理由: () 理由: () | | | 現職教員特別参加制度 | | |
| | | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | |
| 地域概況 気候(大陸性ステップ) 気温(-20~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | | |
| 特記事項 一人用の住居が確保しにくい地域のため、住居はホームステイとなる可能性が高い。 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 763 - 13- B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | |
| ウズベ キスタン | PCインストラクター | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国民教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) タシケント91番学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 タシケント州タシケント市 JICA事務所の所在地(タシケント)から 北 方向 0 Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同校は1936年に設立された首都中心部にある小中一貫校。英語教育を重視している。生徒は約870名、教員は54名。そのうちIT担当の教員は3名(ロシア語での授業担当2名、ウズベク語での授業担当1名)。これまでユネスコから機材供与等の協力はあがるが、他国のボランティアの受け入れ経験はない。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校では5年生から9年生に対してIT教育を実施しており、ペイント、ワード、エクセルに始まり、9年生の終わりには簡単なプログラミング(Pascal)やHTMLを指導している。しかし、担当教師の専門が物理であるため、プログラミングとHTMLについての知識・経験が不足している。また、2012年から大統領令により全国的に外国語教育に力を入れて取り組むことが決定されたため、同校でも生徒の外国への興味を引き出すことを目的に、日本文化紹介等の活動が期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①同僚教師と協力しながら5年生から9年生のIT授業でPCの演習指導を実施する。 ②同僚教師に対し、初歩的なPascalプログラミングやHTMLの指導法について指導・助言する。 ③インターネット回線が用意できた場合)学校のウェブサイトの立ち上げについて協力する。 ④生徒の日本への関心を高めるために、可能な範囲で日本文化の紹介や日本に関するイベントを実施する。 |

| | |
|---|---|
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC教室1室、PC15台(Windows XP) |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 5年生から9年生までの約570名の生徒 IT担当同僚教師3名(物理担当と兼任、Officeソフトの指導は可能) |

| |
|--|
| 5) 活動使用言語 (ロシア語) |
| 6) 生活使用言語 (ウズベク語) |
| 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不明となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(大陸性ステップ) 気温(-20~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|--|--------|---------|
| 要請番号 (JL 763 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G151) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ウズベキスタン | PCインストラクター | | | 2 | 日系/短期 |
| | | | ◎ 2 年 | 1 | 26 / 1 |
| | | | ○ 1 年 | 2 | 26 / 2 |
| | | | ○ ヶ月 | 3 | 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国民教育省 2) 配属先名 (日本語) タシケント225番学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 タシケント州タシケント市 JICA事務所の所在地(タシケント)から 北 方向 0 Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 首都タシケント市西部のミルソ・ウルベック地区にある小中一貫校。同地区内では3番目に大きな学校で、全校生徒は約900名。そのうちIT教科を学んでいるのは5年生から9年生の約500名。教師数は52名で、そのうちIT担当教師は2名おり、一人はウズベク語、一人はロシア語で教えている。過去に外国から援助を受けたことはない。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同校では5年生から9年生に対してIT教育の授業を実施しており、ペイント、ワード、エクセルに始まり、9年生の終わりには簡単なプログラミング(Pascal)やHTMLを指導している。しかし、同国の知識中心の授業形式のため、PCの実践に関する指導力が不足しており、特にPCの演習授業の支援が必要とされている。また、2012年から大統領令により全国的に外国語教育に力を入れて取り組むことが決定されたため、同校でも生徒の外国への興味を引き出すことを目的に、日本文化紹介等の活動が期待されている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①同僚教師と協力しながら、5年生から9年生のIT授業でPCの演習指導を実施する。 ②同僚教師に対し、初歩的なPascalプログラミングやHTMLの指導法について指導・助言する。 ③生徒の日本への関心を高めるために日本文化紹介や、日本に関するイベント等を企画・実施する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC9台(WindowsXP / LAN接続) 4) 配属先同僚及び活動対象者 5年生から9年生までの約500名の生徒 IT担当同僚教師2名(他教科と兼任、Officeソフトの指導は可能) | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: 理由: | | 5) 活動使用言語 (ウズベク語) 6) 生活使用言語 (ウズベク語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 地域概況 | 気候(大陸性ステップ) 気温(-20~40 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号 (JL 224 - 13 - B - 20) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G152) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ドミニカ共和国 | 視聴覚教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 日 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 教育芸術局 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 サントドミンゴ特別区 JICA事務所の所在地(サントドミンゴ特別区)から 南東 方向 3 Km 主要都市(サントドミンゴ特別区)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 教育芸術局は、教育省の中で芸術教育を管轄する部局であり、教師の育成、監督、フォローアップ、評価及び教材の開発を行っている。これまでに音楽や美術部門で複数名のJICAボランティアが派遣されている。平成24年まで活動していた美術職種のボランティアは、配属先が過密な教師の年間予定の中で年に数回行う講習会やワークショップにおいて、累計800人以上の中学・高校の教師や教員養成校の生徒に操り人形の作製方法を教授した。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国の芸術教育システムでは、視覚美術(図画)、工芸美術(工作)、音楽、舞台芸術の4分野を一人の教師が担当することを求められているが、実際には一つの分野しか教授されていないことが多い。配属先は教員達に各分野の知識・技能向上のための講習会を各地で開いている。現在まで数名のボランティアが派遣され、低コスト、リサイクル素材を利用した工芸作品の製作指導、教材開発を行ってきた。2012年就任した大統領が表明した教育充実政策に基づき、インターネットから誰でもダウンロードできる無料ソフトを利用して、マルチメディア教材を作り授業に取り入れること、生徒にマルチメディアソフトの存在を紹介し、将来の職業に結び付ける事に活用したいという希望があるため、今回の要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.同国の芸術作品や作家、記念建造物の歴史や意義、博物館の展示物を題材にした、芸術授業用マルチメディア教材の作成を行う。 2.教師の各種プレゼンテーション能力の向上と、教材作成に利用することを目的に、次のプログラムの基本操作を講習会やワークショップで教員に教える。 ・必須使用プログラム:Blender(3D) ・使用予定プログラム:Cine Paint, Synfig Studio(2D), Adobe Flash, Adobe premier, Adobe After Effects (全てのプログラムは配属先で所持しており、いつでもインストールできる状態) | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 MAC、デジタルカメラ、スキャナー、ビデオカメラ | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 美術視聴覚教育部長 30代 男性 全国の小中学校、高校の教師 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 専門的な知識・経験を要する 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯海洋性) 気温(18~33 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 563 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G152) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ブルキナファソ | 視聴覚教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) コミュニケーション・政府スポークスマン省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ブルキナファソラジオ・テレビ局 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 カディオゴ県ワガドゥグ市 JICA事務所の所在地(ワガドゥグ)から 北 方向 0 Km 主要都市(ワガドゥグ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同配属先は、国営の放送局として国内2つのテレビ局と4つのラジオ局および村落部の地方ラジオ局を運営し、テレビとラジオ番組の制作から放送事業までを実施している。ニュース、ドキュメンタリー、啓発・教育番組、ドラマやスポーツといった娯楽番組などの提供を行っているほか、ホームページ上に一部の番組をアップロードし、国内情報の発信を行っている。 |

| | |
|--|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国においては、テレビの普及率が高まりつつあり、テレビは主要なマスメディアとして情報伝達の重要な役割を担うようになってきている。配属先は報道からスポーツ、ドラマ、映画等の幅広い番組提供を行い、国民への情報と娯楽の提供媒体として中心的役割を担っている。同局は番組の質の向上と特色ある番組づくりを目指しているが、若手技術者の育成や新しい機材や規格の変化に合わせた技術習得が遅れている。特に、編集技術のレベル向上を優先課題として挙げているほか、数年後に予定されている高画質フォーマットへの移行のための技術的な対応にも迫られており、同隊員には新フォーマットでの撮影から編集までの作業に必要な技術の定着を目的とした支援活動が期待されている。なお現在、スポーツ・余暇省広報コミュニケーション局にて5代目の同職種隊員が類似の活動を行ってきた(2013年6月派遣終了)が、同局への隊員派遣は終了となる。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先制作部の同僚と協力し、技術者を対象に以下についての技術向上支援を行うために、実践を通じた指導、あるいは研修を実施する。 ①編集作業に必要な視聴覚機材(主にPCソフト)を使ったポストプロダクション技術。 ②番組構成に沿った撮影技術。 ③HD規格での撮影と編集の基礎的な技術。 ④機材の故障を未然に防ぐための、撮影後の機材の手入れ作業。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 業務用HDVカメラ、業務用HDVデッキ、パソコン、編集ソフト(Photoshop、Adobe CS3~6、Illustrator、After Effect等)、 |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 局長:男性、40代 配属先同僚技術者(撮影、編集、プログラム担当):男女、20~50代、首都のみで40名 | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (フランス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 実践的な業務を行う理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(スーダン・サヘル) 気温(15~45 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

特記事項 住居は同任地隊員と同居の可能性もある。

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 642 - 13- B - 31) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G152) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| セネガル | 視聴覚教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 保健・社会活動省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) テイエス州病院 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 テイエス州ティエス県ティエス市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 東 方向 70 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 人口約140万人をカバーするティエス州の総合病院であり、約200人のスタッフのもとに、内科、外科、心臓科、整形外科、泌尿器科、耳鼻科、眼科、口腔外科、小児科、産科、検査室、レントゲン室、CT室、血液銀行などを備える。2013の年間予算約4億円。フランスやイタリアの援助を受けている。JICAは2010年4月から5S活動にかかわる看護師および行政サービスのJVを合計3名派遣している。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国では病院内において、書類やカルテが煩雑にちらばり見つからない、適切な表示がなく患者にとって便利ではない、患者を長時間待たすなど、医療サービスの提供が少ない問題がある。JICAが2006年にセネガル全国の11の州病院を対象に5S-KAIZEN-TQM(以下5S)に関する研修を実施して以来、保健・社会活動省において、病院の質評価に5Sが取り入れられることとなり、ティエス州病院は2011年に同国で第2番目の試験モデル病院に指定された。病院では5S活動をすすめるにあたり、各診療科毎に5S担当者が、またそれらをまとめる5S委員会が組織されている。病院のほぼ全員が研修を受け、理論として理解はしているものの、具体的な活動のアイディアは描きづらく、隊員との連携が必要とされている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 病院内の5Sの取り組みを記録する。 ② 5S委員会や病院内で発表し、活動を活性化させる取り組みをする。 ③ これから5S活動に取り組む他の病院の参考となるような視聴覚資料を作成する。 ④ 同配属先の看護師、行政サービス隊員と協力して活動する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、パソコン、プリンター、文房具等 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 院長(男性 40代) 院長(男性、50代)、5S委員会メンバー(約15名、男性、女性30代~40代)、看護科科長(男性、50代)、質改善課課長(5S委員会委員長、男性、50代) 他 |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(15~45 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 642 - 13- B - 32) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G152) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| セネガル | 視聴覚教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 保健・社会活動省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) タンバクンダ州医務局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 タンバクンダ州タンバクンダ県タンバクンダ市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 南東 方向 462 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 8 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 タンバクンダ州医務局(以下医務局)は州内の保健・医療活動全般を統括する機関であり、年間予算は約1,000万円である。国連人口基金、ユニセフ、イスラム開発銀行、JICAなど多くの支援パートナーとの業務調整も行っている。ボランティアの配属先となる医務局内の保健情報・教育課(以下、IEC課)は保健・衛生機関と地域住民を円滑な保健情報で繋ぎ、情報の質を確保する役割を担っている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 タンバクンダ州では、妊産婦死亡率及び乳幼児死亡率が高く、住民は質・量ともに十分な基礎保健サービスを受けられていない。更に住民の予防知識が不足しており、健康状態を悪化させている。セネガル国家保健計画(PNDS)の最終目的は「国民の健康状態の改善を図る」こと、特に妊産婦、乳幼児死亡率の低下と合計特殊出生率低下への取り組みを優先目標としている。医務局IEC課において、地域住民の保健・病気予防に関する知識の向上・定着のために、保健・衛生情報の伝達経路の改善、学校保健活動等を通じて住民への啓発活動を活性化するために本要請がなされた。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同州に配属されるJICAボランティアとの連携・協働も視野に入れつつ以下の業務を行う。 ①配属先が行う啓発活動への支援 ②医療施設内の情報伝達・掲示手法の改善 ③保健・衛生情報伝達経路の改善 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 音響調整卓、アンプ、スピーカ、マイク、パソコン、プリンタ、スキャナ | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 医務局:局長室、総務・経理課、計画課、監査・研修調査課、IEC課等 IEC課:ソーシャルワーカー1名(40代女性)、啓発担当者(50代男性) | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(15~45 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 024 - 13 - B - 22) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ラオス | 音楽 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) 芸術教員養成短期大学 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 ビエンチャン市 JICA事務所の所在地(ビエンチャン)から 北 方向 0 Km 主要都市(ビエンチャン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 1982年に創立されたラオス唯一の芸術教員の養成を目的とした短期大学で、音楽科及び美術科がある。学生数は約350名(音楽科は約250名)で、教員数は41名(音楽科23名)である。音楽科の学生は、特定分野のみを専攻するのではなく、全員が鍵盤楽器、伝統楽器、歌、伝統舞踊等を学ぶことになっている。2015年を目処に、学士号が取得できるコースに順次移行していく予定である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 教員や学生は、音楽科に入学するまでピアノ演奏をはじめ音楽教育を受けたことがほとんどない。また、教員の演奏技術は、過去に派遣された隊員の協力により向上したものの、日常的に自身の演奏技術を高めるための機会がなく、その技術と学生への指導力は、十分ではない。しかし、同短期大学は国内唯一の芸術教員養成機関であり、ラオスの音楽教育において重要な役割を果たすため、授業の質の向上をめざして、過去に実績のあるJICAボランティアの協力が求められている。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. ピアノ演奏技術向上を目指し、教員及び学生に対してピアノ演奏の指導を行う。(個別および40名程度のクラスを対象) 2. 初歩的な楽典や音楽史、音譜学習や歌唱に関する授業の質を上げるため、授業を観察して改善案を教員に助言する。 3. 授業に用いる各種教材の開発や教則本の改訂を支援する。 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ピアノ、電子ピアノ(50台)、ホワイトボード、マーカー等 ピアノの教則本は、音楽科が独自で編集し、バイエル程度の楽曲等が掲載されている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 4)配属先同僚及び活動対象者 音楽学科教員数:23名(男性12名、女性8名、20~45歳) ピアノ教員6名(男性3名、女性3名、25~35歳)、技術レベルは初級。 一年生クラス約60名、2年生クラス約40名、技術レベルは初級。 | | | 5)活動使用言語 (ラオス語) 6)生活使用言語 (ラオス語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 資 格 条 件 等 | | | | | |
| 地 域 概 況 | 気候(亜熱帯) 気温(15~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特 記 事 項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 3 月 1 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 027 - 13- B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ベトナム | 音楽 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) ベトナム女性連合 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 女性開発センター | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ハノイ市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 当センターはベトナム女性連合傘下にある公共施設であり、女性の技術、教育水準、能力等の向上を目指し、2007年に正式に設立。以下3つの事業を柱とする。①社会的・政治的活動イベントの開催、②女性の能力向上を目的とした各種研修・雇用促進・相談・開発促進のための各種フォーラム・展示会の開催、③ホテル・レストラン・会場等のサービス提供。特に女性の開発に関する活動として、職業訓練による能力開発、貧困層・弱者支援、各種相談・助言、各種研修やイベントの企画・運営がある。社会活動の一環として、家庭内暴力や人身売買の被害者である女性の子どもたちを教育する目的で、2011年に幼稚園が併設された。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 併設された幼稚園は、当センターの研修部の下にあり、政府認可である。一般や女性連合会員の子どもに加えて、家庭内暴力や人身売買の被害者である女性を収容する2つのシェルターに通う女性の子どもを受け入れている。幼稚園教諭全員がキーボードを弾けることが望ましいが、今のところできる人がいないため、ボランティアよりキーボードの奏法を教わり、幼稚園での歌の時間をより充実させたものにするべく、キーボード奏法の経験があり、素人である教諭に対し基礎的な奏法を教えることができるボランティアの協力・支援が求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 赴任当初は語学力の向上、同僚との良好な関係構築、現状把握に重点を置きつつ、以下の活動を配属先の一員として、同僚と協力して行う。 ・幼稚園の全教諭向けに、キーボードの奏法(及び楽典、リズム等)を教え、これにかかる教材作成・準備を行う。 (1週間に3日: 土曜午前は教諭全員向けに2~3時間程度の授業、平日2日午後は教諭へ個人レッスン) ・同僚が幼児に歌やリズムを教える際の支援を行い、教諭自身がキーボードを利用して教えられるようにする。 (1週間に3日: 平日週3日、1日当り3クラス×各1時間程度) ・このほかに幼稚園の行事・発表会等の支援など、配属先から指示された業務を実施する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 幼児用うたの本(ベトナム語)CD、CDプレーヤー、キーボード(ボランティアの赴任が決定次第、1台を購入予定)他の楽器はない | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・女性開発センター 訓練部長(女性/40代/英会話可能) ・同僚6名(女性/20代~30代/全員幼稚園教諭免許あり/キーボードは弾けない) ・幼児60名(3クラス、①18ヶ月~2歳半、②2歳半~4歳、③4歳~5歳) ・ほか関連スタッフ3名(大卒・修士) | | | 5) 活動使用言語 (ベトナム語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 同僚が相応の学歴を有するため ・経歴 () () 理由: ・ キーボードの指導が可能なこと 理由: 教諭に奏法を教えるため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨) 気温(10~35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 16 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|---------------|--------------------------------------|--|----------|
| 要請番号(JL 057 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | ○グループ型 ●個別 | ○新規 ●交替 2 代目 | ○2年 | 1 26 / 1 |
| モルディブ | 音楽 | | | ○1年 | 2 26 / 3 |
| | | | ○ヶ月 | 3 / | |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) ミランドウ・スクール | | | | ○NGO |
| | 3)任地 シャヴィヤニ環礁ミランドウ島 JICA事務所の所在地(マレ)から 北 方向 234 Km 主要都市(マレ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 同校は当国北方のシャヴィヤニ環礁ミランドウ島にある公立小中高等学校である。同島は2006年に政府の移住政策によって近隣の島からの住民の移住によってできた新しい島である。学校は1~12年生までであり、その内1~7年生までは初等教育、8~10年生が中等教育、11、12年生からが高等教育となる。全校の生徒数は、初等・中高等合わせて約500名、教職員数は72名。現在までに1名の音楽の協力隊員が派遣されて音楽教育を担当。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 当国の教育はつい最近まで「読み、書き、計算」に重点を置いた主要教科中心であった。しかしながら、近年教育省は生徒の心身の健全な成長を目的とした情操教育の必要性にも注目しており、主要教科と同時に体育、音楽、図工等の教科を学校教育にも導入し始めた。同校には生徒による吹奏楽バンドがあり、各種式典やイベント時に演奏を行なっている。初代の音楽隊員が学校での音楽の授業と平行して吹奏楽部の指導も実施しており、生徒の演奏レベルは向上している。そのため配属先での更なる音楽の授業の定着、吹奏楽部の技術レベル向上に継続した指導が必要のため、今回の後任派遣要請となった。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 隊員は以下のことを実施する。 1. 1~5学年の生徒を対象に現地教諭と共に音楽の授業を実施する。 2. 演奏技術の向上を図ることを目的とした吹奏楽部の生徒に対する指導を行う。 3. 吹奏楽部の公的場面における演奏指導を行う。 なお、活動内容の詳細については、赴任後に配属先の校長と隊員間での協議を実施した上で決定する。 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 リコーダー、キーボード、吹奏楽部に関連する楽器一式 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 現地同僚教諭(20~40代の男女、音楽のバックグラウンドなし) 学校の小学校生徒(1~5年生の男女、年齢7~11歳)及び吹奏楽部メンバー | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (音楽) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (短大卒) (音楽) 理由:授業を担当するため ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 ○單車 ○自転車 ●不要 現職教員特別参加制度 ○可 ●不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(25-35 ℃位) | | 電気(●安定 ○不安定 ○なし) 水道(●安定 ○不安定 ○なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 066 - 13- B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| スリランカ | 音楽 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 2 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 情操教育局西洋音楽課(コロンボ) | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 コロンボ県コロンボ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北 方向 0 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はスリランカの公的教育を監督する教育省内の一部局。西洋音楽教育にかかる方針策定、教員研修、楽器の配布等を行っている。年間予算は700万円。配属先を通じてこれまでに、全国青年オーケストラに対しては1999年から2代に渡ってボランティアが派遣され、2013年3月にはNGOが支援するクルネーガラの小学生の音楽指導および青年オーケストラと学校吹奏楽団員指導のために短期ボランティア2名が約1ヶ月間派遣された。加えて短期JV1名が、2014年1月派遣を想定し10ヶ月の任期で要請されている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 スリランカの情操教育においては伝統音楽教育が主流であり、西洋音楽はいまだ一般的ではない。これまでJICAは公教育における西洋音楽教育向上のために、教員養成大学を中心に20名弱の音楽隊員を派遣してきた。全国青年オーケストラは昨年20周年を迎えたが、本年より地方支部を結成するに至り、西洋音楽普及が少しずつではあるが実を結んできた。西洋音楽の授業の補佐、教諭への指導、青年オーケストラ団員への指導を通して西洋音楽の実技向上に協力するためにボランティアが要請された。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①全国青年オーケストラ団員の弦楽器の演奏技術指導を行う。(土曜午後) ②中学校、高等学校を巡回し、西洋音楽の授業の実技を補佐する。教員に指導法を指導する。(平日午前) ③弦楽器の初心者を対象に個人指導を行う。(平日午後) ④配属先が開催する教員向けワークショップでリコーダー、キーボード、合唱などの指導を行う。(不定期) ⑤楽器の基本的な維持管理技術を指導する。 ※④のキーボード指導に関してはボランティアが鍵盤楽器の演奏が可能な場合のみ希望。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 青年オーケストラには日本政府が寄贈したオーケストラ楽器一式が揃っている。 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教育省職員(女性、40代) 中学校・高等学校の西洋音楽の教員(主に女性、20~50代、指導歴および実技レベルは様々) 全国青年オーケストラ団員(合計男女約60名、6~25歳、弦楽器はバイオリン30名、ピオラ1名、チェロ4名、ダブルベース1名実技レベルは様々) | | | 5) 活動使用言語 (シンハラ語) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準とあわせる。 ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要。 弦楽器の演奏経験3年以上 理由: 経験に基づいた指導が必要 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(22~32 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号 (JL 066 - 13 - B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 派遣希望時期 |
| スリランカ | 音楽 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 情操教育局西洋音楽課(ゴール) | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ゴール県ゴール JICA事務所の所在地(コロンボ)から 南 方向 120 Km 主要都市(ゴール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はスリランカの公的教育を監督する教育省内の一部局。西洋音楽教育にかかる方針策定、教員研修、楽器の配布等を行っている。年間予算は700万円。配属先を通じてこれまでに、全国青年オーケストラに対しては1999年から2代に渡ってボランティアが派遣され、2013年3月にはNGOが支援するクルネーガラの小学生の音楽指導および青年オーケストラと学校吹奏楽団団員指導のために短期ボランティア2名が約1ヶ月間派遣された。加えて短期JV1名が2014年1月派遣を想定し10ヶ月の任期で、長期ボランティアが2014年10月派遣を想定し要請されている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 スリランカの情操教育においては伝統音楽教育が主流であり、西洋音楽はまだまだ一般的ではない。これまでJICAは公教育における西洋音楽教育向上のために、教員養成大学を中心に20名弱の音楽隊員を派遣してきた。全国青年オーケストラは昨年20周年を迎えたが、本年よりゴールに地方支部を結成するに至り、西洋音楽普及が少しずつではあるが実を結んできた。ゴール地域の西洋音楽教諭への指導、青年オーケストラ地方支部および各学校の吹奏楽団員の指導を通して西洋音楽の実技向上に協力するためにボランティアが要請された。現時点のオーケストラ参加者の楽器はトランペット、トロンボーン、ワーフオリウム、チューバ、ピッコロ、クラリネット、アルトおよびテナーサクソである。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①青年オーケストラ、中学校、高等学校の吹奏楽団団員の管楽器の演奏技術指導を行う。 ②楽器の基本的な維持管理技術を指導する。 ③中学校、高等学校を巡回し、西洋音楽の授業の実技を生徒に直接指導する。また教員に指導法を指導する。 ④配属先が開催する教員向けワークショップでリコーダー、キーボード、合唱などの指導を行う。 ※④のキーボード指導に関してはボランティアが鍵盤楽器の演奏が可能な場合のみ希望。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 各学校の吹奏楽団およびオーケストラには配属先が配布した上記管楽器および打楽器がある。 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教育省職員(女性、40代) 青年オーケストラ担当教諭(男性、30代、ホルン奏者、演奏歴20年) 中学校・高等学校の西洋音楽の教員(主に女性、20~50代) 学校吹奏楽団団員(中学生、高校生、初心者が多い) 青年オーケストラ団員(中学生・高校生、男女35名、初心者が多い) | | | 5) 活動使用言語 (シンハラ語) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準とあわせる。 ・経歴 (指導経験) (3年以上) 理由: 経歴に基づいた指導が必要。 管楽器の演奏経験3年以上 理由: 経歴に基づいた指導が必要 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(22~34 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可、 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|-------------------|--|---|--------|--------|-----------|
| 要請番号 (JL 106 - 13 - B - 18) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| フィジー | 音楽 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |

| | | |
|-----------------------|---|---------------------------|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・国民遺産・文化・芸術省 | |
| | 2) 配属先名 (日本語) スバ教育事務所 | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 スバ市 JICA事務所の所在地(スバ市)から 北東 方向 0 Km 主要都市(スバ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 スバ教育事務所はフィジー国内にある9つの教育事務所の一つで、教育省の支部として本省で決定された政策の実施、規程や情報の伝達のほか、教員の配置や各校長からの相談対応、また本省への定期業務報告などを行っている。同教育事務所は担当地域にある85の小学校を管轄している。現在同事務所と同様の教育事務所であるラウトカとシンガトカの教育事務所にJICAボランティア3名が派遣されている。 | |

| | | |
|------------------|---|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国では、初等教育における情操教育の重要性が認識され、その向上が課題となっている。2011年より小学校においては担任教師が体育・図工・音楽を指導、評価することが義務付けられたものの、これまでテスト教科の指導を中心に行ってきたことから同教科に関する知識、指導経験が圧倒的に不足しており、指導経験のない教員が大半である。JICAは過去数年にわたり各地の小学校に同教科の支援にJVを派遣してきたが、現在は教育事務所への派遣に切り替え、複数の小学校を巡回することでより効果的な情操教育の普及及び改善を目指している。同教育事務所には2代に渡り小学校教諭JVや体育JVを派遣しており、本要請は3代目となる。 | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先と巡回指導の調整を行いながら以下の業務を行う。 1. 担当地域の小学校の巡回指導計画を立て、小学校生徒(日本の小学1年生から中学2年生まで)を対象に音楽の基礎や楽しさを伝えるとともに、担任教師に対し同教科の指導・支援を行う。 2. スパPEMAC(体育・音楽・図工)協会を中心に、担当地域の現地教員を対象とした授業運営方法や指導技術向上のためのワークショップ等を企画・実施する。 3. ほかのPEMAC(情操教育)JVと情報共有を行い、効果的な情操教育改善に向けて協力する。 | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的なオフィススペース、ファックス、電話など。 現在可能な教材:教員指導書 | |

| | |
|--|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 教育事務所職員 巡回先小学校教員 生徒(日本小学1年～中学2年生) | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|--|--|

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | 活動上の単車/自転車の必要性 |
| | ・免許 (音楽) 又は (小学校教諭) | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 教員経験(臨時的任用経験可)3年以上 理由: 現職教員への助言に必要 | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | | |
|------|--|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(15~35 ℃位) | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

特記事項 ※配属先から提供される住居に同性のJVと2、3人での同居になる可能性あり。

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 106 - 13- B - 19) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| フィジー | 音楽 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | 2 | 26 / 2 | | | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 教育・国民遺産・文化・芸術省 | | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) ナウソリ教育事務所 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 ナウソリ町 JICA事務所の所在地(スパ市)から 北東 方向 20 Km 主要都市(スパ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 ナウソリ教育事務所はフィジー国内にある9つの教育事務所の一つで、教育省の支部として本省で決定された政策の実施、規程や情報の伝達のほか、教員の配置や各校長からの相談対応、また本省への定期業務報告などを行っている。同教育事務所は担当地域にある116の小学校を管轄している。現在同事務所と同様の教育事務所であるラウトカとシンガトカの教育事務所にJICAボランティア3名が派遣されている。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 同国では、初等教育における情操教育の重要性が認識され、その向上が課題となっている。2011年より小学校においては担任教師が体育・図工・音楽を指導、評価することが義務付けられたものの、これまでテスト教科の指導を中心に行ってきたことから同教科に関する知識、指導経験が圧倒的に不足しており、指導経験のない教員が大半である。JICAは過去数年にわたり各地の小学校に同教科の支援にJVを派遣したが、現在は教育事務所への派遣に切り替え、複数の小学校を巡回することでより効果的な情操教育の普及改善を目指している。同教育事務所には2009年6月に1代目JV(小学校教諭)が1名、2011年8月から2代目JV(小学校教諭)が2名派遣されており、本要請は3代目となる。 | | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先と巡回指導の調整を行いながら以下の業務を行う。 1.担当地区の小学校の巡回指導計画を立て、小学校1~8年生(日本の小学1年生~中学2年生)の生徒を対象に音楽の楽しさを伝えるとともに、クラスの担任教師に対し同教科の指導・支援を行う。 2.担当地域の現地教員を対象とした授業運営方法や指導技術向上のためのワークショップ等を企画・実施する。 3.ほかのPEMAC(情操教育)JVと情報共有を行い、効果的な情操教育改善に向けて協力する。 | | | | | |
| 要 求 | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 一般的なオフィススペース、ファックス、電話など。 現在可能な教材:教員指導書 | | | | | |
| | 4)配属先同僚及び活動対象者 教育事務所職員 巡回先小学校教員 生徒(日本小学1年~中学2年生) | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (音楽) 又は (小学校教諭) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ 教員経験(臨時的任用経験可)2年以上 理由:現職教員への助言に必要 | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(15~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記 事項 | ※配属先から提供される住居に同性のJVと2、3人での同居になる可能性あり。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

| | | | | | | |
|------------------------|--|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 130-13-B-03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| トンガ | 音楽 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | | 3 | 26 / 3 | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) タイルルカレッジ | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ヌクアロファ JICA事務所の所在地(ヌクアロファ)から 南西 方向 1. Km 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(自転車 で約 0.2 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 タイルルカレッジは、トンガ自由教会傘下の男女共学の中学・高校教育一貫校で1967年に創立された。首都、ババウとハーパイに各1校がある。首都校の生徒数は約410名(11~18才)、教職員58名 でこれまでJICAボランティアの派遣はない。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 トンガの音楽は、キリスト教布教活動の際に持ち込まれたものが大部分である。国民の9割以上がキリスト教徒で教会の数も多く、いたるところでミサの合唱などの教会音楽を聴くことができ、旋律や合唱のスタイルは西洋音楽そのものである。音楽のカリキュラムは、イギリス、オーストラリア、ニュージーランドのものをベースに作成されている。教育界には音楽大学などで専門教育を受けた教師が非常に少なく、音楽の理論や実技指導を行う教師はブラスバンドの経験者が大部分である。授業は楽典が中心なので音楽のルールと理論が先行し実技が伴っていないため、ブラスバンドに参加する生徒だけでなく一般の生徒にも楽器を弾くなどの音楽を楽しむ機会を与えたいとして、理論に実技が伴った音楽教育のできるボランティアが要請された。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①音楽の授業を実施する。なお、担当学年は赴任後に学校と協議して決定する。 ②得意な楽器などを活かして課外活動の指導をする。(金管楽器であればブラスバンドの指導など) (授業は1~6年生で週5回(50分/回)行われ、1~4年生では理論と実技を学ぶ。5~6年生では音楽史や作曲課題があるので、音楽学にある程度明るいことが望ましい。3~6年生では選択科目となり、生徒数は、3年生約30人、4年生約20人、5年生約10人、6年生はゼロ) | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、ブラスバンド用の楽器、ドラムセット、ベースギター、ギター、キーボードなど (他の楽器で活動に必要な物は学校が用意する意向がある。) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚の音楽教師:2人(男性、40代後半、50代前半) 経験:音楽教師として10~24年 技術:ブラスバンドの経験 | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (音楽) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせるため ・経験 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(15~33 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 8 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|--------------------------------------|
| 要請番号(JL 227 - 13- B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| エルサルバドル | 音楽 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1)受入省庁名 (日本語) 総務省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) プロアルテ協会 | | | | <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 サンサルバドル県サンサルバドル市 JICA事務所の所在地(サンサルバドル市)から 北 方向 0 Km 主要都市(サンサルバドル市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 配属先は1960年に楽団活動を通じた青少年の健全な育成を目指して創設されたNGOである。エルサルバドル青少年交響楽団(17~25歳、約100名)、エスペランサ・アステカ交響楽団(6~17歳、約120名)の運営、指導を行なっている。団員のほとんどは貧困~低中間層の子供たちであり、楽器は寄贈や寄付により集められメンバーに貸与し、団員の負担は通学のための交通費のみである。これまでは首都を中心に演奏活動を行っていたが、楽器搬送用トラックが寄贈され、国内各都市でも開催できるようになった。年間予算は約40万米ドル、当国文化庁補助金、メキシコのアステカ財団はじめ米国の宗教団体などの支援を得ている。 | | | | |
| 要請概要 | 1)要請理由・背景 配属先では打楽器、弦楽器、金管・木管楽器からなる交響楽団を運営しており、アステカ交響楽団は合唱も行なっている。2013年7月には青少年交響楽団の約30名がイタリアWilliam Walton 財団主催の青少年オーケストラフェスティバルに初参加した。2013年から2か年の計画で楽団メンバーの音楽性の向上とプロ(就業)への可能性開拓を行いたいとしており、特にバイオリン指導について協力を得たいとしてボランティアが要請された。弦楽器の講師4名(バイオリン3名、ピオラ1名、チェロ1名、コントラバス1名)により約30名のメンバーに指導が行われている。(楽器の貸与は協会内のみでの使用である。各楽器は各メンバーに振り分けられており、常に同じものを使用し、手入れもきちんと行われている。) | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.弦楽部門の練習計画に沿ってバイオリンの個人およびグループへの指導を行う。 2.コンサート及びそのリハーサルに立会い、メンバーへの助言を行う。 3.公立及び私立の小中学校への巡回に協力し、子どもたちの楽器(ボランティアはバイオリン及び他弦楽器について)や音楽への興味や関心を高める活動を行う。 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務スペース、各弦楽器、楽譜 | | | | |
| 資格条件等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 ・事務局長:女性、50歳代 ・音楽監督:男性、38歳、勤務年数9年 ・各楽器講師:19名、ほとんどがエルサルバドル国立交響楽団のメンバー ・総務スタッフ15名 | | | 5)活動使用言語 (スペイン語) 6)生活使用言語 (スペイン語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (高卒) (音楽) 理由:理論の指導が必要 ・経験 (指導経験) (2年以上) 理由:メンバーへの指導が必要 ・ オークストラでの演奏経験 理由:メンバーへの指導が必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(15~ 35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 住居は原則ホームステイとなる。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 9 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 233 - 13- B - 14) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| グアテマラ | 音楽 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 3 | |
| | | 3 | / | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 文化スポーツ省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ソロラ県 芸術学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ソロラ県 ソロラ市 JICA事務所の所在地(グアテマラ市)から 西 方向 125 Km 主要都市(ソロラ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 文化スポーツ省は青少年らの情操教育を目的として、音楽や美術を身近に接することができるよう芸術学校を設置している。ソロラ芸術学校は小学校の午後の空き教室を利用し、音楽教室や美術教室を開催している。音楽教室では主にバイオリンやマリンバの演奏指導を行っており、大人から子供まで一般市民が事由に参加できる。同配属先では前任にあたる音楽隊員が2012年6月までバイオリン指導を中心に活動していた。年間予算は約2万米ドルで楽器等は日本から供与されたものである。現在、本要請に先行して短期ボランティアが2013年11月まで活動中である。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先では子供たちや周辺住民への情操教育の一環として、音楽に触れる機会を作り、音楽を通じて豊かな人生を送れるようにと日々の活動に取り組んでいる。これまで前任にあたる音楽隊員とともに同僚(C/P)は熱心にバイオリン指導を行い、生徒たちにも一定の技術向上が見られる。今後、さらなる参加者の拡大と同僚(C/P)の指導力向上が必要とされており、午前中の小学校1校での音楽授業や周辺校での模範演奏を通じての参加者拡大、及び同僚(C/P)の指導力向上のため本要請がなされた。今後はバイオリンに特化することなく、配属先が所有する楽器、チェロ・ギターやマリンバ、またコーラスなど、様々な楽器を使ったオーケストラの結成を目指している。観光の町を目指す同市で、音楽による地域文化の発信することも期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①配属先が運営する音楽教室にてバイオリン・チェロ・マリンバ・合唱などの音楽指導を同僚(C/P)とともに行う。(午後) ②同僚(C/P)に上記楽器や合唱の指導を行う。(午後) ③音楽教室への参加者拡大のため、ソロラ市内の小学校1校において3~6年生を対象とした音楽の授業(歌唱・楽器等)を週に4コマ行い、その他周辺小学校を巡回して模範演奏などを行う。(午前) ④同県内で行われるイベント等に合わせて発表会を企画・実施することも期待されている。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 学校ではバイオリン、チェロ、ギター、マリンバ等が使用可能、楽器の状態は必ずしも良くはない。 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 午後の音楽教室の同僚(C/P)は 男性20代 生徒は小学生から大人まで約20名 初心者から中級まで 午前に音楽指導する小学校の規模は児童数約200人 (そのうち3~6年生120人に対する授業を行う) |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由:指導者への指導を行うため 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(高山) 気温(0~25 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|----------------------------------|---------------------------|
| 要請番号(JL 306 - 13- B - 62) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ポリビア | 音楽 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 国立マン・セスペ音楽アカデミー | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 コチャバンバ県コチャバンバ市 JICA事務所の所在地(ラパス市)から 南東 方向 380 Km 主要都市(コチャバンバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、1940年に創設された国立の音楽学校で、生徒530名が幼児科、児童初等科、青年初等科、中等科でそれぞれ学んでいる。2011年より将来の学士課程設置に向けた高等科を試行中。教職員数33名。教育省よりの教職員の給与補填は年間約52,500ドル。独自予算は学費が主で、年間約106,000ドル。2009～10年にかけて、日本政府の一般文化無償資金協力で新校舎3ブロックが建設され、その後2012年1月にはコチャバンバ市予算で建設された2ブロックも完成。また保護者及び市民の寄付でも幼児棟1ブロックが建設された。過去にJV2名(2001年ピアノ、2003年幼児リトミック)の派遣あり。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ポリビアの音楽教育の歴史は100年余りになるが、国がその教育制度や運営内容について指針を出したことはこれまでに一度もなく、予算も一部の人件費補填以外はほとんど皆無であることもあり、各音楽学校は自助努力でできることだけを細々と続けてきた。そうした状況にあっても、マン・セスペ校では音楽教育を通じた人間育成をめざし、1997年に独自に学校再建プロジェクトを立ち上げ、様々な改革が進めてきた。現在では幼児リトミック、ソルフェージュ、音楽理論、合唱、声楽、楽器演奏(管弦楽、ピアノ)などの授業が整備され、また合唱団・吹奏楽団・管弦楽団も組織されたが、専攻科目指導や教員養成のための専門知識・技術を備えた人材が不足している。これらの状況から、派遣される隊員には専門教科および関連科目のカリキュラム整備、他分野担当教員との連携、教員全体の研修など、様々な角度からの活動が期待される。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同校の和声・作曲法のコースにおいて、以下の活動を行う。 1. 高等科学生及び若手教員に対する和声法、対位法、作曲法の指導中等科学生に対する和声法、作曲入門などの指導。 3. 初等科の楽典など理論系教科のカリキュラム改善のためのアドバイス。 4. その他、教員らと共に必要な授業の開設も検討する。 なお、現在アカデミーでは、初等科で楽典あるいは音楽理論の基本的な部分の指導、中等科では和声法(簡単な四声課題程度)の指導を行っている。高等科では和声法、対位法(入門程度)、作曲・編曲法などを充実させたいとしている。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 普通教室、教員準備室、キーボード、ピアノ、視聴覚機器など。 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (音楽) 理由: 作曲または楽理専攻 ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| | 地域概況 気候(高地温暖) 気温(5~30℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 15 日

| | | | | | |
|------------------------|--|--|--|---|---------|
| 要請番号(JL 318-13-B-11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 1 | JOCV/SV |
| エクアドル | 音楽 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 2 |
| | | | | | 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 国立レオピヒルド・ロアイサ・ロアイサ技術学校付属アントニオ・ヘスス・イダルゴ音楽校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 エル・オロ県ピーニャス市 JICA事務所の所在地(キト市)から 南西 方向 570 Km 主要都市(マチャラ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1972年創立の専門教育機関で、情報処理、会計、経営、観光科などを有する。考える力を養う教育活動を可能にすることを目標とし、主に職業訓練及び実務研修を行っている。また同校には付属機関として「アントニオ・デ・ヘスス・イダルゴ音楽校」があり、同校の教員は12名で生徒は約70名である。予算は学校全体で年間約160万ドル。過去にJV(音楽)が1名活動していた。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 付属音楽校の合唱部は現在6~9歳の部と、10歳~17歳の部に分かれて授業を行っている。小学部・中学部では主に楽器演奏を学習し、高等部でようやく唱法の授業が導入されるため、部員の経験年数が浅い。また同校には、合唱を専門とする教員がいない。ピアノ演奏に関しては、指導教員が3名いるが、うち2名は初級レベルである。このような状況下、生徒・教員の合唱指導のレベルアップとピアノ演奏技術の向上を目的として、本要請がされた。 | | | | |
| 要請概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 付属のアントニオ・デ・ヘスス・イダルゴ音楽校にて下記の活動を行う。 ① 合唱部の生徒に対する、発声法の指導。 ② 同校の指導教員に対する、合唱及びピアノ演奏の指導。 ③ 指導カリキュラムの作成に関するアドバイス。 ④ 任地及び県内で行われる同校参加の音楽・文化行事への同行。 | | | | |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 アップライトピアノ1台(Ronisch)、キーボード6台(Yamaha, Casio他)、ギター、ベース、ドラム、トランペット他楽器、プロジェクター、パソコン | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教員(男性40代、教育学学士、音楽経験15年) 音楽指導教員12名(女性2名、男性10名) 音楽学校生徒(6歳~17歳、約70名) 生徒保護者 | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (2年以上) 理由:教員にも指導を行うため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(20~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|--------------------------------------|
| 要請番号(JL 336 - 13- B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ベネズエ ラ | 音楽 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 3 2 / 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 神への賛歌財団 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 神への賛歌財団 | | | | <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ポリバル州カロニ市 JICA事務所の所在地(カラカス)から 南東 方向 522 Km 主要都市(フェルト・オルダス)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 2010年8月設立で、理事8名と各事業責任者6名の計14名で構成されているNGO。様々な活動を通じて貧困地域住民らの自立支援や地域開発を行っていくことを目指す中、現在のところ、音楽活動を通じて貧困地域の青少年を自立支援することを主な活動としている。具体的には、貧困地域での青少年対象の歌唱コンクールで優秀な人材を選抜し、それぞれに声楽指導し、オリジナル音楽CDを作成・販売している。活動予算は企業等からの寄付や製作した音楽CDの販売収益により年間約23万米ドル。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 歌唱コンクールで選ばれ所属する青少年18名(15歳~27歳)が2012年前半まで配属先で歌の個人レッスンを受けていたが、2012年後半から本財団ではレッスンを指導する人材の確保が難しくなったため、現在は各メンバーが独自でレッスンを行っている。しかしながら、それぞれの専門知識や経験も限られることから、歌唱力の向上を図ることは非常に難しく、今般のJV要請となった。 配属先では、これら所属メンバーに対して作詞作曲を行いCD等を作成しており、この作詞作曲やCD編集機器の操作に関するJVも要請している。したがって、本要請のJVは、作詞作曲のJVと連携しながらメンバーの歌唱力に合った作詞作曲にも協力することも期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.配属先所属メンバーに対して歌唱力向上のための個別レッスンやグループレッスンを行う。 2.新たな人材発掘のために歌唱コンクール等の企画実施に協力する。 3.新しいメンバーを中心に個人レッスンや合唱指導を行う。 4.各メンバーの歌唱力に合った作詞・作曲活動に協力する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 遮音スタジオ、YAMAHA Mixing Consol MG24/14FX、パソコンMac Pro、編集ソフトProtools、Digidesign C24、フェンダー・エレキギター、ドラムセット | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 作詞・作曲・編集関係は、経験5年~8年の30代男性2名と20代女性1名。 活動対象は、既に選抜された15歳~27歳の青少年と今後選抜される青少年数十名。共に音楽に関する知識は少ない。 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (短大卒) (音楽) 理由: 専門的な知識が必要 ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(20~35 °C位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 336 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ベネズエラ | 音楽 | | | 1 | 26 / 3 | 年 月 から |
| | | | | 2 | / | |
| | | 3 | / | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 神への賛歌財団 |
| | 2) 配属先名 (日本語) 神への賛歌財団 <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ポリバル州カロニ市 JICA事務所の所在地(カラカス)から 南東 方向 522 Km 主要都市(プエルト・オルダス)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 2010年8月設立で、理事8名と各事業責任者6名の計14名で構成されているNGO。様々な活動を通じて貧困地域住民らの自立支援や地域開発を行っていくことを目指す中、現在のところ、音楽活動を通じて貧困地域の青少年を自立支援することを主な活動としている。具体的には、貧困地域での青少年対象の歌唱コンクールで優秀な人材を選抜し、それぞれに声楽指導し、オリジナル音楽CDを作成・販売している。活動予算は企業等からの寄付や製作した音楽CDの販売収益により年間約23万米ドル。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先は、歌唱コンクールで選ばれた15歳から27歳の青少年18名に対し、歌唱力向上の個人レッスンを行うと共にオリジナル曲の作詞・作曲、レコーディングを行い、CD製作を行っている。作曲には編集機器や編集ソフトを駆使しており相応の作品に仕上がっているものの、青少年の成功のためにはより深みのある曲の作曲技術が必要と認識している。同時に、編集機器の操作に関しても、より効果的操作の必要性を感じている。このような背景により作曲や機器操作に精通したJVが要請された。 なお、配属先は、歌唱力向上のレッスンをする人材の確保が難しくなったため、本募集期で別の音楽(歌唱)JVを要請としており、このJVと連携して歌唱力向上とよりよい作品作りを行うことが期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同僚が製作する作品(詩・曲)に対する改善のアドバイスをする。 2. 作詞・作曲に関する基礎及び応用知識を同僚と共有する。 3. 作曲や編集のソフトや機器操作の知識を共有する。 4. 新たな人材発掘のために歌唱コンクール等の企画実施に協力する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 遮音スタジオ、YAMAHA Mixing Consol MG24/14FX、パソコンMac Pro、編集ソフトProtools、Digidesign C24、フェンダー・エレキギター、ドラムセット |

| | |
|---|---|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 作詞・作曲・編集関係は、経験5年～8年の30代男性2名と20代女性1名。 活動対象は、既に選抜された15歳～27歳の青少年と今後選抜される青少年数十名。共に音楽に関する知識は少ない。 | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) |
|---|---|

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 同僚教員の知識経験から 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(10~25 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|---|
| 要請番号(JL 424 - 13- B - 06) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| ヨルダン | 音楽 | | <input type="radio"/> 日系/短期 | 年 月 から | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 外務省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) パレスチナ難民局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アンマン JICA事務所の所在地(アンマン)から 北 方向 0 Km 主要都市(アンマン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先のパレスチナ難民局(DPA)はヨルダンにおけるパレスチナ難民への支援を包括的におこなう外務省の局で、国連パレスチナ難民救済機構(UNRWA)とともに教育や保健衛生などの難民支援をおこなっている。DPAに配属された隊員は難民キャンプ内の学校や施設、キャンプ外のUNRWAの運営する学校で活動している。2013年8月の時点で、17名のJICAボランティアがDPAを配属先としている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 パレスチナ難民のための小中学校がUNRWAにより運営されているが、予算不足により進学に関わる一般教科に重点を置かざるを得ず、体育・美術・音楽の教科は専任教員の数が不足しており、授業が実施されていない学校もある。専任の教員のいる学校においても施設が不十分であったり、教員のモチベーションや技能の不足により、これらの教科は適切な授業がおこなわれていない。そのため、DPAから体育・美術・音楽のボランティアの要請された。隊員はUNRWAの学校で音楽の授業を補佐しながら、他校で活動する音楽隊員と連携して、ワークショップや音楽会を企画・実施し、また、体育隊員や美術隊員によるスポーツ大会や展覧会の企画に協力することにより、教科の技能の促進をはかるとともに、生徒の情操を育んでいる。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①UNRWAの運営するパレスチナ難民のための学校で、任地教員(カウンターパート)のアシスタント教師として、音楽の授業を行う。併せて、任地教員(カウンターパート)の指導スキルの向上に寄与する。 ②UNRWA教育開発センターの教科指導主任や、他の音楽隊員らと協力してワークショップや音楽会を企画し実施する。 ③UNRWAの美術隊員や体育隊員らの活動に協力する。 1週間に20~25コマ(5年~10年)程度。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、キーボード、リコーダー | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教育開発センター教科主任(女性・40代) 学校音楽教師 学校生徒(5年~10年) | | | 5) 活動使用言語 (アラビア語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不明となります) ・免許 (音楽) 又は (小学校教諭) ・性別 (女性) 理由: 女子校で活動するため ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (2年以上) 理由: 経験ある教師と活動するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 地域概況 気候(地中海性気候) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|----------|
| 要請番号(JL 424 - 13- B - 17) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G153) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ヨルダン | 音楽 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| 年 月 日 | | | | | |

| | | |
|-------|---|---------------------------|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 外務省 | |
| 配属先概要 | 2) 配属先名 (日本語) パレスチナ難民局 | <input type="radio"/> NGO |
| 配属先概要 | 3) 任地 イルビッド JICA事務所の所在地(アンマン)から 北 方向 88 Km 主要都市(イルビッド)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | |
| 配属先概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先のパレスチナ難民局(DPA)はヨルダンにおけるパレスチナ難民への支援を包括的にこなう外務省の局で、国連パレスチナ難民救済機構(UNRWA)とともに教育や保健衛生などの難民支援をおこなっている。DPAに配属された隊員は難民キャンプ内の学校や施設、キャンプ外のUNRWAの運営する学校で活動している。2013年8月の時点で、17名のJICAボランティアがDPAを配属先としている。 | |

| | | |
|------|--|---|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 パレスチナ難民のための小中学校がUNRWAにより運営されているが、予算不足により進学に関わる一般教科に重点を置かざるを得ず、体育・美術・音楽の教科は専任教員の数が不足しており、授業が実施されていない学校もある。専任の教員のいる学校においても施設が不十分であったり、教員のモチベーションや技能の不足により、これらの教科は適切な授業がおこなわれていない。そのため、DPAから体育・美術・音楽のボランティア派遣が要請された。隊員はUNRWAの学校で音楽の授業を中心に支援する。また、①他校で活動する音楽隊員らと連携して、ワークショップや音楽会を企画・実施する。②体育隊員や美術隊員によるスポーツ大会や展覧会の企画に協力する。これらの活動を通して、教科の技能の促進をはかるとともに、生徒の健全な情操育成に資する。 | |
| 要請概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①UNRWAの運営するパレスチナ難民のための学校で、任地教員(カウンターパート)のアシスタント教師として、音楽の授業を行う。併せて、任地教員(カウンターパート)の指導スキルの向上に寄与する。 ②UNRWA教育開発センターの教科指導主任や、他の音楽隊員らと協力してワークショップや音楽会を企画し実施する。 ③UNRWAの美術隊員や体育隊員らの活動に協力する。 1週間に20~25コマ(5年~10年)程度。 | |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 キーボード | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教育開発センター教科主任(女性・40代) 学校音楽教師 学校生徒 | 5) 活動使用言語 (アラビア語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|--|---|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許(小学校教諭) 又は(音楽) ・性別(女性) 理由: 女子校で指導するため ・学歴(大卒) () 理由: 同僚に大卒がいるため ・経験(指導経験) (2年以上) 理由: 経験ある教師を補佐するため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-------|--|---|

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(地中海性) 気温(0~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 特記事項 | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 048 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G154) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ブータン | 美術 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | | 2 26 / 3 | から |
| | | | | 3 / | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) クリチュ小中学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 モンゴル県クリチュ村 JICA事務所の所在地(ティンブー市)から 東 方向 490 Km 主要都市(モンガル町)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1998年創立の児童生徒数489名、教員数19名、職員数23名(2013年6月末現在)の公立小中学校。 Pre Primary(以下PP:幼稚園年長相当)からClass8(中学2年生相当)の児童生徒が通う。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 数年前までブータンにおいては美術教育は全くなされておらず、現在のところ、美術教育を受けたことがある教員も、美術教育に関する学位を持つ教員も存在しない。そうした状況の中、2012年度に教育省カリキュラム局配属の美術隊員を中心としたカリキュラム作成委員会が全国の教員を対象に技術指導のためのワークショップを開催し、2013年度より委員会のメンバーの教員、及びワークショップに参加した教員の所属する学校がパイロット校となり、PPからClass4までの幼児・児童を対象に段階的に美術科の正式導入が始まった。本校には、作成委員会のメンバーである教員が1名おり、その教員への実践的指導、及びその教員とともに対象の幼児・児童に美術教育を行っていくことが、ブータンにおける美術科教員養成の意味においても、美術科の普及に向けた体制作りのためにも大変意義のある状況であるため、要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 生徒支援 2013年度に施行されたカリキュラムに沿って、低学年のうち主にPP及びClass1の幼児・児童に対して、美術(図画・工作)の基礎的指導を行う 2. 教師支援 美術教育を受けたことのない同僚教員に対し、適宜美術教育やその指導の方法について助言、指導を行う | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 画材(模造紙、クレヨン等) 文具(はさみ、のり、鉛筆等) | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・女性/30代前半/大卒/英語、小学校教諭 ※教科作成委員会の一員 ・女性/30代前半/高卒/小学校教諭 ・女性/30代前半/高卒/小学校教諭 ・その他同僚教員 | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル: .) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (美術) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (美術) 理由: ・経験 (教員経験) (2年以上) 理由: 経験に基づく助言が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 地域概況 気候(温帯性) 気温(5~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|--|--------------------|
| 要請番号(JL 212 - 13- B - 06) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G154) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / | 日系/短期 年 月 から |
| ベリーズ | 美術 | | | | | |

| | |
|-------|--|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 外務省 2) 配属先名 (日本語) ライマクラダローマンカトリック小学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 オレンジ・ウォーク郡オレンジ・ウォーク町 JICA事務所の所在地(ベリーズシティ)から 北 方向 80. Km 主要都市(ベリーズシティ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ベリーズ第三の都市(人口16万人、住民の多くはメスティン系、スペイン語が母語)の中心市街地に立地する小学校で、教員35名、生徒数1,100名(幼稚部2学年、小学部6学年)、年間予算は教職員給与を除く学校運営費として約350万円がある。ローマンカトリック(RC)教区事務所隣の位置する大規模校で、郡内のRC系小学校の中核となる学校である。過去に小学校教諭の協力隊員を派遣していた経緯がある。他には識字と保健教育について米国平和部隊が郡内の学校を巡回指導している。 |
|-------|--|

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ベリーズでは正規の教員免許を持たないまま教員として勤務する者が全体の40%を占め、教員訓練の拡充が教育省全体の早急な課題となっている。特に情操教育の充実に資する体育、図工及び音楽は、初・中等教育で正式教科になって間もないため、指導できるベリーズ人教員が不足している。情操教育を指導できる教員養成が必須な状況ではあるが、養成が追いついていない状況にある。美術は学年毎に担任教諭が共同で教案を作成し、週に一度を目安に季節の行事(イースター、クリスマス、独立記念日など)に合わせた絵画や簡単な工作を行っているのが現状である。このため、学校としては、さまざまなスタイルの美術に触れる機会を児童に提供し、子供たちの創造力を育むなど、美術教育の改善を図りたいという希望があり、ボランティアの要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・幼稚部、小学部の美術の授業(1時限45分)をクラス担任と週に15コマ程度担当する。 ・美術教育の基礎と応用、発達度に合わせた授業内容の紹介を教員に行う。 ・現地で入手可能な材料を利用してできる新しい授業案の紹介を教員に行う。 ・美術教育向上のためのシラバス作成、教材の整備に取り組む。 ・国内外の既存の各種コンクールへの参加推奨や各種学校行事にも協力する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教材、文房具は児童生徒が自宅から持ち寄ることが基本で、学校に消耗品の在庫はない。 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長 男性、50代 教員 男女、20~50代 児童 男女、幼稚部・小学部、6~14歳 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) |
|------|--|

| | | |
|-------|---|---|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (美術) 又は (小学校教諭) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: ・ () 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-------|---|---|

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯、亜熱帯) 気温(20~35 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|--------------------|
| 要請番号(JL 424 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G154) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| ヨルダン | 美術 | | | 2 | 26 / 1 | 日系/短期 年 月 から |
| | | | | 3 | 26 / 2 | |
| | | | 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 外務省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) パレスチナ難民局 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アンマン JICA事務所の所在地(アンマン)から 南 方向 0 Km 主要都市(アンマン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先のパレスチナ難民局(DPA)はヨルダンにおけるパレスチナ難民への支援を包括的におこなう外務省の局で、国連パレスチナ難民救済機構(UNRWA)とともに教育や保健衛生などの難民支援をおこなっている。DPAに配属された隊員は難民キャンプ内の学校や施設、キャンプ外のUNRWAの運営する学校で活動している。2013年8月の時点で、17名のJICAボランティアがDPAを配属先としている。 |

| | |
|---|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 パレスチナ難民のための小中学校がUNRWAにより運営されているが、予算不足により進学に関わる一般教科に重点を置かざるを得ず、体育・美術・音楽の教科は専任教員の数が不足しており、授業が実施されていない学校もある。専任の教員のいる学校においても施設が不十分であったり、教員のモチベーションや技能の不足により、これらの教科は適切な授業がおこなわれていない。そのため、DPAから体育・美術・音楽のボランティアの要請された。隊員はUNRWAの学校で美術の授業を補佐しながら、他校で活動する美術隊員と連携して、ワークショップや展覧会を企画・実施し、また、体育隊員や音楽隊員によるスポーツ大会や音楽会の企画に協力することにより、教科の技能の促進をはかるとともに、生徒の情操を育んでいる。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) UNRWAの運営するパレスチナ難民のための学校で、カウンターパートのアシスタント教師として、美術の授業を実施しながら指導スキルの向上を目指す。 UNRWA教育開発センターの教科指導主任や、他の美術隊員と協力してワークショップや展覧会を企画し実施する。 UNRWAの音楽隊員や体育隊員らの活動に協力する。 1週間に20~25コマ(5年~10年)程度。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室 |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 教育開発センター教科主任(女性・40代) 学校美術教師(女性) 学校生徒(5年~10年) | 5) 活動使用言語 (アラビア語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (美術) 又は (小学校教諭) ・性別 (女性) 理由: 女子校で活動するため ・学歴 () 理由: ・経験 (指導経験) (2年以上) 理由: 経験ある教師と活動するため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(地中海性気候) 気温(0~40℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 28 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号 (JL 021 - 13 - B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G156) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| カンボジア | 教育行政・学校運営 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育青年スポーツ省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) プノンペン市教育青年スポーツ局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 プノンペン JICA事務所の所在地(プノンペン)から 北 方向 0. Km 主要都市(プノンペン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はプノンペン市内の就学人口動態の把握、初等・中等教育の学校施設新設および増設に関する計画策定、教員配置、教員研修等の企画や実施を担っている。職員数は局長以下約120名(うち女性約50名)。現在、理科教育短期JVが活動中。計画課の主な事業内容は、学校の環境整備、施設や生徒の教科書の活用状況等を調査し、各学校のデータに基づき、改善策を提案することである。また、日本を始め、様々な援助機関の支援の窓口の役割も担う。過去に日本の無償資金協力により市内に小学校が建設され、今後は中学校の増設の支援が計画されている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 前任のSVは2012年3月まで活動し、配属先と日本の支援の調整や、支援により建設された学校の維持管理、学校運営に関するアドバイスを行った。学校の環境整備や維持管理については、マニュアルが配布され、説明会が実施されたものの、まだ定着までには至っていない。その要因として、新規学校建設に優先順位が置かれていることや、授業の質の向上に関する調査に人員が割かれ、現在の職員だけでは手が回っていない状況が挙げられる。これらのことから、日本をはじめとする各援助機関の調整役となり、市内の学校の各種状況を調査し、改善策を提案できるボランティアの要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 計画課に所属し、主に以下の活動を行う。 ・プノンペン市内の小中学校に関する各種現状調査(教室数の過不足、実験器具・備品等の維持管理状況、進学状況、退学留年率等)に係る支援 ・学習環境の改善に資する、市内教育施設の保守管理や修繕に関する提案 ・市内教育施設への各種支援団体からの支援情報の収集 ・学校環境整備や維持管理に係るマニュアルを活用した勉強会の開催 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務スペース | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 計画課長 50代 男性 | | | 5) 活動使用言語 (クメール語) 6) 生活使用言語 (クメール語) 7) 選考指定言語 英語 (I ^h M: C) 又は (I ^h M:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚とのバランス ・経歴 (社会経験) (3年以上) 理由: 関係者との調整力が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~ 38 °C位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---|--------------------|
| 要請番号(JL 006 - 13- B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 日系/短期 年 月 から |
| インドネシア | 日本語教育 | | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 2) 配属先名 (日本語) インバダ外国語大学 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 中部ジャワ州チルボン市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 東 方向 200 Km 主要都市(バンドン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 2005年に設立された、外国語学部(英語、日本語)のみの単科大学。学生数は約120名。大学の年間予算は約250万円。日本語教育に関し、国際交流基金専門家が過去に巡回指導をしていたが、現在はJICA以外の支援はない。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 当大学が立地するチルボン市では、一部の教育機関(大学、高校、中学)で日本語教育を行っているが、日本人が少ない地域であるために、講師の日本語教授レベルに課題がある。また、卒業生の多くが日本語講師として地元高校への就職を希望しており、当地の日本語教育全体のレベルアップが必要とされている。チルボン地区内の大学、高校、中学からなる学習グループが組織され、定期的な勉強会等が実施されており、初代JVが地域全体の日本語教育を支援してきた。今後もし引き続き当地域での日本語教育の質を向上させるため、後任JVの要請が出された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 講師への教授法の指導 2. 授業運営に関する助言、教材選定支援 3. 日本文化の発信 4. 日本語講師に対する日本語能力試験対策(N2, N3) 5. 地域内日本語講師対象のセミナー、勉強会等の開催 6. 学生の論文作成指導 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 図書室、視聴覚室、各種教材(インドネシア教育大学作成の教科書他) 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚講師:11名(男性1名、女性10名:20~40代、院卒1名、大卒10名) 日本語能力試験:旧3級3名、旧2級1名、その他N3又はN4レベル 学生数:60名(男性10名、女性50名) | | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) ・又は () ・性別 (女性) 理由: 講師と学生の女性比率が高い ・学歴 (大卒) () 理由: 高等教育機関での指導に必要 ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 経験のある現地講師への指導理由: | | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 ・英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | |
| 特記事項 | (ここに特記事項を記入してください) | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|----------|
| 要請番号(JL 006 - 13- B - 10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| インドネシア | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| 年 月 から | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) メソジスト外国語大学 <input type="radio"/> NGO | | | | |
| | 3) 任地 南スマトラ州パレンバン市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 北西 方向 500 Km 主要都市(パレンバン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1999年に設立された、外国語教育(英語、日本語)のみの単科大学。英文学科は4年制であるが、英語学科及び日本語学科は3年制である。学生数は約700名。かつては近隣4大学で日本語学科を運営していたが、現在はパレンバンで当大学が唯一日本語学科を運営している。大学の年間予算は約540万円。日本語学科長が過去に国際交流基金の研修員として来日した経験があり、教科書の寄付を受けた実績があるが、現在はJICA以外の外国機関からの援助はない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 日本語学科の卒業生の多くが地元高校で日本語講師としての就職を希望しているが、日本人が少ない地域であるため、講師の日本語能力や教授レベルが低いことが長年の課題であった。2012年から初代JVが派遣され、「学生の日本語能力向上」「講師の日本語能力及び指導力向上」「日本文化紹介」の3点に絞って活動を行っている。また、地元の高校などでの出前授業や日本文化祭開催により、日本語学科への入学希望者の増加がわずかながら見られる。現在、大学側はさらなる学生確保のために学習環境を整備しつつある。今後も引き続き地元住民へのアピールを続け、日本語学科への入学希望者数を増やそうと、講師および学生の日本語能力を向上させ、ひいては地域全体の日本語教育の質の向上につなげていけるよう、2代目のJV派遣が要請された。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 大学における授業(チームティーチング)や講師対象の勉強会を通して、以下の目標達成に向けた活動を行う。 1. 学生の日本語能力向上 2. 講師の日本語能力および指導力の向上 3. 学生および地域社会への日本語・日本文化の発信 日本語学科の授業の他に、希望者を対象とした有料の日本語コースが週に7コース開講されており、そちらへの支援も求められている。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 図書室、視聴覚室、「みんなの日本語」等の教材 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 日本語学科長(常勤):40代 同僚講師(非常勤)6名:20~50代 学歴:短大卒1名、大卒5名、院卒1名 日本語能力試験:講師/N3(1名)、旧3級(1名)、旧2級(1名) 学生/N5(5名)、N4(1名) 学生数:19名(社会人入学者も含む) | | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 高等教育機関での指導に必須 ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 活動上必須 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 006 - 13- B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| インドネシア | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 西ヌサテンガラ州教育青年スポーツ局 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 西ヌサテンガラ州ロンボク島マタラム市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 東 方向 1500 Km 主要都市(マタラム市)までの交通手段及び所要時間(自転車 で約 0.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 西ヌサテンガラ州教育青年スポーツ局は、ロンボク島及びスンパワ島の教育行政と体育教育を含む青年教育の総括を担う機関である。活動先のマタラム第1高校は、国際標準校の指定を受けており、海外との交流を積極的に行っている。全校生徒数は約850名、年間予算は約3,000万円である。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 2011年からの2年間、文化観光局に日本語教師JVが派遣され、配属先並びに観光専門学校、高校、幼稚園などで日本語教育を実施した。マタラム第1高校では、教養としての第2外国語(日本語・独語)学習に力を入れており、毎年「文化祭」を開催するなど、生徒・教員共に日本語や日本文化に親しんでいる。生徒の日本語学習熱は高いものの、同地域には日本語ネイティブ講師がおらず、現地講師だけでは日本語学習者の需要に十分に答えることができていない。これを受け、文化観光局に配属されていたJVの活動を引き継ぐ形で日本語と日本文化を教えるJVの派遣が要請された。(教育青年スポーツ局への配属としては初代となるが、実質的には2代目の活動となる。) | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 地元教師とのチームティーチングによる日本語の授業実施 2. 日本語スピーチコンテストなどの開催に向けた支援 3. 日本文化祭などの実施・運営を通じた日本文化の発信 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 「やさしい日本語」その他国際交流基金寄贈の教科書 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚講師:2名(女性、30~40代、大卒) 日本語能力試験:旧2~3級程度 日本語授業:1年生10クラス、2年生9クラスに対し、それぞれ週に1回45分授業が2コマずつ実施されている。 1クラスのサイズ:約35名 | | | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚教師とのバランス ・経歴 () () 理由: ・ 外国人に日本語を教えた経験 理由: 活動上必須 | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~ 35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 同時期に要請が出ている巡回型の日本語教師JVが派遣されれば、地域における日本語や日本文化関連のイベント等を同隊員と協力して行うことが期待される。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 006 - 13- B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| インドネシア | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 西ヌサテンガラ州教育青年スポーツ局 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 西ヌサテンガラ州ロンボク島マタラム市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 東 方向 1500 Km 主要都市(マタラム市)までの交通手段及び所要時間(自転車 で約 0.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 西ヌサテンガラ州教育青年スポーツ局は、ロンボク島及びスンパワ島の教育行政と体育教育を含む青年教育の総括を行う機関である。年間予算は約3億円。主な活動先となるマタラム観光専門学校は、3年制のホテル科、1年制のトラベル/ツアー科及びホテル科を有する。学生数は約600名。卒業生の多くはクルーズ船勤務など観光業に従事している。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 2011年からの2年間、文化観光局に日本語教師JVが派遣され、観光専門学校、高校、幼稚園などで巡回指導を実施するとともに、高校日本語教師会の勉強会や日本語弁論大会の開催にも貢献した。第2のバリ島として日本人観光客の誘致を目指すロンボク島には、観光業に携わる人材をはじめとして、高校で日本語を学ぶ生徒などの日本語学習熱が高いが、同地域には日本語ネイティブ講師がおらず、現地講師だけでは学習者の需要に十分に答えることができていない。新規派遣のJVにはマタラム観光専門学校だけでなく、日本語教育の需要がある他の機関を選定し、可能な範囲で巡回指導することが期待されている。教育青年スポーツ局を配属先とする派遣は初代となるが、実質的には2代目の活動となる。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.観光専門学校でのチームティーチングによる日本語の授業実施 2.地元の高校日本語教師勉強会における学習支援や助言 3.その他学校や組織等、需要に応じた活動先の選定 4.日本文化祭やスピーチコンテスト開催を通じた日本語・日本文化の発信 西ヌサテンガラ州全体の日本語教育振興のため、ゆくゆくは隣のスンパワ島での活動も期待されている。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 観光日本語教材 | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚講師:2名(女性、30~40代、大卒、日本語能力試験旧2~3級レベル) 3年制コース(約40名/クラス)、1年制コース(20~25名/クラス)それぞれ週に1回90分授業が実施されており、日本語コースの学生数は約200名。(19~24歳) | | | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚教師とのバランス ・経験 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 地域概況 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | 同時期に日本語教師の要請が出ている高校へJVが派遣されれば、地域における日本語や日本文化関連のイベント等を同僚と協力して行うことが期待される。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---|
| 要請番号(JL 006 - 13- B - 38) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 |
| インドネシア | 日本語教育 | | | JOCV/SV | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) テクノクラット外国語大学 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ランブン州バンダラランブン市 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 北西 方向 200 Km 主要都市(バンダラランブン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 2000年に設立された、外国語教育学部(英語、英文学、日本語)と情報処理学部を有する、学生数1,000名の私立大学。日本語学科の学生数は、80名。日本語学科の現地講師数は、常勤2名・非常勤3名である。ネイティブ講師はJVのみ。英語学科のネイティブ講師はアメリカ人講師1名のみである。大学の年間予算規模は約1,200万円。これまでに外国からの援助実績はない。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ランブン州では、全高校の70%を占める45校で日本語の授業が実施されているが、同校は州内で唯一、日本語学科を有する大学である。日本語学科卒業生の多くは、地元高校での日本語教師、または日系企業での就職を希望している。しかし、現地日本語講師の知識や教授能力が不十分であるため、日本語授業の質・レベルの向上を図るべく、初代JVの派遣が要請された。初代JVは、入門～初中級レベルの学生に対し週6コマ(100分/コマ)の授業を実施している。内、会話クラス(週3回)と翻訳クラス(週2回)については、同僚講師と交代で実施している。その他、弁論大会や日本語能力検定試験、文科省の留学試験などに向けた学生への直接指導を行うとともに、同僚講師への助言なども行っている。今後も引き続き学生、現地講師共に日本語の知識を向上させることを目的に、後任要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 授業実施(会話、翻訳) 2. 日本語大会に向けたスピーチや作文の指導 3. 授業に関する講師への助言、教材選定の支援 4. 日本文化の発信、情報提供 5. 学生の論文作成指導の補助 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 日本語パソコン、インターネット、図書室、視聴覚室、みんなの日本語初級II、BASIC KANJI BOOK Vol 1,2、JPLANG 初級日本語、日本語で働くビジネス日本語30時間 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚講師:常勤2名(男女各1名)、非常勤3名(男性1名、女性2名) 日本語指導経験年数:10年(常勤1名、非常勤3名)、2年(常勤1名、非常勤1名)学歴:学士4名、修士1名 年齢:25～46歳 日本語力:旧日本語能力検定2級2名、3級3名 ※日本語学科学生の70%は女子 | | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法)) 又は ()) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 高等教育機関で必要な学歴 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25～35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 009 - 13- B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| マレーシア | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 2) 配属先名 (日本語) マレーシア工科大学日本マレーシア国際工科院 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 クアラルンプール JICA事務所の所在地(クアラルンプール)から 北 方向 0 Km 主要都市(クアラルンプール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 マレーシア工科大学の一学部として2010年5月に設立。精密機械、電子コンピュータ、環境グリーンテクノロジー、技術経営の4つの科がある。学生数は学部が200名、大学院生100名、教員40名。日本式の工学教育の特徴を活かすとともに環境グリーン分野などの新分野にも重点をおく。年間予算は約2億円。MJIT教育プログラムのJICA専門家2名(設立・運営支援)が配置されている。技術系の大学だが半数以上が女子学生。 | | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 2011年9月に入学した学部生を対象に、2012年2月から初級日本語コースが開始された。配属先では週1コマ2時間のコースでは学生が日本語に触れる時間が少ないため、授業以外にも学生たちが継続して自主的に学習ができる環境を提供したいと考えている。特に日本語学習の定着を図るチュートリアルクラスの運営や個人支援をするヘルプデスクの設置及び学生がウェブ上で直接日本語の学習ができるようにウェブサイトの構築を予定している。これらの実施について、日本語ネイティブであるJICAボランティアの支援が必要とされて今回の要請に至った。学生は、日本社会や日本文化に直接触れる機会が少ないことから日本人から直接学ぶことが重要視されている。 | | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1) 学生は、みんなのにほんごⅠの1課から15課を2年間かけて学習しており、その定着のためのチュートリアルクラスを運営する。(週に12時間から16時間程度)学生の到達目標は日本語能力試験5級。 2) 日本語学習への助言や日本の学生のライフスタイルを紹介するなど留学をサポートするヘルプデスクを運営する。 3) 自主学習サポートプログラム「マイライン」の運用のための教材選定等のサポートを行う。 | | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教材:にほんごかな、みんなのにほんごⅠ、その他絵カード等 | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 日本語教師 女性1名:40代、実務経験13年 学習者は初級のみ | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (マレーシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (文系) 理由:大学での日本語教授に必須 ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~33 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 018 - 13 - B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 <input type="radio"/> 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タイ | 日本語教育 | | | 1 | 26 / 2 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 3 | |
| | | | | 3 | / | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ラーチャシーマー ウィッタヤライ中高校 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ナコンラーチャシーマー県ナコンラーチャシーマー郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北東 方向 260 Km 主要都市(ナコンラーチャシーマー市内)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1899年設立の生徒数4,102名、教師229名のほぼ男子校の進学校。日本語教育は2004年から開始され、中学1年生から高校3年生までの約740名に必修科目もしくは選択必修科目として週58コマの授業と日本語クラブの活動を行っている。外国語は英語、フランス語、中国語、日本語がある。現在、JV(24年度2次隊日本語教師)が活動中である。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校のタイ人日本語教師は、日本語教育に熱心であり、派遣中のJVは、彼らの日本語力、日本語教授法向上支援、学生への直接指導(コミュニケーション能力と学力向上)を主に活動を行っている。同校は、年を重ねるごとに日本語教育を重視する動きにあり、必修科目としての位置づけが強くなってきている。受講人数、週のコマ数は2年前に比し、約1.5倍になるうとしている。また、同校は同地区のセンター校に指定されており、周辺校と合同の勉強会や日本語コンテストなどの開催において、リーダー的な役割もこれまで以上に求められており、JVはそれらの活動への協力も期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 日本語の授業における生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など)(初学者レベル) 2 授業や日本語クラブにおける日本文化の紹介 3 日常会話などを通じた、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 4 日本語コンテスト出場のための指導 5 センター校として傘下の学校の日本語教育の向上、文化紹介の活動への支援 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金バンコク日本語センター)、参考資料として「みんなの日本語」(スリーエーネットワーク) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 外国語教師43名の内、タイ人日本語教師3名 40代 女性 公務員 日本語会話レベル中級 20代 男性 非常勤講師 日本語会話レベル中級 20代 男性 非常勤講師 日本語会話レベル中級 外国籍教師はアメリカ人5名、イギリス人3名、フィリピン1名、中国人1名 | | | 5) 活動使用言語 (タイ語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 学校教師として必要なため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: タイ人教師への指導が必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | | |
|------------------------|--|---|---|---|-------|--------|
| 要請番号(JL 018-13-B-10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| タイ | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | 1 | 26 / 2 |
| | | | | | 2 | 26 / 3 |
| | | | | 3 | / | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) メンライマハラートウイッタヤコム中高校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 チエンライ県ムアンチエンライ郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北 方向 780 Km 主要都市(チエンライ市内)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1980年設立の生徒数1,200名、教師70名の小規模の中高一貫校。日本語教育は2004年から開始され、中学1年生から高校3年生までの約100名に選択科目もしくは選択必修科目として週28コマの授業と日本語クラブ活動を行っている。外国語は英語、中国語、日本語がある。現在、JV(24年度2次隊日本語教師)が活動中である。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 JVIは、タイ人日本語教師の日本語力及び日本語教授法の向上支援、学生への直接指導、日本語能力試験受験対策、日本語コンテストなどを実施している。配属先のタイ人日本語教師は、これまでの継続派遣によるJVの指導により、成長の途にある。学校側からは、今後のセンター校構想の充実に伴い、周辺校である同校の活動もより活発になることを受け、引き続きJVによる支援が求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 日本語の授業における生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など)(初学者レベル) 2 授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)における日本文化の紹介(特に書道、茶道、日本の踊り) 3 日常会話などを通じた、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 4 日本語能力試験(N4、N5)受験、日本語コンテスト出場のための指導。 5 センター校と連携しての日本語教育の向上、文化紹介の活動 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」(国際交流基金/バンコク日本語センター)、参考資料として「みんなの日本語」(スリーエーネットワーク)、げんき(ジャパントイズ出版局) 4) 配属先同僚及び活動対象者 外国語教師15名の内、タイ人日本語教師1名 20代 男性非常勤講師 大卒(日本語専攻) 経験年数3年 日能試3級 外国籍教師はアメリカ人1名 中国人1名 5) 活動使用言語 (タイ語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 学校教師として必要なため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: タイ人教師に対する指導力が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|---|---|---|-------|--------|
| 要請番号(JL 018 - 13- B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| タイ | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | 1 | 26 / 2 |
| | | | | | 2 | 26 / 3 |
| | | | | 3 | / | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) ラムパーンカラヤニー中高校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ラムパーン県ムアンラムパーン郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北 方向 600 Km 主要都市(ラムパーン市内)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 1915年設立の生徒数3,200名、教師約190名の地方の進学校。女子生徒が多く、男女比は1対3。日本語教育は2002年から開始され、中学2年生約500名に必修科目として、高校生約200名に選択必修(専攻)科目、選択科目として週約60コマの授業と日本語クラブ活動を行っている。日本の高校や団体との交流事業も実施。外国語は英語、中国語、フランス語、韓国語、日本語がある。現在、JV(24年度2次隊日本語教師)が活動中である。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 JVIは、生徒への直接指導(特に会話、活動、文字指導)、日本の文化紹介、福祉学校への日本語教育指導などを行い、生徒の日本語能力向上を図っている。学校やタイ人日本語教師は日本語教育に非常に熱心であるが、公務員の制度により3人中2人は近いうちに他の学校へ移る可能性が高い。授業数、日本語学習生徒数が増えているため、引き続きJVIによる支援が求められている。同校は同地区のセンター校に指定されており、他校と合同の勉強会や日本語コンテストなどの開催で同地域でのリーダー的な役割を担っており、それらの活動への協力も今以上に期待されている。 | | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 日本語の授業における生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) 2 授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)における日本文化の紹介 3 日常会話などを通じた、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 4 日本語能力試験(N4、N5)受験指導 5 センター校として傘下の学校の日本語教育の向上、文化紹介の活動支援 6 日本の高校や団体との交流事業へのサポート(年1回日本からの訪問)、近隣の福祉学校への日本語教育指導 | | | | | |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」、「こはるといっしょににほんごわあ〜い」(国際交流基金バンコク日本語センター)、ラジカセ、プロジェクター、パソコン、インターネット、プリンター | | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 外国語教師42名の内、タイ人日本語教師3名 30代 男性 公務員 日能試2級 経験約10年 20代 女性 非常勤講師 日能試3級 経験約4年 20代 女性 非常勤講師 日能試3級 経験約3年 外国籍教師はアメリカ人2名、イギリス人2名、韓国人1名、中国人3名 | | 5) 活動使用言語 (タイ語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 学校教師として必要なため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 同僚教師へ指導するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|--|--------------------|
| 要請番号(JL 018 - 13 - B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 2 2 26 / 3 3 / | 日系/短期 年 月 から |
| タイ | 日本語教育 | | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) プランクー中高校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 シーサケート県プランクー郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北東 方向 570 Km 主要都市(シーサケート市内)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 1967年設立の生徒数2,200名、教師110名の中規模の中高一貫校。日本語教育は2004年から開始され、中学1年生から高校3年生までの165名が選択科目もしくは選択必修科目として週26コマの授業と日本語クラブ活動を行っている。外国語は英語、中国語、韓国語、日本語がある。現在、JV(24年度2次隊日本語教師)が活動中である。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 タイ人日本語教師の日本語力・日本語教授法向上支援、学生への直接指導、日本の高校との文通プログラムや日本語キャンプ(文化祭などの多くのイベントを実施している。また、同校は同地区のセンター校に指定されており、他校と合同の勉強会や日本語コンテストなどの開催で同地方でのリーダー的な役割を担っており、現在JVが活動中の周辺校であるクアン中高校との連携においても、引き続き関係強化を図ることが期待されている等、より高いレベルでの活動が求められている 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 日本語の授業における生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) 2 授業や日本語クラブ、日本語キャンプ(文化祭)における日本文化の紹介 3 日常会話などを通じた、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 4 日本語キャンプやスピーチコンテストなど学校のイベントへの協力 5 センター校として傘下の学校の日本語教育の向上、文化紹介の活動支援 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 テキスト「あきこと友だち」、「こはるといっしょに にほんごわあ〜い」(JFバンコク日本語センター)、「みんなの日本語」(スリーエーネットワーク)、パソコン、インターネット、プリンタ、プロジェクター 4) 配属先同僚及び活動対象者 外国語教師21名の内、タイ人日本語教師2名 女性 公務員 30代 日能検3級(英語兼任) 女性 公務員 20代 NLPT N3 外国籍講師はアメリカ人、中国人、フィリピン人、カメルーン人、各1名 5) 活動使用言語 (タイ語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 学校教師として必要なため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 同僚教師へ指導するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位) ・電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 018 - 13- B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タイ | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 2 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) クカン中高校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 シーサケート県クカン郡 JICA事務所の所在地(バンコク)から 北東 方向 570 Km 主要都市(シーサケート市内)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1950年設立の生徒数3,700名、教師120名の中高一貫校。日本語教育は2010年から開始され、中学2年生と高校1~3年生の約980名に選択科目として、また高校1~2年生の約80名に専攻科目として、週47コマの授業と日本語クラブ活動を行っている。外国語は英語、中国語、韓国語、日本語がある。現在、JV(24年度2次隊日本語教師)が活動中である。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 タイ人日本語教師は、大学の教育学部日本語コースを卒業し、教授法についての知識はあるものの、JVから生徒への直接指導や日常会話などを通して、日本語能力の向上を図りたいと考えている。現在はチーム・ティーチングにより、互いの言語を補完し合い、円滑な活動の遂行になりつつある。また、JVが配属となっている同地区のセンター校でありブランク中高校との連携も始まり、この活動に関しても今後より深く関わることを期待される。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 日本語の授業における生徒への直接指導(会話、聴解、漢字など) 2 授業や日本語クラブにおける日本文化の紹介 3 日常会話などを通じた、同僚日本語教師の日本語能力向上のための協力 4 センター校と連携しての日本語教育の向上、文化紹介の活動 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 「あきこと友だち」、「こはるといっしょに にほんごわあ〜い」(国際交流基金バンコク日本語センター)、パソコン、インターネット、プリンタ、プロジェクター | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 外国語教師24名の内、タイ人日本語教師2名 20代 女性 公務員 経験3年 日本で1か月間の留学経験あり 20代 女性 公務員 経験1年 外国籍教師8名のうち、イギリス人3名、アメリカ人2名、中国人1名、韓国人1名 | | | 5) 活動使用言語 (タイ語) 6) 生活使用言語 (タイ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (専門学校卒) () 理由: 学校教師として必要なため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 現地タイ人教師が経験不足 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 通信 | <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|---|----------------------|
| 要請番号(JL 024 - 13 - B - 25) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 日系/短期 年 月 日 から |
| ラオス | 日本語教育 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) ラオス青年同盟 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ラオス青年同盟 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ビエンチャン市 JICA事務所の所在地(ビエンチャン)から 北 方向 0 Km 主要都市(ビエンチャン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ラオス人民革命党の青年部組織である配属先は、国家に貢献する健全な青少年育成を目的として全国に組織を持ち、社会主義国家ラオスにおいて重要な位置づけにある。教育にも力をいれており、全国に青少年職業訓練センターを展開している。活動先となる本部職業訓練センターにはスタッフ7名が在籍し、服飾・ヘアデザイン・英語・日本語等、約500名の指導にあっている。2012年4月からは日本語教師SV(22年度派遣)による日本語クラスが開講され、省庁の公務員を対象として1日2回、初級クラスの授業が実施された。過去には柔道や合気道のSVも派遣されており、日本文化紹介に貢献している。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ラオスでは日本語学習者人口が減少の傾向にあるが、対日関係を重視する同盟としては、現在の初級コースから中級コース、やがては上級コースも開設し、青少年層のキャリアアップに繋がりたいとの意向がある。配属先における日本語教師候補生(ラオス国立大学卒)は助手として前SVのクラスに入っていたが、指導ができるレベルには至っていない。今後、初級クラスの継続とともに、既修者への中・上級クラス提供もしていきたいとの配属先意向により、引き続きの派遣が求められた。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.日本語コースの授業カリキュラム作成に向けた指導・アドバイス 2.日本語コース生徒への講義(週20時間程度) 3.ラオス人日本語教師(候補者)育成に向け、必要に応じ教授法の指導・助言 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、ホワイトボード、日本語学習用教材 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長 30代 男性 副センター長 30代 男性 配属先スタッフ 全7名 20~30代(男性4名、女性3名) | | | 5) 活動使用言語 (ラオス語) 6) 生活使用言語 (ラオス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (2年以上) 理由:カリキュラム作成・指導に必要な理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(15~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 027 - 13 - B - 27) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ベトナム | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 2 3 | 26 / 1 26 / 2 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) ハノイ国家大学 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ハノイ国家大学人文社会科学大学 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ハノイ市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 歴史学部、言語学部、哲学部、東洋学部等16学部からなり、全体の教員数は344名、学生数は約14,000名。日本語教育は1993年にパイロットプロジェクトとして開始され、95年から本格的に東洋学部の日本研究学科で行われている。学科の教員数は6名、学生数120名(うち15名は大学院生)。東洋学部の年間予算は約200万円。同学部には日本研究科以外にも中国、インド、韓国、東南アジアについてそれぞれの研究学科がある。このうち、韓国研究学科には韓国ボランティア(KOV)が派遣されている。JICAボランティアについては、2010年までに短期を含み9名が派遣された実績がある。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先は、語学を中心に学ぶ日本語学科ではなく、日本研究に重点をおく日本研究学科である。過去のJICAボランティアの協力により、卒業生が学科の教師として日本語の授業も担当するなど一定の成果が見られたため、6代目の派遣を持って協力を終了した。配属先(大学全体)では2006年から単位制が導入され、2012年に全体のプログラムの改善が実施された。その中で、配属先ではこれまで主に行われていた初級レベルの日本語教育の期間を短縮し、中級レベルの学習を充実させる方針がたてられた。しかし、上述の通り配属先では日本語教育の専門的知識を有していないため、カリキュラムの作成や実施に不安を抱えている。また、同大学のアジア学修士課程では今般新たに学術日本語科目が導入されるなど、新たな日本語教育のニーズが生まれている。これらに対し、改めて日本語教育の専門性を持った人材の支援が必要とされており、本要請が提出された。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学部生や大学院生に対する直接指導(初級～中級) *日本語の授業は、1年間約210コマ(1コマ50分)で、4年間で735コマ行われている。現在の最終到達度は日本語能力試験のN3レベルに設定されている。 ・配属先で実施されている日本語教育カリキュラム改善の支援 ・配属先の特徴にあった教材の選定や開発(特に中級レベル) ・その他イベント等学科の運営に必要な支援(一例として、学生の課外活動「日本語クラブ」の支援等) | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンター、コピー、インターネット利用可。初級「みんなの日本語 I・II」(絵カード、副教材シリーズ有)。中級「文化中級 I・II」「みんなの日本語中級」を主に利用、その他教員自作教材も補助利用。 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(女性/40代/博士号/経験16年) 同僚教師5名(男性3名、女性2名/全員30代/博士号1名、修士号4名/全員日本史専攻/経験8年程度) | | | | 5) 活動使用言語 (ベトナム語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学で指導を行うため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 中級指導や教材選定のため 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(温帯熱雨) 気温(10~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 027 - 13- B - 28) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 派遣希望時期 | 派遣希望時期 |
| ベトナム | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | / |
| 年 月 から | | | | | |

| | |
|---|--|
| 配 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 |
| 属 | 2) 配属先名 (日本語) フェ大学外国語大学 <input type="radio"/> NGO |
| 先 | 3) 任地 トゥアティエン・フェ省フェ市 JICA事務所の所在地(ハノイ)から 南 方向 660 Km 主要都市(ハノイ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1.0 時間) |
| 概 | 4) 配属先の規模・事業内容 英語、フランス語、ロシア語、中国語、韓国語等9つの学科がある。日本語教育は、日本語日本文化学科で行われている。学科の設立は2006年、日本語の正規授業は月～土で行われており、学年によっては午前・午後の2シフト制となっている。学科の年間予算は約20万円。この他にも、英語学科および中国語学科の第二外国語としての日本語教育、夜間大学での日本語教育も実施している。これまでJICAボランティア派遣(SV・JV)のほか、国際交流基金や民間企業から図書寄贈などの支援を受けた実績がある。現在JV1名(平成23年度派遣)、短期SV1名(平成24年度派遣)を派遣中。 |

| | |
|---|--|
| 要 | 1) 要請理由・背景 配属先には、2007年の短期SV派遣よりJICAボランティアによる支援が開始され、以降、長期・短期SVおよびJVが派遣され、教材作成、カリキュラムの改定、教師への指導など日本語教育の基盤整備に協力してきた。配属先としても、学科の充実とレベル向上のため、学生の増加に合わせた教師の新規採用や経験のある教師の修士・博士号取得のための留学などの取組を実施してきている。しかし、これまで学科の中心となっていた学科長、副学科長がそれぞれ日本へ留学した結果、教授歴の長いベトナム人教師が不足し、経験の浅い教師への指導や中上級レベルの指導が十分にできない状態が生じている。この課題に対し、現在活動中JVは特に経験年数の浅い教師の教授力向上に力を入れた活動を展開しているが、十分な実力養成のためには今後も引き続き、日本語教師の経験を有するボランティアの支援が必要として本要請が提出された。 |
| 請 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・主に中・上級(JLPT N3～N2程度)のクラスを担当する教師の教授力向上への支援(指導対象教師は経験1年～4年の10名程度) ・中・上級クラスの学生への直接指導 ・学科教師が行う勉強会への支援 ・その他学科運営への支援(一例として、日本語スピーチコンテストに参加する学生の指導や運営支援など) |
| 概 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、コピー機、プロジェクター等利用可能。学科の主教材は「みんなの日本語 I・II」「中級から学ぶ日本語」「上級で学ぶ日本語」・学科にはその他日本語教育に関する各種書籍・資料有。 |
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(2014年3月まで留学中/女性/40代/博士号取得見込) 副学科長3名(2013年8月まで留学中/女性/30代/修士号取得見込) 他、ベトナム人教師13名(うち2名は日本留学中/男性1名、女性12名/20代～40代/経験1～7年程度) 大学全体の職員数約280名、学生数約3300名 |
| | 5) 活動使用言語 (ベトナム語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |

| | | |
|---|--|--|
| 資 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | 活動上の単車/自転車の必要性 |
| 格 | ・免許 (日本語教授法) | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| 条 | ・性別 () 理由: | 現職教員特別参加制度 |
| 件 | ・学歴 (大卒) () 理由: 大学での指導となるため | |
| 等 | ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 若手教師の育成支援のため | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
| | 理由: | |

| | | |
|---|--|---|
| 地 | 気候(サバナ) 気温(18～35 ℃位) | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 域 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 概 | | |

| | |
|---|------------------------------|
| 特 | 宿泊先は、大学に隣接する留学生・外国人教師用の寮となる。 |
| 記 | |
| 事 | |
| 項 | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--|-----------------------------|
| 要請番号(JL 027 - 13- B - 29) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/ISV | 日系/短期 |
| ベトナム | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> / | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) カインホア省人民委員会 |
| | 2)配属先名 (日本語) ニャチャン芸術文化観光短期大学 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 カインホア省ニャチャン市 JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 南 方向 1280 Km 主要都市(ハノイ市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 2.0 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 同省やベトナム中部高原地域の文化、芸術、観光の人材育成を目的とした職業訓練校として設立され、その後3年制の短期大学に昇格した。中部高原地域における教育、経済、文化等の音楽学部、芸術学部、文化学部、観光学部、舞台・映画・舞踏学部等8つの学部からなる。日本語教育は外国学部の中で行われており、ツアーガイドクラスの学生(各学年30名)が第一外国語として、またレストランマネジメントクラス(各学年30名)の学生が第二外国語として学ぶほか、ツアーガイドクラスでの優秀者用に特別クラス(30名)も設けられ、計210名が日本語を学んでいる。年間予算は約90万円。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 配属先は、1998年の設立、2004年の短期大学への昇格を経て、現在は大学への昇格を申請中。日本語教育は2007年から外国語学部の中で行われており、第一外国語の場合は3年間で450コマ(約315時間)、第二外国語の場合は3年間で180コマ(約135時間)のカリキュラムとなっている。配属先としては、日本語学の専門教育ではなく、観光を専門に学び、将来、観光業に従事しながらベトナムの社会や文化について日本語で日本人に発信できる人材の育成を目指している。そのためには、配属先の事情にあったカリキュラムや教材の整備が必要であるが、日本語教育を担当する4名は大学で日本語を専攻したものの、教師としての訓練や経験が少なく、十分に対応できていない。配属先としては、まずこれら教師の教授力向上と学科の現状改善と発展に向け、日本語教育の経験のある人材の支援が必要であるとして、本要請が提出された。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生への直接指導(初級レベルの授業を担当) ※主に聴解や会話、日本事情の担当を期待されているが、担当コマ数については赴任後に配属先と協議して決定する(現段階では、週に8時間の授業を担当し、12時間を他の教師の支援に充てることが想定されている)。 ・教師の教授能力向上に向けた支援 ・その他、必要に応じた学科運営や学生の課外活動に関する支援(一例として、学生の課外活動「日本語クラブ」の支援) |

| | | |
|--|---|--|
| 要 求 | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機、プリンター、インターネット等利用可。主教材は「みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ」。 | |
| | <table border="0"> <tr> <td>4)配属先同僚及び活動対象者 国際学部長(男性/50代) ※国際学部長はボランティアの受入を所掌する部署 外国語学部長1名(女性/40代) 日本語学科教師4名(女性/20代~30代/学士/経験2~4年/1名は9か月間の日本研修経験あり)</td> <td>5)活動使用言語 (ベトナム語) 6)生活使用言語 (ベトナム語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:)</td> </tr> </table> | 4)配属先同僚及び活動対象者 国際学部長(男性/50代) ※国際学部長はボランティアの受入を所掌する部署 外国語学部長1名(女性/40代) 日本語学科教師4名(女性/20代~30代/学士/経験2~4年/1名は9か月間の日本研修経験あり) |
| 4)配属先同僚及び活動対象者 国際学部長(男性/50代) ※国際学部長はボランティアの受入を所掌する部署 外国語学部長1名(女性/40代) 日本語学科教師4名(女性/20代~30代/学士/経験2~4年/1名は9か月間の日本研修経験あり) | 5)活動使用言語 (ベトナム語) 6)生活使用言語 (ベトナム語) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚とのバランス ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 教師の指導も行うため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(サバナ) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|---------------------------|
| 特記事項 | 住居は、配属先内の寮となる予定(部屋に台所あり)。 |
|------|---------------------------|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|---|---|---|--|
| 要請番号(JL 027 - 13 - B - 30) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ベトナム | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 / | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) パリアンタウ私立大学 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 パリアンタウ省パリア市 JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 南 方向 1800 Km 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 3.0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 2006年に設立され、電気・電子、情報技術、経済、国際関係など8つの学部からなる。大学全体の総学生数は約7,500名、教師数は約190名。私立大学ではあるが、パリアンタウ省には公立の大学がないために代替的に設立をされた経緯があり、設立時点から現在においても省人民委員会から全面的にサポートを得ている。日本語教育は、2007年に開始され、外国語学部東方学科の中で専攻課程として行われている。現地の日本語教師2名は、日本語と日本事情(文化・歴史等)を教えている。大学には外国語教育センターも設置されており、将来的にはそこでも日本語教育を実施する予定がある。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同省では人民委員会内に日本語教育発展委員会を設けるとともに2020年までの省としての取り組み計画を定め省内での日本語教育の導入と普及に力を入れている。現在、省内には大学、短期大学、専門学校が5校設置されているが、大学は本件配属先1校のみであり、同学の日本語教育の充実に高い期待が寄せられている。配属先では2007年に外国語学部東方学科の中に日本語選考課程を設け、日本語教育を開始。すでに2回卒業生を輩出してきている。しかし、日本語教育開始から日が浅いこともあり、カリキュラムの整理や教材の選定も十分でないまま授業が進められている状況が続いている。大学としては、ホーチミン市の日本語専攻課程を持つ大学からの助言を得る努力なども行っているが、教師の経験も十分でなく、改善には至っていない。この状況の抜本的な改善のためには、ボランティアの支援が必要であるとして本要請が提出された。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・学生への直接指導(初級～中級レベルの授業を担当)。 ※内容は会話と日本事情のクラスが期待されているが、コマ数も含め具体的には赴任後配属先と協議の上決定する。 ・大学や教師の状況に合わせたカリキュラム整備、教材選定の支援 ・教師の教授力向上への支援 ・学生の課外活動である「日本語クラブ」や日本語発表会等イベントの支援 ・その他、必要に応じた学科運営への支援 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機、一般事務機器等利用可。主教材は「みんなの日本語」、その他の日本語教材を独自に編集した自前教材を利用している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 大学学長(女性/60代/博士) 日本語同僚教師2名(女性/20代～30代/学士/経験5～8年) 学生数は全体で約100名 | | | 5) 活動使用言語 (ベトナム語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学で指導するため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 教材選定等への助言を行うため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | | 現職教員特別参加制度 | | |
| | | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地 域 概 況 | 気候(サバナ) 気温(20～35℃位) | | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|--|
| 要請番号(JL 027 - 13- B - 31) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 派遣希望時期 |
| ベトナム | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ホーチミン市師範大学 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ホーチミン市(中央直轄市) JICA事務所の所在地(ハノイ市)から 南 方向 1800 Km 主要都市(ホーチミン市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同大学は、大学、大学院レベルの教員を育成する機能を有し、同市における教育と文化研究の中心でもある。職員数約 850名、教員数約600名、学生数約11,000名、年間予算は約2億円。 2007年に日本の草の根無償協力でLL教室が整備された。日本語学科では、現在280人の学生が学んでいる。 2008年に初代JVが活動を開始し、2009年からSVも派遣された。現在、活動中のJICAボランティアはいないが、カリキュラム改訂を実施できる経験ある短期SVを要請中である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同大学に2008年度に日本語学科が設立された。学科の設立から日が浅く、学科においてはカリキュラムを詳細に作成した経験がなく、現地の日本語教師も教授経験が浅い。 そのため、言語学や教授法に関する知識を有する日本人ボランティアの継続的な支援が必要であるとして、本要請が提出された。 前任となる初代JVは、会話のクラスを中心に授業を担当した。このほか、スピーチコンテストに参加する学生の指導も担当するなど、授業外でのイベントの支援も行った。各レベルの教材の選定に関する協力・助言等も求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・日本語の会話や作文(特にレポートや論文の書き方)等の授業を週に10~15コマ程度(1コマ45分)を担当し、学生に直接指導を行う。 ・卒業論文を日本語で作成するための論文指導。 ・スピーチコンテストや日本語クラブ等授業外でのイベント等の支援。 ・このほか大学側の要望に基づき、必要な支援を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機、一般事務機器等利用可。主な教材は東京外国語大学の「初級日本語」及び「中級日本語」を利用。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学科長(女性/30代) ベトナム人教師8名(女性/20代~30代/経験2~10年程度/3名は留学中) 邦人教師2名(女性/20代~50代/社会言語学・会話授業を担当) | | | 5) 活動使用言語 (ベトナム語) 6) 生活使用言語 (ベトナム語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学で指導するため ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 初級から上級までの指導が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(サバナ) 気温(20~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | | |
|------------------------|------------------|---|---|--|--------|--------|
| 要請番号(JL 027-13-B-32) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ベトナム | 日本語教育 | | | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | | 3 | / | |

配属先概要

1) 受入省庁名 (日本語) **ハノイ国家大学**

2) 配属先名 (日本語) **ハノイ国家大学外国語大学** NGO

3) 任地 **ハノイ市(中央直轄市)**
 JICA事務所の所在地(**ハノイ市**)から **北** 方向 **0** Km
 主要都市(**ハノイ市**)までの交通手段及び所要時間(**徒歩** で約 **0** 時間)

4) 配属先の規模・事業内容
 ボランティアが配属される東洋言語文化学部ではアラビア語教育も行われている。日本語日本文化学科の教員数は約40名、学部生は約400名。翻訳・通訳と日本語教師養成コースがあり、2009年からは大学院を開講、付属の高校でも日本語教育が行われている。日本の大学との共同プログラム、日系企業の支援を受けたビジネス日本語講座等、積極的に外部の支援を受け入れている。配属先に対しては、1998年にJVの派遣を開始。2009年まで7名のJVが派遣され、一旦、派遣を終了。その後、新コースや大学院開講の新たなニーズに応えるため派遣再開。現在SV1名が活動中。学科の年間予算は約100万円。

要請概要

1) 要請理由・背景
 配属先には1996年よりJVが派遣され、日本語教育の基盤整備への支援を展開し、2005年に派遣されたJVを持って一旦支援を終了した。しかし、2008年に配属先で日本語教師養成コースが開講されたことにより、学生への直接指導と教師への指導、教師養成を重層的に支援するため、2009年からJVとSVの派遣を再開。その間、大学院が開講されるなど学科として着実に発展をしているが、引き続き現地教師の教授能力向上、専門的な科目の授業担当、コース運営の改善にかかる支援が求められている。前任者は、会話クラスを充実させるため初級からのコース運営の改善に同僚教師とともに取り組んだ。また、現在活動中のSVは、会話クラスの担当とともに論文指導のクラスのサポートを行うなど、ネイティブとしての強みを活かした分野での支援を展開している。現在25秋でSVも要請中。

2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)
 ・日本人の優位性を生かした初中級レベルの会話や発音、作文等の授業を担当し、授業を行う。
 (目安として現在活動中のSVは、週に10コマ程度を担当している。1コマは50分。)
 ・同僚教師の教授能力向上のための支援を行う。
 ・スピーチコンテスト時の学生への指導など、学科のイベントに必要な支援を行う。
 ・このほか、必要に応じて学科運営支援を行う。

要請概要

3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等
 コピー機、一般事務機器等利用可。主な教材は、初級日本語、中級日本語(東京外国語大学出版)、ニューアプローチ中上級、日本語で学ぶ日本経済入門、国境を越えて等、その他各技能・クラスに応じた教材を使用。

4) 配属先同僚及び活動対象者
 学部長(女性/40代)
 副学部長2名(女性/30代~40代)
 ベトナム人教師38名(男性4名、女性34名/20代~60代/経験0~20年)
 日本留学中教師8名男性1名、(女性7名/20代~30代)
 邦人非常勤講師(男性/60代/経験15年/ビジネス会話)に加え、9月に1名増員予定

5) 活動使用言語 (ベトナム語)
 6) 生活使用言語 (ベトナム語)
 7) 選考指定言語
 英語 (レベル: D)
 又は (レベル:)

資格条件等

条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります)

・免許 (**日本語教授法**)
 又は ())
 ・性別 () 理由:
 ・学歴 (**大卒**) () 理由: 大学で指導を行うため
 ・経験 () () 理由:
 ・ **実務経験1年程度** 理由: 大学で指導を行うため

活動上の単車/自転車の必要性
 単車 自転車 不要

現職教員特別参加制度
 可 不可

地域概況

気候(温帯夏雨) 気温(10~35℃位) 電気(安定 不安定 なし)
 通信(インターネット可 電話可 無線) 水道(安定 不安定 なし)

特記事項



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 6 月 20 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|---------------------------|--------|
| 要請番号(JL 045 - 13 - B - 06) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| モンゴル | 日本語教育 | | | | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 2 | | | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 首都教育文化局 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ウランバートル JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 北 方向 0 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ウランバートル市内の幼稚園、小中高等学校を管轄する教育行政機関。職員37名、年間予算は4千2百万円程度。市民の基礎学力向上のための環境整備を行い、教師の質の向上、教育実施要領の改訂、教育に関する法整備等を行っている。日本以外からの過去のボランティア受入実績はロシア、ドイツ、イギリスから各1名、日本からはJV、SVを含め総計8名。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ウランバートル市内では公立9校、私立13校で日本語教育が取り入れられ、約8千人の児童・生徒が日本語を学習している。これらの日本語教育実施校では約200名の教師が日本語を教えているが、全ての教師の質が高いとは言い難い。日本語のネイティブスピーカーとともに働くことで、教師の実践的な会話能力の向上が特に期待されている。同局で管轄する日本語教育実施校を巡回し、教師の質を高める継続した活動が求められ、後任要請があげられた。また日本語指導のほか、日本文化の紹介等を通じて、同国にとり日本がより身近な存在となる事が期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 各日本語教育実施校の日本語教師とともに授業、セミナー、イベントを通じた文化交流を行う。 ② 日本語教育の質の向上をめざし、以下を実践する。 ・教師に対し、実施要領が適切に使用される様、指導する。 ・生徒に対し、実施要領に即した試験問題を作成し、試験を実施する。 ③ 巡回する学校で授業準備、指導法や指導計画を見直し、改善案を提案する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、プリンタ | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先C/P(同局外国語教育担当者、女性、教育指導課長、50代) 巡回指導先日本語教師:約30人 | | | 5) 活動使用言語 (モンゴル語) 6) 生活使用言語 (モンゴル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(大陸性気候) 気温(-30~30 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 26 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|---|
| 要請番号(JL 045 - 13 - B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 派遣希望時期 |
| モンゴル | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学省 2) 配属先名 (日本語) 新モンゴル高等学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ウランバートル JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 北 方向 0 Km 主要都市(ウランバートル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 2000年設立。児童・生徒約1,100名、教職員84名が在籍する私立の小・中・高等一貫教育校。「卒業生一人ひとりが生きる力を持ち、幸せを真の意味で理解し、世の中のために充実した人生を送ることができる事」を教育の目標としている。外国語教育に力を入れており、小学校3年生から英語を必修科目として、また、6年生からは約700人が選択性で日本語を学習、12年生では必修科目としている。日本の桜美林大学、東京国際大学と交換留学を実施しており、現在、前述校の卒業生2名が日本語教師として勤務している。他の外国人ボランティアはいない。 | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 同校では、交流のある上記2大学の卒業生を主に日本語教師として雇用してきたが、日本語教師としての資格を持たずに指導してきた。同校はモンゴルで最も多くの留学生を日本へ送り出して来ており、今後はより多くの留学生を排出したいと計画している。その為、質の高い日本語教育が必要であり、同時に現地日本語教師の質の向上が不可欠である。日本語指導の経験があるJVと共に動き、日本語教育と教師の質を高め、同校の高校卒業生が必修として受験する留学試験の合格率を高めていきたいと考え、JVの要請があげられた。 | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 主に中・高生を対象に日本語を週20コマ程度指導する。(1コマ40分) ② 指導法やカリキュラム作成などを同校の日本語教師に指導する。 ③ 高校4年生に理科(生物、化学、物理)の専門用語(単語レベル)を教える。 ④ 日本文化の紹介や日本語に関するイベントを開催する。 | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンタ、電子黒板、プロジェクタ、マイク | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 CP(女性、30代、日本語教師主任) 同僚(日本語教師4人) 活動対象者 生徒(6年生～12年生の日本語学習者) | | | 5) 活動使用言語 (モンゴル語) 6) 生活使用言語 (モンゴル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 経験に基づいた指導が必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(大陸性) 気温(-30~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 8 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|--------|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 051 - 13 - B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| バングラ デシュ | 日本語教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) クルナ大学 現代言語センター | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 クルナ県シヨドール郡 JICA事務所の所在地(北ダッカ市)から 南西 方向 320 Km 主要都市(北ダッカ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 8 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 クルナ大学は、1991年に設立された総合国立大学で、科学技術部、総合科学部、経営学部、社会科学部、人文科学部等から構成される。学生数は5,400名で、年間予算は7億円。現代言語センターでは、英・仏・西・独・日・韓・ペルシア語のコースが運営されており、約10名の講師陣が勤務している。同センターの生徒数は約200名。日本語コースは2004年に開設されており、これまでに延べ300名が履修している。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 2004年に開設された日本語初心者コース(6ヶ月間)では、週に2回授業が行われており、現在25名の学生および社会人が同コースを受講している。日本語コースに関するニーズは高いものの、語学講師は日本語教授法等の資格を保有しておらず、専門的な授業を実施するための知識や経験が不足しているため、体系的な授業を実践できない状況にある。現代言語センターは、日本語コースの運営を改善し、将来的には1年間のアドバンスコース(日本語能力検定試験対策)を新規開設したいと考えているため、ボランティアの派遣要請がなされた。ボランティアには、日本語コースの運営支援のみならず、日本の文化や歴史、習慣等についての講義やイベントの実施も期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・日本語初心者コースでの生徒に対する指導、カリキュラム改善に関する支援 ・日本語講師に対する教授法および教材開発に関する指導・助言 ・年に2回実施されている日本語能力検定試験(1~5級)受験対策のためのアドバンスコース新規開設支援 ・日本文化、社会、歴史、習慣等についての講義やイベントの企画・立案および実施。 ・現代言語センターの運営全般に関する提言 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 日本語教科書「みんなの日本語」、「日本語の教え方ABC」 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:教育機関での指導のため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:初代立ち上げのため 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 地域 概況 気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 6 月 8 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|---|--|---|--------|
| 要請番号(JL 051 - 13- B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | 26 / 1 |
| バングラ デシュ | 日本語教育 | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | 3 | 26 / 3 | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | 2) 配属先名 (日本語) ラッシャヒ大学 言語学科 <input type="radio"/> NGO | | |
| 概要 | 3) 任地 ラッシャヒ県ショドール郡 JICA事務所の所在地(北ダッカ市)から 西 方向 220 Km 主要都市(北ダッカ市)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間) | | | | |
| 要請 | 4) 配属先の規模・事業内容 ラッシャヒ大学は、1953年に設立された総合国立大学で、農学部、法学部、工学部、経営学部、社会科学部、人文学部等から構成される。学生数は25,000名で、年間予算は約22億円。言語学科では、仏・独・日・ベルシア・ウルドゥ語のコースが運営されており、約30名の講師陣が勤務している。同センターの生徒数は約800名。日本語コースは2007年に開設されており、これまでに延べ160名が履修している。 | | | | |
| 概要 | 1) 要請理由・背景 2007年に開設された日本語初心者コース(1年、100時間)では、週に2回授業が行われており、現在26名の学生および社会人が同コースを受講している。日本語コースに関するニーズは高いものの、語学講師は日本語教授法等の資格を保有しておらず、専門的な授業を実施するための知識や経験が不足しているため、体系的な授業を実践できない状況にある。言語学科は、日本語コースの運営を改善し、将来的には1年間のアドバンスコース(日本語能力検定試験対策)を新規開設したいと考えているため、ボランティアの派遣要請がなされた。ボランティアには、日本語コースの運営支援のみならず、日本の文化や歴史、習慣等についての講義やイベントの実施も期待されている。 | | | | |
| 要請 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) <ul style="list-style-type: none"> ・日本語初心者コースでの生徒に対する指導、カリキュラム改善に関する支援 ・日本語講師に対する教授法および教材開発に関する指導・助言 ・年に2回実施されている日本語能力検定試験(1～5級)受験対策のためのアドバンスコース新規開設支援 ・日本文化、社会、歴史、習慣等についての講義やイベントの企画・立案および実施 ・現代言語センターの運営全般に関する提言 | | | | |
| 概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 日本語教科書「みんなの日本語」、「A Guide to Writing Kanji & Kana」 | | | | |
| 要請 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 言語学科長 女性 40代 言語学科スタッフ 約30名 30～60代 日本語講師 男性 40代 | 5) 活動使用言語 (ベンガル語) 6) 生活使用言語 (ベンガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 教育機関での指導のため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 初代立ち上げ 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10～40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 051 - 13- B - 36) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| バン格拉 デシュ | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) チッタゴン工科大学 言語センター | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 チッタゴン県 JICA事務所の所在地(北ダッカ市)から 南東 方向 260 Km 主要都市(北ダッカ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 8 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 2003年に設立された国立工科大学で、電気・電子工学、コンピュータ科学技術、建築等の学部がある。学生数は約2500名。大学年間予算は約2億円、言語センターは約200万円で運営されている。同センターは2010年に設立され、現在3名の語学講師(学部との兼任)により日本語初心者コースが実施されており、今後、英語やドイツ語等複数の外国語コースの開設を予定している。2012年には日本語講師陣を対象とした1週間の短期研修が、同国の日本語教育隊員により実施された。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 2010年に新規開設された日本語初心者コース(6か月間)では週3回の授業が行われており、現在25名の学生が同コースを受講している。しかし、語学講師3名は日本語教授法等の資格を保有しておらず、本格的な授業を実施するための知識や経験が不足している。そのため、同コースの運営および日本語能力検定試験対策のための中上級コース新規開設において専門的な支援を提供できるボランティアの要請がなされた。 また、ボランティアには、日本語コースの運営支援のみならず、日本の文化、習慣及び社会等についての講義やイベント開催の支援も期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・日本語初心者コースでの生徒に対する指導、カリキュラム改善及び教材開発に関する支援 ・日本語講師に対する教授法の指導 ・年に2回実施されている日本語能力検定試験(1~5級)受験対策のための中上級コース新規開設支援 ・日本文化、社会、歴史、習慣等についてのセミナーやイベントの企画立案と実施 ・言語センターの運営全般へのアドバイス | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 日本語教科書「みんなの日本語」、DVD教材 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 言語センター長(男性 60代) 言語センター講師(男性 30代) 言語センター講師(男性 60代) | | | | 5) 活動使用言語 (ベンガル語) 6) 生活使用言語 (ベンガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 15 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 054 - 13- B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| インド | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 人的開発資源省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) デリー大学 社会科学部東アジア研究科 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 デリー準州 デリー JICA事務所の所在地(デリー)から 東 方向 0 . Km 主要都市(デリー中心部)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1922年創立の国立大学。79のカレッジおよび88の研究科、総学生数13万人を有する世界でも屈指の規模を誇る大学である。社会科学部東アジア研究科は1964年に設立。現在は、日本語・中国語・韓国語のコースがある他、各国の文化・経済等の研究も行っている。現在開講されている日本語コースはPost Graduate Intensive Diploma、Post Graduate Intensive Advanced、M.A Japanese、M.A East Asian Studies の4コース。学部全体の年間予算は約1千万円。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校へは2007年からJV派遣を開始、現在3代目の隊員が活動中である。教師陣はほとんどが日本で博士号を取得しており高い日本語力を有しているが、ネイティブ教師の存在は、将来インドの日本語教育界や日系企業で活躍する学生達にとって不可欠となっている。しかしながら、現在の予算では日本語教授法を保有したネイティブ教師を雇用することが難しいことから、引き続き協力隊による支援を求め後任要請が出された。現在派遣中の隊員はPost Graduate Intensive Diploma、Post Graduate Intensive Advanced、M.A Japaneseコースの授業を担当している。隊員は与えられた科目の授業を単独で担当し、より効果的・効率的な授業を模索する。また、積極的・能動的にインド人日本語教師との連携を図り、日本語コース全体の質の向上に協力することが求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 授業を担当する。(会話、発音、作文、聴解がメイン) 週約 7コマ 1コマ90分(MAコースは120分) 2. 日本文化・日本事情を紹介し学生の学習意欲の向上、日本理解を増進する。 3. 必要に応じて補講を実施する。 4. インド人日本語教師との連携をはかり、よりよいカリキュラム・授業内容・試験内容などを模索する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 機材等: 準備室 パソコン 黒板 プロジェクター 教科書: Teaching Japanese Book1&2 (出版:University of Delhi) 他 | | | | |
| 要 請 概 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 【同僚】インド人日本語教師 常勤4名(40-60代)、非常勤1名(30代) 皆JLPT1級レベル、ほとんどが日本で博士号を取得した教授 【対象者】 学生約50名(21~35歳) | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| | 資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 業務上不可欠 ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 業務上不可欠 理由: | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(サバナ気候) 気温(5~45 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 生活使用言語はヒンディー語。現地語学訓練はヒンディー語訓練を実施予定。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 15 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|----------|-----------|
| 要請番号(JL 054 - 13 - B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 | 1 26 / 1 | |
| インド | 日本語教育 | | | <input type="radio"/> 1 年 | 2 26 / 2 | 年 月 から |
| | | | | <input type="radio"/> ヶ月 | 3 26 / 3 | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 人的開発資源省 2) 配属先名 (日本語) Sri Ramaswamy Memorial (SRM) 大学 外国語学部 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 タミルナードゥ州 カーンチプラム JICA事務所の所在地(デリー)から 南東 方向 2200 Km 主要都市(チェンナイ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 私立の工科大学。2万人の学生、5つのキャンパス、28の学部、2つの研究センターを有する。前身であるSRM Engineering Collegeは1985年創立。2006年に現在の名前となった。同校では2年生の時に選択外国語の履修が義務づけられており、現在は、日本語・フランス語・ドイツ語・韓国語が開講されている。外国語学部のあるKattanlulathurキャンパスは300エーカーの広大な敷地を有しており、校内には銀行、ホテル、郵便局、職員住居、学生寮などが揃っている。大学全体の日本語学習者の総数は約2600人であり、インドで最も日本語学習者数の多い高等教育機関である。予算は非公開。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 現在の日本語選択者数はKattanlulathurキャンパス1050名、他のキャンパス 1602名であるが、日系企業の進出が進んでいることから、来年度は更に学習者数が増える見込みである。日本語教育は2年生の1年間のみ行われており、各クラスの授業数は1週間2コマ(1コマ50分)。工科系の大学であるため、日本語の主な学習動機は、日系企業にエンジニアとして就職するためである。このような学習動機、また、文字の導入によって学生の日本語学習意欲が低下するのを防ぐため、同校では読み書きよりも口語に重点を置いた日本語教育を実践している。これまでもインド人教師が指導に当たってきたが、ネイティブによる日本語・日本文化指導は不可欠であることから、今回隊員要請がなされた。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 隊員は大部分の日本語学習者が学ぶKattanlulathurキャンパスで以下の活動を行う。 1. 会話・発音中心の授業を行う。 2. インド人教師の授業準備、スキルアップを支援する。 3. 学生の日本語能力・日本理解向上のための文化紹介を行う。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 機材:マルチメディア教室 教科書:入門日本語 4) 配属先同僚及び活動対象者 【同僚】インド人日本語教師 6名: 男4名 女2名 30~60代 皆日本語専属の常勤講師 教授経験は6~13年 日本語能力試験旧2・3級レベル 【対象者】 Kattanlulathurキャンパスの大学生 約1050名 一クラス約30~40名 ゼロ初級開始 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 当国の教員採用事情による ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地 域 概 況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(15~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特 記 事 項 | 生活使用言語はタミル語。現地語学訓練はタミル語訓練を実施予定。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 15 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 054 - 13- B - 06) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| インド | 日本語教育 | | | 1 | 26 / 2 |
| | | 2 | 26 / 3 | | |
| | | 3 | / | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 人的開発資源省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムニ・インターナショナル・スクール | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 デリー準州 デリー JICA事務所の所在地(デリー)から 西 方向 30 Km 主要都市(デリー中心部)までの交通手段及び所要時間(鉄道 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 デリー中心部から西に30kmのところのところに位置する2002年4月開校の私立の初中等教育校。近隣に住んでいる低・中所得層の家庭の子供達に低価格で世界に通じる教育を行うことを目的に設立された。敷地内では、小学生・中学生に加え就学前児童約550名が一つの建物の中で学んでいる。スタッフは教師、事務員等を合わせて30名。授業は9時から14時まで。授業開始の前にはダンスなどのアクティビティが行われる。外国からのボランティアは現在派遣中のJV(23年度4次隊、日本語教師)が初めて。年間予算は約1千万円。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校では子供たちの視野を広げ将来の可能性を広げるために、小学1年生から外国語の授業を取り入れている。経営者が親日家であり、日本語を学ぶことで日本人の礼儀作法を身に付けさせたいとのことから、日本語は1~4年生までは必修科目となっており、5年生以上は日本語を含む6言語(中、西、仏、独、アラビック語)からの選択制となっている。現在派遣中のJVは、系統だった日本語教育というよりも、音楽・ダンス・映画・アニメなどを取り入れ楽しく日本語・日本文化に触れる授業を行っている。この授業は普段外国と接することがない子供たちに好評である。インド人日本語教師は経験が浅く、自身の日本語能力にも自信がないことから、引き続き隊員の支援を求めて後任要請が出された。隊員は、文法や文字の導入というよりも、楽しく日本語・日本文化に触れる授業を行うことが求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 以下の授業をインド人日本語教師と担当する。 <input type="radio"/> 1~4年生の授業 各クラス週1コマ(1コマ40分) 教科書は使わず、ゲームや歌などの遊び中心の授業 <input type="radio"/> 5~9年生の授業 各クラス週4~5コマ 教科書を使いつつ、ゲームや歌などを取り入れた授業 <input type="radio"/> 日本語能力試験対策クラス 不定期 希望者のみ対象の授業 2. 日本語能力の向上・日本文化理解促進のためのイベントを企画・開催する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教科書:「うめ」「もも」「さくら」(国際交流基金)、みんなの日本語 機材:黒板、プロジェクター | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 【同僚】 インド人日本語教師 1名 30代女性 教授経験2年 日本語能力試験 旧3級 【対象者】 1年生(6才)~9年生(15才) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 当国の教員採用事情による ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(サバナ気候) 気温(5~45℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 生活使用言語はヒンディー語。現地語学訓練はヒンディー語訓練を実施予定。 | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|--|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 054 - 13- B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| インド | 日本語教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 人的開発資源省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ジャワハルラルネルー大学 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 デリー準州 デリー市 JICA事務所の所在地(デリー中心部)から 南 方向 14 Km 主要都市(デリー)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 デリー南部に位置する1969年創立の国立大学院大学。10の学部、4つの研究機関があり約7000人の学生が学んでいる。国を代表する高等教育機関として高く評価されており、国内外から学生が集まる入学難関校である。同校での日本語教育は1973年に「文学及び文化研究学部 日本語・韓国語及び北東アジア研究科」で開始された。現在、3年制の学士課程と2年制の修士課程が開講されており、約100名の学生が学んでいる。同校はインドにおいて日本語での学位が取得可能な数少ない大学の一つである。これまでも日本語教育に携わる多くの人材を輩出してきており、インドにおける日本語教育機関の中心的存在となっている。予算は非公開。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校への協力隊派遣は2009年10月から2010年8月まで初代(短期隊員)を派遣、2011年1月から2代目の長期隊員が活動中である。現在、隊員の教え子が地方の大学で日本語教師となるなどの効果が表れ始めてきている。教師陣は皆日本留学・滞在経験があり様に高い日本語力を有しているが、ネイティブ教師の存在は、将来、インドの日本語教育界や日系企業で活躍する学生達にとって不可欠となっている。しかしながら、現在の予算では日本語教授法を保有したネイティブ教師を雇用することが難しいことから、引き続き協力隊による支援を求め後任要請が出された。現在派遣中の隊員は、学士課程の学生の会話や作文の授業を担当するほか、日本語能力試験対策、文化紹介などを行っている。2013年3月には、大使館・国際交流基金・デリー日本人会の支援を得て、同僚と日本文化祭を企画・開催し好評を得た。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 学士課程(3年コース、0初級～中級)の授業(会話・作文中心)を担当する。週8コマ程度(1コマ1時間半) ② 日本文化・日本事情を紹介し学生の学習意欲の向上、日本理解を増進する。 ③ 日本文化祭などの日本関連イベントの開催を支援する。 ④ 授業で使用する教材のリソース作りに協力する。 ⑤ 若手教師と協力し、よりよいカリキュラム・授業内容・試験内容などを模索する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 機材:コピー機、LL教室、マルチメディアプロジェクター、CDプレーヤー 使用日本語テキスト: 日本語(国際学友会)、中級日本語(東京外国語大学)、外国学生用日本語教科書(早稲田大学) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学生: 男女 約100名(18 ~ 24 歳) 日本語ゼロ初級開始 インド人日本語教師: 教授 5名、準教授 1名、助教授 3名(30～60代の男女) 皆、日本留学または日本滞在経験あり、日本語能力検定試験N1レベル。 教授歴は7～32年。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 当国の教員採用事情による ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 業務遂行上不可欠 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(サバナ気候) 気温(0 ~ 45 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 16 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 057 - 13- B - 06) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 14 代目 | 1 | JOCV/SV |
| モルディブ | 日本語教育 | | | 2 | 日系/短期 |
| | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | 26 / 3 |
| | | | | 3 | / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) モルディブ国立大学文学部外国語学科 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 マレ市 JICA事務所の所在地(マレ)から 北東 方向 0 Km 主要都市(マレ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 大学文学部は2009年に新設され、外国語コースも文学部外国語学科として位置づけられている。日本語の授業は大学文学部の夜間クラス(一般社会人対象)、観光学部の選択外国語として実施されている。現在までに長年にわたり協力隊の日本語教師が派遣されてきて、日本語教育に従事してきた。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 モルディブへの日本人観光客は年間約3~4万人。観光業は当国産業のメイン産業の内一つであり、日本人観光客へのサービス充実の点で日本語教育のニーズは高い。そのため長年にわたり日本語教師を派遣してきた。その活動の一環として現地人日本語教師の育成を行ってきた。しかし、大学側が必要とする資格等(修士以上の学位が必要)の問題もあり常時雇用の現地日本語教師がおらず、契約ベースでの対応となっている。そのため結果的には、協力隊の日本語教師に頼らざるを得ないのが現状である。当国では観光業でも日本語ができる人材育成のニーズは高く、また当国は伝統的に親日家が多く、日本の文化に対する興味も高い。そのため現状では日本語教師を派遣することによる当国への協力効果は高く、また配属先からも強い希望もあるため、今回の後任要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 隊員は以下のことを実施する。 ・観光学部にて選択科目の一環として日本語の授業を行う。 ・文学部において、夜間に実施されている社会人のための日本語コースにて日本語の授業を行う。 ・必要に応じて現地日本語教授法の見直しを行う。 ・モルディブにおける日本語教育振興のためのイベント等の支援を行う。(日本語能力試験、スピーチコンテスト等) ・その他、学部長から依頼された日本語教育振興についての各種活動を行う。 | | | | |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コピー機、パソコン、CDラジカセ、ビデオ、プロジェクタ等 4) 配属先同僚及び活動対象者 日本語履修学生数に応じて、契約ベースでモルディブ人日本語教師を雇用予定。 | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学で授業を担当するため ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 実際に授業を担当するため 理由: | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (I・N: C) 又は (I・N:) | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(25-35 ℃位) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 特記事項 | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 6 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 066 - 13- B - 21) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| スリランカ | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 英語・外国語局(ヌゲゴダ) | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 コロンボ県ヌゲゴダ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 南東 方向 17 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はスリランカの公的教育を監督する教育省本省の一部局であり、外国語教育のモニタリング、評価、監督や研修を通じて、公立学校における外国語教育の促進に取り組んでいる。日本語教育に関しては、現在、スリランカでは国際交流基金の専門家1名とJV1名が2つの大学で日本語を教えており、さらに現役教師向け研修実施のためのSV1名が要請されている。本配属先の予算は未公開。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 スリランカでは中等教育の選択科目として日本語が学ばれている。2009年に高校日本語のシラバスが改正され、2010年に高校日本語の新教科書が完成したが、新しいシラバスでは、コミュニケーション能力の向上に重点が置かれている。日本語教師のレベル向上のために2012年より教育省下の国立教育研究所では週末のコースも開始した。日本語を学ぶ生徒のモチベーションの向上、コミュニケーション能力の向上がはかられる授業の実現、スリランカ人教師の日本語運用能力向上を目的にボランティアが要請された。日本語学習に充てられている時間は中学校で週5コマ、高校で週10コマ。(1コマは40分) | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 上記教師研修で教授法を学んだ日本語教師が勤務する学校を中心に周辺校を巡回し、以下の活動を実施する。 1.巡回校にてカウンターパートが担当する授業の中で発音、聴解、会話、漢字などを生徒に対し指導する。 2.日本文化紹介等のイベント開催に積極的に協力し、日本に対する理解促進と学習意欲向上に貢献する。 3.副教材作成へのアドバイス、教授法への助言、日常の会話を通じて、スリランカ人教師の日本語能力向上を図る。 4.毎月一回コロンボで開催される、スリランカの日本語教育関係者の勉強会である「教師会」に参加し、巡回先以外の日本語教師たちの能力向上に貢献する。 5.自身の特技が活かせる分野のクラブ活動が巡回校で実施されている場合は積極的に協力する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(黒板、いす、机) | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 巡回校の日本語教師(女性4名、教師経験は4~15年、日本語能力試験2~3級) 巡回校の日本語学習者:男女約80名、中学生は初習者、高校生は中学で日本語を選択しているものが多い。 | | | | 5) 活動使用言語 (シンハラ語) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は (日本語教授法) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:実務経験が活動に直結する為 中等教育機関における経験 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(22~32 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 6 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|---|--------------------|
| 要請番号(JL 066 - 13- B - 22) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 日系/短期 年 月 から |
| スリランカ | 日本語教育 | | | | | |
| | | | | | | |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 英語・外国語局(アヌラーダプラ) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アヌラーダプラ県アヌラーダプラ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北東 方向 200 Km 主要都市(アヌラーダプラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はスリランカの公的教育を監督する教育省本省の一部局であり、外国語教育のモニタリング、評価、監督や研修を通じて、公立学校における外国語教育の促進に取り組んでいる。日本語教育に関しては、現在、スリランカでは国際交流基金の専門家1名とJV1名が2つの大学で日本語を教えており、さらに現役教師向け研修実施のためのSV1名が要請されている。本配属先の予算は未公開。 |
|-------|---|

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 スリランカでは中等教育の選択科目として日本語が学ばれている。2009年に高校日本語のシラバスが改正され、2010年に高校日本語の新教科書が完成したが、新しいシラバスでは、コミュニケーション能力の向上に重点が置かれている。日本語教師のレベル向上のために2012年より教育省下の国立教育研究所では週末のコースも開始した。日本語を学ぶ生徒のモチベーションの向上、コミュニケーション能力の向上がはかれる授業の実現、スリランカ人教師の日本語運用能力向上を目的にボランティアが要請された。日本語学習に充てられている時間は中学校で週5コマ、高校で週10コマ。(1コマは40分) 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 上記教師研修で教授法を学んだ日本語教師が勤務する学校を中心に周辺校を巡回し、以下の活動を実施する。 1.巡回校にてカウンターパートが担当する授業の中で発音、聴解、会話、漢字などを生徒に対し指導する。 2.日本文化紹介等のイベント開催に積極的に協力し、日本に対する理解促進と学習意欲向上に貢献する。 3.副教材作成へのアドバイス、教授法への助言、日常の会話を通じて、スリランカ人教師の日本語能力向上を図る。 4.毎月一回コロンボで開催される日本語教育関係者の勉強会である「教師会」に参加するし、活動を支援する。 5.自身の特技が活かせる分野のクラブ活動が巡回校で実施されている場合は積極的に協力する。 6.任地にある大学の観光学科の日本語の授業を補佐する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(黒板、いす、机) 4) 配属先同僚及び活動対象者 巡回校の日本語教師(女性3名、教師経験は3~4年、日本語能力試験2~4級) 巡回校の日本語学習者:男女約40名、中学生は初習者、高校生は中学で日本語を選択しているものが多い。 大学の日本語学習者:男女約30名ほぼ全員が初習者 5) 活動使用言語 (シンハラ語) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|------|--|

| | | |
|-------|--|---|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は (日本語教授法) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 実務経験が活動に直結する為 中等教育機関における経験 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-------|--|---|

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(23~34 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 6 月 6 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---------|----------|
| 要請番号(JL 066 - 13 - B - 23) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | ● 2 年 | 1 26 / 1 |
| スリランカ | 日本語教育 | | | ● 1 年 | 2 26 / 2 |
| | | | | ○ ヶ月 | 3 26 / 3 |
| | | | | JOCV/SV | 日系/短期 |

| | |
|-------|--|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 英語・外国語局(クイヤピティア) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 クルネーガラ県クイヤピティア JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北東 方向 98 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間) |
| 要 | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はスリランカの公的教育を監督する教育省本省の一部局であり、外国語教育のモニタリング、評価、監督や研修を通じて、公立学校における外国語教育の促進に取り組んでいる。日本語教育に関しては、現在、スリランカでは国際交流基金の専門家1名とJV1名が2つの大学で日本語を教えており、さらに現役教師向け研修実施のためのSV1名が要請されている。本配属先の予算は未公開。 |

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 スリランカでは中等教育の選択科目として日本語が学ばれている。2009年に高校日本語のシラバスが改正され、2010年に高校日本語の新教科書が完成したが、新しいシラバスでは、コミュニケーション能力の向上に重点が置かれている。日本語教師のレベル向上のために2012年より教育省下の国立教育研究所では週末のコースも開始した。日本語を学ぶ生徒のモチベーションの向上、コミュニケーション能力の向上がはかれる授業の実現、スリランカ人教師の日本語運用能力向上を目的にボランティアが要請された。日本語学習に充てられている時間は中学校で週5コマ、高校で週10コマ。(1コマは40分) |
| 概 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 上記教師研修で教授法を学んだ日本語教師が勤務する学校を中心に周辺校を巡回し、以下の活動を実施する。 1.巡回校にてカウンターパートが担当する授業の中で発音、聴解、会話、漢字などを生徒に対し指導する。 2.日本文化紹介等のイベント開催に積極的に協力し、日本に対する理解促進と学習意欲向上に貢献する。 3.副教材作成へのアドバイス、教授法への助言、日常の会話を通じて、スリランカ人教師の日本語能力向上を図る。 4.毎月一回コロンボで開催される、スリランカの日本語教育関係者の勉強会である「教師会」に参加し、巡回先以外の日本語教師たちの能力向上に貢献する。 5.自身の特技が活かせる分野のクラブ活動が巡回校で実施されている場合は積極的に協力する。 |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(黒板、いす、机) |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 巡回校の日本語教師(男女3名、教師経験は3~7年、日本語能力試験2~3級) 巡回校の日本語学習者:男女約350名、中学生は初習者、高校生は中学で日本語を選択しているものが多い。 |
| | 5) 活動使用言語 (シンハラ語) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|---|---|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は (日本語教授法) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:実務経験が活動に直結する為 中等教育機関における経験 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
|-------|---|---|

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(22~34 ℃位) 電気(●安定 ○不安定 ○なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(●安定 ○不安定 ○なし) |
|------|---|

| | |
|------|--------------------|
| 特記事項 | (ここに特記事項を記入してください) |
|------|--------------------|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|---|---|---|--------|-------|
| 要請番号(JL 066 - 13- B - 27) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| スリランカ | 日本語教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 日 |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) 英語・外国語局(プシュバダーナ・カレッジ) <input type="radio"/> NGO 3) 任地 キャンディ県キャンディ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北東 方向 116 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はスリランカの公的教育局を監督する教育省本省の一部局であり、外国語教育のモニタリング、評価、監督や研修を通じて、公立学校における外国語教育の促進に取り組んでいる。現在、スリランカでは国際交流基金の専門家1名と協力隊員1名が2つの大学で日本語を教えており、さらに現役教師向けの研修実施のためのシニアボランティアの要請も検討されている。本配属先の予算は未公開。 | | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 スリランカでは中等教育の選択科目として日本語が設置されており、中学生、高校生が日本への憧れている、将来日本語教師になりたい、試験に合格したい等の理由で日本語を学んでいる。その中で2009年に高校日本語のシラバスが改正され、2010年に高校日本語の新教科書が完成した。新しいシラバスでは、コミュニケーション能力の向上に重点が置かれている。任地であるキャンディには中学、高校の選択科目で日本語を選択できる学校が8校ある。その中でも熱心に日本語教育を推進する高校3校を中心に巡回し、教員とともに生徒への会話指導、日本文化紹介等を行うとともに、カウンターパートの日本語運用能力向上に貢献することにより、課題となっているコミュニケーション能力を伸ばす能力を向上させることが求められている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①赴任当初は、各学校の日本語教師と各学校の日本語教育の現場を視察し、現場の日本語教育状況を調査する。また任国の教育事情、教育システムの理解に努める。 ②巡回校にてカウンターパートが担当する授業の中で会話や日本文化紹介を中心とした生徒指導、教員への助言を行う。(中学週3コマ、高校10コマ、1コマは40分) ③必要に応じてワークショップやセミナーを実施する。日本文化紹介等のイベント開催に積極的に協力する。 ④毎月一回コロンボで開催される、スリランカの日本語教育関係者の勉強会である「教師会」に参加し、巡回先以外の日本語教師たちの活動を支援する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(黒板、いす、机) 4) 配属先同僚及び活動対象者 巡回校の日本語教師(女性2名、男性1名、大卒(日本語専攻)、日本留学経験者を含む、20~50代、教師経験は3~20年) 巡回校の日本語学習者:男女約90名、中学生は初習者、高校生は中学で日本語を選択している 5) 活動使用言語 (シンハラ語) 6) 生活使用言語 (シンハラ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は (日本語教授法) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:実務経験が活動に直結するため 中等教育機関における経験 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~33 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 4 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 109 - 13 - B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 派遣希望時期 | 日系/短期 |
| キリバス | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 26 / 1 | |
| | | | | 2 26 / 3 | |
| | | | | 3 / | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 労働・人材開発省 2) 配属先名 (日本語) 漁船員養成校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ビケニベウ JICA事務所の所在地(アンボ)から 東 方向 9 Km 主要都市(バイリキ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 1989年の設立以来、日本のカツオマグロ漁業団体からの支援を受けてきたキリバスの職業訓練校の一つ。卒業生は漁船員人材派遣会社により主に日本のカツオマグロ漁船の乗組員として雇用される。全寮制で年間生徒数は70名前後で2クラスに分けて教育する。年間予算は約6千万円。日本の伝統的漁法である一本釣り漁法やロープワークや網の補修技術、船上火災の消火技術など、船上で必要とされる技術を広く習得する。商船員を養成してきた船員養成校(MTC)という別の訓練施設との組織合併が予定されている。 | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 キリバスでは就職先として外国船に乗り組む者が多く、重要な外貨獲得手段となっている。このうち漁船員の養成は漁船員養成校(FTC)でおこなわれている。日本のカツオマグロ漁船に150名ほどFTCを卒業したキリバス人が雇用されており、毎年30名程度の新人が高齢乗組員と入れ替わる。訓練生は日本語の習得が必須であり、週14時間程度の日本語の授業が行われている。創立以来、日本語教育が継続されていることから、基本的な教材は揃っているが、キリバス人日本語教師2名に対する教育手法のOJTや教材等の改良が期待されている。漁船員の養成コースは9ヶ月のコースである。就職後は漁船内で日本人と寝食を共にしながら就労するため、即戦力としての日本語の語学レベルの向上に加え、日本人の生活習慣などに関してもある程度の知識を与えておく必要があり、日本人のJVIによる支援に強い期待が寄せられている。 | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.同僚2名とともに2クラス(約40名/クラス)の訓練生に対して、週14時間程度の日本語の授業を行う。年齢には多少のばらつきはあるが訓練生は高卒で男性である。 2.キリバス人日本語教師に対し、日本語指導技術に関する指導と助言を行う。 3.カウンターパートと共に、現在使用している日本語教材の改良を行う。 4.日本文化や日本人の生活習慣などについても教える。 | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 日本語教材、ビデオテープ、CD、DVDなど。使用中の主なテキスト『SHINNIHONGO KISO 1996年度』 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学校長(40代男性) 日本語教師(40代男性 教師経験8年) 日本語教師アシスタント(30代男性 教師経験3年) 生徒約50名(2013年)(18-30才男性) | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:キリバス人講師に指導するため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:生徒に指導するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(25~ 35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 住居は他のボランティア(JVまたは海外)と同居になる可能性がある。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 23 日

| | | | | | | |
|---|-------------------|--|---|---|---|--------------------|
| 要請番号(JL 112-13-B-01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 日系/短期 年 月 から |
| マーシャル | 日本語教育 | | | | | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 2) 配属先名 (日本語) マジュロ コープスクール <input type="radio"/> NGO 3) 任地 マジュロ環礁デラップ地区 JICA事務所の所在地(マジュロ)から 北 方向 0. Km 主要都市(マジュロ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 同校は幼稚園及び1~8年生(4~14歳)の初等部を持つ私立学校であるが、2008年8月から高等部(9~12年生)を開設した。米国のWASC(Western Association of School and Colleges)に認定されており、英語での授業が徹底されるなど、学力レベルは当国トップクラスである。全学年で280名ほどの生徒が在籍し、全スタッフ数は33名、年間予算は約60万ドルである。 | | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 歴史的な背景から、マーシャル国には日本語や日本文化の名残が多く残っている。そのため日本語や日本文化は現地の人々にとって受け入れやすく、日本語を学びたいという子供達は多い。マーシャル諸島高校やマーシャル諸島短期大学などでも日本語が履修科目となっており、2005年以降毎年、日本語履修校合同の日本語スピーチコンテストが日本大使館主催で開催されている。同校でも高等部を開設するにあたり、第二外国語として日本語が採用され、現在、2代目JVが指導にあたっている。今後の継続的な日本語教育を目的に後任隊員が要請されており、同校における日本語教育の促進は、同国における日本語教育・文化の浸透に大きく寄与すると考えられる。 | | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・9年生と10年生への必須科目、及び11年生と12年生への選択科目として日本語や日本文化の授業を1日4~5時限担当する(1時限50分間)。 ・年に1度マジュロ市で開催される日本語スピーチコンテストまたは日本文化紹介イベントの実施を補助及び運営するとともに、同校生徒の参加を支援する。 ・配属先の実施するイベントや課外活動への参加も期待されている。 | | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教科書(「げんき」など)、コピー機、パソコン(Windows XP、7)、共用プロジェクター、ラップトップPC、スピーカーなど | | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:女性 50歳代 教員18名、補助教員10名、養護教員4名、事務員2名 (教員の多くは25~30歳程度で教育学士もしくは修士を保有している) | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は (日本語教授法) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 配属先の指定要件 ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由: 配属先の要望 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 気候(海洋性熱帯気候) 気温(28℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--|----------|--------|
| 要請番号(JL 130 - 13- B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 11 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| トンガ | 日本語教育 | | | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 |
| | 2)配属先名 (日本語) エウア高校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 エウア JICA事務所の所在地(ヌクエアロファ)から 南東 方向 30 Km 主要都市(ヌクエアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 0.2 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 公立の中学・高校教育一貫校で、生徒数約490名、教職員数28名である。1993年に日本の一般無償資金協力事業で校舎が建設された。1994年からこれまで家政、技術科教師、PCインストラクター、日本語教師の隊員(合計13人)を派遣しているが、現在は日本語教師のみが派遣されている。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 1995年に初代日本語教師隊員が派遣され、現在に至っている。日本語は選択科目のひとつで3年生～6年生クラスがあり、2014年に7年生クラスが開設される予定である。2010年から配属されていたトンガ人日本語教師が2013年初めに他校に異動したため、2014年に教員養成学校を卒業する日本語履修者の配属を働きかけているが、日本語教育の継続とレベルアップを引き続き図る必要があるため後任隊員が要請された。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①3～7年生の日本語クラスで、19コマ/週(1コマ60分)程度の授業を担当する。 ②トンガ中等教育修了認定試験などのための学習指導を行う。 ③教師スタッフの一員として授業の他、各種学校行事への参加を通じて文化交流を促進する。 ④日本語部会、日本語教師会の一員として、教科書の改訂、書道コンテスト、スピーチコンテスト等の開催に携わる。 |

| | | |
|--|--|--|
| 要 | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 日本語教育教材、教科書(日本語部会作成「さくら」を使用)、CDラジカセ、コピー機、コンピュータ、プリンター | |
| | <table border="0"> <tr> <td>4)配属先同僚及び活動対象者 校長、副校長(女性、40～50代)、教師(男女:エウア高校20～50代) 日本語クラス生徒は13～18才、1クラス的人数は2～17人。 3年生17名、4年生5名、5年生9名、6年生2名、合計33名</td> <td> 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) </td> </tr> </table> | 4)配属先同僚及び活動対象者 校長、副校長(女性、40～50代)、教師(男女:エウア高校20～50代) 日本語クラス生徒は13～18才、1クラス的人数は2～17人。 3年生17名、4年生5名、5年生9名、6年生2名、合計33名 |
| 4)配属先同僚及び活動対象者 校長、副校長(女性、40～50代)、教師(男女:エウア高校20～50代) 日本語クラス生徒は13～18才、1クラス的人数は2～17人。 3年生17名、4年生5名、5年生9名、6年生2名、合計33名 | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 学校で活動するために必要 ・経歴 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(15～33 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 3 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|---|-----------|
| 要請番号(JL 130 - 13- B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 20 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| トンガ | 日本語教育 | | | | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 2) 配属先名 (日本語) ババウ高校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ババウ JICA事務所の所在地(ヌクアロファ)から 北東 方向 300 Km 主要都市(ヌクアロファ)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 公立の中学・高校教育一貫校で、生徒数約800名、教職員数42名である。1985年に日本の一般無償資金協力事業で学校が建設された。1986年からこれまで家政、技術科教師、理数科教師、日本語教師の隊員(合計30人)を派遣しているが、現在は日本語教師のみが派遣されている。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 1986年に初代の日本語教師隊員が派遣され、現在に至っている。日本語は選択科目のひとつで1年生～6年生のクラスがあり、7年生クラスが開講される予定である。2005年からトンガ人日本語教師が配属されているが、まだ6年生以上の授業を担当できるような日本語力が無い。このためトンガ人日本語教師への支援と助言を行い、日本語教育の継続とレベルアップを図る必要があるため後任隊員が要請された。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①4年生と6年生の日本語クラスで約10コマ/週(1コマ60分)の授業を担当する。(7年生クラスが開講されると増える。) ②トンガ中等教育修了認定試験などのための学習指導を行う。 ③日本語部会、日本語教師会の一員として、教科書の改訂、書道コンテスト、スピーチコンテスト等の開催に携わる。 ④近隣のタイルル高校で日本語クラス(3年生)開講されたが、トンガ人日本語教師のみであり必要に応じて支援を行う。 ⑤教師スタッフの一員として、授業の他各種学校行事への参加を通じて文化交流を促進する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 日本語教育教材、教科書(日本語部会作成「さくら」を使用)、CDラジカセ、コピー機、コンピュータ、プリンター 4) 配属先同僚及び活動対象者 トンガ人日本語教師(女性、経験8年、30代) 日本語クラス生徒は13～18才、1クラスは3人～11人 3年生10人、4年生11人、5年生3人、6年生3人、合計27人 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 学校で活動するために必要 ・経験 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(15～33 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|---------------|--------------------|--|----------|
| 要請番号(JL 130 - 13- B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | ○グループ型 ●個別 | ○新規 ●交替 4 代目 | ○2年 | ○1年 |
| トンガ | 日本語教育 | | | ○ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | | JOCV/SV | |
| | | | | 日系/短期 | |
| | | | | 年 月 日 | |
| | | | | から | |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 教育訓練省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) トンガ教員養成学校 | | | | ○ NGO |
| | 3)任地 スクアロファ JICA事務所の所在地(スクアロファ)から 南西 方向 2 Km 主要都市(スクアロファ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 1947年創立のトンガ唯一の教員養成学校(3年制)であり、初等学校、中等学校の教員養成を行っている。教員数は約25名、学生数は約300名。幼児教育、初等教育、中等教育課程があり2学期制(2~7月、8~12月)である。教職課程と2科目の専門課程を履修し、卒業後は当該2科目の教員となる資格が得られる。人文学、自然科学、教育学分野に分かれており日本語は人文学に属している。体育隊員を派遣中で他の配属先の珠算隊員がそろばん授業(週1回)の補佐をしている。現在、敷地内に草の根・人間安全保障プログラムによる「日本語リソースセンター」の開設が2014年に予定されている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 同校の日本語は高校教員養成コースの専攻科目の一つで、卒業生はほぼ全員、トンガの高校で日本語教師となることが期待されていて、日本語の授業を行うのに十分な日本語、日本文化の知識などを備えた教師の養成を目指している。2002年の日本語クラスの開始からこれまで短期3名、長期3名の日本語教育隊員が派遣されている。現在、3年生3名、2年生1名、計4名が日本語と教授法を学んでいるが、学生は教育課程と日本語の他にも一つの教科を選択していることもあり、日本語力が低い。このためトンガ人日本語教師を引き続き養成し、さらに現在開設予定の「日本語リソースセンター」の管理・運営をする必要があるため、後任の要請にいたった。2013年7月まで日本語教師隊員が活動し、現在は教育課程開発部の日本語教育SVが授業を行っている。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①日本語と日本語教授法の授業(現在、週20時間程度)を行う。 ②教育実習中の巡回指導を行う。 ③他校の日本語授業のサポートを行う。 ④学校行事に参加する。 ⑤カリキュラムを作成する。 ⑥日本語教師会(トンガ人と日本人の日本語教師で構成)に参加する。 ⑦日本語リソースセンターの管理を行う。 | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 トンガ国定教科書(さくら I~IV)、みんなの日本語 I、外国人教師のための日本語教授法、パソコン、辞書等 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 スタッフ25名の多くは大卒で30代後半~50代。校長は日本語に堪能。 | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:大学での指導に必要 ・経歴 (実務経験) (2年以上) 理由:実践的な内容の指導に必要 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○単車 ○自転車 ●不要 現職教員特別参加制度 ○可 ●不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(15~33 ℃位) | | 電気(●安定 ○不安定 ○なし) | 水道(●安定 ○不安定 ○なし) | |
| 特記事項 | 通信(☑インターネット可 ☑電話可 ☐無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|---|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 224 - 13- B - 18) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ドミニカ共和国 | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 2 | 2 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) サントドミンゴ自治大学 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) サントドミンゴ自治大学 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 サントドミンゴ特別区 JICA事務所の所在地(サントドミンゴ特別区)から 北 方向 0 Km 主要都市(サントドミンゴ特別区)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 サントドミンゴ自治大学は、1538年創立のアメリカ大陸で最も古く、当国で唯一の国立総合大学で9学部114学科からなり、社会人にも広く門戸を開放している。また、全国にある分校を含めると、正規登録学生数は約12万人を数える。貧富の差が激しい社会環境の中、各自の経済状況に左右されること無く、向学心のある学生に教育の機会を与えるという使命を果たしている。現在、芸術学部でJV(音楽)、体育学部でJV(柔道)、武道場ではSV(剣道)が活動中である。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同校の言語教育センターでは、英語、フランス語、中国語、韓国語を始め12か国語を教えているが、現在日本語のクラスは行われていない。1996年に日本政府の草の根文化無償資金協力により言語ラボラトリー室が整備され、1998年から2002年まで在留邦人が授業を行った実績がある。その後、現地教師により日本語の授業が行われていたが、退職してしまいその後有効な方策を打ち出せない状況が続いた。当国には潜在的な日本語習得希望者が多く、日本語クラス再開に伴い教師の雇用を計画しているため、今回の要請に至った。また、他の大学で活動していたJVが中心になり、①日本語教師会を発足させ、教授法の講義、②国際交流基金の協力を得て中米カリブ日本語教育セミナー、③日本語スピーチコンテストを実施したことから、引き続きこれら活動に対する支援が期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・日本語クラスのカリキュラム作成 ・配属先の学生に日本語を教える ・当国の日本語教師会のメンバーに教授法を教える ・教材作成 ・同僚に日本語教授法を教える | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、テレビ、DVDプレーヤー、プロジェクター | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 語学センターコーディネーター 男性 40代 日本語教師会の教師 6名 男女 20~40代 | | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 経験に基づく指導が必要 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(18~34 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | インターネット・電気・水道などのインフラサービスは一応あるが、完全ではない。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 8 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|--|--------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 248 - 13- B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 12 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| ニカラグ ア | 日本語教育 | | | 1 | 26 / 2 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 3 | |
| | | 3 | / | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 外務省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) 中米大学人文学部外国語センター <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 マナグア県マナグア市 JICA事務所の所在地(マナグア市)から 北 方向 0 Km 主要都市(マナグア市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 中米大学の中にある外国語センターは、広く一般向けに英語・独語・伊語・仏語・日本語・西語コースを開講しており、日本語コースは1日100分×週5日×5週間、計50時間で1レベル終了、2年弱で12レベル(みんなの日本語 I・II 修了レベル)を修了。受講料は1レベル65ドル。その他初心者向け土曜日クラスや文化教室プログラムも実施している。2014年1月まで日本語教師隊員(23/3次隊・10代目)派遣中で、特にニカラグア人講師養成に力を入れている。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 当国ではアニメ等の普及に伴い日本語学習希望者が増えてきている。配属先は現在当国で唯一日本語を学ぶことのできる機関で、無料の日本文化教室や国際文化親善フェスティバルを実施するなど日本(日本語・日本文化)への入り口としての役割を果たしている。2010年3月から隊員による講師養成を開始し、現地講師2名を育成したが、他に仕事を持つ兼業の状態であり専任教師としては期待できず、今後も講師育成は継続していく必要がある。また、配属先では初心者向けコース増設の希望があり、コース担当と現地人講師育成のできるボランティアへの期待は大きい。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 現地講師や将来の講師候補生に対する指導を行う。 ② 平日2時間(夕方1クラス)の集中日本語講座を担当し、現地講師候補の学生とチーム・ティーチング形式で実施する。 ③ ②のコース修了時には修了式の準備および修了生プレゼンテーションの指導を行う。 ④ 金曜日2時間の「日本文化教室」の運営を補助する。 ⑤ 日本大使館主催の日本語スピーチコンテスト(2月予定)の運営、参加する学習者への弁論指導を行う。 ⑥ 国際文化親善フェスティバル(10月予定)での日本文化紹介に協力する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC・ラジカセ・TV・ビデオデッキ・プロジェクター・FAX |

| | |
|---|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 センター長(男性) コースコーディネーター(男性) 現地講師2名(女性) 学習対象者:高校生~社会人、平日コース2クラス、土曜コース2クラス、1クラス10~15名程度、レベル:初級者~『みんなの日本語 I・II』修了レベル/日能力試験N4程度 | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |
|---|--|

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:(現地講師・実習生への指導上) 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|---|------------------|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 251 - 13 - B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 6 代目 | 1 | JOCV/SV |
| パナマ | 日本語教育 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 2 |
| | | | | | 年 月 日 |
| 1) 受入省庁名 (日本語) パナマ工科大学 2) 配属先名 (日本語) パナマ工科大学語学センター <input type="radio"/> NGO 3) 任地 パナマ市 JICA事務所の所在地(パナマ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(パナマ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 パナマ工科大学は国内唯一の理工系大学である。同大学語学センターは1999年に設立され、公開講座として同大学生のみならず一般市民も対象とした数か国語のコースを開講、語学教師の給与や授業で使用する消耗品等については、受講生からの受講料により運営されている。同語学センターは専用の教室を7室有し、日本語のほか中国語、韓国語、英語コースを実施。受講生数により開講クラスが多い場合は、他の学科の教室も利用しコースを実施している。現在日本語(4クラス、教師はJV1名のみ)、中国語(4クラス、教師台湾ボランティア1名)、韓国語(2クラス、教師1名)、英語(76クラス、教師30名)が実施されている。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 配属先日本語コースへは2000年よりSVを4代派遣し協力を行ってきた。その後空白期間を経て短期SVやJVによる協力を再開し、現在長期JVが活動中である。同JVが指導していたパナマ人教師1名が2012年9月から6か月間、国際交流基金の長期海外日本語教師研修に参加したが、諸事情により現在クラスを担当しておらず、現在は同JVが全ての授業を実施している。配属先の日本語講座は人気が高く、受講希望者も多いため、配属先も日本語講座の継続を強く希望しており、授業の継続およびパナマ人教師候補者の育成、指導のため後任ボランティアによる協力が要請されている。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 受講生への直接指導(初級・中級クラス) ② 日本文化紹介、コースに関連する各種イベント、日本語弁論大会運営への協力 ③ 現地人教師候補者に対するカリキュラム、授業の教案、教材作成にかかる指導 | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 執務机、テレビ、ビデオ、DVD、CDラジカセ、プロジェクター、各種日本語指導書(教師用、生徒用各種) | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 語学センター長(女性、40代) 生徒:10代~30代、生徒平均年齢:20~22歳、現在初級4クラス生徒約40名(最大6クラスまで開講可能) | | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学教員として指導するため ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | | |
|--|-------------------|-----------------------------|-----------------------|--|----------|-----------|
| 要請番号(JL 324 - 13 - B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | ○ グループ型 ● 個別 | ○ 新規 ● 交替 14 代目 | ○ 2 年 | 1 26 / 1 | |
| パラグアイ | 日本語教育 | | | ○ 1 年 | 2 / | 年 月 から |
| | | | | ○ ヶ月 | 3 / | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 企画庁 2) 配属先名 (日本語) パラグアイ・日本人造りセンター ○ NGO 3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン)から 東 方向 5 Km 主要都市(アスンシオン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.3 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 パラグアイ・日本人造りセンターは1988年に日本の無償資金協力によって建設された多目的文化センターで、各種語学講座(英・伊・葡・日等)をはじめ、情報処理、各種楽器、葡萄、スポーツ等の講座を有料で開催している。また、同市からの予算は基本的に人件費や光熱費等のみで、運営費は実質的に各種講座の受講料等で賄われている。 | | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 パ日人造りセンターは、一般市民向けに各種語学講座を開設しているが、1990年の隊員派遣によって開設された日本語講座は日本・パラグアイの文化交流上重要な役割を担っている。同センターには過去14代の隊員が派遣されており、近年では有望な日本語教師(パラグアイ人)が育成されてきたものの、2011年末に退職したことから、再び契約教師(日系人や日本語をある程度教えらるるほどの知識を有する現地人)に頼らざるを得ない状況となっている。近年では従来の生け花、茶の湯、着物着付け等以外に、日本のアニメや漫画へ関心を抱く若者の日本語習得数が増加しており、これ等分野に係る説明や意見交換等、また微妙な言葉の言い回し、一般日本文化・習慣等(年間伝統行事、習字、お遊戯、折り紙等)については、外国育ちの間では教えることが出来ないことも多々あるため、日本からのボランティアによる支援が必要とされている。 | | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.センターの日本語講座生徒に対する日本語指導(授業) 2.現地日本語教師の育成(日本語教授法に関する助言・指導等(適宜)) 3.センターで開催される日本文化行事への支援 4.日本語能力試験対策のための短期集中コースの開催(適宜、必要に応じ) 5.日本語教育年間カリキュラムの見直し(適宜、必要に応じ) | | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ホワイトボード、CDデッキ、TV、各種テキスト、問題集等、他必要に応じパソコン、秘書室でコピー機の使用も可能。 | | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 語学部門チーフ1名(C/P、女性48歳) 日本語講座教師4名(日系2名、イタリア人1名、パラグアイ人1名。期間契約教員) 日本語講座生徒(12クラス、約70名) | | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由:実際に授業を受け持つため 理由:同上 | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | | |
| 地域概況 | | 気候(亜熱帯) 気温(0~40 ℃位) | | 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | |
| | | 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 □ 無線) | | 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | |
| 特記事項 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|---|---------|-------|
| 要請番号(JL 324 - 13- B - 14) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| パラグアイ | 日本語教育 | | | 2 | 26 / 1 | 日系/短期 |
| | | | | 3 | / | |
| | | | 2年 | 1年 | ヶ月 | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 2) 配属先名 (日本語) 日パ学院 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アスンシオン市 JICA事務所の所在地(アスンシオン市)から 南 方向 3・Km 主要都市(アスンシオン市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 年間約56万ドルの予算で運営される、私立学校である。幼稚園から高等部まで擁し、生徒数は約250名、教員数は約60名(うち12名が日本語教師)である。教育・文化省の教育カリキュラムに沿った授業を行なっているが、独自の学校カリキュラムとして日本語教育に取り組んでいる。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同校では、過去に日本語教材作成・指導に係るSVが派遣されており、一般日本語教材にあわせて同教材を使用した日本語指導が行われている。当校における日本語学校教育を充実させるため、現地日本語教師への指導を含めた学校生徒への授業を受け持ってもらうことで、校内に日本の新しい風を入れる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 生徒児童への授業(担任受け持ち) 2. 現地日本語教師への指導(勉強会等による能力向上) 3. 日本語教育カリキュラムの見直し支援(必要に応じ) 4. 日本語教材の更新・開発支援(必要に応じ) 5. その他(必要に応じ、その他一般学校行事等支援(例:母の日、父の日、友情の日、民族/文化の日等)) 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務机、椅子、事務用品一般等、基本的に他教員と同じ扱いとなる。 各種日本語教材、パソコン、プリンター、複写機、他 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・校長1名、計13名の日本語教師(日本語コーディネーター及び書道とそろばんの先生含む) ・小中高校生徒:約500人 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (イベ: C) 又は (イベ:) | | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (社会経験) (3年以上) 理由: 同僚や児童への指導がある為 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(2~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | | |
|-------------------------------|---------------|---|---|--|-------|--------|--------|
| 要請番号 (JL 327 - 13 - B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望期間 | 派遣希望時期 | | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | | |
| ペルー | 日本語教育 | | | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | | |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国際協力庁 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ペルー日系人協会 クスコ支部 <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 クスコ州クスコ市 JICA事務所の所在地(リマ市)から 南東 方向 1152 Km 主要都市(クスコ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 クスコのペルー日系人協会はリマにある同協会の支部として、日系人および関係者間のコミュニケーション維持を目的に1980年代に設立された。現在は、日本語教育と日本文化普及事業のみが主な活動になっている。年間予算は150万円程度(語学学校生徒の授業料によるものが大半なので生徒数により変動有)。現在、日本語教師JVが活動中(2013年10月まで)。その後任として、2014年4月から日本語教育JVが新たに活動開始予定。また、現地日本語教師1名が2013年9月から国際交流基金日本語教師長期研修を受講予定。 |

| | |
|---|--|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 任地は世界遺産マチュピチュ観光への拠点になるクスコ市で、日本人観光客も多く訪れる。このため同市には、日本語の習得が就業の機会に結びつきやすいことを知る者、日本文化愛好者、日本への留学希望者が少なくなく、配属先では平均して常に50名程度の学生が日本語を学んでいる。現在3名のペルー人日本語教師が初級レベルを担当しているが、学校をより安定的に運営するにはより多くの学生を確保しなければならず、より魅力的で効果的な日本語指導を目指し、本要請となった。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の一員として、次の活動を行う。 ①ペルー人学生に対する授業担当(初級、中級、上級) ②舞踊、折り紙、書道等(可能なもの)の日本文化の授業担当 ③日本文化(伝統的なものだけでなくアニメ等現代文化、サブカルチャーも含む)を楽しむためのイベントの企画・実施 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン(共有)、ホワイトボード、CDプレーヤー、日本語教材 |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 ペルー日系人協会クスコ支部長:80代男性 教師:女性2名(40代および20代)、男性1名(20代) | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(高地) 気温(0~20 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|---|-------------------|--|---|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 327 - 13 - B - 10) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 | |
| ペルー | 日本語教育 | | | 1 | JOCV/SV | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 1 | |
| 2 | 26 / 2 | | | | | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | | |
| 2) 配属先名 (日本語) ホセ・ガルベス学校 | | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| 3) 任地 カヤオ憲法特別市 JICA事務所の所在地(リマ市)から 西 方向 20 Km 主要都市(リマ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 1926年日本人移民の家族によって開校された。幼稚園、小学校、中学校を有する。生徒数は310名。各学年で週1回の日本語及び日本文化の授業が行われている。挨拶等日本の習慣や文化を重視した教育方針である。ペルー日系人協会とも連携しており、土曜日の8:30から11:30まで日秘文化会館*で行なわれる日本語の授業に児童・生徒が自由参加している。 *ペルーの日系人によって建設された文化会館。日本人歌手のコンサート、日本映画上映等日本文化紹介を行っている。 | | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 小・中学校の日本語・日本文化を担当している現地教師は1名。主に日本語の会話指導に力を入れている。児童・生徒はひらがなや漢字の習得段階で学習意欲が低下する傾向にあることから、ローマ字による日本語教育を行っている。文法については、教科書を使用せず教師独自の方法で指導しているため、適切でない例文も含まれている。配属先は、児童・生徒たちが理解しやすい教材作りが必要であると認識しており、今回のボランティア要請となった。また、児童・生徒たちと触れ合いながら楽しく日本文化を紹介してくれることも期待している。 | | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先の一員として、現地教師と共に次の活動を行う。 ①児童・生徒に対する日本語指導 ②児童・生徒が日本語学習への興味・関心を高めるための教材作成 ③児童・生徒に対する日本文化に関する授業 ④児童・生徒が日本文化に親しむためのイベントの企画・実施 | | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務機 | | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:日本語教師2名:30~40代女性 | | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: ・ 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 気候(砂漠) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 327 - 13- B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ペルー | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ノグチ・ヒデオ学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 リマ市コマス区 JICA事務所の所在地(リマ市)から 北 方向 50 Km 主要都市(リマ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1975年に開校(現在の校名に改称してからは26年目)。幼稚園から中学校まで各学年1クラス。幼稚園は週1回30分、小学校以上は週2回、各45分の日本語の授業が行われている。野口英世の資料を揃え、資料室も設置されている。日本の伝統行事を多く取り入れ、特に子供の日の鯉のぼり作りコンテスト、七夕の願い事、野口英世の命日の行事などに力を入れている。日本の習慣や文化を重視した教育方針であり、幼稚園児には日本語の授業以外にも担任の先生が日本語の歌や挨拶を取り入れている。学生数は298名、教師数は42名、うち日本語教師は4名。年間予算は約180万円。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 小学校までは熱心に日本語を勉強する子どもたちも、中学生になると受験科目でない日本語に前向きに取り組まなくなる傾向にあるため、より魅力ある授業の実施が課題となっている。また、日本で勉強した児童・生徒が11名在籍しており、彼らの語学レベルが高く、これに応えられる日本語教師がいないという問題も抱えている。したがって、配属先としては現地日本語教師の語学力及び教授法のレベルアップも図りたい意向。1999年以降、日本から民間ボランティアを受け入れていたが、十分な成果が得られなかったため、JICAボランティアへの期待は高い。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①日本語教師に対して日本語教授法の指導を行う。 ②児童・生徒に対して日本語教育を行う。 ③児童・生徒に対して日本文化紹介を行う。 ④児童・生徒と共に日本文化に関するイベントを企画し実施する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 事務機 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 日本語教師4名(男性1名、女性3名) 日本語初級レベル 活動対象学生は298名 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(砂漠) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 7 月 10 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 424 - 13 - B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 15 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 / 3 / | 日系/短期 年 月 から |
| ヨルダン | 日本語教育 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ヨルダン大学外国語学部アジア言語学科 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アンマン JICA事務所の所在地(アンマン)から 北 方向 10 Km 主要都市(アンマン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1962年に設立された国立大学で、18学部と大学院および専門機関を有し、約3.8万人の学生が在籍する。外国語学部には独仏西伊の主要言語学科のほか、韓国語、ヘブライ語、トルコ語、ギリシャ語、ロシア語、中国語学科がある。日本語コースは1993年に開設されたものの、教授となる人材が不足していることから学科設立まで至っていない。日本語は外国語学部制の選択必修科目になっており、初級のレベル1~3の授業のほか、日本語文化紹介イベントやスピーチコンテストの開催を行い、日本語や日本文化に興味をもつ学生への貴重な機会を提供している。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 1993年に日本語クラスが開講されて以来日本語教師としてJICAボランティアが派遣されてきている。しかし、いまだ日本語教師として活躍できるヨルダン人の育成まで至っておらず、日本語クラス維持のため、継続した支援が必要とされている。日本語学習者のレベルアップや日本語人材育成のほか、他学部の学生も自由選択科目として履修することが可能であることから、日本文化紹介イベントや公開講座、夏季休暇中の夏季講座の開催など日本語学習者を増やすためのイベントの企画、実施も期待されている。 また、過去にコンピュータ技術隊員が開発したEラーニングシステムのコンテンツ作成および改良を行い、学習者が自己学習できる教材を作成することが求められている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・1コースにつき50分授業、週3コマ、レベル1~3の授業を担当する。 ・前期および後期の期末試験を実施し、成績評価をする。 ・7月~8月の夏季休暇中は夏期講座として日本語補習授業を行う。 ・日本語スピーチコンテストの企画、運営。 ・JAAJ(JICA帰国研修生同窓会)における日本語クラスの授業および会話クラブを担当する。(週3コマ) ・日本語Eラーニングシステムのコンテンツ作成および更新作業。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 プロジェクター、ビデオカメラ、パソコン、ICレコーダー | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 アジア言語学科長 | | | | 5) 活動使用言語 (アラビア語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (2年以上) 理由: 大学生対象のため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(地中海性気候) 気温(0~40 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 26 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|---|---|---|
| 要請番号 (JL 472 - 13 - B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| スーダン | 日本語教育 | | 年 月 から | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 高等教育・科学研究省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ハルツーム大学アフリカ・アジア研究所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ハルツーム州ハルツーム市 JICA事務所の所在地(ハルツーム)から 北 方向 0 Km 主要都市(ハルツーム)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ハルツーム大学はスーダン最大規模の国立総合大学である。大学内研究機関のひとつであるアフリカ・アジア研究所は、アフリカ・アジア研究、民俗学と、スーダンおよびアフリカ言語の研究分野を持つ。日本語教育は1990年代まで国際交流基金等の支援で教科書などが提供され、1992年にはJVが派遣されたが、わずか1年で撤退となった。多くの要望により2011年から日本語コースが再開され、短期JV1名が2012年6月から2013年6月まで活動した。2013年10月にはコース再開を目指し長期JVが派遣予定。また短期JVを募集中で、コースの強化を図る予定。本募集では派遣中のJVと共に、長期的なコースの継続と安定を図る。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 コースは3ヶ月区切りのオープン制で、大学内外の50名程度の登録者に対し、それぞれのレベルに合わせたコースを実施するため、2013年6月まで短期JVが授業を担当していた。また同年10月から長期JVがコースを再開する予定である。コースは6段階のうち、現時点ではレベル1、2の学習者しかいないため、さらなるレベルアップを図るためにもコースの継続とクラス分けが重要となっている。これに関して、派遣中のJVと協力・分担して授業を実施・運営していく必要がある。また純粋に日本語を学びたいと考える学生のみならず、文化的に日本への興味を抱く知的好奇心の対象としての日本愛好者も多いため、そうした人々との交流を図り、彼らの活動支援も期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下に示す点を踏まえ、同僚講師や派遣中JVと共に日本語教育の運営、指導に対する支援に取り組む。 1. 授業の実施 2. 同僚講師の授業実施支援・助言 3. コース運営、カリキュラムや教材の見直し 4. その他、研究所と共に日本文化紹介やシンポジウム開催など、授業外の支援 5. 日本愛好者団体等との連携・調整 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 1990年代の教科書(国際交流基金「日本語初歩」、凡人社「総合日本語」、筑波ランゲージグループ「Situational Functional Japanese」など)、日英辞書、音声教材(カセット) | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 講師1名(男性、50代) 1986年から1994年にかけて日本政府の奨学金で日本へ留学。帰国後、日本語指導(7年程度)等に従事。日本語レベルは日常会話程度。 | | | 5) 活動使用言語 (アラビア語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (実務経験) (3年以上) 理由: 経験で得るアイデアが必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(砂漠) 気温(30~45 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|--|-----------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 78) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 日本語教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ドマ大学人文学部外国語学科 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ドマ州ドマ市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 西 方向 400 Km 主要都市(ドマ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ドマ大学は、2007年開校の国立総合大学で、現在、6つのカレッジ(教育・人文社会科学・情報・自然科学・地学・医学看護学)が、半自治権を持って運営されている。中心街から約8km離れた6,000ヘクタールの敷地内で、1,000人余りが働き(教師約600名)、約20,000人の学生が勉学に励んでいる。国家成長ビジョン2025によれば、すべてのカレッジが開設されると、学生数40,000人の東アフリカ最大の総合大学となり、様々な分野の教育・研究が行われる予定である。大学の予算は年間約1億円。新学期は10月に始まり、前期(4ヶ月)と後期(4ヶ月)とに分かれる。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 日本語主専攻プログラムの開設を目指す大学側からの申請により、2009年に短期ボランティアが派遣され選択科目の一つとして日本語が教えられたことを皮切りに、2010年からは日本語BA(Bachelor of Art)プログラムが開設され主専攻として日本語が教えられることになった。大学が抱える問題として慢性的な講師不足があり、日本語BAプログラムにおいても、講師がJICAボランティアしかいない状態が続いている。この現状を打開するため、大学は日本語BAプログラムの講師雇用に向けて動き始めた。しかし、現状として依然雇用には至っておらず、ボランティア1人ですべての履修科目の講義を実施することは実質不可能であるため、大学との協議の上、ボランティア2人体制をとることとなった。2013年7月よりSV1名が活動中であり、協働による活動が期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学生への講義(2-3コース/週(1コース=講義2時間、演習1時間の計3時間/週)を担当 コース名「Intermediate Japanese Grammar」「Intermediate Japanese Listening/Speaking」 「Intermediate Japanese Writing/Reading」「Introduction to Japanese Culture」など 2. 試験作成、実施及び評価 3. シラバス及びカリキュラムの見直し | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教科書:「Japanese: the Spoken Language (JSL) Yale University Press」「みんなの日本語」など。設備:プロジェクター、教室 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教師数:外国語学科全体で約30名、日本語BAプログラムはボランティアのみ 日本語BAプログラム学生数:1年生7名(2013年7月現在) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:業務遂行上必要 ・経験 () () 理由: ・ 実務経験 1年以上 理由:業務遂行上必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | | |
|------------------------------|---|-----------------|----------------------|--------|---|--------|-----------|
| 要請番号(JL 745 - 13 - B - 18) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | ○ グループ型 ● 個別 | ○ 新規 ● 交替 6 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| キルギス | 日本語教育 | | | ○ 2 年 | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | ○ 1 年 | 2 | 26 / 2 | |
| | | ○ ヶ月 | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キルギス民族大学 | | | | | ○ NGO | |
| | 3) 任地 ビシュケク市 JICA事務所の所在地(ビシュケク市)から 北 方向 0 Km 主要都市(ビシュケク市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 キルギス民族大学は、1951年に設立されたキルギスを代表する国立総合大学である。ボランティアの活動先となる東洋学部は、日本語、中国語、韓国語、ペルシャ語等の学科からなり、これまで日本語学科にはJICAボランティア5名が派遣された実績がある。また、コンピューター・インターネット学部にはSVが活動中である。日本以外に、中国語のボランティアが孔子学院で活動中である。同大学は、JICA技術協力プロジェクト「キルギス日本人材開発センター」のカウンターパート機関でもある。 | | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 キルギスの日本語教育は、独立後の1991年に始まり、これまで5代にわたってJICAボランティアが派遣されてきた。しかしながら、日本語教師の待遇、就職先等の問題から日本語学習者が減少しているのが現状である。大学側は、今後、少数精鋭でも日本語レベルの高い人材を育成するため、付属高校の卒業生を対象に特別クラスを設置し、高度日本語人材育成を目指している。 前任者は、既に大学だけでなく、付属高校でも活動を実施している。また、キルギス日本語教師会のメンバーとして、弁論大会等のイベントの運営・実施にも積極的に協力している。 | | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 東洋学部1~4年生の学生を対象に日本語・日本文化紹介授業を行う(1コマ、80分授業、週10コマ程度) 2. 特に付属高校から日本語を学んでいる学生のクラスにおいて、中上級レベルの学生に対する授業を受け持ち、弁論大会・留学試験等への支援を行う。 3. 東洋学部だけでなく、大学付属高校の日本語指導レベルアップのため、授業への助言および現地日本語教師への支援を行う。 4. キルギス日本語教師会へ積極的に参加し、他の教育機関の教師たちと連携した活動(日本語弁論大会等)を行う。 | | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、TV、ビデオ、DVD、CD・テープレコーダー、プロンター、コピー機等。日本語講師室。 | | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 日本語教師(女性、4名、内、日本語検定2級2名、20~30代) 4人の内3人が国際交流基金の教師研修参加経験あり。 | | | | 5) 活動使用言語 (ロシア語) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由: 現地教師への指導も含むため 理由: | | | | 6) 生活使用言語 (ロシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 地 域 概 況 | 気候(内陸性) 気温(-20~40 ℃位) | | | | 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | |
| | 通信(☑ インターネット可 ☑ 電話可 □ 無線) | | | | 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | |
| 特記事項 | | | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 9 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 763 - 13 - B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 6 代目 | ● 2 年 | 1 26 / 1 |
| ウズベ キスタン | 日本語教育 | | | ○ 1 年 | 2 26 / 2 |
| | | | ○ ヶ月 | 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 司法省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) タシケント法科大学 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 タシケント州タシケント市 JICA事務所の所在地(タシケント)から 北 方向 0. Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 タシケント法科大学は旧タシケント国立大学法学部を母体として1991年に設立された国内で唯一の法曹人材養成機関。3学部と大学院があり、学生数は約550人。大学内に、名古屋大学との共同プロジェクトにより設立された日本法研究センターがあり、現地講師、名古屋大学派遣の日本人講師、JICAボランティアが協力して、日本語で日本法の研究が出来る人材の育成に取り組んでいる。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 2005年に設立された日本法研究センターでは、「日本語による日本法教育」を実践するため、初級から上級に至る日本語教育と、日本の社会制度や法律の基礎に関する講義等を行っている。2012年までの修了生35名のうち20名が、名古屋大学をはじめとする日本の大学院への進学を果たしている。過去数代にわたるボランティア派遣等により、現地人日本語教師も育成されつつあるが、学生が4年次修了時に日本の大学院で日本法を研究できるだけの能力を身に付けられるよう、引き続きボランティアの協力が求められている。なお、日本の社会制度等を教えるSVが、現在同じ配属先で活動中である。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①1年～4年次の学生を対象とした、週4～5コマの初級～上級日本語授業の実施(担当クラス等は配属先と協議して決定する) ②日本語教育勉強会等の実施及び、現地日本語教師の授業の補佐 ③学内弁論大会や日本文化紹介講座の企画、実施 ④ウズベキスタン日本語教師会に関わる活動の実施(日本語弁論大会、日本語能力検定試験など) | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ビデオ、CDラジカセ、DVDプレーヤー、パソコン、スキャナー、コピー機、プロジェクター | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 日本人法学教師1名(30歳代、男性) 日本人日本語教師1名(女性) 現地人日本語教師3名(20歳代、男女) | | | 5) 活動使用言語 (ウズベク語) 6) 生活使用言語 (ウズベク語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学生を教えるため ・経歴 (指導経験) (2年以上) 理由: 初級から上級まで対応が必要 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(大陸性ステップ) 気温(-20～40 ℃位) 電気(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(● 安定 ○ 不安定 ○ なし) | | | | |
| 特記 事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|--------|-----------|
| 要請番号(JL 763 - 13- B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G157) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 7 代目 | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| ウズベ キスタン | 日本語教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 中高等専門教育省 2) 配属先名 (日本語) 世界経済外交大学 <input type="radio"/> NGO | | | | | |
| 概要 | 3) 任地 タシケント州タシケント市 JICA事務所の所在地(タシケント)から 北 方向 0 Km 主要都市(タシケント)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| 要請 | 4) 配属先の規模・事業内容 首都にある大学で、学生数は約1200人。国際経済学部、国際法学部、国際関係学部の3学部がある。外国語教育に力を入れており、第一外国語のほかに、第二外国語として韓国語、日本語を含む9言語講座がある。ロシア、EU諸国、韓国、日本からの機材、教材のほか、韓国援助機関KOICAからの教師派遣も行われている。日本の早稲田大、筑波大、東京大などから短期のグループ留学生を受け入れ、交換プログラムも行われている。国際経済学部において、国際金融を教えるSV1名が活動中。 | | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 現在まで6代派遣されてきたJVの協力により、第二外国語の日本語講座に必要な機材や教材は基本的に揃い、日本語を学習する環境は整ってきている。第二外国語としての人気が高くなっている日本語学科を発展させるため、現地のベテラン教師が日本語学科長になったが、授業を主に実施する現地教員は2名しかいない。8クラスに分かれた学生85名に適切な授業を提供し、学内外の各種イベントに対応するために、ネイティブ日本語教師としてボランティアによる協力が求められている。 | | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.2年生から5年生の日本語クラス(10~15名)の授業を週8~10コマ担当し、直接学生への授業を行う。 2.同僚教師との勉強会を主宰し、日本語教授法について互いの技術研磨を行い、協働で授業の質を向上させる。 3.日本語能力検定受験者の特別クラスを担当し、学生へ直接指導する。 4.学内の日本語弁論大会や、漢字コンテスト、文化イベントに協力する。 5.日本語教師会の活動(日本語弁論大会、日本語能力検定試験等)に積極的に協力し、配属先大学に還元する。 | | | | | |
| 要請 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、LL教室、CDラジカセ、DVDプレーヤー、パソコン、プロジェクター、コピー機、テキスト(みんなの日本語I・II、J Bridge) | | | | | |
| 要請 | 4) 配属先同僚及び活動対象者。 東洋言語学学科長(日本語教師経験10年以上、女性、40代) 日本語教師2名(日本語教師経験10年、8年、女性、30代、20代) | | 5) 活動使用言語 (ウズベク語) 6) 生活使用言語 (ウズベク語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (日本語教授法) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学での活動には必要 ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由: 即戦力として活動するため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(大陸性ステップ) 気温(-20~40 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | (ここに特記事項を記入してください) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 006 - 13- B - 09) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| インドネシア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) バルー第一中学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 南スラウェシ州バルー県 JICA事務所の所在地(ジャカルタ)から 東 方向 1300 Km 主要都市(マカッサル市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 創立1959年の公立中学校。2007年から3年間実施された「前期中等教育改善総合計画プロジェクト」のモデル校であった。また、1994年から1998年にかけてこの地域に村落開発普及員、家畜飼育、養護のJVが派遣されていたこともあり、配属先はJICAのプロジェクトやボランティアについて良く認識している。全校生徒数は約900名。学校の年間予算は約700万円。 |

| | |
|------|---|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 インドネシアの理科教育は、2004年のカリキュラム改訂により、従来の生物、物理に化学を加えた「総合理科」が導入された。しかし、配属先では理科教員の担当科目に対する知識が全般的に不足しており、また、実験を指導できる教員も生物担当教員以外にはいない。2012年より派遣されている初代JVが、現地教員とのチームティーチングにより、物理を中心に授業や実験を行っている。化学については現在、物理の教員が教えているが、知識に乏しくきちんとした授業が実施できていないのが現状である。そのため、今後は特に化学の指導においてJVによる支援を要する。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 化学科目において同僚教員とチームティーチングで以下の活動を行い、生徒だけでなく教員の理解力向上も目指す。 1. 化学の授業を実施する 2. 実験室にある実験キット等を使った実験を行う 3. 配属校や地域の理科教師勉強会への参加等を通して、理科教育の質の向上を図る ※物理も教えることができれば尚良いが、必須ではない。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、各種実験キット |

| | |
|--|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 理科教員:生物3名(男2、女1)、物理3名(男1、女2)、40~50代、大卒・院卒 生徒数:976名(13~15歳) 各学年に9クラスあり、1クラスにつき40分の理科授業が週に4コマ程度 1クラスあたりの人数は35名前後 | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) |
|--|--|

| | | |
|-------|--|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚講師とのバランス ・経験 () () 理由: ・ 教室での指導経験 理由: クラスコントロールが必要 | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 006 - 13 - B - 37) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | ● 2 年 | ○ 1 年 |
| インドネシア | 理科教育 | | | ○ ヶ月 | 1 |
| | | | | JOCV/SV | 日系/短期 |
| | | | | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 26 / 2 | |
| | | | | 26 / 3 | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ゴンダンウェタン中学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 東ジャワ州パスルアン県 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 東 方向 1000 Km 主要都市(スラバヤ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 東ジャワ州パスルアン県に位置する、生徒数725名、教師数35名の公立中学校。JICAのPELITAプロジェクト(前期中等教育の質の向上プロジェクト。2013年3月終了。)の対象地域にある中学校で、授業の質の改善と生徒の学力向上へ取り組んでいる。配属先年間予算は440万円程度。他国支援などは入っていない。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 上記JICAプロジェクトにより、学校運営改善や教師の質向上には改善が見られるが、広大な国土を持つインドネシアでは、地域間の教育の質のばらつきが依然として課題となっている。県の教育局は、地域密着型のJICAボランティアがプロジェクトとの緩やかな連携を保ちつつ、地域の教師勉強会などを通じて情報を共有することにより、地域全体の教育の質を上げていく効果が出ることを期待して、本要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.プロジェクトで紹介されている授業研究の内容が、配属校及び近隣の学校で定着するよう、支援・助言を行う。 2.効果的で分かりやすい授業実現のため、授業計画の立案や授業における実験の導入を行う。 3.TT(チームティーチング)を通じて、現地教師の知識や指導力の向上をサポートする。 4.MGMP(他校を含めた地域の教師勉強会)に参加し、地域での情報交換・情報共有を活性化させる。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、物理・生物教材、実験器具その他(ピーカー、試験管、顕微鏡、人体模型など) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 理科教師4名(30~50代、内1名は非常勤講師) | | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:教師陣が大卒以上のため ・経歴 () () 理由: 実務経験1年以上 理由:教員への指導を行うため | | | 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~30 ℃位) | | | 電気(●安定 ○不安定 ○なし) | |
| | 通信(☑インターネット可 ☑電話可 □無線) | | | 水道(●安定 ○不安定 ○なし) | |
| 特記事項 | 生徒の多くがジャワ語を話すため、授業は現地教師とTTの体制で実施する。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 006 - 13- B - 39) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| インドネシア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育文化省 2) 配属先名 (日本語) ジェティス バントゥール中学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ジョグジャカルタ特別州 バントゥール県 JICA事務所の所在地(ジャカルタ市)から 東 方向 600 Km 主要都市(ジョグジャカルタ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0 時間) | | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 ジョグジャカルタ特別州バントゥールに位置する公立中学校である。2009年から2013年にJICAと教育文化省が実施中の「前期中等教育質の向上プロジェクト」の対象校である。全生徒数525名。学校の年間予算は約330万円。近隣の中学校に配属されていた理数科教師JVが訪問して支援を行っていた。(2013年10月帰国) その他外国からの支援はない。 | | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 インドネシアの教育制度は6-3-3制で小中学校は義務教育とされているが、教育の質の悪さに起因する学校への興味喪失や、経済的理由に拠る中途退学等で、最終年度までの就学を達成できない生徒が多い。前述プロジェクトでは、学校運営改善や教師の質の向上等に取り組んでいるが、地域密着型ではない。また対象地域が広範に渡るため、学校単位での成果発現にはばつきがある。地域密着型のボランティアを派遣し、プロジェクトと緩やかな連携の下での活動を通じ、さらなる教育の質の向上を図るために、県教育局から本件派遣要請が出された。若いJVは周囲から研修生と見られることもあるが、周りの人間を巻き込んで協力と理解を得ながらの活動が期待される。 | | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 理科の科目について、以下の業務を行う。 ①前述「前期中等教育質の向上プロジェクト」の研修で紹介される授業研究を、配属校および近隣の学校にて定着できるよう、教員向け勉強会の開催などを通して共有し、必要な支援・助言を行う。 ②授業計画の立案、授業における実験の導入を推進する。 ③TT(チームティーチング)の授業を通して、現地教員の指導力の向上を図る。 ④MGMP(他校を含めた地域の教員勉強会)に参加し、地域での情報交換・情報共有を活性化させる。 | | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、物理・生物教材 | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 理科教師 5名(20代後半～50代前半、大学卒、経験3～30年) 数学教師 5名(30代後半～50代前半、大学卒、大学院卒1、経験8～27年) | | | 5) 活動使用言語 (インドネシア語) 6) 生活使用言語 (インドネシア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (高・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚が大卒以上であるため ・経験 () () 理由: ・ 実務経験1年以上 理由: 現地教員への助言のため | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25～35℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 012 - 13- B - 17) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| フィリピン | 理科教育 | | | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / / | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国家経済開発庁ボランティア調整局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) オアス コミュニティ大学 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アルバイ州オアス町 JICA事務所の所在地(マニラ)から 南東 方向 500 Km 主要都市(レガスピ市)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 国家経済開発庁ボランティア調整局が指定する開発最重要州の一つであるアルバイ州オアス町の配属先は、地元の経済的に大学に通えない高校卒業生を対象にしたコミュニティ大学で、主に教師の養成を目的とした大学である。年間の予算は約9百万円、学生数850名、教職員数53名。現在すべてが非正規職員で、教育省、大学退官後のボランティアや大学卒業後の若い教職員が務めているが、10名程度は将来、正規職員として雇用される予定あり。なお、2年過程のホテルマネジメントのコースと司書コースを新たに設立し運営を開始している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 アルバイ州は国家経済開発庁ボランティア調整局が指定する開発最重要州となっており、貧困率が高い州である。同配属先はそのような貧困を背景に、オアス町の高校卒業生の進路支援のためコミュニティ大学を運営している。同大学は基本的に卒業生を教師として育成し地域に還元させたいとしている。しかし、理数科の担当教師の能力が低く、その向上が期待されていること、同大学を中心にして将来の教師への支援(Pre-Service)、周辺地域学校の教師への支援(in-service)が期待されていることから今回の要請となった。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 担当教師とのコミュニケーションを密にすることに努め、その後以下の活動が期待される。 ① 担当教員への定期的なワークショップの実施 ② 地元現役教師たちへの、研修・ワークショップの実施(in-service) ③ 教材の工夫・改善 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 PC、LCD | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長 男性 40代 C/P 女性 2名 50~60代 1名は博士号取得者 職員全体 53名 30~70代 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・ 免許 (高・理) 又は () ・ 性別 () 理由: ・ 学歴 (大卒) (理系) 理由: 実践的な内容の指導に必要 ・ 経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性) 気温(25~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 20 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 021 - 13- B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| カンボジア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育青年スポーツ省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) シェムリアップ州小学校教員養成校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 シェムリアップ JICA事務所の所在地(ブンペン)から 北 方向 314 Km 主要都市(シェムリアップ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1980年創設の2年制の小学校教員養成校で、修了生はシェムリアップ州やオッドーミンチェ州の小学校教員となる。教員数36名、学生数は1年生270名(うち女性196名)、2年生242名(うち女性174名)。学生は、心理学、クメール語、数学、理科、社会(音楽や倫理などを含む)、体育等の授業を履修する。年間予算はおおよそ2万米ドル。敷地内には付属小学校(児童数約500名)がある。また、日本の草の根無償資金協力で建設された理科実験棟がある。日本のNGOハートオブゴールドの体育授業支援の実績がある。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 カンボジアにおいて、産業人材の育成につながる理数科教育は重要な課題の一つである。現在、中等理数科教育支援のJICA技術協カプロジェクトを実施中。配属先では、2012年3月まで理数科教師JV(長期)が派遣され、同僚教員への理科実験の手法を指導した。草の根無償資金協力により理科実験棟も整備され、理科実験の授業を実践する環境は整っているものの、現地の教員が自力で実施できるレベルには至っていない。そこで、現在同州教育局に配属されているSVが、同校での理科実験の取組みを活動の一部に取り入れた。SVの活動終了後も、同校への理科実験の継続支援が求められ、今回の要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 学生に対して理科実験を実施する。 2. 理科の授業に実験を取り入れやすくするように、同僚に実験のアイデアの提供や、実験準備への協力をする。 3. 理科実験に関わる掲示物の作成や掲示方法について支援する。 4. 自ら教科書等に沿った理科の予備実験を行い、学生に対して実験方法等について指導、助言する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 カセットコンロ、アルコールランプ、顕微鏡、薬品、ガラス器具、浄水器、磁石、豆電球、空気入れ、注射器、銅線、三脚、金網、職員室のプリンター | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 副校長 50代 男性 理科技術担当 40代 男性 同僚教員 30代 女性 | | | 5) 活動使用言語・ (クメール語) 6) 生活使用言語 (クメール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 理科実験のための知識が必要 ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~ 38 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記 事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 8 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 021 - 13 - B - 11) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| カンボジア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育青年スポーツ省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) パタンバン州教育青年スポーツ局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 パタンバン JICA事務所の所在地(フノンペン)から 北西 方向 290 Km 主要都市(パタンバン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先の視学課は、日本の教育委員会指導主事に当たる視学官が所属する部署であり、州内の各学校(小学校199校、中学校90校、高校23校)の授業内容をモニタリングし、課題や問題点を抽出し、定期的にフノンペンで開催される報告会で情報共有を行っている。年間予算は約188万米ドル。現在、同配属先には短期ボランティア(理数科教師)が配属され、JICA「理科教育改善計画プロジェクト」(STEPSAM2)で推進する探求型授業や授業研究の実施状況を確認している。なお同州には、アジア開発銀行の支援で設立されたリソーススクール(理科実験室やコンピューター室などを有する学校、1校稼働中、1校建設中)が設置されている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 現在カンボジアにおいては、理数科教師隊員が小学校教員養成校や中学校教員養成校に派遣され、主に理科実験の指導を通じた生徒中心型の授業を推進している。当地ではまだまだ座学中心で教員が教えることを暗記するのみの授業がほとんどであり、生徒に考えさせる機会が乏しい。ボランティアの役割はそのような点を改善することである。各教員養成校で導入されつつある生徒中心型の授業が、実際の小中学校でも実践されるようにモニタリングすることが視学課の役目であるが、視学課職員の理科実験知識も不十分のため、現在短期ボランティアが支援している。短期ボランティアの任期終了後も、引き続き、視学課職員を支援していく必要があることから、長期ボランティアの要請に至った。また、アジア開発銀行の支援で設立されたリソーススクール(理科実験室などを有す)の理科実験器具を用いた勉強会の開催も求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.パタンバン州の学校における理科実験の実状を調査し、年間計画に位置付けて導入できるように活動計画を策定する。 2.リソーススクールや周辺校において、教員や学生に対し理科実験指導を行う。 3.州内の中学校・高等学校の理科教員に対して理科実験手法の助言をする。 4.他の理科教育JVと共に理科実験キャラバンを実施する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教育局内の執務スペース(ただしPCはボランティアで用意)、リソーススクールの実験室および実験器具 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 局長 40代男性 理科担当職員 40代男性(技プロ研修参加者) 地域内中学・高校理科教員 | | | 5) 活動使用言語 (クメール語) 6) 生活使用言語 (クメール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 理科実験を指導するため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 8 日

| | | | | | | |
|------------------------|---|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 021-13-B-13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| カンボジア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育青年スポーツ省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) バンティアミンチェ小学校教員養成校 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 バンティアミンチェ州シソボン JICA事務所の所在地(プノンペン)から 北西 方向 360 Km 主要都市(プノンペン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 6 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 カンボジア国内に18校ある小学校教員養成校の一つ。入学対象者は高校卒業後の生徒であり、履修期間は2年間。卒業後はバンティアミンチェ州内の小学校教員となる。教員数25名、学生数は1年生90名、2年生108名の各4クラス。敷地内には児童数231名の付属校が併設されている。また、アジア開発銀行の支援による理科実験棟がある。現在、理数科教師隊員(23年度派遣)と小学校教諭(情操教育)(22年度派遣)が活動中。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 現在カンボジアの教員養成校では理科実験を通じた授業の質の改善が進められている。しかしながら、配属先の教員の理科実験に関する知識はまだ乏しく、アジア開発銀行により支援された機材も十分に活用されていなかった。そこで、新規のボランティアとして現在活動中の理数科隊員が派遣され、実験を通じた生徒の興味・理解を深める授業を推進している。将来的には、同校卒業生の赴任先の小学校でも理科実験をできるように、身近で入手可能な材料を用いた実験手法を、理科教員が生徒に対して指導できるように継続してボランティアの派遣が要請された。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 同僚教員とともに実験器具や実験室を整理整頓し、理科の実験器具が使いやすい環境を維持する。 2. 理科のカリキュラムに沿って、生徒の理解や興味を深めるための実験手法を同僚教員と一緒に検討し、同僚教員が実施できるようにサポートする。 3. ほかの理数科教師隊員とともに理科実験ワークショップを企画し、実施する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 礎的な理科実験器具、実験室。ただし、現在は実験室は実験器具の保管場所となっており、実際の実験は、各教室に機材を運んで実施している。 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長 女性50代 理科担当 女性1名(20代) | | | | 5) 活動使用言語 (クメール語) 6) 生活使用言語 (クメール語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は (小学校教諭) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 理科実験を指導するため ・経験 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(22~38 °C位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 024 - 13- B - 14) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ラオス | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | | 3 | 26 / 3 | | | |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 | |
| | 2) 配属先名 (日本語) チャンパスック教員養成短期大学 <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 チャンパスック県パクセー郡 JICA事務所の所在地(ピエンチャン)から 南東 方向 675 Km 主要都市(パクセー)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先には、高等学校卒業生(12年修了者)を対象とする1年間の小学校及び幼稚園教員養成課程と、理数科、社会科、英語科のコースを持つ3年間の中学校教員養成課程がある。学生数は約2,200名、教員数は171名、年間予算は約1,500万円。過去にJV2名(理数科教員)及びSV1名(理数科教育(生物))が派遣された。 | |

| | | |
|------------------|---|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 配属先の教員は、JICAの技プロ「理数科教員養成プロジェクト」(2004~2008)や、これまでのJV及びSVによる活動等により、中学校教員養成課程においては、一定レベルの指導技術、知識を有するに至ったものの、その後の教員の異動等により、現在の教員たちは必ずしも体系的知識と技術を有していない状況にある。今般、これまでJICAボランティアの派遣が行われていない物理科を中心とした教員の質の向上に対する協力が求められて、本要請となった。 | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 授業を通して、指導法の工夫・改善を支援する。 2 副教材の工夫・改善、及び作成方法を同僚教員に指導する。 3 理科実験室の管理活用方法を支援し、実験を伴う授業の方法を示唆・支援する。 | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科(各科共用)実験室のほか、プリンター、コピー機、基本的な教材・教具等は揃っている。 | |
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(男性、50代、理数科) 教務担当副校長(男性、50代、数学) 中学校教員養成課程自然科学科長(男性、50代、物理) 中学校教員養成課程自然科学科教員(物理6名X20代3名、30代1名、40代2名) | 5) 活動使用言語 (ラオス語) 6) 生活使用言語 (ラオス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の修学レベルと合わせる ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------------------|---|
| 地 域 概 況 | 気候(サバナ) 気温(20~35 °C位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------|--------------------|
| 特記事項 | 通勤上での自転車の必要性はあり得る。 |
|------|--------------------|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 024 - 13 - B - 15) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ラオス | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ラオス国立大学教育学部自然科学科 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ビエンチャン市サイタニー郡 JICA事務所の所在地(ビエンチャン)から 北 方向 13. Km 主要都市(ビエンチャン)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 国内に5校ある国立大学の1つであり、12の学部から構成されるラオス国内最最高等教育機関である。教育学部自然科学科は、生物・化学・物理・数学の4専攻があり、約850名の学生が同科に在籍している。かつてSwedish International Development Cooperation Agencyやフランス系NGOから単発的な支援(物的支援や短期ワークショップ開催等)を受けたことがある。2009年から生物教育のSV派遣(平成21年度派遣)が始まり、現在は2代目のSVが活動中(23/4)である。配属先年間予算は約1,700万円。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 教育学部自然科学科物理専攻の教員は皆20歳代で、知識と経験が不足していることから、実験授業に自信を持ってないでいることが課題。さらに、現在使用されている教材は約20年前に作成されたもので、改訂の必要がある。ラオスの理科教育全体の向上には、大学教育の現状を改善することが不可欠であり、本要請に至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 物理に関わる指導を、指導案の作成に基づいて、教員たちが可能な限り多く実施できるよう支援する。 2 20年前に作成された現状の教材を再検討し、誤り等を見つけ、修正する。 3 修正された教材に基づいて実験を整理し、実験の実施が可能になるような手立てを構築する。 4 マルチメディアを利用した教育の質の向上を支援する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科分野共用実験室、力学・静電気学・電気学・音響学・光学の教材、英語で書かれた物理学の教科書など | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 物理専攻リーダー一男性(40代後半・修士・経験24年) 同僚物理教員:男女5名(20代・学士4名と修士1名・経験1~4年) | | | 5) 活動使用言語 (ラオス語) 6) 生活使用言語 (ラオス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 大学勤務となるため ・経験 (教員経験) (5年以上) 理由: 大学教員へ指導するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(20~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 024 - 13 - B - 17) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ラオス | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |

| | | |
|-----------------------|---|---------------------------|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 | <input type="radio"/> NGO |
| | 2) 配属先名 (日本語) カンカイ教員養成短期大学 | |
| | 3) 任地 シェンクワン県ベック郡 JICA事務所の所在地(ピエンチャン)から 北東 方向 390 Km 主要都市(ピエンチャン)までの交通手段及び所要時間(飛行機 で約 0.8 時間) | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先には、1年間の幼稚園教諭・小学校教員養成課程と、理数科、社会、英語コースを持つ3年間の中学校教員養成課程がある。また理数科には、数学部門と自然科学部門(物理・化学・生物)があり、隊員が所属するのは後者の自然科学部門である。2012年の学生総数は3,315名(男女ほぼ半数ずつ)で、うち本件JVが配属される理数科の学生数は713名(数学372、自然科学341、65%が男性)。卒業生の約9割が教職に就く。総教員数は140名で、理数科教員数は50名である。今年度事業予算は、約200万円。2009年からJV(理数科教員)の派遣が開始された。 | |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 JICAの技術協力プロジェクト「理数科教員養成プロジェクト」(2004~2008)等の支援により、教師たちの理科教育への意欲・指導力は向上してきている。またJV派遣を通じて、周辺中学校での実験指導や、教員養成校での系統学習などにおいて、一定の成果が見られるようになってきている。しかし経験と知識はまだまだ不十分であり、学生向け学習教材やそれに伴う教員用の指導書の作成には至っていない。約9割の学生が教職に就くことから、教員養成校の理科教育の改善と向上は、地域において将来展開される教育の質に大きく影響するため、教員の指導力の向上、知識の習得への支援を要請された。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 現状の理科授業をモニタリング・把握し、教員としての知識・指導方法等に関する改善点を助言すると共に、その向上を図る。 2 模範授業を積極的に行うことで、教員の知識と指導方法の改善を促し支援する。 3 学生用の学習教材及び教員向けの指導書の工夫と作成を行い、学習活動に活かす。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 椅子・机、コンピュータ、プリンター、インターネット |

| | | |
|------------------|---|---|
| 要 請 概 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 理数科 教員数 ※一部留学中 ・数学部門: 25名、自然科学部門: 物理9名(男性7、女性2)、化学8名(男性4、女性4)、生物8名(男性6、女性2) ・経験年数: 1~5年29名、6~10年4名、11~15年10名、16~20年2名、20年以上5名 ・学歴: 学士 40名、修士10名 | 5) 活動使用言語 (ラオス語) 6) 生活使用言語 (ラオス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) |
|------------------|---|---|

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 短期大学で教員指導 ・経験 (教員経験) (2年以上) 理由: 短大での指導に必要 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|------------------------------|------------------|---|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 024 - 13 - B - 18) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ラオス | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ルアンナムター教員養成短期大学 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ルアンナムター県ルアンナムター郡 JICA事務所の所在地(ビエンチャン)から 北 方向 700 Km 主要都市(ルアンパン)までの交通手段及び所要時間(車 で約 8 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先には、1年間の幼稚園教諭・小学校教員養成課程と、3年間の中学校教員養成課程(自然科学科のみ)がある。自然科学科には、数学部門と理科部門(物理・化学・生物)があり、隊員が担当するのは後者である。2012年の学生総数は2,100名で、うち自然科学科の学生数は157名(約66%が男性)。卒業生の97%が教職に就く。総教員数は127名で、本件JVが所属する自然科学科の教員数は44名である。配属先の今年度全校予算は、約7,300万円(含人件費)。JICA技プロ「理数科教員養成プロジェクト」(2004～2008年)よりワークショップ開催に係る支援を受けた。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ラオス国政府は90年代の教育改革によって、5つの教員養成短期大学(TTC)と3つの教員養成学校(TTS)を整備し、各校に理科実験室を開設して理科教育の強化を図った。JICAの技術協力プロジェクト「理数科教員養成プロジェクト」により教員養成を強化し、現在は「理数科現職教員研修改善プロジェクト」(2010～2013年10月)が継続中である。未だに教育現場では、教員が与えられた教科書をそのまま板書し、生徒たちがそれを写すだけという教授方法が一般的である。また、教師の経験と知識不足のため、指導案の作成や、教材研究、実験・実証に基づいた理科教育の実施が十分に実行されていない。模範授業や実験のデモンストレーションを示すといった協力支援が必要であるため、今回の要請に至った。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。)- 1 現況の理科授業をモニタリング・把握し、様々な改善点等を助言・支援する。 2 模範授業を積極的に行い、指導方法の改善を促し支援する。 3 教科書の内容を基にした実験・観察を積極的に取り入れた指導を促し、将来理科を指導する教員としての指導力の向上を支援する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ノギス、電源装置、レンズ、各種薬品など ※古いものが多い |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 理科部門・学生数77(男性51)、 教員数16名、専攻別教員内訳(物理6名、化学5名、生物5名) 学歴:学士13、修士3 理数科全体の教師の経験年数:5年以下・21名、6～15年・13名、16年以上・10名 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 短期大学で教員指導 ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(亜熱帯) 気温(10～35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-------|
| 要請番号(JL 024 - 13- B - 20) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| ラオス | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 | 日系/短期 |
| | | | | 3 | 26 / 2 | |
| | | | 〇 2 年 | 26 / 3 | 年 月 から | |
| | | | 〇 1 年 | | | |
| | | | 〇 〇 ヶ月 | | | |

| | | |
|-----------------------|--|---------------------------|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ省 | |
| | 2) 配属先名 (日本語) サラワン教員養成短期大学 | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 サラワン県サラワン郡 JICA事務所の所在地(ピエンチャン)から 南東 方向 680 Km 主要都市(バクセー)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間) | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は、幼稚園、小学校、中学校教員の養成と現職教員の能力向上研修を実施する教育機関である。2010年度から、これまでの教員養成校(TIS)から教員養成短期大学(TTC)になった。学生課、教員養成課など10の課がある。現在活動中の2代目JV(小学校教育)は自然科学科に所属し、算数と理科の指導を行っている。教員数は85名、学生数は約1600名である。学生の多くは奨学生で、サラワン県のみならず周辺県からの入学もある。2008年6月まで実施されたJICA「理数科教員養成プロジェクト(SMATT)」の対象校の一つであり、理数科教員の多くはこのプロジェクトに参加した。 | |

| | | |
|------------------|--|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 JICAは2008年6月まで全国の教員養成校の教員を対象に「理数科教員養成プロジェクト(SMATT)」を実施してきた。それら養成校教員の能力は向上したが、一方で、小・中学校の現職教員の指導力、教材開発等への長期的な協力が必要とされており、特に算数・数学・理科の改善は急務である。前任の2代目JVは算数と理科の強化を支援し、教員の指導技術の向上を図ってきた結果、ある程度のレベルまで向上した。この実績を受けて、科学分野の中でレベルが低い化学について、同様の向上を図りたいとの意向から、本件要請に至った。なお、2010年から他県にてJICA「理数科現職教員研修改善プロジェクト」が実施されている。 | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1 化学への興味・関心を持たせるための、実験の実施と教員レベル改善への支援 2 化学分野の授業で使用する教材の工夫・改善 3 教員の化学分野の指導方法の向上のための助言 | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 文房具、ラミネーター、カラープリンター、理科共通実験室、実験器具(ピーカー、フラスコ、試験管、顕微鏡等)等 | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教員85名(うち小学校教員養成科は30名(約半数が女性)、20~50代、30歳前後の教員が多い) | 5) 活動使用言語 (ラオス語) 6) 生活使用言語 (ラオス語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | 活動上の単車/自転車の必要性 |
| | ・免許 (中・理) 又は () | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (教員経験) () 理由: 教員養成機関で活動するため 理由: | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------------------|---|
| 地 域 概 況 | 気候(サバナ) 気温(15~35 °C 位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------------------|--|
| 特 記 事 項 | |
|------------------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 045 - 13- B - 23) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| モンゴル | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) オルホン統合学校 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ウブルハンガイ県ハラホリン JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 南西 方向 360 Km 主要都市(ツェツェルレグ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 幼・小・中・高校までの一貫教育実施校。園児(2~5歳)150名、初等部1年から6年生480名、中等部1年から3年生224名。高等部1年から3年生236名、合計生徒数1090名。職員122名、内教師80名。同国の地方の遊牧生活者の子供たちは、定住家屋のある村の学校寮に入りながら教育を受けることが一般的である。県内で比較的大きな村(人口約1万3千人)にある同校の学生寮には125名(6~18歳)の生徒が住んでいる。年間予算約5,300万円。米国ピースコー英語教師4代受入実績あり。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国では、教育セクター改革により、従来の暗記中心の指導法から子供の発想や思考を促す「子供の発達を支援する指導法」への変革が進んでいる。そのような状況下、より質の高い授業提供及び、関係者に対する日本の授業方法紹介等を目的として、理科教育(物理)のJVが要請された。指導対象は中・高等部の生徒460名程度。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 中・高等部の生徒に対し、週に20コマ程度(目安)、物理の授業を行う。 ② 同僚教師に対し、物理の指導法に関する勉強会、セミナーを実施する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンタ、コピー機等 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(女性、40代) 同僚教師(物理)(男性、20代・女性、20代、2名) 同僚教師(生物)(30~40代、2名) 同僚教師(化学)(40代、2名) 中等・高等部生徒 460名 | | | | 5) 活動使用言語 (モンゴル語) 6) 生活使用言語 (モンゴル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (教員経験) (5年以上) 理由:教師への指導を含むため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(大陸性) 気温(-30~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 住居は学校寮の1室となる。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 045 - 13 - B - 24) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| モンゴル | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ドルノド県教育・文化局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ドルノド県チョイバルサン JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 北東 方向 660 Km 主要都市(チョイバルサン)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同局はドルノド県の教育を管轄している中枢機関。管轄の教育機関は、国立の小中学校、及び12年制学校25校、私立学校2校、幼稚園26園。年間予算は約1,600万円。同局に外国からのボランティアはおらず、JV1名のみが活動中。同局は主に、①教師対象の専門的指導や能力向上のためのセミナー②同地域の学校へ教育に関する専門的な助言、支援を行う③地方の教育・文化機関のモニタリング、評価を実施している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 前任の理数科教師JVが実践している理科実験を取り入れた授業、指導法改善を、同局、並びに地域全体の理科教師に行い、将来的に、地域の教師自らが、より良い学習指導計画を立てられる様、JVから引き続きアドバイスを受けていきたいと考えている。現在活動中のJVを通じて教師が授業準備や授業研究の方法を学ぶことができたため、今後はより地方にまで展開していきたいとの理由から、今回の後任要請をあげた。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 配属先はドルノド県教育・文化局であるが、同局以外に県内の各村々の学校でも以下の活動を行う。 ① 各学校の理科教師と協力し学習指導計画を立てる。 ② 身近な物を使った理科実験器具や手作りの授業教材作成のためのアイデアを教師へ広める。 ③ より良い理科指導法を教師へ指導するため、各学校で勉強会を開催する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンタ、コピー機 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先同僚 同僚20名(20~60代、その内の11名が各科目専任講師、実務経験4~34年、全員が大卒) 活動対象者 県内の理科教師(大卒資格あり) | | | 5) 活動使用言語 (モンゴル語) 6) 生活使用言語 (モンゴル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚の学歴水準と合わせる ・経験 (教員経験) (5年以上) 理由: 教員への指導を行う上で必要理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(大陸性) 気温(-30~30 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|--|-------------------|--|---|---|----------|
| 要請番号(JL 045 - 13 - B - 25) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV |
| モンゴル | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 3 | 26 / 3 | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学省 2) 配属先名 (日本語) チャンドマニ・エルデネ統合学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ザブハン県オリヤスタイ JICA事務所の所在地(ウランバートル)から 西 方向 1000 Km 主要都市(オリヤスタイ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 ザブハン県の県庁所在地にある11年制の統合学校。生徒数約1000名(内小学生は約460名)、生徒の年齢は6~18歳、教員数約50名。JICAの技術協力プロジェクト「子供の発達を支援する指導法改善プロジェクトフェーズ2(2010-2012)」のモデル校。これまでに米国ピースコー4名の受入実績あり。年間予算は約4400万円。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 同国では、教育セクター改革により2005年9月から初等・中等教育に新しい学習指導要領が導入され、従来の暗記中心の指導法から子供の発想や思考を促す「子供の発達を支援する指導法」への変換が行われている。配属先は現在実施中のJICA「子供の発達を支援する指導法改善プロジェクトフェーズ2(2010-2012)」のモデル校であり、指導法改善及び授業研究を紹介する研修が実施されている。プロジェクトと並行し、現場の教員への支援、また日本の授業方法の紹介などが求められ本要請に至った。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 中学理科(特に物理)の授業を行うほか、教材や資料、実験の準備などに協力する。 ② 実験の手引書、指導書の作成に協力する。 ③ 配属先で行われる授業研究会に協力する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンタ、プロジェクタ 4) 配属先同僚及び活動対象者 中学部担当教育マネージャー、男性、40代 理科担当教師5名、実務経験6~28年、20~50代 中学生数320名(7~9年生、13~15歳) 5) 活動使用言語 (モンゴル語) 6) 生活使用言語 (モンゴル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:教師への助言が必要なため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(大陸性) 気温(-40~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 045 - 13 - B - 26) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| モンゴル | 理科教育 | | | | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 2 | | | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) デブシル学校 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ザブハン県オリヤスタイ JICA事務所の所在地(ウランパートル)から 西 方向 1000 Km 主要都市(オリヤスタイ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ザブハン県の県庁所在地にある11年制学校。数学、理科に重点を置いた教育を行っている。生徒数約830名(内小学生は約400名、中学生約250名、高校生180名)、生徒の年齢は6-18歳、教員数約40名。これまでに米国ピースコー3名の受入の実績あり。年間予算は約2200万円。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国では、教育セクター改革により2005年9月から初等・中等教育に新しい学習指導要領が導入され、従来の暗記中心の指導法から子供の発想や思考を促す「子供の発達を支援する指導法」への変換が行われている。同県は現在実施中のJICA「子供の発達を支援する指導法改善プロジェクトフェーズ2(2010-2012)」の対象県であり、子供中心とする指導法の普及が行われている。本配属先は数学、理科教育に重点を置いた教育を行っており、同分野において協力が求められ本要請に至った。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 小学校理科や中学理科(化学、物理)の授業を行う。 ② 教材や資料、実験の準備、実験の手引書、指導書の作成などに協力する。 ③ 配属先で行われる理科の授業研究会に協力する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン、プリンタ、プロジェクタ、顕微鏡、電子秤、ピーカーなどの実験器具類 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(生物教師)、女性、50代 小中学校理科担当教師4名、実務経験9~27年、20~40代 小学生約400名、中学生約250名(1~9年生、6~15歳) | | | | 5) 活動使用言語 (モンゴル語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:教師への助言が必要なため 理由: | | | | 6) 生活使用言語 (モンゴル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 地域概況 | 気候(大陸性) 気温(-40~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 特記事項 | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|---------|-----------|
| 要請番号(JL 051 - 13 - B - 39) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| バングラ デシュ | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 3 | 26 / 2 | |
| | | | 26 / 3 | | | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 首相府 NGO局 2) 配属先名 (日本語) ブラック <input checked="" type="radio"/> NGO 3) 任地 北ダッカ市内 JICA事務所の所在地(北ダッカ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(北ダッカ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| 概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 バングラデシュに拠点を置き、貧困削減をめざしてアフリカやアフガニスタンなどでも活動を展開している国際的にも知名度の高いNGOである。1972年に設立され、コミュニティレベルにおいて農業、保健・衛生、青少年活動などへの支援、人材研修や調査研究などを実施。またこうした活動においてマイクロファイナンスの提供も行っており、自立的なコミュニティ発展を長年支援している。http://www.brac.net/ | | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 同国では、政府に直接運営されているセカンダリースクールは全体の2%のみであり、多くはコミュニティ等によって運営されている。同NGOでは2001年から中等教育への支援を開始し、授業の質的な改善を目標として非政府系学校における中心教科の能力向上を支援しているほか、政府とも連携しながら学校改善に取り組んでいる。同国の中等教育においては、教材の活用が不十分であったり実験の機会が少なく、生徒の理科に対する興味や関心が低い。このような現状を打破すべく、生徒に理科を学ぶことの楽しさや魅力を伝えること、教師にはその指導方法をともに考えきっかけを与えることを目的に、ボランティアの要請がなされた。 | | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 国内の同NGOが支援するセカンダリースクール(6~10年生)を同僚とともに巡回し、学習環境や生徒の理解度、教師の指導レベルなど現場の状況を観察したうえで、以下の教育(教員)の質の向上に貢献する活動を行う。 1.国内各地の学校巡回を通して、同NGOで使用されている理科教材が効果的に活用されているか観察し、より実践的な活用方法をアドバイスする。 2.理科教材の改善を提案する。 3.教師研修において、理科を楽しみながら学べる方法を提案し、教師が質の高い授業を展開できるように支援する。 | | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 授業教材、コンピュータ | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・部署リーダー 4名:修士号取得 経験5~13年 ・トレーナー(現地教諭を指導) 8名:修士号取得 経験4~10年 ・現地小学校教諭 | | | 5) 活動使用言語 (ベンガル語) 6) 生活使用言語 (ベンガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (3年以上) 理由:配属先同僚の経験を考慮 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯モンスーン) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 124 - 13 - B - 37) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| パプア ニューギ ニア | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | 2 | 26 / 3 | | | |
| | | 3 | / | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 東ニューブリテン州政府 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) セントポール記念小学校 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ヲナカナウ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北東 方向 810 Km 主要都市(ココボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 カトリック教会系の公立小学校。現在、日本の小学3年から中学2年に相当する3学年から8学年の児童生徒を対象に基礎教育を行っている。教職員数21人、児童生徒数約530人。年間予算は、約20万キナ(約700万円)。2006年8月からJV(理数科教師)が活動している。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校では特に理科・数学において十分な知識や指導経験を持った教員が不足しており、理数科教育の質の向上を図るためJVの要請がなされている。従来からの板書・暗記中心の授業に対し、計算力、思考、実験・観察を重視した指導法の紹介・普及が求められている。同国は多様な自然に恵まれ、生物や地学など観察や実験の素材は豊富である。身近にある物を活用する、また実験器具を自作するなどの創意工夫も必要とされている。九九や小数・分数など児童生徒の基礎計算能力の低さも課題となっている。高学年(7学年から8学年)の理科や数学の授業を受け持つと同時に、同僚教師への教科知識や指導法の助言も求められている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 校長や同僚教師の要望を聞きながら、次のような業務を進める。 ①日本の中1～中2に当たる生徒を対象に理科や数学の授業を担当する。 ②同僚教師を対象として、教科内容、教授法などを指導する。 ③身近な素材を使った理科実験の紹介・普及を行う。 ④簡単なコンピューターの指導。(ワード、エクセル、パワーポイントの操作等) | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 予算上の制約から十分な設備・備品は望めず、自然にある物、身近にある廃材などを有効活用した理科実験の工夫・紹介が求められている。 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、教頭、教員、秘書 計21人 | | | 5) 活動使用言語 (英語) | | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (その他) | | |
| | | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許() 又は() ・性別(男性) 理由:安全対策上 ・学歴(大卒) () 理由:同僚の教育水準と合わせる ・経験() () 理由: 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25～35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 124 - 13 - B - 38) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 6 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| パプア ニューギ ニア | 理科教育 | | | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | 2 26 / 3 | | |
| | | | 3 / | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) マヌス州政府 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) マヌス高校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ロレンガウ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北 方向 830 Km 主要都市(ロレンガウ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1963年に設立された男女共学普通科高校。日本の中学3年から高校3年に相当する9学年から12学年の生徒を対象に中等教育を行っている。教員数30人、生徒数約600人。年間予算は、約80万キナ(約3200万円)。2000年からJV(理数科教師)が活動している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国において理数科教師の不足は深刻であり、その教科知識や指導法には課題が多い。そうした中、理科教育の質の向上を図るため継続してJVの派遣が要請されている。前任者の職種は理数科教師であったため、数学とコンピュータの通常の授業を受け持ち、チームティーチングを行いながら、同僚と協働し活動している。同僚教師への教科内容の指導、教授法の紹介・普及が期待されているものの、同国の理数科のレベルは決して高いとは言えない。従来からの板書。暗記中心の授業に対し、計算力、思考、実験・観察を重視した指導法の実践が求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 校長や同僚教師の要望を聞きながら、次のような業務を進める。 ①9学年から12学年を対象に、理科の授業を担当する。 ②同僚教師を対象として、教科内容、教授法、などを指導する。 ③身近な素材を使った理科実験の紹介・普及を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験室、実験器具・薬品など。予算上の制約から十分な設備・備品は望めず、自然にある物、身近にある廃材などを有効活用した理科実験の工夫・紹介が求められる。 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、教頭、教員 30人 うち理科教員 4人 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) () 理由:安全対策上 ・学歴 (大卒) () 理由:同僚の教育水準と合わせる ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地 域 概 況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) | | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---|---------|-----------|
| 要請番号(JL 124 - 13 - B - 39) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| パプア ニューギ ニア | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | 2 | 26 / 3 | | | |
| | | 3 | / | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) マヌス州政府 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) カリ小学校 <input type="radio"/> NGO | | | | | |
| | 3) 任地 カリ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北 方向 830 Km 主要都市(ロレンガウ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 パプアニューギニアでは資源開発が進んでおり、急激な経済発展に伴って人口が増加してきている。就学児童も増加傾向にある中、政府は初等教育の無償化を開始し教育機会へのアクセスを向上しようとしている。しかしながら、学校への政府支援の遅れや教員待遇の低さから、特に地方部では教育環境の改善が遅れている。配属先は地域に根差した学校として、8歳から14歳までの生徒を受け入れている。生徒数は約150名ほどで、全て通学生である。約年間予算はK5~60,000(200~240万円)で、教員数は9名。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 村落部であるため教員数が確保できておらず、生徒への十分な指導ができていない。特に理数科目に関しては教員の苦手意識が強く、基礎的な内容から間違った知識が教えられることもある。小学校はクラス担任が、全ての教科を担当しているが、高学年の理数科目を担当する能力に乏しい。ボランティアは、12歳~14歳の理数科目を担当し、理科実験を盛り込んだ興味を引く授業を実施することを期待されている。加えて、基礎的な算数能力も不足しているため、数学の授業も担当できるとさらに望ましい。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①Grade7-8(12~14才)の生徒への理科授業 ②実験機材や自然素材を用いた実験の実施 ③Grade7-8(12~14才)の生徒への数学授業 ④日本紹介などの生徒の視野を広げる文化授業 ⑤スムーズな学校運営のための提案 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ピーカー・フラスコ・試験管・顕微鏡などの最低限の理科実験道具。 ソーラー発電システム(ソーラーパネル・バッテリー・変圧器)・パソコン式・共有教科書 | | | | | |
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長・教頭・教師7名 教員不足から校長も教鞭をとっている。 教師は20代~30代前半で、教員経験は4年~10年。女性教員3名は主に、低学年クラス(幼児期教育)を担当している。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 安全対策上 ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 資格 条件 等 | | | | | | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記 事項 | 電気はなく、雨水タンクでの現地住民レベルでの生活環境となる。学校に小さなハートで設置したソーラー光発電システムがあり、携帯電話などの充電は可能。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|---|---|---------|
| 要請番号 (JL 124 - 13 - B - 40) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 1 | JOCV/SV |
| パプア ニューギ ニア | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | / |
| 派遺希望時期 年 月 日 から | | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) マヌス州政府 2) 配属先名 (日本語) パピタライ高校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 パピタライ JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北 方向 830 Km 主要都市(ロレンガウ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.8 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 キリスト教系の男女共学普通科 高校。日本の中学3年から高校3年に相当する9学年から12学年の生徒を対象に中等教育を行っている。教員数32人、生徒数約550人。年間予算は、約60万キナ(約2100万円)。2009年6月からJV(理数科教師)が活動している。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国において理数科教師の不足は深刻であり、教師数が足りていても、その教科知識や指導法には課題も多い。そうした中、理数科教育の質の向上を図るためJVの要請がなされた。理科や数学の通常の授業を受け持つと同時に、同僚教師への教科内容の指導、教授法の紹介が期待されている。従来からの板書・暗記中心の授業に対し、計算力、思考、実験・観察を重視した指導法の紹介・普及が求められている。同国は多様な自然に恵まれ、生物や地学など観察や実験の素材は豊富である。身近にある物を活用する、また実験器具を自作するなどの創意工夫も必要とされている。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 校長や同僚教師の要望を聞きながら、次のような業務を進める。 ①日本の中3~高3に当たる生徒を対象に、理科や数学の授業を担当する。 ②同僚教師を対象として、教科内容、教授法などを指導する。 ③身近な素材を使った理科実験の紹介・普及を行う。 ④簡単なコンピューターの指導。(ワード、エクセル、パワーポイントの操作等) | | | | |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験室、実験器具・薬品など。予算上の制約から十分な設備・備品は望めず、自然にある物、身近にある廃材などを有効活用した理科実験の工夫・紹介が求められている。 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、教頭、教員 32人 うち理科・数学教員 10人 | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由: 安全対策上 ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚の教育水準と合わせる ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 地域概況 | 気候(熱帯雨林) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|---|-------------------|-------------------------|--------------------|--|----------|
| 要請番号(JL 124 - 13 - B - 41) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | ○グループ型 ●個別 | ○新規 ●交替 4 代目 | ○2年 | ○1年 |
| パプア ニューギ ニア | 理科教育 | | | ○ヶ月 | 1 26 / 1 |
| 1)受入省庁名 (日本語) ウェスタン州政府 | | | | | |
| 2)配属先名 (日本語) タビル高校 | | ○ NGO | | | |
| 3)任地 タビル JICA事務所の所在地(ポートモレスビー)から 北西 方向 750 Km 主要都市(タビル)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| 4)配属先の規模・事業内容 同校は銅鉱山のために開発された町に設立された生徒数約450人の男女共学の普通科高校である。職員数は24人、日本の中学3年から高校2年に相当する9,10,11年生を受け入れている。年間予算は、550,000キナ(約2,000万円)程度である。2013年度より、セカンダリースクール化(11、12年生、日本での高校2、3年生の追加)に移行中で、2014年度より9～12年生が揃う予定である。 | | | | | |
| 1)要請理由・背景 同国においてウェスタン州は開発が遅れ教育水準が低い地域の一つである。同国では理科科教師の不足や、教師の質の問題がある中、同州では首都から輸送される物資の輸送コストによる物価高もあり、長期での赴任希望者が少なく教育水準の停滞が見られる。このため引続き教育水準の底上げを図るべく後任要請が出された。通常の授業を受け持つほか、同僚教師への教科内容の指導、理科や数学の教授法の紹介が期待されている。同国は多様な自然に恵まれ、生物や地学など観察や実験の素材は豊富である。身近にある物や廃材を活用する、また実験器具を自作するなどの創意工夫が求められている。 | | | | | |
| 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①9、10、11年生(日本の中学3年～高校2年)の理科・数学授業を週20-30時間担当。 ②同僚教師を対象として、教科内容、教授法、理科実験手法などを指導。 ③日直など学校の業務を同僚教師とともに分担する。 | | | | | |
| 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験室2室(古い)、実験器具や薬品(少ない)、コンピューター4台、プリンター、コピー機、ファクシミリ。 | | | | | |
| 4)配属先同僚及び活動対象者 校長 男性 50代 教員数24人 うち、理科教師5人、数学教師5人 | | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (男性) 理由:安全対策上 ・学歴 (大卒) () 理由:同僚の教育水準と合わせる ・経験 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○単車 ○自転車 ●不要 現職教員特別参加制度 ○可 ●不可 | |
| 地域概況 | | 気候(熱帯雨林) 気温(20～30 ℃位) | | 電気(●安定 ○不安定 ○なし) 水道(●安定 ○不安定 ○なし) | |
| 通信(☑インターネット可 ☑電話可 □無線) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 139 - 13- B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| サモア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ文化省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) レファガ中等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ウボル島レファガ JICA事務所の所在地(アピア)から 南 方向 30. Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 首都アピアから離れたウボル島南海岸にある公立中高等学校。当国では公立学校でも運営は地域の代表者・保護者などで構成される学校委員会によって行われている。全校生徒は9-13年生(13-17歳)で150名、教師数12名である。老朽化が進んだ校舎の建て替えが2012年に行われ、2013年度からは新校舎にて授業を開始させる予定であったが、2012年12月にウボル島を直撃したサイクロンにより、校舎半壊の被害に遭った。現在は、被害の少なかった校舎にて授業を行っている。年間予算約67万円。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 サモアの人材育成の観点から、理数科の基礎学力向上が大きな問題となっている。特に教育省では現職の教員の能力を高めることで理数科教育の質的な底上げを目標にしている。そのために2005年から基礎教育理数科改善(SMIPBE)プロジェクトを立ち上げ今日に至っている。JICAはこのプロジェクトに対し、教育省にシニア海外ボランティアを派遣し、公立校には数名の協力隊員を派遣して支援を行っている。当国では理科の専任教師が不足しており、配属先も慢性的に理科の教師が不足している。そのために理科担当以外の教師が理科を担当しているのが実情である。よって生徒の授業は勿論のこと同僚教師の能力強化のために今回のボランティア派遣の要請となった。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 理科全般あるいは物理・化学・生物のいずれかを担当し、英語で授業を行う。 2. 基礎教育理数科改善プロジェクトの活動を支援する。 3. 基礎教育理数科改善プロジェクトに参加した教員へ教授法について助言する。 4. 教育省配属のシニア海外ボランティアと連携し、教材の工夫・改善を行い、学校巡回指導を共同で企画・運営する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 職員室(個別デスクはない)、実験器具・試薬 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(女性、40歳代) 専任でない理科教師 2名 専任でない数学教師 2名 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は (高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚の教育水準と合わせるため ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(海洋性熱帯) 気温(20~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 学校敷地内の職員用住宅で同僚教員と共同生活、もしくは、ホームステイとなる可能性あり | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|---|--|--|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 139 - 13 - B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| サモア | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ文化省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) パラウア中高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ウポル島 シウム JICA事務所の所在地(アピア)から 南 方向 20 Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 首都アピアから離れたウポル島南海岸にある公立中高等学校。当国では公立学校でも運営は地域の代表者・保護者などで構成される学校委員会によって行われている。全校生徒は9-13年生(13-17歳)で225名、教師数14名である。2012年12月にウポル島を直撃したサイクロンにより、校舎半壊の被害に遭った。現在は、被害の少なかった校舎にて授業を行っている。年間予算約100万円。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 サモアの人材育成の観点から、理数科の基礎学力向上が大きな問題となっている。特に教育省では現職の教員の能力を高めることで理数科教育の質的な底上げを目標にしている。そのために2005年から基礎教育理数科改善(SMIPBE)プロジェクトを立ち上げ今日に至っている。JICAはこのプロジェクトに対し、教育省にシニア海外ボランティアを派遣し、公立校には数名の協力隊員を派遣して支援を行っている。当国では理科の専任教師が不足しており、配属先も慢性的に理科の教師が不足している。そのために理科担当以外の教師が理科を担当しているのが実情である。よって生徒の授業は勿論のこと同僚教師の能力強化のために今回のボランティア派遣の要請となった。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 理科全般あるいは物理・化学・生物のいずれかを担当し、英語で授業を行う。 2. 基礎教育理数科改善プロジェクトの活動を支援する。 3. 基礎教育理数科改善プロジェクトに参加した教員へ教授法について助言する。 4. 教育省配属のシニア海外ボランティアと連携し、教材の工夫・改善を行い、学校巡回指導を共同で企画・運営する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 職員室(個別デスクはない)、実験器具・試薬 | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(女性、40歳代) 専任でない理科教師(生物、化学担当) 2名 専任でない数学教師 3名 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は (高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚の教育水準と合わせるため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地 域 概 況 | 気候(海洋性熱帯) 気温(20~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特 記 事 項 | 配属先敷地内にある住居に住む。 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 139 - 13- B - 25) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| サモア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ文化省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ファレアリリ中等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ウボル島 ファレアリリ JICA事務所の所在地(アピア)から 南東 方向 32. Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 首都アピアから離れたウボル島南海岸にある公立中等学校。同国では公立学校でも運営は地域の代表者・保護者などで構成される学校委員会によって行われている。全校生徒は9~13年生(13-17歳)で230名、教師数18名(内、理科専任でないが理科を担当している教師2名)である。2009年9月の津波の影響により校舎を高台へ移転、現在は新校舎にて授業を行っている。年間予算40,000タラ(約140万円)。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国の将来的な人材育成の観点から、理数科の基礎学力向上は必須課題となっている。教育省は現職教員の能力向上を図ることで、理数科教育の質的底上げを狙っており、2005年から中等理数科教育改善プロジェクト(SMIPBE)を継続中である。JICAはこのプロジェクトに対し、教育省にSVを、パイロット校を対象に数名の協力隊員を派遣し側面支援を行っている。同国では理科の専任教師が絶対的に不足しており、配属先も慢性的に理科の教師が不足している。そのため、理科専任ではない教師が理科を担当しており、教授法・知識共に十分だと言い難い。生徒への授業及び同僚教師の能力改善のためにJICAボランティアの要請へと至った。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 理科科目(一般理科並びに選択科目のいずれか(物理・化学・生物))の授業を行う(赴任後に校長と協議のうえ決定)。9~10学年までは一般理科を担当、11~13学年については選択制となる。 2. 中等理数科教育改善プロジェクトへの側面支援 3. 中等理数科教育改善プロジェクトの研修会に参加した同校教師の授業のモニタリングと必要に応じた助言 教育省配属のSVと連携しつつ、教材開発や、現職教員対象の研修会(デモ授業、教科知識向上ワークショップ)及び学校巡回指導の企画・立案・実施の補助を行う | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科室、実験器具・試薬 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(女性、50歳代) 専任でない理科教師 2名 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は (高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 教師の条件 ・経験 (実務経験) () 理由: 同僚教師の教授法助言のため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(20~35 °C位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|--------|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 139 - 13 - B - 26) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| サモア | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 | 26 / 2 |
| | | | 3 | 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ文化省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) バイマウガ 中高等学校 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ウポル島 バイマウガ JICA事務所の所在地(アピア)から 東 方向 4 Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 アピア市の外れにある公立中高等学校。地域代表者や保護者から構成される学校委員会により運営されている。サモアの中高等学校は5年制で、9-13年生(13-17歳)までの生徒が在籍する。生徒数430名、教師数34名。サモアの学校年度は1月開始、12月終了で、公立の学校は4学期制である。 コンピュータ教師として、PCインストラクター隊員が派遣されていた(2013年6月帰国済)。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 JICAは2006年より教育省主導で実施されている「理数科教育改善プロジェクト:SMIPBE」に教育省とパイロット校数校にボランティアを派遣して支援を行ってきた。これは中高等学校における生徒及び教師の理数科知識の低さと教授法に問題があると解明され、これらを改善するためのものである。現在本校には4名の理科教師(理科を専門としない教師も含む)がおり、12年生及び13年生に生物のみを指導している。サモアでは学校に担当教師が在籍するかしないかで、生徒へ指導する教科が決まることがよく見られる。ボランティアは理科教師と協働し、教師の教科知識の引き上げと指導力改善とともに、物理・化学などの授業されていない科目を開始させてほしいという要望から本要請となった。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 一教師として物理、化学の授業を行う 2. 理科教師(生物)の知識向上を図ることにより、生徒の理科(生物)理解力向上を目指す 3. 理科教師に化学、物理の授業ができるまでレベルアップを図る(生徒と同レベルと考えたほうがよい) 4. SMIPBE(基礎教育理数科改善プロジェクト)活動としてワークショップで教科知識向上や教授法改善のための模擬授業を行う | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、実験器具、試薬、職員室(個別のデスクはない)、コピー機、 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長(男性)1名、 同僚教師 34名、司書 1名、タイピスト 1名 活動対象者: 理科教師4名 9-12年生の生徒(赴任後、再度校長と協議して決定) | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は (高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 教師の条件 ・経歴 (実務経験) () 理由: 同僚教師の教授法助言のため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(20~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 139 - 13- B - 27) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| サモア | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 2 | | |
| | | 3 | 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ文化省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) イツ・アサウ 中高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 サバイ島 アサウ JICA事務所の所在地(アピア)から 北西 方向 75. Km 主要都市(サレロロガ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 JICAは2006年より教育省主導で実施されている「理数科教育改善プロジェクト:SMIPBE」に教育省とパイロット校数校にボランティアを派遣して支援を行ってきた。これは中高等学校における生徒の理数科学力の低さはもとより、教師の理数科知識の低さと教授法に問題があることが解明され、これらを改善するためのものである。2012年よりパイロット校を廃止し全国の公立中等学校全19校が対象となった。生徒数450名、教師数20名。内、数学教師2名、理科教師2名。本校には木工や家政といった科目で過去に多くのJVが派遣されている(直近では2012年3月に帰国)。公立学校は1月-12月で、4学期制。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 前項で述べたSMIPBEの対象校が全公立校となったため、JICAの支援も強化・拡大する方針での要請である。本校には理科教師が2名しかおらず、しかも1名は本来の理科教師ではないため、実質1名で生徒数に対してまったく理科教師が足りていない。またこの2名の理科教師は生物しか指導しておらず、その教科知識も改善が必要であり、他に物理と化学が指導できる教師がいないことから本要請となった。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.中高等学校で一教師として9-11年生(日本の中2-高1)の化学と物理の授業を行う 2.SMIPBE(理数科教育改善プロジェクト)の活動を他協力隊員と協働して支援する 3.SMIPBEで教科知識強化のための授業やワークショップを実施する 4.同僚理科教師の授業について改善点を助言する(特に教授法) →理数科教師の多くはSMIPBEのワークショップに参加している。 *担当科目は化学、物理であるが、数学の授業を依頼される可能性もある | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 職員室(個人用デスクはない)、プリンター | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:女性 副校長:女性、同僚:教師20名 活動対象者: 理科教師2名 9-11年生の生徒 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は (高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 教師の条件 ・経歴 (実務経験) () 理由: 同僚教師の教授法助言のため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(20~35 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 米国ピースコー隊員と同居になる可能性あり(過去異職種のJICAボランティアが同居していた) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|--|---------------------------|----------|
| 要請番号(JL 139 - 13- B - 28) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| サモア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ文化省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) アアナ・ナンバーワン 中高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ウボル島 ファレオロ JICA事務所の所在地(アピア)から 北西 方向 25 Km 主要都市(アピア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 全国に19校ある公立の中高等学校のひとつ。サモアの学制は8・4制であったが、2013年より中等教育として5年制に移行された。本校は2012年まで4年制であったが、校舎の全面建替工事終了後の2013年より5年制となった(学年としては9-13年生)。生徒数180名、教師数23名。内、数学教師4名、理科教師2名。サモアの公立学校は1月開始、12月終了で、4学期制。2013年7月まで理数科教師隊員が派遣されていた。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 JICAは2006年より教育省主導で実施されている「理数科教育改善プロジェクト-SMIPBE」に教育省とパイロット校数校にJICAボランティアを派遣して支援を行ってきた。これは中高等学校における生徒及び教師の理数科知識の低さと、教授法に問題があることが解明され、これらを改善するためのものである。本校は他校と比較しても、全生徒数に対して理数科教師が特に不足している訳ではないが、教師の教科知識向上と教授法改善を目的にSMIPBEのパイロット校として初代の協力隊員が活動していた。特に理科教師が不足していることから本隊員の活動が評価され、継続して支援を必要としている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.配属された中高等学校で一教師として化学の授業を生徒に行う 2.SMIPBE(理数科教育改善プロジェクト)の活動を他協力隊員と協働して支援する 3.SMIPBEで教科知識強化のための授業やワークショップを実施する 4.同僚理科教師の授業について改善点を助言する(特に教授法) →理数科教師の多くはSMIPBEのワークショップに参加している *担当科目は化学であるが、数学の授業を依頼される可能性もある。対象学年は本調査時点での予定。 | | | | | |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 職員室、教室、学校備品としてのPCはない、 プリンター(頻繁な故障、経費不足等問題が多いため使用不可と考えたほうがよい) | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学校長 女性、50歳代 活動対象者: 理科教師2名 12年生の生徒 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は (高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 中等教育教師は大卒が条件 ・経験 (実務経験) () 理由: 試験受験学年を担当するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(20~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | 住居はホームステイになる可能性が高い | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|-----------------|------------------------|---|---------|
| 要請番号(JL 139 - 13- B - 29) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | ● グループ型 ○ 個別 | ● 新規 ○ 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| サモア | 理科教育 | | | 2 | 日系/短期 |
| | | | ○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月 | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | 26 / 3 |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育スポーツ文化省 | | | | |
| 先 | 2) 配属先名 (日本語) サバイ・シシフォ 中高等学校 ○ NGO | | | | |
| 概 | 3) 任地 サバイ島 サゴネ JICA事務所の所在地(アピア)から 北西 方向 70. Km 主要都市(サレロロガ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) | | | | |
| 要 | 4) 配属先の規模・事業内容 進行中の中等教育新制度化で新校舎に改築後の2012年より、4年制から5年制の中高等学校(カレッジ)となった公立学校。JICAは2006年より教育省主導で実施されている「理数科教育改善プロジェクト:SMIPBE」に教育省とパイロット校数校にボランティアを派遣し支援を行ってきた。これは中高等学校における生徒及び教師の理数科知識の低さと、教授法に問題があることが解明され、これを改善するためのものである。2012年よりパイロット校を廃止し全国の公立中等学校全19校が対象となった。生徒数315名、教師数16名(内、数学3名、理科2名)。公立学校は1月-12月で4学期制。 | | | | |
| 要 | 1) 要請理由・背景 前項で述べたSMIPBEの対象校が全公立校となったため、JICAの支援も拡大する方針での要請である。本校からは1年以上前からJICAボランティアの要請があったが当初はパイロット校だけを対象としていたため、ボランティアを派遣できなかった。本校には理科教師が3名しかおらず、生徒数に対して不足している。また3名の理科教師は生物を指導しているが、その知識は決して高いとは言えず、改善の必要がある。また、本校には物理と化学が指導できる教師がいないため、本要請となった。 | | | | |
| 概 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.中高等学校で一教師として9-12年生(日本の中2-高1)の化学と物理の授業を行う 2.受け持ち授業については試験作成、採点すべてを担当する 3.SMIPBE(理数科教育改善プロジェクト)の活動を他隊員と協働して支援する 4.SMIPBEで教科知識強化のための授業やワークショップを実施する 5.同僚理科教師の授業について改善点を助言する(特に教授法) →理科教師の多くはSMIPBEのワークショップに参加している *担当科目は化学、物理であるが、数学の授業を依頼される可能性もある。対象学年は本調査時点での予定。 | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 職員室(個人用デスクはない)、プリンター | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:男性、副校長:男性、同僚:教師16名 活動対象者: 理科教師2名 9-12年生の生徒(赴任後、再度校長と協議して決定) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は (高・理) ・性別 (男性) 理由: 配属先の強い希望 ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 教師の条件 ・経歴 (実務経験) () 理由: 同僚教師の教授法助言のため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯海洋性) 気温(20~35 ℃位) 電気(●安定 ○不安定 ○なし) 通信(☒ インターネット可 ☒ 電話可 ☐ 無線) 水道(●安定 ○不安定 ○なし) | | | | |
| 特記事項 | 学校敷地内住居に他職種(PCインストラクター)と同居になる(各寝室は独立) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|--|--|-----------------------------|
| 要請番号 (JL 251 - 13 - B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| パナマ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ロドルフォ・チアリ中高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 コクレ県アグアドウルセ JICA事務所の所在地(パナマ市)から 西 方向 190 Km. 主要都市(アグアドウルセ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 教育省は幼児から12学年までの小中高等学校約3,300校を管轄し、年間予算は729,146,000米ドル。配属先校は1946年に創立された中高の併設校であり、在校生は7年生から12年生まで2,187名、うち物理を学ぶ生徒は高校部(10~12年生)649名。物理教師は4名(常勤2名、非常勤2名)が在籍。通常授業のほか、土曜日に補習授業も実施している。卒業生は大半が大学へ進学する。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 パナマの理科習熟レベルは中南米の中でも非常に低く、教育省として生徒の理科能力向上は重要な教育課題となっている。生徒の多くは理科に対し苦手意識を有しており、苦手意識を払拭させるため、生徒が興味を示す授業内容、指導法の確立をめざしプロジェクトが教育省によって立案された。また、パナマでは理論中心の授業が主流であり、実験・実習を取り入れ生徒が考える授業の導入も求められている。将来的にはパイロット校にて構築された指導法をパナマ国内全体に普及させることが期待されている。執務時間7~15時(予定)。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①カウンターパートとともに生徒に対する物理の授業を行いながら、現状の指導法や教授法にかかる助言・支援を行う。必要に応じ教材作成、改訂にも参加する。 ②実験・実習を取り入れた授業を紹介・指導する。 ③教員対象の研修会やセミナーを企画・実施し、分かりやすい理科教授法について指導支援を行う。 活動においては、他校派遣の理科教師ボランティアとも協力・連携を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 机、実験室(一連の必要な機材あり)、各種教材実 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 物理教師4名(常勤2名、非常勤2名) 実験室アシスタント1名 教育省スーパーバイザー(女性、50代) | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚や上司が大卒であるため ・経歴 (教員経験) (3年以上) 理由: 教師へアドバイスのため 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 通信 | <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 327 - 13- B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ペルー | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 3ヶ月 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 環境省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ペルー国立地球物理研究所 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 リマ市アテ区 JICA事務所の所在地(リマ市)から 東 方向 15. Km 主要都市(リマ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ペルー国立地球物理研究所は、地球科学とそれに関連する科学分野を調査・研究する国立の研究機関。首都リマの本部の他に、ヒカマルカ、アンコン、ワンカイヨ、イカなどに支所があり、天文学の他に地震、気象、高層大気、地磁気、海洋等についての調査研究を行っている。全職員の数は70名程度。そのうち、天文学部門はワンカイヨ4名、イカ3名、リマのプラネタリウムに4名の職員がいる。2008年日本政府による文化無償資金協力により、現時点ではペルー国内唯一となる惑星の再現が可能なプラネタリウムが設置された。年間予算は約2.5億円。現在、プラネタリウムのSVが活動中(2013年6月まで)。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ペルー地球物理研究所(リマ)のムツミ・イツカプラネタリウムでは、2011年から通常のプラネタリウム投影に加えて立体(3D)で宇宙旅行を楽しめる3D投影を始めた。この3D宇宙旅行投影は、日本の国立天文台が開発した宇宙シミュレーションソフトMitakaをベースとしており、スペイン語に訳し、持ち運びできるシステムを作り上げたものである。配属先ではこのシステムを利用し、より多くの児童・生徒、一般市民に天文学に親しむ機会を提供できると考えており、リマ市内の学校や地方およびイベント会場等で投影することを計画している。そのため、天文学の知識を持って3D投影システムによる天文教育・普及を推進し、ソフトウェアの開発元である日本の国立天文台と情報交換ができる人材が必要とされ、今回の要請となった。現在活動しているSVは、主にプラネタリウムの番組制作指導を行っている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 3D宇宙旅行投影システムによる天文教育・普及の推進が求められている。 具体的には、次の活動を行う。 ①小中学校における3D投影のサポート ②出張投影の企画・実施 ③日本の国立天文台との情報の交換 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 パソコン(インターネット接続あり)、事務机、事務用品 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 天文学部長(博士):50代男性 同僚4名 | | | 5) 活動使用言語 (スペイン語) 6) 生活使用言語 (スペイン語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:天文学や物理学の知識が必要 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(砂漠) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---|---|--------|-----------|------------------------|
| 要請番号(JL 469 - 13- B - 15) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | ● 2 年 | 1 JOCV/SV | |
| モロッコ | 理科教育 | | | ● 1 年 | 2 26 / 2 | 日系/短期 年 月 から |
| | | | | ○ ヶ月 | 3 / | |

| | |
|------------------------------|--|
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国家教育省 |
| 2) 配属先名 (日本語) インズガーン支局 | <input type="radio"/> NGO |
| 3) 任地 インズガーン・アイトメルール県インズガーン市 | JICA事務所の所在地(ラバト)から 南 方向 550 Km 主要都市(アガディール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) |
| 4) 配属先の規模・事業内容 | 配属先は全国に配置されている支局の一つで、県内の小・中・高等学校を管轄している。モロッコでは1999年に「国家・教育人材育成憲章」が策定され、基礎教育の拡充および質の改善が推進され、日本も教育サービスの普及が不十分な地方農村地域を対象に2002年「地方部中学校拡充計画」により、約100校の校舎建設のための円借款を供与し、同支局管轄内に3校の中学校を建設した。現在、同支局には体育JVが派遣され、児童を対象に体育を指導している。 |

| | |
|---|---|
| 要請 | 1) 要請理由・背景 モロッコの地方部の中等教育就学率は低く、都市部の約5割程度にとどまっている。この問題の要因の一つとして校舎数不足や遠方から通う生徒のための寄宿舎の未整備といったインフラに起因する問題の他に、生徒や保護者の学習に対する興味・関心を高める授業が実施されていないことが挙げられ、教育の質の改善が課題となっている。特に理科においては理科実験器具、試薬の未整理、実験助手の不在等の理由により理科実験室が使われず、座学中心の授業が行われていることから、生徒が興味を持って学習できるような理科授業・実験ができる人材が求められている。 |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) | 国家教育省インズガーン支局の一員として同県の中学校で質の高い理科教育を普及させるために日本の協力で建設された中学校を含む、インズガーン県内の中学校を定期的に巡回し、理科教師(物理・化学・自然科学)とともに理科実験教材を作成、実習指導などを行い理科授業の質の向上を支援する。 |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 | 顕微鏡、薬品などの実験器具(学校により実験器具は異なる) パソコン教室 |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 | 支局長(男性 50歳代)、各中学校の校長、理科教師 |
| 5) 活動使用言語 | (フランス語) |
| 6) 生活使用言語 | (アラビア語) |
| 7) 選考指定言語 | 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は (中・理) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (教員経験) (5年以上) 理由: 教員への指導が含まれるため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(半乾燥) 気温(8~30 ℃位) 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 469 - 13- B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| モロッコ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国家教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ティズニット支局 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ティズニット県・ティズニット市 JICA事務所の所在地(ラバト)から 南 方向 650 Km 主要都市(アガディール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は全国に配置されている支局の一つで、県内の小・中・高等学校を管轄している。モロッコでは1999年に「国家・教育人材育成憲章」が策定され、基礎教育の拡充および質の改善が推進され、日本も教育サービスの普及が不十分な地方農村地域を対象に2002年「地方部中学校拡充計画」により、約100校の中学校校舎建設のための円借款を供与し、同支局管轄内に6校の中学校を建設した。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 モロッコの地方部の中等教育就学率は低く、都市部の約5割程度にとどまっている。この問題の要因の一つとして校舎数不足や遠方から通う生徒のための寄宿舎の未整備といったインフラに起因する問題の他に、生徒や保護者の学習に対する興味・関心を高める授業が実施されていないことが挙げられ、教育の質の改善が課題となっている。特に理科においては理科実験器具、試薬の未整理、実験助手の不在等の理由により理科実験室が使われず、座学中心の授業が行われていることから、生徒が興味を持って学習できるような理科授業・実験ができる人材が求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同県の中学校で質の高い理科教育を普及させるために以下の活動を行う。 1)日本の協力で建設された中学校を含む、ティズニット県内の中学校を定期的に巡回し、理科教師(物理・化学・自然科学)とともに理科実験教材を作成、実習指導などを行い理科授業の質の向上を支援する。 2)同支局配属のPCインストラクターJVと協働でパソコン教室を活用した効果的な授業実施を支援する(デジタル教材作成支援を含む)。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 顕微鏡、薬品などの実験器具(学校により実験器具は異なる) パソコン教室 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は (中・理) ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (教員経験) (5年以上) 理由: 教員への指導が含まれるため 理由: | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (アラビア語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(半乾燥) 気温(3~35 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 11 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|----------------|---|---|---------|--------|--------|
| 要請番号 (JL 506 - 13 - B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| エチオピア | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |

| | |
|-------|--|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) アムハラ州教育局 |
| | 2) 配属先名 (日本語) デイルチュポ小学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アムハラ州バハルダール JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北西 方向 600 Km 主要都市(バハルダール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 エチオピア最大のタナ湖に面したアムハラ州都バハルダールに所在するGrade0-8(幼稚園～中学2年)の生徒約1600名が通う中規模な小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校・幼稚園に対する教育の質改善のサポートが期待されている。同配属先からは情操教育の強化を目的に小学校教育ボランティアの要請書も提出されている。 |

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 当国では、2006年に3割であった高等教育の理数科進学率を、2008年には8割に高めるなど理数科教育の推進を国家戦略として進めている。それに伴い、理論中心だった同分野の教育を、実験・観察を取り入れた実践的な理科教育に転換する動きが開始された。当国理科教育ボランティアは身近な材料を使った理科実験の普及や実験室整備、また実験方法の指導などを行ってきた結果、近年これらの活動が公に認められるようになり、教育行政機関と連携した現職教員研修が各地で開催されるようになった。さらにJICA技術協力「理数科教育改善プロジェクト(SMASEE)」が2011年から開始されたことから、連邦教育省主導の理数科教育改善の動きが加速し、特に学校現場で技術指導を行う理科教育ボランティアへのさらなる協力が求められ、本要請に至った。当国では現在グループ型派遣を進めており、同一目標の下、基礎科学教育の改善に取り組んでいる。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)を指導する教員に対し、実験・観察を取り入れた実践的な授業が継続的に行えるよう支援する。また、Grade3,4(小学3,4年生相当)の教員に対する実験紹介にも期待されている。 2. 身近な材料を用いて実験室の管理・充実等を行う。 3. 近隣小学校を訪問し、実験の演示や実験道具の紹介を行う。 4. 教育行政機関と連携し、現地理科教員の指導力向上や身近な材料を利用した実験の普及に関する研修を実施する。 5. 実験器具が不足しているため、現地の材料を活用して実験道具・器具上の工夫を図る。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(チョーク、黒板、いす)、実験室、基本的な実験器具(試験管、ピーカー、フラスコなど)および薬品(塩酸、硝酸など) |

| | |
|---|---|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:50歳代(男性) 教員数:約40名(物理2名、化学2名、生物2名) ※教員の異動は多い | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |
|---|---|

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 理論説明が重要かつ必要 ・経歴 () () 理由: ・ 実験実習の経験 理由: 実験演示が重要かつ必要 | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(温帯気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

特記事項 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 <http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/>

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 11 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|--------|--------|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 派遣希望時期 | |
| エチオピア | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) アムハラ州教育局 |
| | 2)配属先名 (日本語) シュンベット小学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 アムハラ州バハルダール JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北西 方向 600 Km 主要都市(バハルダール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 エチオピア最大のタナ湖に面したアムハラ州都バハルダールに所在するGrade0-8(幼稚園～中学2年)の生徒約2600名が通う大規模な小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校に対する教育の質改善のサポートが期待されている。現在同配属先には理科教育ボランティア(2代目)の他、情操教育の強化を目的に小学校教育ボランティア(初代)が活動している。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 当国では、2006年に3割であった高等教育の理数科進学率を、2008年には8割に高めるなど理数科教育の推進を国家戦略として進めている。それに伴い、理論中心だった同分野の教育を、実験・観察を取り入れた実践的な理科教育に転換する動きが開始された。当国理科教育ボランティアは身近な材料を使った理科実験の普及や実験室整備、また実験方法の指導などを行ってきた結果、近年これらの活動が公に認められるようになり、教育行政機関と連携した現職教員研修が各地で開催されるようになった。さらにJICA技術協力「理数科教育改善プロジェクト(SMASEE)」が2011年から開始されたことから、連邦教育省主導の理数科教育改善の動きが加速し、特に学校現場で技術指導を行う理科教育ボランティアへのさらなる協力が求められ、本要請に至った。当国では現在グループ型派遣を進めており、同一目標の下、基礎科学教育の改善に取り組んでいる。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)を指導する教員に対し、実験・観察を取り入れた実践的な授業が継続的に行えるよう支援する。 2. 身近な材料を用いて実験室の管理・充実等を行う。 3. 近隣小学校を訪問し、実験の演示や実験道具の紹介を行う。 4. 教育行政機関と連携し、現地理数科教員の指導力向上や身近な材料を利用した実験の普及に関する研修を実施する。 5. 実験器具が不足しているため、現地の材料を活用して実験道具・器具上の工夫を図る。 |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(チョーク、黒板、いす)、実験室、基本的な実験器具(試験管、ピーカー、フラスコなど)および薬品(塩酸、硝酸など) |
| | 4)配属先同僚及び活動対象者 校長:50歳代(男性) 教員数:約50名(理科教員:物理2名、化学3名、生物2名、一般理科1名) ※教員の異動は多い |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:理論説明が重要かつ必要 ・経験 () () 理由: ・ 実験実習の経験 理由:実験演示が重要かつ必要 | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(温帯気候) 気温(15~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

特記事項 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照
<http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/>

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 11 日

| | | | | | |
|--|-------------------|---|---|---|---------|
| 要請番号 (JL 506 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 派遣希望時期 | 年 月 日 |
| エチオピア | 理科教育 | | | <input type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | 26 / 3 |
| 1) 受入省庁名 (日本語) アムハラ州教育局 2) 配属先名 (日本語) ダングラ小学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 アムハラ州ダングラ JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北西 方向 550 Km 主要都市(バルダール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 アムハラ州のアイウ県ダングラに所在するGrade0-8(幼稚園~中学2年)の生徒約1000名が通う小規模な小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校に対する教育の質改善のサポートが期待されている。現在同配属先には理数科教育ボランティア(2代目)の他、情操教育の強化を目的に小学校教育ボランティア(初代)が活動している。米国ピースコー(英語教師)も2013年7月に赴任する予定。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 当国では、2006年に3割であった高等教育の理数科進学率を、2008年には8割に高めるなど理数科教育の推進を国家戦略として進めている。それに伴い、理論中心だった同分野の教育を、実験・観察を取り入れた実践的な理科教育に転換する動きが開始された。当国理科教育ボランティアは身近な材料を使った理科実験の普及や実験室整備、また実験方法の指導などを行ってきた結果、近年これらの活動が公に認められるようになり、教育行政機関と連携した現職教員研修が各地で開催されるようになった。さらにJICA技術協力「理数科教育改善プロジェクト(SMASEE)」が2011年から開始されたことから、連邦教育省主導の理数科教育改善の動きが加速し、特に学校現場で技術指導を行う理科教育ボランティアへのさらなる協力が求められ、本要請に至った。当国では現在グループ型派遣を進めており、同一目標の下、基礎科学教育の改善に取り組んでいる。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)を指導する教員に対し、実験・観察を取り入れた実践的な授業が継続的に行えるよう支援する。また数学に関する教材開発にも期待されている。 2. 身近な材料を用いて実験室の管理・充実等を行う。 3. 近隣小学校を訪問し、実験の演示や実験道具の紹介を行う。 4. 教育行政機関と連携し、現地理数科教員の指導力向上や身近な材料を利用した実験の普及に関する研修を実施する。 5. 実験器具が不足しているため、現地の材料を活用して実験道具・器具上の工夫を図る。 | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(チョーク、黒板、いす)、実験室、基本的な実験器具(試験管、ピーカー、フラスコなど)および薬品(塩酸、硝酸など) | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:50歳代(男性) 教員数:約50名(物理2名、化学1名、生物1名、一般理科2名) ※教員の異動は多い | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:理論説明が重要かつ必要 ・経歴 () () 理由: 実験実習の経験 理由:実験演示が重要かつ必要 | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(温帯気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 11 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|--|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/VSV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| エチオピア | 理科教育 | | 年 月 から | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) アムハラ州教育局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) メラウイ小学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アムハラ州メラウイ JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北西 方向 575 Km 主要都市(ハルダール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 アムハラ州のウエストゴジヤム県メラウイに所在するGrade1-8(小学1年～中学2年)の生徒約2000名が通う中規模な小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校に対する教育の質改善のサポートが期待されている。現在同配属先には理数科教育ボランティア(2代目)の他、情操教育の強化を目的に小学校教育ボランティア(初代)が活動している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 当国では、2006年に3割であった高等教育の理数科進学率を、2008年には8割に高めるなど理数科教育の推進を国家戦略として進めている。それに伴い、理論中心だった同分野の教育を、実験・観察を取り入れた実践的な理数科教育に転換する動きが開始された。当国理数科教育ボランティアは身近な材料を使った理数科実験の普及や実験室整備、また実験方法の指導などを行ってきた結果、近年これらの活動が公に認められるようになり、教育行政機関と連携した現職教員研修が各地で開催されるようになった。さらにJICA技術協力「理数科教育改善プロジェクト(SMASEE)」が2011年から開始されたことから、連邦教育省主導の理数科教育改善の動きが加速し、特に学校現場で技術指導を行う理数科教育ボランティアへのさらなる協力が求められ、本要請に至った。当国では現在グループ型派遣を進めており、同一目標の下、基礎科学教育の改善に取り組んでいる。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)の生徒に対し、実験・観察を取り入れた実践的な授業を現地教員とのチームティーチングにより実現する。 2. 身近な材料を用いて実験室の管理・充実等を行う。 3. 教育行政機関と連携し、現地理科教員の指導力向上や身近な材料を利用した実験の普及に関する研修を実施する。 4. 実験器具が不足しているため、現地の材料を活用して実験道具・器具上の工夫を図る。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験準備室、基本的な実験器具(試験管、ピーカーなど) | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:50歳代(男性) 教員数:約60名(物理2名、化学2名、生物2名、一般理科2名) ※教員の異動は多い | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:理論説明が重要かつ必要 ・経歴 () () 理由: 実験実習の経験 理由:実験演示が重要かつ必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯気候) 気温(15~30 ℃位) : 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 11 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---|---|--|----------|-----------|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| エチオピア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) アムハラ州教育局 |
| | 2) 配属先名 (日本語) アヤレメコネン小学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アムハラ州ドルベテ JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北西 方向 560 Km 主要都市(バハルダール)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 アムハラ州のウエストゴジヤム県ドルベテに所在するGrade0-8(幼稚園~中学2年)の生徒約1800名が通う中規模な小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校に対する教育の質改善のサポートが期待されている。現在同配属先には理数科教育ボランティア(2代目)の他、情操教育の強化を目的に小学校教育ボランティア(初代)が活動している。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 当国では、2008年に3割であった高等教育の理数科進学率を、2008年には8割に高めるなど理数科教育の推進を国家戦略として進めている。それに伴い、理論中心だった同分野の教育を、実験・観察を取り入れた実践的な理科教育に転換する動きが開始された。当国理数科教育ボランティアは身近な材料を使った理科実験の普及や実験室整備、また実験方法の指導などを行ってきた結果、近年これらの活動が公に認められるようになり、教育行政機関と連携した現職教員研修が各地で開催されるようになった。さらにJICA技術協力「理数科教育改善プロジェクト(SMASEE)」が2011年から開始されたことから、連邦教育省主導の理数科教育改善の動きが加速し、特に学校現場で技術指導を行う理数科教育ボランティアへのさらなる協力が求められ、本要請に至った。当国では現在グループ型派遣を進めており、同一目標の下、基礎科学教育の改善に取り組んでいる。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)を指導する教員に対し、実験・観察を取り入れた実践的な授業が継続的に行えるよう支援する。 2. 身近な材料を用いて実験室の管理・充実等を行う。 3. 近隣小学校を訪問し、実験の演示や実験道具の紹介を行う。 4. 教育行政機関と連携し、現地理数科教員の指導力向上や身近な材料を利用した実験の普及に関する研修を実施する。 5. 実験器具が不足しているため、現地の材料を活用して実験道具・器具上の工夫を図る。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(チョーク、黒板、いす)、実験室、基本的な実験器具(試験管、ピーカー、フラスコなど)および薬品(塩酸、硝酸など) |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:50歳代(男性) 教員数:約50名(物理2名、化学2名、生物2名 一般科学2名) ※教員の異動は多い |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | 活動上の単車/自転車の必要性 |
| | ・免許 () 又は () | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | ・性別 () 理由: () | 現職教員特別参加制度 |
| | ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 理論説明が重要かつ必要 | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------------------|--|
| 地 域 概 況 | 気候(温帯気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------|---|
| 特記事項 | 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ |
|------|---|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 11 日

| 要請番号(JL 506 - 13 - B - 06) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
|------------------------------|--|---|---|---|---------|
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 派遣希望 | 派遣希望時期 |
| エチオピア | 理科教育 | | | 期間 | JOCV/SV |
| | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | 26 / 3 |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) オロミア州教育局 2) 配属先名 (日本語) モジヨNo.1小学校 <input type="radio"/> NGO | | | | |
| 概要 | 3) 任地 オロミア州モジヨ JICA事務所の所在地(<u>アディスアベバ</u>)から 南東 方向 70 Km 主要都市(<u>ナザレット</u>)までの交通手段及び所要時間(<u>バス</u> で約 0.5 時間) | | | | |
| 要請 | 4) 配属先の規模・事業内容 オロミア州のイーストシオア県モジヨに所在するGrade0-8(幼稚園～中学2年生)の生徒約2000名が通う中規模な小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校に対する教育の質改善のサポートが期待されている。現在同配属先には理科教育ボランティア(2代目)の他、情操教育の強化を目的に小学校教育ボランティア(初代)が活動している。 | | | | |
| 要請 | 1) 要請理由・背景 当国では、2006年に3割であった高等教育の理科進学率を、2008年には8割に高めるなど理科教育の推進を国家戦略として進めている。それに伴い、理論中心だった同分野の教育を、実験・観察を取り入れた実践的な理科教育に転換する動きが開始された。当国理科教育ボランティアは身近な材料を使った理科実験の普及や実験室整備、また実験方法の指導などを行ってきた結果、近年これらの活動が公に認められるようになり、教育行政機関と連携した現職教員研修が各地で開催されるようになった。さらにJICA技術協力「理科教育改善プロジェクト(SMASEE)」が2011年から開始されたことから、連邦教育省主導の理科教育改善の動きが加速し、特に学校現場で技術指導を行う理科教育ボランティアへのさらなる協力が求められ、本要請に至った。当国では現在グループ型派遣を進めており、同一目標の下、基礎科学教育の改善に取り組んでいる。 | | | | |
| 概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)を指導する教員に対し、実験・観察を取り入れた実践的な授業が継続的に行えるよう支援する。 2. 身近な材料を用いて実験室の管理・充実等を行う。 3. 近隣小学校を訪問し、実験の演示や実験道具の紹介を行う。 4. 教育行政機関と連携し、現地理科教員の指導力向上や身近な材料を利用した実験の普及に関する研修を実施する。 5. 実験器具が不足しているため、現地の材料を活用して実験道具・器具上の工夫を図る。 | | | | |
| 要請 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(チョーク、黒板、いす)、実験室、基本的な実験器具(試験管、ピーカー、フラスコなど)および薬品(塩酸、硝酸など) | | | | |
| 要請 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:男性、40代 教員数:約60名(物理2名、化学2名、生物4名、一般理科4名) ※教員の異動は多い | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (<u>大卒</u>) (<u>理系</u>) 理由:理論説明が重要かつ必要 ・経歴 () () 理由: <u>実験実習の経験</u> 理由:実験演示が重要かつ必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 理科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 11 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|--|---|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 07) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 <input type="radio"/> 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| エチオピア | 理科教育 | | 年 月 から | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) アディスアベバ市教育局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) テメンジャヤゼ小学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アディスアベバ JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北 方向 0 Km 主要都市(アディスアベバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 首都アディスアベバ市キルコスサブシティに所在するGrade0-8(幼稚園～中学2年)の生徒約800名が通う小規模な小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校に対する教育の質改善のサポートが期待されている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 当国では、2006年に3割であった高等教育の理数科進学率を、2008年には8割に高めるなど理数科教育の推進を国家戦略として進めている。それに伴い、理論中心だった同分野の教育を、実験・観察を取り入れた実践的な理科教育に転換する動きが開始された。当国理科教育ボランティアは身近な材料を使った理科実験の普及や実験室整備、また実験方法の指導などを行ってきた結果、近年これらの活動が公に認められるようになり、教育行政機関と連携した現職教員研修が各地で開催されるようになった。さらにJICA技術協力「理数科教育改善プロジェクト(SMASEE)」が2011年から開始されたことから、連邦教育省主導の理数科教育改善の動きが加速し、特に学校現場で技術指導を行う理科教育ボランティアへのさらなる協力が求められ、本要請に至った。当国では現在グループ型派遣を進めており、同一目標の下、基礎科学教育の改善に取り組んでいる。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade 7,8(中学1,2年相当)を指導する教員に対し、実験・観察を取り入れた実践的な授業が継続的に行えるよう支援する。 2. 身近な材料を用いて実験室の管理・充実等を行う。 3. 近隣小学校を訪問し、実験の演示や実験道具の紹介を行う。 4. 教育行政機関と連携し、現地理数科教員の指導力向上や身近な材料を利用した実験の普及に関する研修を実施する。 5. 実験器具が不足しているため、現地の材料を活用して実験道具・器具上の工夫を図る。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(チョーク、黒板、いす)、実験室、基本的な実験器具(試験管、ピーカー、フラスコなど)および薬品(塩酸、硝酸など) | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:40歳代(男性) 教員数:約50名(物理1名、化学3名、生物4名) ※教員の異動は多い | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 理論説明が重要かつ必要 ・経験 () () 理由: 実験実習の経験 理由: 実験演示が重要かつ必要 | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 11 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 08) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| エチオピア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> 26 / 1 <input type="radio"/> 26 / 2 <input type="radio"/> 26 / 3 | 1 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) アディスアベバ市教育局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) アビヨット小学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アディスアベバ JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北 方向 0. Km 主要都市(アディスアベバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 首都アディスアベバ市ヤカサブシティに所在するGrade0~8(幼稚園~中学2年相当)までの約1000名の生徒が通う小規模の小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校(4校)に対する教育の質改善のサポートが期待されている。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 エチオピアでは、理数科教育の推進に取り組んでいるものの依然として理論中心の授業が続いている。本案件では、実験室の整備や管理、さらに理論中心の授業に偏らない実験・観察などを取り入れた実践的な授業を現地理科教員とのチームティーチングにより実現することが期待されている。現在、当国では理科教育ボランティアのグループ型派遣を行っており、対象地域であるアディスアベバ、アムハラ州、オロミア州において実践的な授業の普及による基礎科学教育の向上を目指している。また、上記3地域の教育行政機関との連携強化も進んでおり、各地域において現職教員研修を開催している。またJICAが実施している「理数科教育改善プロジェクト(SMASEE)」との連携も進んでおり、同プロジェクトが実施する現職教員研修にも協力している。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)の生徒に対し、理科実験を取り入れた授業を現地教員とのチームティーチングにより実現する。 2. 実験室の整備と管理を行う他、理科実験の導入を図る。 3. 理科実験の場を多様に設け、子供たちの科学に対する興味や関心を促す。 4. 教育行政機関と連携し、実験技術習得に関する教員研修を実施する。 5. 実験器具が不足しているため、現地の材料を活用して実験道具・器具上の工夫を図る。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 簡単な実験器具(ピーカー、フラスコ、メシリンダーなど)、薬品、実験室(黒板、机、椅子) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:男性40歳代 教員数:約40名(物理2名、化学2名、生物2名、一般理科2名) ※教員の異動は多い | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:理論説明が重要かつ必要 ・経験 () () 理由: 実験実習の経験 理由:実験演示が重要かつ必要 | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 12 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 12) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| エチオピア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) アムハラ州教育局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) サルツァディングル小学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アムハラ州バハルダール JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北西 方向 600 Km 主要都市(バハルダール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 アムハラ州都バハルダールに所在するGrade1~8(小学校1年~中学2年相当)の約1600人の生徒が通う中規模の公立小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校(3~5校)に対する教育の質改善のサポートが期待されている。なお同配属先には現在2名のドイツ人ボランティアが配属されており、IT分野において活動している。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国では、2008年から高等教育機関への入学者数の割合を文科系3割、理工系7割に定めるなど、理数科教育の推進に取り組んでいる。しかしながら、実験室の未整備や未使用、また理科教員の不足から依然として理論中心の授業が主流であり、実験や観察を取り入れた実践的な授業の普及が喫緊の課題となっている。本案件は、過去2代のボランティア派遣を通して整備された理科実験室の維持やチームティーチングによる実践的授業の実践を配属先に定着させるだけでなく、新たに近隣小学校への巡回を通して、理科実験室の整備や充実、理科実験を取り入れた実践的な授業の普及が期待されている。また、現在同国小学校に対して理数科教師ボランティアのグループ型派遣を推進しており、配属先での活動だけでなく、教育行政機関と連携した理科実験導入のための現地教員研修を開催している。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)の生徒に対し、現地教員と共に理科実験(主に物理、化学)・観察を取り入れた実践的な授業を行い、定着するように支援をする。 2. 実験室の維持・管理を行う。 3. 教育行政機関が開催する教員研修において、身近な材料を利用した理科実験を紹介・演示する。 4. 近隣小学校への巡回を通して、実験器具の製作や実験室の整備方法を紹介する。 ※なお、同国小学校には実験器具が不足しているため、現地の材料を活用した実験道具の制作が活動上重要になる。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 簡単な実験器具(ビーカー、フラスコ、メスシリンダーなど)、顕微鏡、一部の薬品(塩酸、水酸化ナトリウムなど) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:男性40代 同僚教員:約50名(物理2名、化学2名、生物2名、一般理科2名) 生徒数:約1600名 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 実験実習が必要なため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯) 気温(10~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 12 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号 (JL 506 - 13 - B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| エチオピア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) アムハラ州教育局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) クルクアルメダ小学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アムハラ州バハルダール JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北西 方向 600 Km 主要都市(バハルダール)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 アムハラ州の州都であるバハルダールに所在するGrade1~8(小学1年~中学2年相当)の約1500人が通う中規模の小学校。配属先は近隣小学校のモデル校としての役割を担っており、同小学校を管轄する教育行政機関から学校設備の充実や教育の質の向上が求められている。2009年9月~2011年6月まで初代隊員が理数科教師として活動し、実験室の整備や授業への実験導入を試みた。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国では、産業開発に必要な人材、特に理工系の人材育成のニーズが高まっており、2008年からは高等教育機関への入学者数の割合を文科系3割、理工系7割にするなど、理数科教育を推進する方針が定められた。しかしながら、小学校では設備の問題や実験を指導できる教員不足から依然として実践的な理数科教育の基盤の確立は困難な状況にある。そこで特に実験や観察など、現地理数科教員の実践的な技能向上を目指して協力が要請された。現在同国小学校に対して理数科教師ボランティアのグループ型派遣を推進しており、配属先での活動だけでなく、教育行政機関と連携した理科実験導入のための現地教員研修を開催している。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)の生徒に対し、現地教員が行う授業の中に実験(主に物理・化学)を導入する。 2. 実験室の整備や充実を図る。 3. 教育行政機関が開催する教員研修において、身近な材料を利用した理科実験を演示する。 ※なお同国小学校には実験器具が不足しているため、現地の材料を活用した実験道具の制作が活動上重要になる。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室(チョーク、黒板)、実験室、基本的な実験器具(ピーカー、フラスコなど) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:50代(男性) 同僚:物理教師1名、化学教師2名、生物教師2名 (高校、短大、大学卒等の20~40代) ※教員の異動は多い | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 理科実験が重要になるため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯) 気温(10~30 °C位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 12 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|---|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 14) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| エチオピア | 理科教育 | | 年 月 日 から | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) アディスアベバ市教育局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) テスハコケブ小学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アディスアベバ市 JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 北 方向 0 Km 主要都市(アディスアベバ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はアディスアベバ市政府教育局が管轄している10教区の中の1教区(リデタサブシティー)に所在し、G1~8(小学1年~中学2年相当)の約3000人の生徒が通う大規模の小学校。夜間には約500人の社会人が初等教育課程修了のために通っている。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、学校設備の充実や教育の質の向上が求められている。現在のところ外国からの直接的な援助はない。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国では、2008年から高等教育機関への入学者数の割合を文科系3割、理工系7割に定めるなど、理数科教育の推進に取り組んでいる。しかしながら、実験室の未整備や未使用、また理科教員の不足から依然として理論中心の授業が主流であり、初等理科教育の質の向上を目的に協力が要請された。現在、小学校へ理数科教師の複数派遣を行っており、配属先での活動だけでなく、教育行政機関と連携した活動も進めている。前任者は他の理数科教師ボランティアと協力し、理科教員対象の理科実験セミナーの開催、遠隔地教育システムや国営放送局による全国放送を念頭に入れた科学番組の制作に取り組んでいる。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)の生徒に対し、理科実験(主に物理・化学)を取り入れた授業を現地教員と共に実施する。隊員には同僚教員が主導する授業の中で実験を演示することが期待される。 2. 理科実験の演示やグループ実験を通して、生徒の科学に対する興味や関心を引き出す。 3. 身近な資料を利用して実験器具を作成する。また理科実験室の整備と充実を図る。 4. 教育行政機関や理数科教師ボランティアと連携し、現地理数科教員の指導力向上や身近な資料を利用した理科実験の普及に関する教員研修を実施する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、簡単な実験機材(ビーカー、フラスコ、メスシリンダーなど)、顕微鏡、薬品(塩酸、水酸化ナトリウムなど) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:男性、40代 同僚:物理教師3名、化学教師3名、生物教師3名(30~40代)※教員の異動は多い | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 実験実習が必要のため ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯) 気温(10~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 12 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 15) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| エチオピア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) オロミア州教育局 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) メキ小学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 オロミア州メキ JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 南東 方向 140 Km 主要都市(アディスアベバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 3 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 オロミア州メキに所在するGrade1~8(小学1年~中学2年相当)までの約3000名の生徒が通う大規模の小学校。同配属先は近隣小学校(3校)に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校に対する教育の質改善のサポートが期待されている。他国からの援助はない。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同国では、産業開発に必要な人材、特に理工系の人材育成のニーズが高まっており、2008年からは高等教育機関への入学者数の割合を文科系3割、理工系7割にするなど、理数科教育を推進する方針が定められた。しかしながら、小学校では設備の問題や実験を指導できる教員不足から依然として実践的な理数科教育の基盤の確立は困難な状況にある。そこで特に実験や観察など、現地理科教員の実践的な技能向上を目指して協力が要請された。現在同国小学校に対して理数科教師ボランティアのグループ型派遣を推進しており、配属先での活動だけでなく、教育行政機関と連携した理科実験導入のための現地教員研修を開催している。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)の生徒に対し、実験(主に物理、化学)・観察を取り入れた実践的な授業を現地教員とのチームティーチングにより実現する。 2. 身近な材料を利用した実験器具の製作や実験室の整備、拡充を図る。 3. オロミア州を管轄する教育行政機関や理数科教師ボランティアと連携し、現地理科教員の指導力向上や身近な材料を利用した実験の普及に関する研修を実施する。 ※なお同国小学校には実験器具が不足しているため、現地の材料を活用した実験道具の制作が活動上重要になる。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、基本的な実験器具(試験管、ピーカーなど) | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:男性30歳代 教員数:約50名(物理1名、化学3名、生物3名) 生徒数:約3000名 | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 資格条件等 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 理科実験が重要になるため ・経験 () () 理由: 理由: | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(温帯) 気温(10~30 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ | | | | |



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 12 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード: G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| エチオピア | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | 3 | 26 / 2 | | | |
| | | | 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) オロミア州教育局 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ジレオンNo.2小学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 オロミア州ジンマ JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 南西 方向 335 Km 主要都市(ジンマ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 オロミア州ジンマに所在するGrade5~8(小学5年~中学2年相当)までの約1600名の生徒が通う中規模の小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校(2校)に対する教育の質改善のサポートが期待されている。同配属先には毎年オランダ人教師が数名視察に訪れており、またオランダの支援により校舎が建てられた。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国では、2008年から高等教育機関への入学者数の割合を文科系3割、理工系7割に定めるなど、理数科教育の推進に取り組んでいる。しかしながら、実験室の未整備や未使用、また理科教員の不足から依然として理論中心の授業が主流であり、実験や観察を取り入れた実践的な授業の普及が喫緊の課題となっている。本案件は、新規ボランティア派遣を通して実験室の整備や充実、チームティーチングによる実践的授業の導入が期待されている。また、現在同国小学校に対して理数科教師ボランティアのグループ型派遣を推進しており、配属先での活動だけでなく、教育行政機関と連携した理科実験導入のための現地教員研修の継続開催にも期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)の生徒に対し、現地教員と共に理科実験(主に物理、化学)・観察を取り入れた実践的な授業を行い、定着するように支援をする。 2. 身近な材料を用いて実験器具を制作する他、実験室の整備・充実を行う。 3. 科学クラブの活動を通して、生徒の科学に対する興味や関心を引き出す。 4. 理科教育ボランティアと連携し、身近な材料を利用した理科実験の普及や指導力向上に関する教員研修を企画・開催する。 ※なお、同国小学校には実験器具が不足しているため、現地の材料を活用した実験道具の制作が活動上重要になる。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 簡単な実験器具(ピーカー、フラスコ、メスシリンダーなど) |

| | | |
|--------|---|--|
| 要 求 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:40代男性 教員数:50名(理科教師18名) 生徒数:約1600名 | 5) 活動使用言語 (英語) |
| | | 6) 生活使用言語 (その他) |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 実験実習が必要のため ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------------------|---|
| 地 域 概 況 | 気候(温帯) 気温(10~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------|---|
| 特記事項 | 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ |
|------|---|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 12 日

| | | | | | |
|-------------------------------|-------------------|--|---|--------|-------------------|
| 要請番号 (JL 506 - 13 - B - 17) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV 26 / 1 |
| エチオピア | 理科教育 | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | 3 | 26 / 3 | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) オロミア州教育局 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ヘルメタ小学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 オロミア州ジンマ JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 南西 方向 335 Km 主要都市(ジンマ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 オロミア州ジンマに所在するGrade1~8(小学1年~中学2年相当)までの約2000名の生徒が通う大規模の小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、同小学校の設備の充実や教育の質の向上だけでなく、近隣小学校(5校)に対する教育の質改善のサポートが期待されている。同配属先には毎年オランダ人教師が数名視察に訪れており、またオランダの支援によりコンピュータが供与されている。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国では、2008年から高等教育機関への入学者数の割合を文科系3割、理工系7割に定めるなど、理数科教育の推進に取り組んでいる。しかしながら、実験室の未整備や未使用、また理科教員の不足から依然として理論中心の授業が主流であり、実験や観察を取り入れた実践的な授業の普及が喫緊の課題となっている。本案件では、新規ボランティア派遣を通して実験室の整備や充実、チームティーチングによる実践的授業の導入が期待されている。また、現在同国小学校に対して理数科教師ボランティアのグループ型派遣を推進しており、配属先での活動だけでなく、教育行政機関と連携した理科実験導入のための現地教員研修の継続開催にも期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)の生徒に対し、現地教員と共に理科実験(主に物理、化学)・観察を取り入れた実践的な授業を行い、定着するように支援をする。 2. 身近な材料を用いて実験器具を制作する他、実験室の整備・充実を行う。 3. 科学クラブの活動を通して、生徒の科学に対する興味や関心を引き出す。 4. 理科教育ボランティアと連携し、身近な材料を利用した理科実験の普及や指導力向上に関する教員研修を企画・開催する。 ※なお、同国小学校には実験器具が不足しているため、現地の材料を活用した実験道具の制作が活動上重要になる。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 簡単な実験器具(ピーカー、フラスコ、メスシリンダーなど) |

| | | |
|--------|--|--|
| 要 求 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:40代男性 教員数:81名(理科教師8名) 生徒数:約2000名 | 5) 活動使用言語 (英語) |
| | | 6) 生活使用言語 (その他) |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | 活動上の單車/自転車の必要性 |
| | ・免許 (高・理) 又は (中・理) | <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:実験実習が必要のため ・経験 (教員経験) (2年以上) 理由:教員指導が必要のため 理由: | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------------------|--|
| 地 域 概 況 | 気候(温帯) 気温(10~30℃ 位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------|---|
| 特記事項 | 理数科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ |
|------|---|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 12 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|--|--|---|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 506 - 13- B - 18) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| エチオピア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) オロミア州教育局 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) リマツト小学校 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 オロミア州アセラ JICA事務所の所在地(アディスアベバ)から 南 方向 150 Km 主要都市(ナザレット)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 アセラ特別市に所在するGrade 1~8(小学1年~中学2年相当)の約1300人の生徒が通う中規模の公立小学校。同配属先は近隣小学校に対するモデル校としての役割を担っており、学校設備の充実や教育の質の向上が求められている。また同地区を管轄する教育アドバイザーの事務所を併設しており、同配属先が教員研修の実施会場となっている。現在のところ外国からの直接的な援助はない。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国では、2008年から高等教育機関への入学者数の割合を文科系3割、理工系7割に定めるなど、理科教育の推進に取り組んでいる。しかしながら、実験室の未整備や未使用、また理科教員の不足から依然として理論中心の授業が主流であり、初等理科教育の質の向上を目的に協力が要請された。現在、小学校へ理科教師の複数派遣を行っており、配属先での理科実験の演習や実験室の整備や充実だけでなく、教育行政機関と連携した理科実験導入のための現地教員研修を開催している。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. Grade7,8(中学1,2年相当)の生徒に対し、理科実験を取り入れた実践的な授業を現地教員とチームティーチングにより実現する。 2. 実験器具がない中、身近な資材を用いて実験器具を作成する。また実験室の整備や充実を図る。 3. 放課後や休み時間に理科実験の演習やグループ実験を行い、生徒の科学に対する興味を引き出すだけでなく、現地理科教員の実験に対する意識の改善に取り組む。 4. 教育行政機関や理科教師ボランティアと連携し、現地理科教員の指導力向上や身近な資材を利用した理科実験の普及に関する教員研修を実施する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室(実験器具はない)、黒板、机、椅子 | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長:男性、40代 同僚:物理教師2名、化学教師2名、生物教師2名(20~40代) ※教員の異動は多い | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (V^N: C) 又は (V^N:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 実験実習が必要のため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(温帯) 気温(10~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記 事項 | 理科教師ボランティアの活動については【JICAボランティア知られざるストーリー】を参照 http://www.jica.go.jp/volunteer/outline/story/ethiopia/ | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 17 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 512 - 13- B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ガーナ | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 2 |
| | | | | | 年 月 から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) カジェビ・アサト高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ボルタ州カジェビ郡 JICA事務所の所在地(アクラ)から 北東 方向 270 Km 主要都市(ホホエ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1959年創立で生徒数約1500名。教員数約80名のうち8名で理数科目を担当している。一般文系、農業、商業の3コースを有する。外国人ボランティアは現在JICAボランティアのみである。前任者は、化学の授業を行っている。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 深刻な理数科教師の不足は緩和されつつあるが、理数科教育(特に実験実習)における教師の質が十分ではないため、ボランティアの活動を通じた理数科教育の質の向上への取組みが求められている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 理数科目(物理、化学、生物)のいずれかについての授業を週15コマ程度担当する(科目は赴任後配属先と相談の上決定する) | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室(物理・化学・生物)、実験器具並びに薬品。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚理科教員: 8名 指導対象者: 中学校を卒業した学生 | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 当地教員の必要条件のため ・経験 () () 理由: 理由: | | | 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(○安定 ●不安定 ○なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(○安定 ●不安定 ○なし) | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 特記 事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 512 - 13- B - 26) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | ● 2 年 | 1 26 / 1 |
| ガーナ | 理科教育 | | | ● 1 年 | 2 26 / 2 |
| | | | | ○ ヶ月 | 3 / から |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) アスココ高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ボルタ州クラチ・イースト郡アスココ JICA事務所の所在地(アクラ)から 北東 方向 250 Km 主要都市(ホホエ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1991年創立の高等学校。学生数約500名、教員約20名。商業、家政、美術の3科からなる。外国人ボランティアの派遣はない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 現在配属先の理数科教師は1名で、深刻な理数科教師の不足である。理数科教育、特に実験など実技の指導力が不足しているため、ボランティア派遣により理数科教育の底上げを図ることが求められている。配属先が近隣配属のJVの活動ぶりを聞き、今回の要請につながった。配属先は日本人ボランティアに非常に期待を抱いている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1)配属先の求める理科の分野(特に物理、化学)で、実験など実技を中心とした授業を行う。 2)理科実験用器材の、整備を行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験に係る実験器具及び薬品(理科実験室はない)、パソコン | | | | |
| 要 求 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚 理科教員1名、数学教員2名 対象者 中学校を卒業した生徒 | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (その他) | |
| | | | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | | 活動上の單車/自転車の必要性 | |
| | ・免許 () 又は () | | | <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 当地教員の資格要件のため | | | 現職教員特別参加制度 | |
| ・経歴 () () 理由: 理由: | | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地 域 概 況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) | | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 512 - 13 - B - 27) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 2年 | 1 26 / 1 |
| ガーナ | 理科教育 | | | 1年 | 2 26 / 2 |
| | | 0ヶ月 | 3 / | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) オカジャクロム高等技術学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ボルタ州ジャシカン郡 JICA事務所の所在地(アクラ)から 北東 方向 200 Km 主要都市(ホホエ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1991年創立の高等技術学校で、農業、家政、工業、商業、文系、理系のコースを持っている。生徒数385名の小規模校。教員数33名。教育環境を整え、生徒数を確保し、学校経営を成り立たせていくことが必要な学校である。過去にJVを含め海外ボランティアを受け入れた実績はない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 理科教員の不足と設備のなさが影響し、同校の理科教育の水準が思わしくない。理科の主任としての活動が求められている。身近な材料を駆使し、生徒たちに理科への関心を深めさせ、卒業統一試験で学業成果を導き出すことが期待されている。隣接校である教員養成校には、理数科教師(数学担当)が2010年に、ジャシカン郡教育事務所にも巡回指導を実施する小学校教諭が2011年から派遣されている。また、2011年2月、同地区より2名の教員が理数科教育授業改善に関する日本での1ヶ月間の研修に参加している。近隣JV、同僚、研修参加者と協力した相乗効果が期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1) 配属先の求める理科の授業を行う。(担当科目は派遣後に配属先との協議の上決定) | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験室(ただし器材等はほとんどそろっていない) | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教員数:33名 指導対象:中学校を卒業した生徒 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴(大卒)(理系) 理由: 同地教員の資格要件のため ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35℃ 位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 512 - 13 - B - 28) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ガーナ | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | 2 | 26 / 2 | 年 月 日 |
| | | | 3 | / | から |
| 配属先概要 | 1)受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) ガーナ教育サービス アダンシ・ノース郡教育事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 アシヤンティ州アダンシ・ノース郡ドンボアセ JICA事務所の所在地(アクラ)から 北西 方向 300 Km 主要都市(クマシ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 アダンシ・ノース郡における学校教育全般にわたる管理、及び小中学校の現職教員研修を管轄している。郡事務所の管轄はサーキットと呼ばれるいくつかの学区に分割され、管轄下の小中学校はそのいずれかのサーキットに属している。2008年から2名のJV小学校教諭隊員が受け入れられ、サーキットスーパーバイザー(指導主事)との協力のもと、巡回指導が行われてきた。現在小学校教諭隊員が1名、算数の指導を行っている。 | | | | |
| 要請概要 | 1)要請理由・背景 ガーナで策定された教育戦略計画の中で「教育の質の向上」が求められている。特に小・中学校の教授力の向上が求められているが、教員の質は十分とはいえない。 JICAでは2005年以降、現職教員政策実施支援計画(INSETプロジェクト)を実施し、小・中学校教員の質の向上、特に日本の優位性が認められる理科科目の向上を支援している。当郡はINSETプロジェクトのパイロット郡であり(現在INSETは全国展開中)教育拠点であることから、プロジェクトとの相乗効果を期待しての本隊員の要請となっている。 | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1)教育事務所が選定した小・中学校を巡回し、児童・生徒に対して、理科(物理か化学)の授業を行う | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 現地で得られる理科実験材料を工夫して利用する | | | | |
| | 4)配属先同僚及び活動対象者 配属先職員:30名(サーキットスーパーバイザー7名、トレーニーオフィサー1名) 指導対象者:巡回先の小・中学校の児童・生徒(9~15歳)、 教員(20~50代) | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 (女性) 理由:ほかの隊員と共同生活のため ・学歴 (大卒) (理系) 理由:同地教員の資格要件のため ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車 <small>の必要性</small> <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| | 地域概況 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|--|-----------------------------|
| 要請番号 (JL 512 - 13 - B - 29) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 派遣希望時期 | 日系/短期 |
| ガーナ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ガーナ教育サービス タマレ市事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ノーザン州 タマレ市 JICA事務所の所在地(アクラ)から 北 方向 650 Km 主要都市(タマレ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 タマレ市における学校教育全般にわたる管理、小中学校の現職教員研修を管轄している。管轄下の小学校236校、中学校は72校ある。2008年にJICAのINSETプロジェクト(現職教員の再教育)が実施されている。年間予算86万セディ(約58万米ドル)。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 JICAでは小学校教員の質の向上、特に日本の優位性が認められる理数科目の教授力の向上を支援するため、2005年まで小中学校理数科教育改善計画(STMプロジェクト)、2005年以降現職教員研修政策実施支援計画(INSETプロジェクト)を実施している。このプロジェクトの効果を学校現場レベルで確実なものとするべく、17年度派遣よりボランティア派遣が開始されている。同事務所では小学校教諭ボランティア2名が小学校を対象に、理数科教師ボランティア1名(前任者)が中学校を対象に活動している。本要請はこの活動を継続・発展させるものである。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先と協議の上、対象中学校を選定し、以下の活動を行う。 1) 市内中学校において理科の授業を担当する 2) 理科教材を準備し、必要としている教員に紹介・提供する 3) 理科教材を用いた教員向けの模擬授業を行う 4) 現職教員教育プログラム(INSET)に関するワークショップ開催を手伝う 5) 教育事務所の一員として、事務所に対し、活動の進捗を定期的に報告する | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教育事務所のPC、プリンター、コピー機 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 INSETコーディネータ1名、教育事務所スタッフ80名 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 当地教員の資格要件のため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(25~40 °C位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | <input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 512 - 13- B - 30) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ガーナ | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | 3 | 26 / 2 | 年 月 から |
| | | | ○ 2 年 | 3 | / |
| | | | ○ 1 年 | | |
| | | | ○ ヶ月 | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ガーナ教育サービス サウス・ダイ郡事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ボルタ州サウス・ダイ郡ペベ JICA事務所の所在地(アクラ)から 北東 方向 180 Km 主要都市(ホ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 サウスダイ郡における学校教育全般にわたる管理及び小中学校の現職教員研修を管轄している。郡事務所の管轄はサーキットと呼ばれるいくつかの学区に分割され、管轄下の小中学校はそのいずれかのサーキットに属している。現在外国人ボランティアは配属されていない。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 郡内にある中学校(トバリメ中学校 生徒数100名程度)に拠点を置き、授業を行うとともに、その周辺の小学校の巡回指導を行い、授業の実演や教材の提供を行うことで、当地教員の教科指導力の質を向上させる。またそれらの授業を通じ、児童・生徒の理数科教科への興味を引き出す。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1) 配属先中学校の求める理科の分野で、実験など実技を中心とした授業を12コマ程度行う。 2) 同僚教師に、生徒の理解や興味を引き出すため、教材やアクティビティを有効に用いた授業を紹介する。 3) 近隣小学校を巡回し、理数科のモデル授業を同僚教員に紹介する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚 教員8名(トバリメ中学校)、郡事務所スタッフ20名 対象者 中学生及び近隣の小学生 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 当地教員の要件となるため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | | |
|------------------------|--|--|--|--|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 512-13-B-31) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ガーナ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 / | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ガーナ教育サービス サウス・ダイ郡事務所 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ボルタ州サウス・ダイ郡ペベ JICA事務所の所在地(アクラ)から 北東 方向 180 Km 主要都市(ホ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 サウスダイ郡における学校教育全般にわたる管理及び小中学校の現職教員研修を管轄している。郡事務所の管轄はサーキットと呼ばれるいくつかの学区に分割され、管轄下の小中学校はそのいずれかのサーキットに属している。現在外国人ボランティアは配属されていない。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 郡内にある中学校(ベキジャケ中学校 生徒数100名程度)に拠点を置き、授業を行うとともに、その周辺の小学校の巡回指導を行い、授業の実演や教材の提供を行うことで、当地教員の教科指導力の質を向上させる。またそれらの授業を通じ、児童・生徒の理数科教科への興味を引き出す。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1) 配属先中学校の求める理科の分野で、実験など実技を中心とした授業を12コマ程度行う。 2) 同僚教師に、生徒の理解や興味を引き出すため、教材やアクティビティを有効に用いた授業を紹介する。 3) 近隣小学校を巡回し、理数科のモデル授業を同僚教員に紹介する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚 教員15名(ベキジャケ中学校)、郡事務所スタッフ20名 対象者 中学生及び近隣の小学生 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:当地教員の要件となっている ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input checked="" type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 (小型自動二輪免許が必要) 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域 概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記 事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|---|-------------------|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 512 - 13 - B - 32) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 1 | JOCV/SV |
| ガーナ | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 2 |
| | | | | | 年 月 から |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| 2) 配属先名 (日本語) セント・チャールズ高等学校 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| 3) 任地 ノーザン州タマレ市 JICA事務所の所在地(アクラ)から 北 方向 660 Km 主要都市(タマレ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.5 時間) | | | | | |
| 4) 配属先の規模・事業内容 生徒数700名の全寮制男子校である。全国統一試験の成績は北部3州でトップクラスであり、特にサイエンスコースは医師やエンジニアをめざす優秀な学生が多い。キリスト教系のミッションスクールでもあり、比較的規律がしっかりとしている。地元大学の医療系学科増設を背景に、大学進学実績の更なる向上を目指している。 | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 農業を含め、9名の理数科目担当教師が在籍している。現在派遣中のボランティアは化学を担当し、実験や実習を取り込んだ授業に挑戦している。学校には2つの実験室があるが、設備や管理体制は整っておらず、十分な活用がこれまで為されてこなかったが、ボランティアを中心に有効利用に取り組みはじめたところである。学生の能力は総じて高いが、理論や定理を述べられるだけであり、実験の進め方や器具の扱いには不慣れである。卒業生の多くが医療系学科に進学することもあり、実験や実習を指導できるボランティアの継続派遣が望まれることから、本件の要請に至った。 | | | | | |
| 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ボランティアは配属先と相談しつつ、以下の活動を行う 1) 理科(特に化学)の授業を担当する 2) 理科実験室の整備を行う 3) 同僚教師に、生徒の理解や興味を引き出すため、教材やアクティビティを有効に用いた授業を紹介する | | | | | |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験室 | | | | | |
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 学校長 男性50代 理数科目担当教師9名 全寮制男子学生700名 | | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 現地教員の資格要件のため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 気候(サバンナ) 気温(25~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 512 - 13 - B - 33) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ガーナ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ノートルダムセミナリー高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アッパーイースト州カッセナ・ナンカナ郡ナブロンゴ JICA事務所の所在地(アクラ)から 北 方向 850 Km 主要都市(ボルガタンガ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1960年創立のカトリック系全寮制男子高校。生徒数292名の小規模校。同国トップの学業成果を誇る進学校。教員数18名、同国大卒者のインターンシップ制度であるナショナルサービスの臨時教員(生物)1名、その他職員が9名いる。1998年、2001年にそれぞれ、英国ボランティア(VSO)数学教員を受け入れている。JVの派遣実績はない。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 規律を重んじ、教育展開しているカトリック系高校として優秀な人材を輩出している。生徒たちがJVとおして国際的な関わりをもち、多様な考え方を吸収していくことについて、意義が大きいと捉えている。すでに学力方面では相当な指導力を持った教員層をもち、生徒側も吸収力が十分ある。それに応えるだけの教育スキルをもったボランティアの派遣が要望されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1) 高校2~3年生の理科の授業を受け持つ(配属先との相談の上、得意な科目を受け持つ)。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験室(設備・備品は整っている) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教員:理科担当3名 指導対象:中学を卒業した生徒たち(15~20歳) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同地教員の資格要件のため ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(サブナ) 気温(25~40 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 512 - 13- B - 34) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 派遣希望時期 | 日系/短期 |
| ガーナ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) フォメナ T.L アメーディア高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アシヤンティ州アダンシ・ノース郡フォメナ JICA事務所の所在地(アクラ)から 北西 方向 270 Km 主要都市(クマシ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1968年創立で生徒数約1200名、教員数68名のうち9名で理数科目を担当している。一般文系、農業、商業の3コースを有する。前任者は、化学や生物の実験授業を行っていた。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 深刻な理数科教師の不足は緩和されつつあるが、理数科教育(特に実験実習)が十分ではないため、ボランティア投入による理数科教育の向上が求められている。 また、郡教育事務所所属隊員も理数科教育・計算力向上を目的とした活動をしており、相乗効果が期待される。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 化学または物理の授業を週15コマ程度担当する | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室(4室:物理・化学・生物・PC)、実験器具並びに薬品。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚現地人理科教員:9名 指導対象者:中学校を卒業した学生 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 現地高校教員の資格要件の為 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~35 ℃位) | | 電気 | <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | 水道 | <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし | |
| 特記事項 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|-------------------------------|-------------------|---|---|---------|--------|
| 要請番号 (JL 512 - 13 - B - 35) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ガーナ | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 2 | | |
| | | 3 | / | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ロウラ高等学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アッパー・ウエスト州ロウラ郡 JICA事務所の所在地(アクラ)から 北西 方向 880 Km 主要都市(ワ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1968年に創立され、現在の生徒数は1,861名、教師数は52名の全寮制の高校である。現在JVのほか、他国のボランティアは活動していない。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ガーナ北部は、南部と比べ、生活環境が厳しく、また首都から遠隔であるため予算や人事面において、中央政府からの支援が及んでいず、教員が不足している。このような地域に住む生徒が理数科の授業に十分アクセスできる環境づくりを行う。実践的な事業を展開することで、同僚教員の教授力を向上させ、同国の理数科教育の質の向上を図る。現在前任者は数学の実践的な授業を中心に活動を行っている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1) 配属先が求める理科の授業を行う。 2) 実験室を整備する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、理科実験器具 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚 数学教員5名、理科教員4名 対象者 中学校を卒業した生徒 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同地教員の資格要件のため ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|----------|--|
| 地域 概況 | 気候(サバンナ) 気温(25~40 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|----------|--|

| | |
|----------|--|
| 特記 事項 | |
|----------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 512 - 13 - B - 36) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ガーナ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) W高等技術学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 アッパー・ウエスト州W市 JICA事務所の所在地(アクラ)から 北西 方向 700 Km 主要都市(W)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 現在の生徒数は約900名、教師数は33名の全寮制の高校である。現在JVのほか、他国のボランティアは活動していない。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ガーナ北部は、南部と比べ、生活環境が厳しく、また首都から遠隔であるため予算や人事面において、中央政府からの支援が及んでいず、教員が不足している。このような地域に住む生徒が理数科の授業に十分アクセスできる環境づくりを行う。実践的な事業を展開することで、同僚教員の教授力を向上させ、同国の理数科教育の質の向上を図る。現在前任者は物理の実践的な授業を中心に活動を行っている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1)配属先が求める理科の授業を行う。 2)実験室を整備する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、理科実験器具 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚 数学教員4名、理科教員3名 対象者 中学校を卒業した生徒 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同地教員の資格要件のため ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(サバンナ) 気温(25~40 ℃位) | | 電気 | <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | 水道 | <input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし | |
| 特記 事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 8 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|---|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 515 - 13- B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ケニア | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 2 | | |
| | | 3 | 26 / 3 | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) セコ女子中等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ウアシンギシュカウンティエルドレット JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 北西 方向 310 Km 主要都市(エルドレット)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 2001年に設立された、全寮制の女子公立中等学校。4年制で全9クラスあり、生徒数は400名、教師数は27名。同校は全国統一テストで県下5位以内に入る進学校であり、学力向上への意識が高い。2001年に日本大使館の草の根・人間の安全保障無償資金協力によって4教室を建設、2005年にはUSAIDによりダイニング・ホールが整備され、同年Barclays銀行により実験器具の寄付を受けている。また2011年よりJICAボランティアの受入を行っている。年間予算は1800万円。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 従来ケニアでは教師が黒板書きをするだけの授業が一般的であったが、生徒の理解度を確認しながら授業を進める指導法、身近な材料を使った教材や実験の導入を目的に、1998年より10年間にわたり、JICAの支援による「中等理科教員強化プロジェクト(SMASSE)」が実施された。同プロジェクトは全国の現地理数科教員を対象に実施され、同校の教員もトレーニングを受け、一定の、実験・実習の知識・技術は定着している。前任者は数学、生物を担当しながら地域で開催される現職教員研修に同僚と共に参加し、理科教育の質の向上に努めた。支援の継続により更なる効果が期待されることから後任要請があげられた。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.物理の授業を担当する。(内容は日本の物理Ⅱに相当する) 2.化学もしくは生物の授業を担当する。 3.現地教員と協力して、生徒の主体性と理解度を重視した指導法、授業方法の普及・定着を図る。ボランティアには教材の開発、手軽な実験の紹介、研究授業・地域での教員研修への参加、公開授業の実施などが期待される。 4.隔週で行われるミーティングにて同僚教師と情報共有を行う。 5.同職種の隊員と情報交換やワークショップ開催などを通じて連携・協力する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 物理用実験室1部屋(全国統一テストに必要な実験器具は揃っている。) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 理科教師10名(理科教師はSMASSEの研修を受けている。) カウンターパート:30代男性、教員歴10年、大学卒。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:理科の専門知識必須 ・経験 (指導経験) (3年以上) 理由:実際の授業を担当するため 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(高原) 気温(15~30℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 8 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|--|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 515 - 13- B - 14) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ケニア | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) エンボンガ初等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ニヤミラカウンティ ニヤミラ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 西 方向 370 Km 主要都市(ニヤミラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は地方農村地域にある公立の初等学校(8年制)で、日本の小学校1年から中学校2年に相当する。現在教師10名に対して生徒数は約360名(15クラス)で、慢性的な教員不足の問題を抱えている。そのため十分な授業運営が難しく、特に生徒の理数科目の理解度は低く、毎年卒業生が受験する全国統一試験の結果も非常に悪い。学校の年間予算は約100万円、経済的に貧しい家庭が多く、生徒の3分の1はAIDS孤児である。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ケニアでは2003年に初等教育が無償化され就学率は高まったが、学校整備や教員補充が不十分で、教育の質の低下を招いている。JICAは2009年より「理数科教育強化計画プロジェクト(SMASE)」を開始して、全国の初等理数科教員を対象に、その教授・指導法を改善すべく研修を実施している。ケニアでは教師が黒板書きをするだけの授業が一般的であるが、生徒の理解度を確認しながら授業を進める指導法、身近な材料を使った教材や実験の導入、近隣校同士での授業研究の推進など、生徒が興味を持って、主体的に学ぶ教育環境作りに取り組んでいる。ボランティアは授業を担当するとともに、現地教員のこれらの取り組みへの支援を行う。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①日本の小学校5年生から中学校2年生に相当するクラスの生徒に理科の指導をする。 ②現地教員と協力して、生徒の主体性と理解度を重視した指導法、授業方法の普及・定着を図る。ボランティアには教材開発や手軽な実験の紹介、授業研究や地域での教員研修への参加、公開授業の実施などが期待される。 ③同じ地域に派遣された理数科教師ボランティアと情報交換やワークショップ開催などを通じて連携・協力する。 ④体育の授業、スポーツ等の課外活動を支援する可能性がある。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教師:10名(男性7名、女性3名) 年齢:30~50代(経験10~30年) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (I・N: B) 又は (I・N:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 (男性) 理由: 住宅事情による ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(高原) 気温(10~25 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 基礎的な理科および体育指導の可能性あり | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 8 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|---|--|---|---------------------------|--|
| 要請番号(JL 515 - 13 - B - 15) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ケニア | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ニヤメル初等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ニヤミラカウンティニヤミラ JICA事務所の所在地(ナイロビ)から 西 方向 370 Km 主要都市(ニヤミラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は地方農村地域にある公立の初等学校(8年制)で、日本の小学校1年から中学校2年に相当。教師8名、生徒数約360名(13クラス)で、慢性的な教員不足の問題を抱える。そのため十分な授業運営が難しく、特に生徒の理数科目の理解度は低く、毎年卒業生が受験する全国統一試験の結果も非常に悪い。学校の年間予算は約200万円、地域的に貧しく、約150名の生徒がAIDS孤児。幼稚園と特別支援学級を併設している。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ケニアでは2003年に初等教育が無償化され就学率は高まったが、学校整備や教員補充が不十分で、教育の質の低下を招いている。JICAは2009年より「理数科教育強化計画プロジェクト(SMASE)」を開始して、全国の初等理数科教員を対象に、その教授・指導法を改善すべく研修を実施している。ケニアでは教師が黒板書きをするだけの授業が一般的であるが、生徒の理解度を確認しながら授業を進める指導法、身近な材料を使った教材や実験の導入、近隣校同士での授業研究の推進など、生徒が興味を持って、主体的に学ぶ教育環境作りに取り組んでいる。ボランティアは授業を担当するとともに、現地教員のこれらの取組みへの支援を行う。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①日本の小学校5年生から中学校2年生に相当するクラスの生徒に理科の指導をする。 ②現地教員と協力して、生徒の主体性と理解度を重視した指導法、授業方法の普及・定着を図る。ボランティアには教材開発や手軽な実験の紹介、授業研究や地域での教員研修への参加、公開授業の実施などが期待される。 ③同じ地域に派遣された理数科教師ボランティアと情報交換やワークショップ開催などを通じて連携・協力する。 ④園芸やスポーツ等の課外活動を支援する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教師:8名(男性7名、女性1名) 年齢:30~50代(経験10~30年) | | 5) 活動使用言語 (英語) | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) | | | | |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | | 現職教員特別参加制度 | | |
| | ・免許 (中・理) 又は () ・性別 (男性) 理由: 住宅事情による ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 理由: | | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地 域 概 況 | 気候(高原) 気温(10~25℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 8 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 515 - 13- B - 16) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ケニア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キグモ初等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 エンブカウンティルニエンジェス JICA事務所の所在地(ナイロビ)から - 北東 方向 200 Km 主要都市(エンブ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先は1988年に設立された公立の初等学校(8年制/日本の小学校1年から中学校2年に相当)である。教師数15名、生徒数約260名(うち190名が寮生)で11クラスがある。8年生卒業時に行われる統一試験の同校の成績は、地域70校中で十数位であり、優秀である。農家からの生徒が多いが家族は教育熱心であり、学校には親からの寄付金によるパソコン30台と契約講師1名がいる。学校の年間予算は約500万円。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ケニアでは2003年に初等教育が無償化され就学率は高まったが、学校整備や教員補充が不十分で、教育の質の低下を招いている。主要教科では生徒の算数と理科の理解力が低く、その教授・指導法を改善すべく、JICAは2009年より「理数科教育強化計画プロジェクト(SMASE)」を開始し、全国の初等理科教員を対象に研修を実施している。これまで普通であった事前準備なしの教師中心の授業から、生徒の学習能力に配慮した授業、身近な材料を使った教材作成や理科実験の導入など、生徒が興味を持って学べる環境作りを推進している。ボランティアは理数科授業を担当するとともに、現地教員へのSMASE授業法の普及・定着を支援する。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 日本の小学校5年生から中学校2年生に相当する年齢の子供たちに理科の指導をする。 2. 放課後の課外活動も担当する。(指導可能な内容を支援する) 3. 理数科教育強化計画プロジェクトの研修に参加した教員(1名が在職)と協力して地域の初等学校4校において現職教員の指導法などの指導・助言を行う。 4. 同地区に派遣された理数科教師との情報交換、ワークショップなどに協力する。 5. コンピュータの授業も行う。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教師:15名(男性6名、女性9名) 年齢:25~55歳(経験2~25年) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地 域 概 況 | 気候(高原) 気温(10~25 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特 記 事 項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 524 - 13 - B - 33) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 2年 | 1 26 / 1 |
| マラウイ | 理科教育 | | | 1年 | 2 26 / 2 |
| | | | ヶ月 | 3 26 / 3 | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・技術省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムセチェ中等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 リロングェ県ムセチェ JICA事務所の所在地(リロングェ)から 北 方向 50 Km 主要都市(リロングェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の中高等学校。当初は遠距離教育センターとして設立されたが、1998年に中高等学校に変更された。2012年にJICAの無償資金協力により、教室、寮、講堂、実験室、教員住宅等が建設された。年間予算は約60万円。総生徒数は約400名。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 マラウイでは1994年に初等教育が無償化された結果、中等教育進学希望者が急増した。政府はコミュニティが建設した教育施設を中等学校に格上げすると同時に、初等教員資格しか持たない教員を中等教員として採用し、中等教育へのアクセス拡充を図ってきた。結果として、就学者は増加したが、中等教育の正規の資格を有する教員が不足しており、ボランティアには質の良い理数科授業の提供が期待されている。 また、教育科学技術省はJICA支援のもと、全国各地域で現職理数科教員再訓練(Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を実施しており、その一環として地域の学校群(8校程度)単位で行う教員研修に協力することも期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属校において、物理・化学の授業を週10コマ~15コマ程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学区内の理数科教育向上を目指す。 ① 学校群内の他校を訪問し、同教科の現地教師の授業準備、実験などのサポートを行う。 ② 学校群レベル、学校レベルの教員研修において、同教科の技術的な面に協力する。 ③ 年1回のSMASSE教員研修(1週間程度)に同僚教師とともに参加し、①②などの活動の参考にする。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 小学校レベルの実験器具、薬品がある。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、教頭、教師12名。理数科教師は4名。 全生徒約400名(14~20歳、日本の中学および高校レベル) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 中高教員は大卒が資格条件の為 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 特になし | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | |
|---|---|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 524 - 13 - B - 34) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| マラウイ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 2 |
| | | | 2 代目 | 2 26 / 3 | |
| | | | | 3 / | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・技術省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) カブドゥラ中高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 リロングウェ県カブドゥラ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 北西 方向 60 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の中高等学校。当初は遠距離教育センターとして設立されたが、1998年に中高等学校に変更された。年間予算は60万円。各学年1クラスずつで、総生徒数は約250名。2012年11月から、理数科教師隊員が1名、物理化学の指導で活動中。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 マラウイでは1994年に初等教育が無償化された結果、中等教育進学希望者が急増した。政府はコミュニティが建設した教育施設を中学校に格上げすると同時に、初等教員資格しか持たない教員を中等教員として採用し、中等教育へのアクセス拡充を図ってきた。結果として、就学者は増加したが、中等教育の正規の資格を有する教員が不足しており、ボランティアには質の良い理数科授業の提供が期待されている。 また、教育科学技術省はJICA支援のもと、全国各地域で現職理数科教員再訓練(Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を実施しており、その一環として地域の学校群(8校程度)単位で行う教員研修に協力することも期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属校において、物理・化学の授業を週10コマ~15コマ程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学区内の理数科教育向上を目指す。 ① 学校群内の他校を訪問し、同教科の現地教師の授業準備、実験などのサポートを行う。 ② 学校群レベル、学校レベルの教員研修において、同教科の技術的な面に協力する。 ③ 年1回のSMASSE教員研修(1週間程度)に同僚教師とともに参加し、①②などの活動の参考にする。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 小学校レベルの実験器具、薬品がある。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、教頭、教師10名。理数科教師は4名。 全生徒約250名(14~20歳、日本の中学および高校レベル) | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (その他) | |
| | | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 中高教員は大卒が資格条件の為 ・経験 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 特になし | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 524 - 13 - B - 35) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 派遣希望時期 |
| マラウイ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 | 26 / 2 |
| | | | | 2 | 26 / 3 |
| | | | | 3 | / |
| 年 | 月 | から | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 教育・科学・技術省 |
| | 2)配属先名 (日本語) ンサナマ中等学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 マチンガ県ンサナマ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南東 方向 230 Km 主要都市(ゾンバ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2.0 時間) |
| | 4)配属先の規模・事業内容 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の中高等学校。当初は遠距離教育センターとして設立されたが、1998年に中高等学校に変更された。年間予算は70万円。各学年1クラスずつで、総生徒数は約250名。2012年11月から、理数科教師隊員1名が、数学の指導で活動中。また、同学校郡内のンベンジェレ中高等学校(約15km先)では、2013年8月より、理数科教師隊員1名が活動予定。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 マラウイでは1994年に初等教育が無償化された結果、中等教育進学希望者が急増した。政府はコミュニティが建設した教育施設を中等学校に格上げすると同時に、初等教員資格しか持たない教員を中等教員として採用し、中等教育へのアクセス拡充を図ってきた。結果として、就学者は増加したが、中等教育の正規の資格を有する教員が不足しており、ボランティアには質の良い理数科授業の提供が期待されている。 また、教育科学技術省はJICA支援のもと、全国各地域で現職理数科教員再訓練(Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を実施しており、その一環として地域の学校群(8校程度)単位で行う教員研修に協力することも期待されている。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属校において、物理・化学の授業を週10コマ~15コマ程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学区内の理数科教育向上を目指す。 ①学校群内の他校を訪問し、同教科の現地教師の授業準備、実験などのサポートを行う。 ②学校群レベル、学校レベルの教員研修において、同教科の技術的な面に協力する。 ③年1回のSMASSE教員研修(1週間程度)に同僚教師とともに参加し、①②などの活動の参考にする。 |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 小学校レベルの実験器具、薬品がある。実験室はない。 |

| | | |
|---|--|---------------------------------------|
| 要 | 4)配属先同僚及び活動対象者 校長、教頭、教師8名。理数科教師は4名。 全生徒約250名(14~20歳、日本の中学および高校レベル) | 5)活動使用言語 (英語) |
| | | 6)生活使用言語 (その他) |
| | | 7)選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:中高教員は大卒が資格条件の為 ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) |
| 特記事項 | 特になし |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 1 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 524 - 13- B - 36) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| マラウイ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 2 | 2 26 / 3 |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・技術省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) チェンベラ中高等学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 バラカ県チェンベラ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南東 方向 250 Km 主要都市(リロングェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5.0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の中高等学校。当初は遠距離教育センターとして設立されたが、1998年に中高等学校に変更された。年間予算は40万円。各学年1クラスずつで、総生徒数は約250名。2012年11月から、理数科教師隊員1名が、物理化学と数学の指導で活動中。また、同学校郡内のバラカ中高等学校(約15km先)では、2012年2月より理数科教師隊員1名が、数学の指導で活動中。 |

| | |
|---|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 マラウイでは1994年に初等教育が無償化された結果、中等教育進学希望者が急増した。政府はコミュニティが建設した教育施設を中等学校に格上げすると同時に、初等教員資格しか持たない教員を中等教員として採用し、中等教育へのアクセス拡充を図ってきた。結果として、就学者は増加したが、中等教育の正規の資格を有する教員が不足しており、ボランティアには質の良い理数科授業の提供が期待されている。また、教育科学技術省はJICA支援のもと、全国各地で現職理数科教員再訓練(Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を実施しており、その一環として地域の学校群(8校程度)単位で行う教員研修に協力することも期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属校において、物理・化学の授業を週10コマ～15コマ程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学区内の理数科教育向上を目指す。 ①学校群内の他校を訪問し、同教科の現地教師の授業準備、実験などのサポートを行う。 ②学校群レベル、学校レベルの教員研修において、同教科の技術的な面に協力する。 ③年1回のSMASSE教員研修(1週間程度)に同僚教師とともに参加し、①②などの活動の参考にする。 |
| 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 小学校レベルの実験器具、薬品がある。 | |

| | |
|--|--|
| 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、教頭、教師11名。理数科教師は5名。 全生徒約250名(14～20歳、日本の中学および高校レベル) | 5) 活動使用言語 (英語) |
| | 6) 生活使用言語 (その他) |
| | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 中高教員は大卒が資格条件の為 ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10～30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|------|
| 特記事項 | 特になし |
|------|------|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 12 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|-------------------|--|---|---|--------|-------------------|
| 要請番号 (JL 524 - 13 - B - 53) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | | | |
| マラウイ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 | JOCV/SV 26 / 1 |
| | | | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | 26 / 3 | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育科学技術省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ンボンダス中高等学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ンボンダス JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南東 方向 250 Km 主要都市(マンゴチ)までの交通手段及び所要時間(自転車 で約 0.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の中高等学校。年間予算 50万円。各学年1クラスずつで、総生徒数は約230名。同校には2011年11月から理数科教師隊員派遣開始、現在初代の隊員は物理・化学と数学指導で活動中。同学区の他校(約2キロ先)では、2012年8月より4代目の理数科教師隊員1名が数学指導で活動している。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 マラウイでは1994年に初等教育が無償化された結果、中等教育進学希望者が急増した。政府はコミュニティが建設した教育施設を中等学校に格上げすると同時に、初等教員資格しか持たない教員を中等教員として採用し、中等教育へのアクセス拡充を図ってきた。結果として、就学者は増加したが、中等教育の正規の資格を有する教員が不足しており、ボランティアには質の良い理数科授業の提供が期待されている。 また、教育科学技術省はJICA支援のもと、全国各地域で現職理数科教員再訓練(Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を実施しており、その一環として地域の学校群(8校程度)単位で行う教員研修に協力することも期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属校において、物理・化学の授業を週10コマ～15コマ程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学区内の理数科教育向上を目指す。 ① 学校群内の他校を訪問し、同教科の現地教師の授業準備、実験などのサポートを行う。 ② 学校群レベル、学校レベルの教員研修において、同教科の技術的な面に協力する。 ③ 年1回のSMASSE教員研修(1週間程度)に同僚教師とともに参加し、①②などの活動の参考にする。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具および薬品。学校群内の学校間で実験器具や薬品の貸し借りをしている。 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、副校長、教師 15名。理数科教師は 5名。 全生徒約 230名(14～20歳、日本の中学および高校レベル) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 中高等学校教員は大卒が資格条 ・経歴 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(温暖夏雨気候) 気温(10~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 524 - 13 - B - 78) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 5 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| マラウイ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 2 26 / 2 | | |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・技術省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) マンゴチ中高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 マンゴチ県マンゴチ JICA事務所の所在地(リロンゲ)から 南東 方向 250 Km 主要都市(プランタイヤ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の政府系寮制中高等学校。年間予算は約500万円。各学年は2クラスずつあり、総生徒数は約400名。 寮はこれまで男子寮しかなかったが、草の根・人間の安全保障無償資金協力で建設されていた女子寮が2012年2月に完成し、2012年の新学年は男女同数の60名ずつの入学となった。2012年7月から理数科教師隊員が数学の指導で活動中。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 マラウイでは1994年に初等教育が無償化された結果、中等教育進学希望者が急増した。政府はコミュニティが建設した教育施設を中等学校に格上げすると同時に、初等教員資格しか持たない教員を中等教員として採用し、中等教育へのアクセス拡充を図ってきた。結果として、就学者は増加したが、中等教育の正規の資格を有する教員が不足しているため、質の良い理数科授業の提供が期待されている。 また、教育科学技術省はJICA支援のもと、全国各地域で現職理数科教員再訓練(Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を実施しており、その一環として地域の学校群(8校程度)単位で行う教員研修に協力することも期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属校において、物理・化学の授業を週10コマ~15コマ程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学区内の理数科教育向上を目指す。 (1) 学校群内の他校を訪問し、同教科の現地教師の授業準備、実験などのサポートを行う。 (2) 学校群レベル、学校レベルの教員研修において、同教科の技術的な面に協力する。 (3) 年1回のSMASSE教員研修(1週間程度)に同僚教師とともに参加し、(1)(2)などの活動の参考にする。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 黒板用コンパス・定規・分度器など | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 全教師25名中、理数科専門教師5名。 全生徒数約500名(15~20歳、日本の中学及び高校レベル)。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:大卒が資格条件のため ・経験 () () 理由: 理由: | | | 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~35℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 特記事項 | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 524 - 13 - B - 84) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 派遣希望時期 | 派遣希望時期 |
| マラウイ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 | 26 / 1 |
| | | | | 2 | 26 / 2 |
| | | | | 3 | 26 / 3 |
| | | | | | 年 月 から |

| | |
|-------|---|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育科学技術省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) リスンピユイ中等高等学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 モンキーベイ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南東 方向 200 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 4.0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の政府系寮制中等高等学校。年間予算 700万円。各学年3クラスずつで、総生徒数は約520名。 同校には2007年から2009年まで理数科教師隊員が派遣されていた。今回のグループ型派遣としては新規の要請となる。 |

| | |
|------|--|
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 マラウイでは1994年に初等教育が無償化された結果、中等教育進学希望者が急増した。政府はコミュニティが建設した教育施設を中等学校に格上げすると同時に、初等教員資格しか持たない教員を中等教員として採用し、中等教育へのアクセス拡充を図ってきた。結果として、就学者は増加したが、中等教育の正規の資格を有する教員が不足しているため、質の良い理数科授業の提供が期待されている。 また、教育科学技術省はJICA支援のもと、全国各地域で現職理数科教員再訓練(Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を実施しており、その一環として地域の学校群(8校程度)単位で行う教員研修に協力することも期待されている。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属校において、生物または物理・化学の授業を週10コマ~15コマ程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学区内の理数科教育向上を目指す。 (1) 学校群内の他校を訪問し、同教科の現地教師の授業準備、実験などのサポートを行う。 (2) 学校群レベル、学校レベルの教員研修において、同教科の技術的な面に協力する。 (3) 年1回のSMASSE教員研修(1週間程度)に同僚教師とともに参加し、(1)(2)などの活動の参考にする。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具および薬品。学校群内の学校間で実験器具や薬品の貸し借りをを行っている。 |

| | | |
|------|--|--|
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、副校長、教師28名。理数科教師は12名。 全生徒約520名(14~20歳、日本の中学および高校レベル) | 5) 活動使用言語 (英語) |
| | | 6) 生活使用言語 (その他) |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|---|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 中高教員は大卒資格が必要 ・経歴 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
| | | |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~35 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|---|---|---|---|--------------------|
| 要請番号(JL 524 - 13 - B - 88) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 | 日系/短期 年 月 から |
| マラウイ | | 理科教育 | | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育科学技術省 2) 配属先名 (日本語) ムワティブ中高等学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 ナテンジェ JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 南東 方向 25 Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.7 時間) | | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先の規模・事業内容 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の中高等学校。年間予算 80万円。各学年1クラスずつで、総生徒数は約320名。同校には2013年7月まで2代目理数科教師隊員が派遣されていた。同学校群内のチンゴンベ中高等学校(約10キロ先)では、2013年2月より理数科教師隊員1名が活動中。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 マラウイでは1994年に初等教育が無償化された結果、中等教育進学希望者が急増した。政府はコミュニティが建設した教育施設を中等学校に格上げすると同時に、初等教員資格しか持たない教員を中等教員として採用し、中等教育へのアクセス拡充を図ってきた。結果として、就学者は増加したが、中等教育の正規の資格を有する教員が不足しているため、質の良い理数科授業の提供が期待されている。 また、教育科学技術省はJICA支援のもと、全国各地域で現職理数科教員再訓練(Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を実施しており、その一環として地域の学校群(8校程度)単位で行う教員研修に協力することも期待されている。 | | | | | |
| 要請概要 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属校において、生物または物理・化学の授業を週10コマ~15コマ程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学区内の理数科教育向上を目指す。 (1) 学校群内の他校を訪問し、同教科の現地教師の授業準備、実験などのサポートを行う。 (2) 学校群レベル、学校レベルの教員研修において、同教科の技術的な面に協力する。 (3) 年1回のSMASSE教員研修(1週間程度)に同僚教師とともに参加し、(1)(2)などの活動の参考にする。 | | | | | |
| 要請概要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具および薬品。学校群内の学校間で実験器具や薬品の貸し借りをしている。 | | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、副校長、教師 11名。理数科教師は 4名。 全生徒約 320名(14~20歳、日本の中学および高校レベル) | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 中高等教員は大卒必須 ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | (ここに特記事項を記入してください) | | | | | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|---|--|---|----------------------------------|
| 要請番号 (JL 524 - 13 - B - 89) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| マラウイ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育科学技術省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ンサル中高等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ンサル JICA事務所の所在地(リロングウェ)から 北西 方向 50. Km 主要都市(リロングウェ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 日本の中学3年生から高校3年生に相当する4年制の中高等学校。2004年に世界銀行の有償資金協力により設立された。年間予算は130万円。各学年50人×2クラスずつで、総生徒数は約400名。同校には2009年5月から理数科教師隊員派遣開始し、2代目の隊員は2013年8月まで生物指導で活動した。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 マラウイでは1994年に初等教育が無償化された結果、中等教育進学希望者が急増した。政府はコミュニティが建設した教育施設を中等学校に格上げすると同時に、初等教員資格しか持たない教員を中等教員として採用し、中等教育へのアクセス拡充を図ってきた。結果として、就学者は増加したが、中等教育の正規の資格を有する教員が不足しているため、質の良い理数科授業の提供が期待されている。 また、教育科学技術省はJICA支援のもと、全国各地域で現職理数科教員再訓練(Strengthening of Mathematics and Science in Secondary Education (SMASSE))を実施しており、その一環として地域の学校群(8校程度)単位で行う教員研修に協力することも期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 配属校において、生物または物理・化学の授業を週10コマ～15コマ程度担当する。 2. SMASSEの一環として、以下の活動を通じて学区内の理数科教育向上を目指す。 (1) 学校群内の他校を訪問し、同教科の現地教師の授業準備、実験などのサポートを行う。 (2) 学校群レベル、学校レベルの教員研修において、同教科の技術的な面に協力する。 (3) 年1回のSMASSE教員研修(1週間程度)に同僚教師とともに参加し、(1)(2)などの活動の参考にする。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な実験器具および薬品。学校群内の学校間で実験器具や薬品の貸し借りをやっている。 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 校長、副校長、教師 15名。理数科教師は7名。 全生徒約 400名(14～20歳、日本の中学および高校レベル) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 中高等教員は大卒資格必須 ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(温帯夏雨気候) 気温(10～35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 31 日

| | | | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|--------|--|---------------------------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 527 - 13 - B - 13) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 | | |
| ナミビア | 理科教育 | | | 1 | 2 年 | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 1 年 | 2 | 26 / 3 | |
| 3 | ヶ月 | 3 | / | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) カプリビ州教育事務所 | | | | | <input type="radio"/> NGO | | |
| | 3) 任地 カプリビ州カティマ・ムリロ JICA事務所の所在地(Windhoek)から 北東 方向 1500 Km 主要都市(Rundu)までの交通手段及び所要時間(車 で約 5 時間) | | | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同国の教育を掌る教育省の地方にある出先機関(教育事務所)である。カプリビ州行政庁舎内にある。カプリビ州内にある全ての教育機関を管轄している。これまでにカプリビ州の中学校にJOCVの派遣はあるが、同教育事務所への派遣はない。また、同教育事務所の外国からの金銭的援助・専門家及びボランティア等の受入経験はない。 | | | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 1990年の独立以降、国造りの基礎として国民教育を行っている。特に次世代を担う青少年の教育に重点が置かれているが、アパルトヘイト時代に黒人が言語以外の教育を受けられなかったことから教育者の絶対的な人材難があり、良質な教員の確保が困難な状況にある。本件要請はボランティアの配属によりこの状況を打開し、教育手法の改善・教員の質的向上に資することを目的とする。同要請ではボランティアをカプリビ州教育事務所に配置し、同事務所が管轄する全てのコンバインスクール及び高校で生徒への指導を行い、生徒の学力向上及び教員の指導力向上を目指す。 | | | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・カプリビ州教育事務所が管轄するコンバインスクール及び高校で、Grade11~12(日本の高校2年生~3年生程度)を対象に物理、化学の授業を行う。 ・各学校の教員と一緒に授業の質の向上を目指す。 ・その他教育事務所から依頼される業務。(イベントへの参加等) | | | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 サイエンスラボラトリー、PCラボラトリー、インターネット、カリキュラムガイド、基本教育シラバス等 | | | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 専門知識を求められるため ・経験 (教員経験) (5年以上) 理由: 専門知識を求められるため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | | | |
| | | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | | |
| 地域 概況 | 気候(乾燥サバンナ) 気温(10~40 ℃位) | | 電気(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 26 日

| | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 545 - 13 - B - 22) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ウガンダ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・スポーツ省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ブサーナ セカンダリースクール | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 カンガバ県ブサーナ JICA事務所の所在地(カンパラ)から 北東 方向 70 Km 主要都市(カンガ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 1987年に地域住民によって創立された公立中高等学校(6年制)。生徒数約1100名(内寮生150名)、男女共学、1クラスの生徒数は約80名。年間予算は約30万米ドル。外国からの直接の援助はないが、NGOなどを通して図書の支援を受けている。現在初代協力隊員が活動中である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同校は急激な生徒数増加に教室/教師数が追い付かず、現在1クラスの生徒数は約80名。理数科の中でも特に化学の成績低迷が課題である。この状況を受け、ボランティアは同僚教師と協働し授業改善を図ることを目的に、生徒の理解/興味を促進する実験/実習を授業に取り入れることが期待されている。 現在初代隊員が化学科教師と共に、実験を中心とした化学の授業を展開している。また授業数が学習範囲に対して少ないため、空き時間を利用した補習も行っている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ① 中等学校(中学1年から高校3年相当)の生徒に対し、実験を含めた化学の授業を行う。 ② 同僚教師と協働し、生徒指導なども担当する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な理科の実験道具(実験室はないが、実験準備室有り) | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:教師数50名 うち理科教師12名 直接協働する教師は化学科教師3名(いずれも30歳代、大学卒、男性) 生徒:日本の中高等学校相当 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (英語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は (高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚が大卒であるため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 任地から最寄の買い物ができる町まで14キロ、公共交通機関なし。月に1度、配属先車両を利用し、町まで買い物可能。個人タクシーも有。インターネットは通信速度が遅く、自宅で使用することは難しい。水道なし。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | |
|-------------------------------|---|--|--|---|----------|
| 要請番号 (JL 545 - 13 - B - 29) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 5 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ウガンダ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 |
| | | | 3 26 / 3 | | |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・スポーツ省 | | | | |
| 先 | 2) 配属先名 (日本語) ブクルラ女子セカンダリースクール | | <input type="radio"/> NGO | | |
| 概 | 3) 任地 カルング県ブクルラ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 西 方向 110 Km 主要都市(マサカ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| 要 | 4) 配属先の規模・事業内容 生徒数約250名(ほとんどが寮生)、教師数30名弱の女子中等学校。日本の中等学校相当のOレベル4年と、高等学校相当のAレベル2年の6学年。同校は同国教育省が展開している中等理数科強化プロジェクト(JICA協力)のセンター校のひとつでもあり、実験室、図書館などの設備も比較的整っている。 現在は4代目のボランティアが活動中。 | | | | |
| 要 | 1) 要請理由・背景 同国では主に理数科教育において、これまで主流であった暗記中心の学習法に実験・実習などを取り入れ、学習の向上をめざす取り組みがなされている。同校はこのような取り組みに対するJICAの協力プログラムのセンター校でもあり関心が高く、理数科の興味と理解の促進、教授技術の向上について同僚教師との協力が求められている。また同校では女性の社会進出を生徒にアピールするため女性ボランティアを求めている。 前任者は、1, 2年生の生物、2年生の化学の授業と、1年生の数学の補講を同僚教師と分担して行っている。 | | | | |
| 概 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 理科3教科(物理・化学・生物)のうち得意なものの授業を同僚教師と分担して担当する。 2. 理科実験、スポーツ、コンピュータなど(担当教科にこだわらず得意なもの)課外のクラブ活動を担当する。 | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、理科実験器具一般 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教師約30名 年齢 20~50代 生徒:日本の中高生相当 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 (女性) 理由: 女子の理数科への興味促進 ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚教師の多くが大卒のため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 教員住居を提供されるが、トイレは屋外設置。 | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 26 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|---|-------------------|---|---|---|---------|-----------|
| 要請番号(JL 545 - 13- B - 32) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | |
| ウガンダ | 理科教育 | | | 2 | 26 / 2 | 年 月 から |
| | | | | 3 | 26 / 3 | |
| 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・スポーツ省 2) 配属先名 (日本語) フダディリ女子 セカンダリースクール <input type="radio"/> NGO 3) 任地 シロンコ県フダディリ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 北東 方向 270 Km 主要都市(ムバレ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) 4) 配属先の規模・事業内容 公立中高等学校(中等部4年、高等部2年の6年制、日本の中高等学校相当)、1983年にキリスト教会によって創立された女子校。生徒数約300名(内寮生約200名)。年間予算は20万米ドル。2011年まで『米国ピースコー』ボランティアが活動。その他外国からの援助実績無し。同校は同国教育省が展開している中等理数科強化プロジェクト(JICA協力)に積極的に取り組んでいる。 | | | | | | |
| 1) 要請理由・背景 同国の女子生徒は理数科教科に対して消極的である。同国の卒業試験では基本的な定性/定量実験が必須であるため、ボランティアには十分な教科知識が求められる。また、同校では中等学校の理科教育にコンピュータ教材を取り入れており、その活用も期待される。同僚教師と協働し(同僚教師と2名で授業を担当することも考慮)生徒の理数科への興味と理解の促進を図ることを期待され本要請となった。 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 中学校(中学1年から高校1年相当)の生徒に対し、化学又は物理(得意な教科を選択可)の授業を行う。 2. 理科実験、スポーツ、コンピュータなど(担当教科にこだわらず得意なもの)課外のクラブ活動を担当する。 3. 同僚教師と協働し生徒指導なども担当する。 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験器具、実験室(3室)、理数科教育用コンピュータ4台 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:教師数約30名 内理数科教師6名 直接協働する教師は30-40代男女 大卒 生徒:日本の中高等学校相当 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | | | | | |
| 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 (女性) 理由: 女子の理数科への興味促進 ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚教師の多くが大卒のため ・経験 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 気候(常初夏) 気温(10~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | | |
| 特記事項 フダディリはエルゴン登山の起点となる町ではあるが、同地方の中心の町ムバレまでの交通の便が悪いため、日用品の買い物などは不便である。住環境も厳しくトイレは屋外設置。 | | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|---|---------|--------|
| 要請番号(JL 545 - 13 - B - 33) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ウガンダ | 理科教育 | | | | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 2 | | | |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・スポーツ省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ニヨンド セカンダリースクール <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムバレ県ニヨンド JICA事務所の所在地(カンバラ)から 北東 方向 280 Km 主要都市(ムバレ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 公立中高等学校(中等部4年、高等部2年の6年制、日本の中高等学校相当)で、1985年に政府によって創立された共学校。生徒数約1,200名。年間予算は72万米ドル。カナダから校舎建設などの援助を受け入れている。同校は同国教育省が展開している中等理数科強化プロジェクト(JICA協力)に積極的に取り組んでいる。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国の多くの公立中高等学校同様に、同校でも生徒数の急増のため教室/教員/教材数が不足しており(1クラスの生徒数が約100名)、卒業試験で必須の定性/定量実験の指導も充分に行えない状況である。また理解度が低い生徒へのフォローアップもほとんどなされていないのが現状である。 このような状況に、同僚教師と協働し対応することを期待され本要請となった。また、同校では中等学校の理科教育にコンピュータ教材を取り入れており、その活用も期待される。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 中高等学校(中学1年から高校1年相当)の生徒に対し、化学又は物理(得意な教科を選択可)の授業を行う。 2. 理科実験、スポーツ、コンピュータなど(担当教科にこだわらず得意なもの)課外のクラブ活動を担当する。 3. 同僚教師と協働し生徒指導なども担当する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験器具、実験室(3室)、コンピュータ室(PC 10台) |

| | | |
|---|---|--|
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:教師数約40名 内理数科教師6名 直接協働する教師は30-40代男女 大卒 生徒:日本の中高等学校相当 | 5) 活動使用言語 (英語) |
| | | 6) 生活使用言語 (その他) |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | ・性別 (女性) 理由: 女子の理数科への興味促進 | 現職教員特別参加制度 |
| | ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚教師の多くが大卒のため | |
| | ・経験 () () 理由: 理由: | |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|--|

特記事項 地方の中心の町ムバレまでの交通の便が悪い、日用品の買い物などは不便である。住環境も厳しくトイレは屋外設置。

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|---|----------------------------------|
| 要請番号 (JL 545 - 13 - B - 35) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ウガンダ | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・スポーツ省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ナキゴ セカンダリースクール | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 イガンガ県ナキゴ JICA事務所の所在地(カンパラ)から 北東 方向 120 Km 主要都市(ジンジャ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同国南東部イガンガから5kmほどの村落部にある公立中高等学校(6年制、日本の中/高等学校相当)。1993年にコミュニティによって創立され男女共学、生徒数約600名。教師、生徒の多くはイガンガの街より自転車通っている。年間予算は35,500米ドル。外国からの援助実績無し。 同校は同国教育省が展開している中等理科強化プロジェクト(JICA協力)に積極的に取り組んでいる。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 同校は地方都市に近い村落部にあり、教室など学校の設備は充分ではない。1クラスの生徒数は約50名。同国では中等学校卒業試験に実験が含まれるため、定性/定量実験の指導は必須であるが、同校では設備や教師の経験不足のため、これに対応できる授業が充分に行われていない。また理解度が低い生徒へのフォローアップもほとんどなされていないのが現状である。 このような状況に、同僚教師と協働し対応することを期待され本要請となった。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 中等学校(中学1年から高校1年相当)の生徒に対し、化学の授業を行う 2. 理科実験、スポーツ、コンピュータなど(担当教科にこだわらず得意なもの)課外のクラブ活動を担当する。 3. 同僚教師と協働し生徒指導なども担当する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験器具(準備室に保管) | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚: 教師数約25名 内理科教師約7名 直接協働する教師は30-40代男女 教員養成校卒又は大卒 生徒: 日本の中高生相当 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教師の多くが大卒のため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 住居はイガンガの街になる予定。公共交通機関が無い片道5Kmの未舗装道路を自転車通勤となる。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|-------------------------------|--|--|---|---|---------------------------------------|--------------------|
| 要請番号 (JL 545 - 13 - B - 36) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 26 / 3 | 日系/短期 年 月 から |
| ウガンダ | 理科教育 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・スポーツ省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) チビンゴ女子 セカンダリースクール <input type="radio"/> NGO | | | | | |
| | 3) 任地 シェーマ県チビンゴ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 南西 方向 300 Km 主要都市(ムバラ)までの交通手段及び所要時間(バスで約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同国南西部カブオへより5kmほどの村落部にある公立女子中高等学校(6年制、日本の中/高等学校相当)。1988年にキリスト教会によって創立された。生徒数約750名(内寮生480名)、一時期男子生徒を受け入れたため現在は約40名の男子生徒が在籍。年間予算は180,000米ドル。外国からの援助実績無し。 同校は同国教育省が展開している中等理数科強化プロジェクト(JICA協力)に積極的に取り組んでいる。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国の多くの公立中等学校同様に、同校でも生徒数の急増のため教室/教員/教材数が不足しており(1クラスの生徒数が約70名)、卒業試験で必須の定性/定量実験の指導も充分に行えない状況である。また理解度が低い生徒へのフォローアップもほとんどなされていないのが現状である。 このような状況に、同僚教師と協働し対応することを期待され本要請となった。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 中等学校(中学1年から高校1年相当)の生徒に対し、化学又は物理(得意な教科を選択可)の授業を行う 2. 理科実験、スポーツ、コンピュータなど(担当教科にこだわらず得意なもの課外のクラブ活動を担当する。 3. 同僚教師と協働し生徒指導なども担当する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験器具(準備室に保管)、コンピュータ室(PC 11台が寄付されたがシステムがインストールされていないため現在は使用できていない) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚・教師数約40名 内理数科教師13名 直接協働する教師は30-40代男女 教員養成校卒又は大卒 生徒:日本の中高生相当 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 (女性) 理由: 女子の理数科への興味促進 ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教師の多くが大卒のため ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | 同校は、幹線道路沿いの町から約5km公共交通機関の通っていない村落部に入ったところに位置している。近くに町役場はあるが、日用品の買い物などには不便である。住環境は厳しくトイレは屋外設置。 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|---|--|--|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 545 - 13 - B - 37) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ウガンダ | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・スポーツ省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) セントポール セカンダリースクール ナスチ | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 イガンガ県ナムンガルウェ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 北東 方向 140 Km 主要都市(ジンジャ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同国南東部イガンガより約15kmの村落部にある公立中高等学校(6年制、日本の中/高等学校相当)。1959年に教会によって創立され、男女共学、生徒数約520名。年間予算は76,000米ドル。 同校は同国教育省が展開している中等理数科強化プロジェクト(JICA協力)に積極的に取り組んでいる。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国の多くの公立中等学校同様に、同校でも生徒数の急増のため教室/教員/教材数が不足しており(1クラスの生徒数が約90名)、卒業試験で必須の定性/定量実験の指導も充分に行えない状況である。また理解度が低い生徒へのフォローアップもほとんどなされていないのが現状である。 このような状況に、同僚教師と協働し対応することを期待され本要請となった。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 中等学校(中学1年から高校1年相当)の生徒に対し、化学又は生物(得意な教科を選択可)の授業を行う。 2. 理科実験、スポーツ、コンピュータなど(担当教科にこだわらず得意なもの)課外のクラブ活動を担当する。 3. 同僚教師と協働し生徒指導なども担当する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験器具(準備室に保管)、実験室(建設中) | | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:教師数約26名 内理数科教師約7名 直接協働する教師は30-40代男女 教員養成校卒又は大卒 生徒:日本の中高中生相当 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教師の多くが大卒のため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input checked="" type="radio"/> なし) | |
| 特記 事項 | 村落部のため、日用品の買い物などは不便である。住環境も厳しくトイレは屋外設置。 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 545 - 13 - B - 38) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ウガンダ | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 教育・スポーツ省 | | | | | |
| | 2)配属先名 (日本語) フバングジ シニアセカンダリースクール | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3)任地 ミトマ県カシェンシエロ JICA事務所の所在地(カンバラ)から 南西 方向 350 Km 主要都市(ムバララ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1.5 時間) | | | | | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 同国南西部ブシェニより約30kmの村落部にある公立中高等学校(6年制、日本の中/高等学校相当)。1985年にキリスト教会によって創立され男女共学、生徒数約800名(内寮生280名)。年間予算は105,000米ドル。外国からの援助実績無し。同校は同国教育省が展開している中等理数科強化プロジェクト(JICA協力)に積極的に取り組んでいる。また同校は2012年の中等学校サイエンスフェア(理科自由研究コンテストのようなもの)で入賞している。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 同国の多くの公立中高等学校同様に、同校でも生徒数の急増のため教室/教員/教材数が不足しており(1クラスの生徒数が約70名)、卒業試験で必須の定性/定量実験の指導も充分に行えない状況である。また理解度が低い生徒へのフォローアップもほとんどなされていないのが現状である。 このような状況に、同僚教師と協働し対応することを期待され本要請となった。 | | | | | |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 中等学校(中学1年から高校1年相当)の生徒に対し、化学又は生物(得意な教科を選択可)の授業を行う。 2. 理科実験、スポーツ、コンピュータなど(担当教科にこだわらず得意なもの)課外のクラブ活動を担当する。 3. 同僚教師と協働し生徒指導なども担当する。 | | | | | |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 理科実験器具、実験室(3室) | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 同僚:教師数約35名 内理数科教師15名 直接協働する教師は30-40代男女 教員養成校卒又は大卒 生徒:日本の中高生相当 | | | 5)活動使用言語 (英語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中高・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教師の多くが大卒のため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | 任地はブシェニより未舗装道路を約30km入る村落部のため、交通の便が悪く、日用品の買い物などは不便である。住環境も厳しくトイレは屋外設置。 | | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票



長期 (長期 JV)

事務局記入欄

受験番号

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 545 - 13- B - 39) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ウガンダ | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | 2 | 26 / 2 | |
| 3 | 26 / 3 | | | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・スポーツ省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) カデュガラ シニアセカンダリースクール <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 マサカ県カデュガラ JICA事務所の所在地(カンパラ)から 西 方向 120 Km 主要都市(マサカ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 生徒数約600名(寮生100名、通学生500名)、教師数約40名の共学のイスラム系公立中等学校。日本の中等学校相当のOレベル4年と、高等学校相当のAレベル2年の6学年。 2代目のボランティアが2011年9月まで活動。 |

| | |
|------------------|---|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国では主に理数科教育において、これまで主流であった暗記中心の学習法に実験・実習などを取り入れ、学習の向上をめざす取り組みがなされている。同校はこのような取り組みに対する関心が高く、理数科の興味と理解の促進、同僚教師と協働し教授技術の向上が期待されている。また同校ではボランティアに課外活動/スポーツなどを通して、生徒との積極的な交流を望んでいる。前任者は、1年生の数学のほか、体育、PCなどの授業も担当。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 中等学校(中学1年から高校1年相当)の生徒に対し、物理の授業を行う。 2. 理科実験、スポーツ、コンピュータなど(担当教科にこだわらず得意なもの)課外のクラブ活動を担当する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室内の一般教具、理科基本実験器具 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚理数科教師8名 年齢 30~50代 生徒:日本の中高生相当 |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由: 同僚教師と同等レベル ・経歴 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(常初夏) 気温(15~30 °C位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

特記事項 幹線道路沿いであるため近隣の町には出やすいが、住居環境は厳しく、トイレは屋外設置。

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|---------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 01) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| タンザニア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV |
| | | | | 1 | 26 / 3 |
| | | | | 2 | / |
| | | | | 3 | / |

| | | |
|-----------------------|--|---------------------------|
| 配 属 先 概 要 | 1)受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 | |
| | 2)配属先名 (日本語) ロンドーニ中等学校 | <input type="radio"/> NGO |
| | 3)任地 ルブマ州ソングア市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 南西 方向 820 Km 主要都市(ソングア)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | |
| | 4)配属先の規模・事業内容 地域住民によって2004年に設立されたOレベル(中学2年～高校2年程度)、Aレベル(高校3年～大学教養課程程度)併設の中等学校。生徒数約820名、教員数約30名の男女共学校、Oレベルは通学制、Aレベルは寄宿制となっている。 | |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1)要請理由・背景 教育職業訓練省は、中等教育の向上を目指し中等教育開発計画を進めてきた。その結果、学校の数は増えているが、その一方で、理数科教師不足と指導力不足の問題が顕在化している。同省は現職教員の質向上を目的に、現職教員の研修を定期的実施している(JICAも現地国内研修にて支援している)。この研修制度を将来的に定着させ教員の教授能力を向上させ、また地方部の教員不足の課題を解決・緩和させるため、JVの要請があった。JICAは同要請を受け、グループ型としてJV派遣を行い貢献する事になった。JVは、配属先で通常授業を担当しながら、教員研修開催時などは県教育官や研修担当校と協力し、教員研修に参加することが期待されている。現在2代目JVが活動を行っており、Form1 とForm2 (中学校2～3年生程度)の化学の指導、また部活動の指導に取り組んでいる。 |
| | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.化学の授業を担当する。 2.教員研修等にて、授業・実験手法などに関するJV自身の経験やアイデアを現地教員と共有する。 3.JICAが支援し教育職業訓練省が実施している中等理数科教員養成制度(INSET)と連携した活動を行う。 4.理科/数学教育隊員と連携して研修会や勉強会を推進する。 ※ INSET(In-Service Training of Secondary School Science & Mathematics Teachers in Tanzania) |
| | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室には黒板あり(但し、低品質)。その他、実験室は一部屋あり、最低限の実験機材もあり。 |

| | | |
|-----------------------|---|---------------------------------------|
| 資 格 条 件 等 | 4)配属先同僚及び活動対象者 同僚教師は約30名(20代～50代)。そのうち化学教師1名、物理教師1名、生物教師2名。 (2013年現在) 活動対象者はOレベルの生徒。 | 5)活動使用言語 (英語) |
| | | 6)生活使用言語 (スワヒリ語) |
| | | 7)選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不明となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:同僚教員と同等以上の学歴 ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(内陸性気候) 気温(15～30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--------------------------|
| 特記事項 | 住居には電気は来ておらず、ソーラーパネルを利用。 |
|------|--------------------------|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 02) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タンザニア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キバランガンダ中等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ブワニ州ムクランガ県キバランガンダ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 南 方向 45. Km 主要都市(ダルエスサラーム)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ブワニ州ムクランガ県に位置する2007年設立のOレベル(中学2年～高校2年程度)の共学校。 2013年現在の生徒数は約820名、教員数は約30名。そのうち物理教師は常勤1名、非常勤1名、生物教師は常勤2名、化学教師は常勤2名。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 教育職業訓練省は、中等教育の向上を目指し中等教育開発計画を進めてきた。その結果、学校の数は増えているが、その一方で、理数科教師不足と指導力不足の問題が顕在化している。同省は現職教員の質向上を目的に、現職教員の研修を定期的実施している(JICAも現地国内研修にて支援している)。この研修制度を将来的に定着させ教員の教授能力を向上させ、また地方部の教員不足の課題を解決・緩和させるため、JVの要請があった。JICAは同要請を受け、グループ型としてJV派遣を行い貢献する事になった。JVは、配属先で通常授業を担当しながら、教員研修開催時などは県教育官や研修担当校と協力し、教員研修に参加することが期待されている。現在初代JVが活動を行っており、物理の指導に取り組んでいる。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.物理の授業を担当する。 2.教員研修等にて、授業・実験手法などに関するJV自身の経験やアイデアを現地教員と共有する。 3.JICAが支援し教育職業訓練省が実施している中等理数科教員養成制度(INSET)と連携した活動を行う。 4.理科/数学教育隊員と連携して研修会や勉強会を推進する。 ※ INSET(In-Service Training of Secondary School Science & Mathematics Teachers in Tanzania) | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室には黒板あり(但し、低品質)。その他、実験室は物理実験室、化学生物実験室の2室があり、最低限の実験機材もあり。 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教師は約30名(20代～50代)。 そのうち物理教師は常勤1名、非常勤1名、生物教師は常勤2名、化学教師は常勤2名。 (2013年現在) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教員と同等以上の学歴 ・経験 () () 理由: ・ () 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(海岸性気候) 気温(25~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | |
| 特記事項 | 現時点では学校のあるキバランガンダには電気は来ていないが、住居のあるムクランガには電気は来ている。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|--|--|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 <input type="radio"/> 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タンザニア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 3 |
| 配属先 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| 先 | 2) 配属先名 (日本語) ムグラシ中等学校 | | | | |
| 概 | 3) 任地 モロゴロ州モロゴロ市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 西 方向 180 Km 主要都市(モロゴロ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| 要 | 4) 配属先の規模・事業内容 モロゴロ州モロゴロ市中心から5Kmほど郊外に位置する2005年設立のOレベル(中学2年~高校2年程度)の共学校。2013年現在の生徒数は約1200名、教員数は約30名。そのうち生物教師1名、数学教師2名、物理教師3名、化学教師3名。 | | | | |
| 要 | 1) 要請理由・背景 教育職業訓練省は、中等教育の向上を目指し中等教育開発計画を進めてきた。その結果、学校の数は増えているが、その一方で、理数科教師不足と指導力不足の問題が顕在化している。同省は現職教員の質向上を目的に、現職教員の研修を定期的に行っている(JICAも現地国内研修にて支援している)。この研修制度を将来的に定着させ教員の教授能力を向上させ、また地方部の教員不足の課題を解決・緩和させるため、JVの要請があった。JICAは同要請を受け、グループ型としてJV派遣を行い貢献する事になった。JVは、配属先で通常授業を担当しながら、教員研修開催時などは県教育官や研修担当校と協力し、教員研修に参加することが期待されている。現在初代JVが活動を行っており、数学と生物の指導に取り組んでいる。 | | | | |
| 概 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.理科の授業を担当する。可能な範囲で数学も指導する。 2.教員研修等にて、授業・実験手法などに関するJV自身の経験やアイデアを現地教員と共有する。 3.JICAが支援し教育職業訓練省が実施している中等理数科教員養成制度(INSET)と連携した活動を行う。 4.理科/数学教育隊員と連携して研修会や勉強会を推進する。 ※ INSET(In-Service Training of Secondary School Science & Mathematics Teachers in Tanzania) | | | | |
| 要 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室には黒板あり(但し、低品質)。その他、実験室は一部屋あり、最低限の実験機材もあり。 | | | | |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教師は約40名(20代~50代)。 そのうち生物教師1名、数学教師2名、物理教師3名、化学教師3名。 (2013年現在) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教員と同等以上の学歴 ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(内陸性気候) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|--|--------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 05) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / | 日系/短期 年 月 から |
| タンザニア | 理科教育 | | | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ヴィキンドウ中等学校 | | | | ○ NGO | |
| | 3) 任地 プワニ州ムクランガ県ヴィキンドウ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 南 方向 45 Km 主要都市(ダルエスサラーム)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 プワニ州ムクランガ県に位置する2007年設立のOレベル(中学2年～高校2年程度)の共学校。 2013年現在の生徒数は約930名、教員数は25名。そのうち物理教師2名、化学教師2名、生物教師2名。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 教育職業訓練省は、中等教育の向上を目指し中等教育開発計画を進めてきた。その結果、学校の数は増えているが、その一方で、理数科教師不足と指導力不足の問題が顕在化している。同省は現職教員の質向上を目的に、現職教員の研修を定期的実施している(JICAも現地国内研修にて支援している)。この研修制度を将来的に定着させ教員の教授能力を向上させ、また地方部の教員不足の課題を解決・緩和させるため、JVの要請があった。JICAは同要請を受け、グループ型としてJV派遣を行い貢献する事になった。JVは、配属先で通常授業を担当しながら、教員研修開催時などは県教育官や研修担当校と協力し、教員研修に参加することが期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.物理の授業を担当する。可能な範囲で化学、生物も指導する。 2.教員研修等にて、授業・実験手法などに関するJV自身の経験やアイデアを現地教員と共有する。 3.JICAが支援し教育職業訓練省が実施している中等理数科教員養成制度(INSET)と連携した活動を行う。 4.理科/数学教育隊員と連携して研修会や勉強会を推進する。 ※ INSET(In-Service Training of Secondary School Science & Mathematics Teachers in Tanzania) | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室には黒板あり(但し、低品質)。その他、実験室は物理、生物、化学の3室が2013年12月に建設される予定である。 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教師は25名(20代～50代)。 そのうち物理教師2名、化学教師2名、生物教師2名。(2013年現在) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教員と同等以上の学歴 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 ○ 単車 ○ 自転車 ● 不要 現職教員特別参加制度 ○ 可 ● 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(沿岸性気候) 気温(25～30 ℃位) | | 電気(○安定 ●不安定 ○なし) 水道(○安定 ●不安定 ○なし) | | | |
| 通信 | (<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 5 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|---|--|---|---------------------------|
| 要請番号 (JL 548 - 13 - B - 18) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タンザニア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | 1 26 / 1 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムタンガランガ中等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムトワラ州ネワラ県ムタンガランガ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 南 方向、440 Km 主要都市(ネワラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ムトワラ州ネワラ県の中心地からほど近い村落地域にある中等学校。バオバブの巨木に囲まれた同校は、2007年設立の Oレベル(中学2年~高校2年程度)の共学校で、生徒数は約400名、教員数は9名。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 教育職業訓練省は、中等教育の向上を目指し中等教育開発計画を進めてきた。その結果、学校の数は増えているが、その一方で、理数科教師不足と指導力不足の問題が顕在化している。同省は現職教員の質向上を目的に、現職教員の研修を定期的実施している(JICAも現地国内研修の実施を技術支援している)。この研修制度を将来的に定着させ教員の教授能力を向上させ、また地方部の教員不足の課題を解決・緩和させるため、JVの要請があった。JICAは同要請を受け、グループ型としてJV派遣を行ない貢献する事になった。JVは、配属先で通常授業を担当しながら、教員研修開催時などは県教育官や研修担当校と協力し教員研修に参加することが期待されている。現在初代JVが活動を行っており、全学年の物理と1年生の数学を指導している。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.物理の授業を担当する。また、可能であれば数学の指導も行う。 2.教員研修等にて、授業・実験手法などに関するJV自身の経験やアイデアを現地教員と共有する。 3.JICAが支援し教育職業訓練省が実施している中等理数科教員養成制度(INSET)と連携した活動を行う。 4.理科/数学教育隊員と連携して研修会や勉強会を推進する。 ※ INSET(In-Service Training of Secondary School Science & Mathematics Teachers in Tanzania) | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 黒板(但し、低品質)。 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教師は9名。(20代~50代)。 生徒約400名。 | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教員と同等以上の学歴 ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(内陸性気候) 気温(15~30 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 住居には電気は来ておらずソーラーパネルを利用。 | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|--|---|---|--|
| 要請番号(JL 548 - 13- B - 35) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 5 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| タンザニア | 理科教育 | | 年 月 日 から | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) ムタマ中等学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 リンディ州リンディ県ムタマ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 南 方向 430 Km 主要都市(リンディ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 1 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 タンザニア南東部リンディ州リンディ県の村落部にあるOレベル(中学2年から高校2年に相当)の男女共学校。生徒数は、約450名、教師は、15名。米国ピースコー1名が派遣されている。村落部にある学校だが、幹線道路沿いにあり、小さな商店が近くに並ぶ。アフリカの村落部の生活を楽しめる学校。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 教育職業訓練省は、中等教育の向上を目指し中等教育開発計画を進めてきた。その結果、学校の数は増えているが、その一方で、理数科教師不足と指導力不足の問題が顕在化している。同省は現職教員の質向上を目的に、現職教員の研修を定期的実施している(JICAも現地国内研修にて支援している)。この研修制度を将来的に定着させ教員の教授能力を向上させ、また地方部の教員不足の課題を解決・緩和させるため、JVの要請があった。JICAは同要請を受け、グループ型としてJV派遣を行い貢献する事になった。JVは、配属先で通常授業を担当しながら、教員研修開催時などは県教育官や研修担当校と協力し、教員研修に参加することが期待されている。現在派遣中のJVは数学を指導しているが、理科(物理および化学)の教員も不足していることから、理科と数学(中学校基礎レベル)を指導できるJVへの要請が出された。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 理科(物理もしくは化学)および数学の授業を担当する。 2. 教員研修等にて、授業・実験手法などに関するJV自身の経験やアイデアを現地教員と共有する。 3. JICAが支援し教育職業訓練省が実施している中等理数科教員養成制度(INSET)と連携して活動を行う。 4. 同職種隊員と連携した活動(研修開催、勉強会など)を行う。 ※ INSET(In-Service Training of Secondary School Science & Mathematics Teachers in Tanzania) |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室には黒板あり(但し、低品質)。 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教員と同等以上の学歴 ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(内陸性気候) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 特記事項 | |



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 36) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 4 代目 | 派遣希望時期 | JOCV/SV |
| タンザニア | 理科教育 | | | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 3 | | |
| | | 3 | / | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) シノ・タンザニア中等学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムトワラ州ムトワラ市 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 南 方向 400 Km 主要都市(ムトワラ)までの交通手段及び所要時間(自転車 で約 0.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 インド洋に面したムトワラ州ムトワラ市の郊外の住宅地にあるOレベル(中学2年から高校2年に相当)の男女共学校。生徒数は約450名、教師数は15名。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 教育職業訓練省は、中等教育の向上を目指し中等教育開発計画を進めてきた。その結果、学校の数は増えているが、その一方で、理数科教師不足と指導力不足の問題が顕在化している。同省は現職教員の質向上を目的に、現職教員の研修を定期的実施している(JICAも現地国内研修にて支援している)。この研修制度を将来的に定着させ教員の教授能力を向上させ、また地方部の教員不足の課題を解決・緩和させるため、JVの要請があった。JICAは同要請を受け、グループ型としてJV派遣を行い貢献する事になった。JVは、配属先で通常授業を担当しながら、教員研修開催時などは県教育官や研修担当校と協力し、教員研修に参加することが期待されている。現在派遣中の隊員は数学を指導しているが、理科(物理および化学)の教員も不足していることから、理科と数学(中学校基礎レベル)を指導できるJVへの要請が出された。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 理科(物理もしくは化学)および数学の授業を担当する。 2. 教員研修等にて、授業・実験手法などに関するJV自身の経験やアイデアを現地教員と共有する。 3. JICAが支援し教育職業訓練省が実施している中等理数科教員養成制度(INSET)と連携して活動を行う。 4. 同職種隊員と連携した活動(研修開催、勉強会など)を行う。 (ムトワラ市内では近隣校教員との連携のもと数学競技大会や参加型実験イベントが実施されている)。 ※ INSET(In-Service Training of Secondary School Science & Mathematics Teachers in Tanzania) |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室には黒板あり(但し、低品質)。 |

| | | |
|------------------|---------------------------------------|--|
| 要 請 概 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教師は15名(20代~40代)。 | 5) 活動使用言語 (英語) |
| | | 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教員と同等以上の学歴 ・経験 () () 理由: 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | | |
|------------------|--|--|
| 地 域 概 況 | 気候(海岸性気候) 気温(20~35 ℃位) | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------------------|--|
| 特 記 事 項 | |
|------------------|--|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|-------------------|--|---|--------|---------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 50) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV |
| タンザニア | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 |
| | | | | 3 | 26 / 3 |
| | | | | | 年 月 日から |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ナソーセイフ中等学校 <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 モロゴロ州ンボメロ県トゥリアニ JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム市)から 西 方向 280 Km 主要都市(モロゴロ市)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 モロゴロ州ンボメロ県に位置する2007年設立のOレベル(中学2年から高校2年に相当)の共学校。2013年現在の生徒数は約700名、教師数は15名。そのうち数学教師1名。 | |

| | | |
|------------------|---|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 教育職業訓練省は、中等教育の向上を目指し中等教育開発計画を進めてきた。その結果、学校の数は増えているが、その一方で、理数科教師不足と指導力不足の問題が顕在化している。同省は現職教員の質向上を目的に、現職教員の研修を定期的実施している(JICAも現地国内研修にて支援している)。この研修制度を将来的に定着させ教員の教授能力を向上させ、また地方部の教員不足の課題を解決・緩和させるため、JVの要請があった。JICAは同要請を受け、グループ型としてJV派遣を行い貢献する事になった。JVは、配属先で通常授業を担当しながら、教員研修開催時などは県教育官や研修担当校と協力し、教員研修に参加することが期待されている。 | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1.物理の授業を担当する。 2.教員研修等にて、授業・実験手法などに関するJV自身の経験やアイデアを現地教員と共有する。 3.JICAが支援し教育職業訓練省が実施している中等理数科教員養成制度(INSET)と連携した活動を行う。 4.理科/数学教育隊員と連携して研修会や勉強会を推進する。 ※ INSET(In-Service Training of Secondary School Science & Mathematics Teachers in Tanzania) | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室には黒板あり(但し、低品質)。その他、実験室はないが、最低限の実験機材あり。 | |

| | | | |
|-----------------------|--|---|----------------|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | | 活動上の単車/自転車の必要性 |
| | ・免許 (中・理) 又は (高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教員と同等以上の学歴 ・経験 () () 理由: 教員又は塾講師経験3年以上 理由: 業務遂行上必要 | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |

| | |
|------------------|--|
| 地 域 概 況 | 気候(内陸性) 気温(15~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|---|---|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 548 - 13 - B - 85) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| タンザニア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育職業訓練省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) マグ中等学校 | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ムワンザ州マグ県 JICA事務所の所在地(ダルエスサラーム)から 北西 方向 850 Km 主要都市(ムワンザ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 2 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 ムワンザ州マグ県に位置する1987年設立のAレベル(高校3年から大学教養課程に相当)の全寮制、Oレベル(中学2年から高校2年程度)併設の共学校。2012年現在の生徒数は約1200名、教師数は25名。そのうち理科教師7名は物理、生物などを同時に教えている。同校は、マグ県の教員研修実施時の会場となる拠点学校。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 教育職業訓練省は、中等教育の向上を目指し中等教育開発計画を進めてきた。その結果、学校の数は増えているが、その一方で、理数科教師不足と指導力不足の問題が顕在化している。同省は現職教員の質向上を目的に、現職教員の研修を定期的実施している(JICAも現地国内研修にて支援している)。この研修制度を将来的に定着させ教員の教授能力を向上させ、また地方部の教員不足の課題を解決・緩和させるため、JVの要請があった。JICAは同要請を受け、グループ型としてJV派遣を行い貢献する事になった。JVIは、配属先で通常授業を担当しながら、教員研修開催時などは県教育官や研修担当校と協力し、教員研修に参加することが期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 化学の授業を担当する。 2. 教員研修等にて、授業・実験手法などに関するJV自身の経験やアイデアを現地教員と共有する。 3. JICAが支援し教育職業訓練省が実施している中等理数科教員養成制度(INSET)と連携した活動を行う。 4. 理科/数学教育隊員と連携して研修会や勉強会を推進する。 ※ INSET(In-Service Training of Secondary School Science & Mathematics Teachers in Tanzania) | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室には黒板あり(但し、低品質)。実験室3室(物理、化学、生物)、最低限の実験機材。 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚教師は、20~50代。そのうち理科教師7名(2013年現在)。 | | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不明とみなす) ・免許 (中・理) 又は (高・理) ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚教員と同等以上の学歴 ・経歴 () () 理由: ・ 教員又は塾講師経験3年以上 理由: 業務遂行上の必要 | | | | 6) 生活使用言語 (スワヒリ語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | |
| 地域概況 | 気候(内陸性) 気温(15~30℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | 特記事項 | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 7 月 7 日

| | | | | | |
|-------------------------------|--|--|--|---|--|
| 要請番号 (JL 551 - 13 - B - 15) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 派遣希望時期 |
| ザンビア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ブロードウェイ中等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 中央州カプエ郡カプエ JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 130 Km 主要都市(カプエ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0.2 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 生徒約1450名、教員数46名、グレード8~12(日本の中学2年から高校3年程度)が設置されている。全日制の公立中等学校。同校の位置する中央州はザンビア教育省が現職教員教授力向上プロジェクトを実施中であり、その中で学校現場での授業研究活動の普及を目指している。JICAも同プロジェクトに対し技術協力プロジェクト「授業実践能力強化(STEPS)」と、ボランティアの派遣を通じて支援している。同校へも2012年7月よりJV1名(理数科教師)が活動している。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ザンビアは理数科目での生徒の理解度が低く(周辺国比)、これを改善すべく基礎教育の充実に力を入れている。その中で学校現場レベルでの課題として、現場教員の教授力向上が挙げられており、義務教育無償化、就学率の向上等の政策が施行されている。またそれらと併行して、日本で行われている授業研究活動を、同国教育省が導入・実施している。JICAは技術協力プロジェクトとボランティア派遣を通じて同活動を支援しており、本要請はその一環として現場での質の高い理数科教育の提供と、学校レベルでの授業研究活動を促進・支援することが期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・グレード8~10の総合理科/物理/化学/数学のうち、1~2科目を担当する(週20コマ程度)。 (受け持ち科目や学年は、赴任時の教員配置状況とボランティア本人の得意分野などから決定される) ・学校内や郡内で行われる授業研究活動やワークショップに参加し、特に理数系の実験やアクティビティに関して活用されるよう助言・指導をする。 ・他のボランティアと協力し、現地の材料や環境で行える理科実験を紹介し、授業へ導入する。 ・可能であれば、科学クラブなどの部活動を同僚と共に受け持つ。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 試験管、ピーカー、アルコールランプ等、一般的な理科実験器具 | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 理科教員4名、数学教員4名 ※ただし転勤等により、人数は増減する | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 教員として活動するのに必須 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

事務局記入欄

受験番号



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|--|---------------------------|
| 要請番号(JL 551 - 13 - B - 25) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ザンビア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> 〇ヶ月 | 1 |
| | | | 2 | 26 / 3 | |
| | | | 3 | / | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ファティマ女子中等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 コッパーベルト州ンドラ市郊外 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 300 Km 主要都市(ンドラ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 教育・科学・職業訓練・早期教育省の認定のもとカソリック教会が運営する女子中等学校。グレード8から12(日本の中学2年生から高校3年生程度)までの生徒数約500名が在籍しており、多くの生徒は併設の寮で生活しているが、一部の生徒は通学している。現在、同校を含むコッパーベルト州内の小中高校では、現職教員研修による教員の教授力向上に取り組んでおり、JICAも技術協力プロジェクト「授業実践能力強化プロジェクト(STEPS)」を行っている。2013年8月現在、JV2名(理数科教師、PCインストラクター)が活動中である。 | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ザンビアの女子学生の理数系科目に対する苦手意識は強く、同校も国家試験の正答率が他の教科と比べて低い。そのため、女子生徒の理数科に対する理解を深め、国家試験の成績を上げることが期待されている。また、ザンビア政府は基礎教育の充実に力を入れており、現場レベルの課題として教員の教授力向上が挙げられている。その改善のため、日本で行われている授業研究活動の実施を同国教育省から推奨されており、現場でも導入・実施している。JICAは技術協力プロジェクトとボランティア派遣を通じて同活動を支援しており、本要請はその一環として学校現場での授業研究活動を促進・支援することも期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・グレード8~11の物理/化学/生物/数学のいずれかのうち1~2科目を週15コマ程度受け持つ。 (受け持ち科目や学年は赴任時の教員配置状況と、ボランティアの得意分野などを踏まえて決定する) ・同僚やファシリテーター(促進者)と共に、理数科の実験・アクティビティに関する授業研究に参加し、可能な範囲でのアドバイスをを行う。 ・ザンビアへ派遣されている他のJV(理数科教師)と協力し、現地の材料や環境で行える理科実験の紹介をし、授業へ導入する。 ・可能であれば、科学技術クラブ(JETS)や運動クラブなどの部活動を担当する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室(物理、化学、生物専用)に3部屋ある)、一般的な理科実験器具と試薬、コンピュータ室、プロジェクター1台 | | | | |
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 理科教員:9名、数学教師:5名 ※ただし転勤等により、人数は増減する | | | 5) 活動使用言語 (英語) | |
| | | | | 6) 生活使用言語 (その他) | |
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由:教師として活動するのに必須 ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 7) 選考指定言語 英語 (ハ・N: C) 又は (ハ・N:) | |
| | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 | |
| | | | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域 概況 | 気候(サバナ) 気温(5~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記 事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |



長期 (長期 JV)

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---|---|--|-------|--------|
| 要請番号(JL 551 - 13- B - 26) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| ザンビア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | 1 | 26 / 1 |
| | | 2 | 26 / 3 | | | |
| | | 3 | / | | | |

| | |
|-------|--|
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 2) 配属先名 (日本語) ドミニカン・コンベント中等学校 <input type="radio"/> NGO 3) 任地 コッパーベルト州ンドラ市 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北 方向 300 Km 主要都市(ドラ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| 要請 | 4) 配属先の規模・事業内容 教育・科学・職業訓練・早期教育省の認定のもとカソリック教会が運営する女子中等学校。グレード8から12(日本の中学2から高校3年程度)までの生徒数約710名が通う通学制の学校である。卒業年次に行われる統一国家試験(日本のセンター試験にあたる)の合格率が毎年98%以上の優秀校でもある。現在同校を含むコッパーベルト州内の小中高校では現職教員研修による教員の教授力向上に取り組んでおり、JICAも技術協力プロジェクト「授業実践能力強化プロジェクト(STEPS)」を行っている。2013年8月現在、JV2名(理数科教師、PCインストラクター)が活動中である。 |
| 概要 | 1) 要請理由・背景 ザンビアの女子学生の理数系科目に対する苦手意識は強く、同校も国家試験の正答率が他の教科と比べて低い。そのため、女子生徒の理数科に対する理解を深め、国家試験の成績を上げることが期待されている。また、ザンビア政府は基礎教育の充実に力を入れており、現場レベルの課題として教員の教授力向上が挙げられている。その改善のため、日本で行われている授業研究活動の実施を同国教育省から推奨されており、現場でも導入・実施している。JICAは技術協力プロジェクトとボランティア派遣を通じて同活動を支援しており、本要請はその一環として学校現場での授業研究活動を促進・支援することも期待されている。 |
| 要請 | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・グレード8~11の総合理科/物理/化学/生物/数学のうち、1~2科目を週20コマ週程度受け持つ。 (受け持ち科目や学年は赴任時の教員配置状況と、ボランティアの得意分野などを踏まえて決定する) ・同僚やファシリテーター(促進者)と共に、理数科の実験・アクティビティに関する授業研究に参加し、可能な範囲でのアドバイスを行う。 ・ザンビアへ派遣されている他のJV(理数科教師)と協力し、現地の材料や環境で行える理科実験の紹介をし、授業へ導入する。 ・可能であれば、科学技術クラブ(JETS)や運動クラブなどの部活動を担当する。 |
| 要請 | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 実験室、一般的な実験器具 |
| 要請 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 理科教員:6名、数学教員:4名 ※ただし転勤等により、人数は増減する。 |
| 要請 | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-------|--|--|
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 教師として活動するのに必須 ・経験 () () 理由: () 理由: | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|--|
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 特記事項 | (ここに特記事項を記入してください) |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 7 日

| | | | | | |
|-----------------------------|---|--|--|---|-----------------------------|
| 要請番号(JL 551 - 13- B - 27) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職・種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 3 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| ザンビア | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 3 3 / |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育・科学・職業訓練・早期教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) キャワマ中等学校 | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 北西部州ソルウェジ市 JICA事務所の所在地(ルサカ)から 北西 方向 600 Km 主要都市(ソルウェジ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 全校生徒数約800名(午後からは定時制学級に在籍する300名が登校)、教員数60名、グレード8~12(日本の中学2年から高校3年程度)を併設する全日制中等学校。同校の位置する北西部州はザンビア教育省が現職教員教授力向上プロジェクトを実施中であり、その中で学校現場での授業研究活動の普及を目指している。JICAも同プロジェクトに対し技術協力プロジェクト「授業実践能力強化プロジェクト(STEPS)」と、ボランティアの派遣を通じて支援している。同校へも2012年7月よりJV1名(理数科教師)が活動している。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 ザンビアは基礎教育の充実に力を入れており、義務教育無償化、就学率の向上等の目標に向け、教育改革を行っている。改革を進める上で様々な課題を抱えているが、学校現場レベルでの課題として、現職教員の教授力向上があり、その改善のため、日本で行われている授業研究活動を同国教育省が導入・実施している。JICAは技術協力プロジェクトとボランティア派遣を通じて同活動を支援しており、本要請はその一環として学校レベルでの授業研究活動を促進・支援することが期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・グレード8~11の総合理科/物理/化学/生物のうちいずれか1~2科目を、週20コマ程度受け持つ。 (受け持ち科目や学年は、赴任時の教員配置状況とボランティア本人の得意分野などを踏まえて決定する) ・同僚やファシリテーター(促進者)と共に、理数科の実験・アクティビティに関する授業研究に参加し、可能な範囲でのアドバイスをを行う。 ・ザンビアへ派遣されている他のJVと協力し、現地の材料や環境で行える理科実験を紹介し、授業へ導入する。 ・可能であれば、科学技術クラブ(JETS)や運動クラブなどの部活動を担当する。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 基本的な物理、化学の実験道具および試薬、生物用の視覚教材 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 理科教員10名、数学教員5名 ※ただし転勤等により、人数は増減する | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (イ・M: C) 又は (イ・M:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 教師として活動するのに必須 ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(サバンナ) 気温(5~35 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|---|---|---------------------------|-----------|
| 要請番号(JL 630 - 13 - B - 20) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| モザンビーク | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 26 / 3 | | | |
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) シサノ中等教育学校 | | | | <input type="radio"/> NGO | |
| | 3) 任地 ガザ州シサノ JICA事務所の所在地(マプト)から 北東 方向 180 Km 主要都市(シヤイシャイ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 0.5 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 8年生から10年生(日本の中学1年生から高校1年生)が通う中学校。全校生徒数約1100人、12教室、3部制(午前:9~10年生、午後:8年生、夜間:8年生~10年生)、理科実験室(器具なし)。年間予算は約100万円。2012年度付、JICAのコミュニティ開発支援無償資金協力で供与した施設に移り、授業を実施している。 | | | | | |
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 モザンビークでは、初等教育の卒業生の増加に伴い、中等教育への就学率も年々増加している。しかし、それに対応するだけの教員数が不足しており、教員の質も低い。また、全国統一の卒業試験では、ガザ州の理科・数学科目の合格率が特に低く、今後の改善が必須であり、本配属先も同様の状態であることから要請が出された。本配属先はガザ州における理数科教師のグループ型派遣の対象案件であり、ボランティアの連携した活動、相乗効果が期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・物理の通常授業の実施(週24時間程度) ・同僚と勉強会に参加 ・同僚と共同での教材・実験資料の開発 ・生徒に対する試験対策・補習授業の実施 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 コンピュータ3台、プリンター1台 | | | | | |
| 資 格 条 件 等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 学校長:50歳 男性 物理教員:男性2名 教職員数:27名 平均年齢26歳、職年数平均:3年 | | | 5) 活動使用言語 (ポルトガル語) 6) 生活使用言語 (ポルトガル語) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同僚が大卒以上であるため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(サバナ) 気温(5~40 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | |
| 特記事項 | 中学校建設計画(無償資金協力2011年終了) ガザ州初等教育強化計画プロジェクト(技術協力プロジェクト2009年終了) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|------------------------------|------------------|--|---|--------|---------|-----------|
| 要請番号(JL 636 - 13 - B - 19) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ルワンダ | 理科教育 | | | 2 | 26 / 1 | 年 月 から |
| | | 3 | 26 / 3 | | | |
| | | | ○ 2 年 ○ 1 年 ○ ヶ月 | | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) キガリ市ブサンザ小・中等学校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 キガリ市 JICA事務所の所在地(キガリ)から 北 方向 0 Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同校は首都キガリ市に位置し、1961年に当初は小学校として設立されたが、教育省の方針により2011年から中学校も併設され、初等9年一貫教育機関として再編成された公立学校。また、2013年からは高等コースも併設した12年一貫教育機関となること計画されている。年間予算は6万米ドル(2012年)。2012年現在全校生徒数は2,655名(内400名が中等コース。内訳は男子1,361名、女子1,294名)。米国NGO(International Education Exchange)から4名の教師(ルワンダ人2名、ケニア人、ウガンダ人各1名)が派遣され、授業の質改善のため支援を行った実績あり。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ルワンダ国政府は科学技術人材の育成、理数科教育の強化政策を掲げているが、国内では質の高い理数科教師が不足している。右現状を踏まえ、JICAは教育省と協力し、2008年2月から3年間、全国中等理数科現職教員の研修制度を導入するプロジェクト(「中等理数科教育改善プロジェクト(Strengthening Science and Mathematics in Secondary Education /SMASSE)」)を実施した。現在フェーズ2案件を準備中。 同校は教育省の方針により、2011年から中学校を併設した初等から9年の一貫教育機関として再編されたが、中等コースを増設して間もないことから、質の高い教師の確保が課題である。また理論重視の教育の反省に基づき、効果的に実験を取り入れた授業の実施が求められており、限られた機材と予算の中で実験を伴う教授が可能な理科教師ボランティアが要請された。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ・中学レベルの理科クラス(主に化学)を担当もしくは補助する。 〈以下は期待される活動〉 ・サイエンスクラブなどの課外授業を運営する。 ・実験等を積極的に紹介する。 ・他の学校配属隊員との情報共有、イベント運営を行う。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 化学実験器具(簡易)、顕微鏡2台、簡易サイエンス・キット |

| | | |
|---|--|--|
| 要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者:男性、大卒、30代、学校長 カウンターパート: 男性2名、大卒、20代、化学担当教員 同僚:教員 20~40代、33名(内、物理教師2名、生物教師1名) | 5) 活動使用言語 (英語) |
| | | 6) 生活使用言語 (その他) |
| | | 7) 選考指定言語 英語 (レベル: C) 又は (レベル:) |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 () 又は () ・性別 () 理由: () ・学歴 (大卒) () 理由: 同国学校配属隊員は大卒必須 ・経歴 () () 理由: () 理由: () | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |
| | | |

| | |
|----------|--|
| 地域 概況 | 気候(熱帯性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
| 特記 事項 | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | |
|-----------------------------|-------------------|---|---|---------|--------|
| 要請番号(JL 636 - 13- B - 28) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| ルワンダ | 理科教育 | | | 1 | 26 / 3 |
| | | 2 | / | | |
| | | 3 | / | | |

| | |
|-----------------------|---|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 |
| | 2) 配属先名 (日本語) 南部県ムハンガ郡ムハンガ教員養成校 <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 南部県ムハンガ郡ショウグウェ村 JICA事務所の所在地(キガリ)から 南西 方向 80 Km 主要都市(キガリ)までの交通手段及び所要時間(車 で約 1.5 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 同校は南部県ムハンガ郡に位置し、2010年に小学校教員養成を目的として設立された公立教員養成校(日本の高等学校に相当)。年間予算は9万米ドル(2012年)。2012年現在全校生徒数は375名、内訳は男子126名、女子249名。外国の援助は、英国VSOボランティアが2012年7月まで1年間教授法の指導で活動を行っていることに加え、2011年には学校長がKOICAのフェローシッププログラムに参加し、2か月間韓国を訪問している。 |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 ルワンダ国は科学技術人材の育成、理数科教育の強化政策を掲げているが、国内では質の高い理数科教師が不足している。右現状を踏まえ、JICAは教育省と協力し、2008年2月から3年間、全国中等理数科現職教員の研修制度を導入するプロジェクト(「中等理数科教育改善プロジェクト(Strengthening Science and Mathematics in Secondary Education /SMASSE)」)を実施した。現在フェーズ2案件を準備中。 同校は2010年に小学校教員養成を目的として設置された公立校だが、実験室や機材等実験授業を行うために必要な物品が不足しているため、近隣にある私立学校から実験室を有償で借りている状況である。任国では理論重視の教育の反省に基づき、効果的に実験を取り入れた授業の実施が求められており、限られた機材と予算の中で実験を伴う教授が可能な生物教師が要請された。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 主に生物の授業を担当し以下の活動を行う。 1. 高校レベルの生物クラスを担当する。 2. 実験を積極的に取り入れる授業の推進を図る。 3. 教員に対し、実験を取り入れた授業に関する全般的な指導及びアドバイスをを行う。 4. 校内研修の企画・実施支援を行う。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 特になし。ただし、近隣の私立学校に実験室が完備されており、有償で利用することは可能。 |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先責任者: 女性、大卒、30代、学校長 カウンターパート: 男性2名、大卒、20代、生物担当教員 同僚: 教員 20~40代、10名、短大~大卒 |

| | | |
|-----------------------|---|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) | 活動上の単車/自転車の必要性 |
| | ・免許 () 又は () | <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | ・性別 () 理由:) | 現職教員特別参加制度 |
| | ・学歴 (大卒) (理系) 理由: 同国の教員は大学資格が必要 ・経験 (指導経験) () 理由: 教員養成校で指導にあたるため 理由:) | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|----------|--|
| 地域 概況 | 気候(熱帯性) 気温(15~30 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|----------|--|

| | |
|----------|--|
| 特記 事項 | |
|----------|--|

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 2 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|---|----------|----------|
| 要請番号(JL 642 - 13- B - 54) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| セネガル | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 2 26 / 2 |
| 配属先 | 1)受入省庁名 (日本語) 国民教育省 2)配属先名 (日本語) テイエス州教員研修センター <input type="radio"/> NGO 3)任地 テイエス州ティエス県ティエス市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 東 方向 70 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 2 時間) | | | | | |
| 概要 | 4)配属先の規模・事業内容 テイエス州教員研修センターは、従来の初等教員養成校と現職教員研修センターが一体化され、教員を目指す学生や現職教員、また学校の運営・管理を行う教育行政職の人材も養成する教育機関として新たに設立された。JVは、同センターの他、ティエス市内の指定実習校等においても活動を展開する。同州はJICA技術協力プロジェクト「理数科教育改善プロジェクト」の対象地域となっており、専門家との情報交換も可能であるほか、同配属先の小学校教育JV、数学教育JV、市教育委員会配属の小学校教育JVと連携した活動も期待される。 | | | | | |
| 要請 | 1)要請理由・背景 同国で実施される理数科の授業は、理論中心で画一的なものであり、実験等を行う実践的な授業が不十分であるのが現状である。全教員の87%が十分な養成課程を経していない契約教員や研修教員であることも原因のひとつであり、教育の質向上のための教員の能力強化が課題となっている。同センターに配属されている理数科教師JVは、身近な材料を活用して理科の実験器具を製作し実践的授業を展開したり、絵や簡単な実験を紹介し生徒に理解しやすい授業の提案を行った。「理数科教育改善プロジェクト」との連携及びBST(中等教育用の理科・技術家庭用施設)での活動も期待されている。 | | | | | |
| 概要 | 2)予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①配属先において、実験や絵などを多く取り入れた理科の授業を実施する。 ②指定実習校において、学生が実習として行う理科の授業を支援する。 ③学生が実施する授業に関し、課題の共有や改善策の提案を行う。 教育分野JVと協力し、知見を共有しながら、情操教育と組み合わせた理科教育の提案等行うことも期待される。 | | | | | |
| 要 | 3)ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 教室、校庭 | | | | | |
| | 4)配属先同僚及び活動対象者 配属先教員研修センター-センター長 活動先小・中学校:学校長、教頭、教師 指導対象:教員養成課程学生、小学生 | | 5)活動使用言語 (フランス語) 6)生活使用言語 (その他) 7)選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | | | |
| 資格条件等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(15~45 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | | | |
| 特記事項 | | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 5 日

| | | | | | |
|-----------------------------|--|---|--|---|----------------------------------|
| 要請番号(JL 642 - 13- B - 57) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | |
| 国名 | 職種 (コード G158) | <input type="radio"/> グループ型 <input type="radio"/> 個別 | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | 期間 | 日系/短期 |
| セネガル | 理科教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 2 26 / 2 3 26 / 3 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 国民教育省 | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ルーガ州教員研修センター | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ルーガ州ルーガ県ルーガ市 JICA事務所の所在地(ダカール)から 北東 方向 200 Km 主要都市(ダカール)までの交通手段及び所要時間(車 で約 4 時間) | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 州教員研修センターは、2011年に初等中等教育教員養成校と現職教員研修センターが統合され、新たに発足された教育機関である。質の高い教員を養成するため、研修期間の延長を行う等カリキュラムの再編成を行い、年間400名近い教員を養成している。また、各教科の指導教官は小・中・高を巡回し、現職教員の能力強化を行っている。JICA技術協力プロジェクト「理数科教育強化プロジェクト2」や「学校環境改善プロジェクト2」のナショナルトレーナーを務める指導教官もいる。直轄の附属小学校2校、附属幼稚園3園の他、教育実習受入小学校4校を市内に持つ。 | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 セネガル教育省は、特に初等教育における理数科教育改善に取り組んでおり、同分野で実績のあるJICAへ協力が要請され1代目のJVが派遣された。2007年よりJICA技術協力プロジェクト「理数科教育改善プロジェクト」が開始され、カスケード方式によるトレーナーの能力強化を通じて、現職教員研修制度を活用した教授法改善の取組みが実施されている。この取組みと並行し、JVには教員養成課程における理数科教育能力強化と、実験等の導入により、実践的に楽しく学ぶ理科教育の展開に貢献することが期待されている。 | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) ①附属小学校や実習校において、研修センター学生による理科教育の授業実施を支援する。 ②配属先の教員養成課程において、常勤・非常勤講師等による理科教育指導を支援する。 ③教育分野JVと協力し、教員向け副教材の作成やマニュアルの作成を行う。 教育分野JVと協力し、知見を共有しながら、情操教育と組み合わせた理科教育の提案等行うことも期待される。 | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 研修センター内にある機材、施設 | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 配属先:校長1名、教務主任1名、講師12名、生徒監督7名、事務員3名 附属小学校:校長1名、教員12名 | | | 5) 活動使用言語 (フランス語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (L・M: D) 又は (L・M:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・理) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(ステップ) 気温(15~45℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 21 日

| | | | | | | |
|------------------------------|---|--|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 026 - 13 - B - 03) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G159) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| 東ティモール | 数学教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 26 / 1 | 年 月 から |
| | | | | | 2 26 / 2 | |
| | | | 3 26 / 3 | | | |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) デリ県教育局(主な活動先はピダウ小中一貫校) | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 デリ JICA事務所の所在地(デリ, ファロール)から 北 方向 0 Km 主要都市(デリ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先であるデリ県教育局は県内の教育機関を統括しており、学校運営や施設の管理、教員向け各種研修等を実施している。主な活動先となるピダウ小中一貫校は、現在、32名の教員、および、日本の小・中学生にあたる9学年の児童・生徒約1,150名が在籍している大規模校である。児童・生徒数に対して教室数が足りないため2部制を取っており、午前は11クラス、午後14クラスの授業が行われている。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 東ティモールにおける算数・数学教育が抱える問題は深刻で、社会の各方面でその影響が見られる。まず、教員自身の算数・数学に関する知識不足が課題となっており、教員が指導内容を理解しないまま児童・生徒へ指導したり、分からない内容は指導しなかったりすることが頻繁にある。また、授業の進め方は低学年の指導であっても教科書を読み流すだけで、黒板もあまり使用されることがなく、児童・生徒の理解を深めるための授業の工夫を目にするのはほとんどない。このため、児童・生徒は十分な基礎知識が身につかないまま学校を卒業していつている状況であることから、ボランティアの要請に至った。ボランティアは実態把握を行ったうえで活動重点学年を決定し、根気強く指導に携わることが期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 模範授業を実施し、指導方法等の助言・支援を行う。 2. 教員に対して個別に授業内容等の指導・助言を行う。 3. 県教育局主催の算数・数学教育に関わる研修の企画・運営に協力する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 黒板、文房具、教科書(ポルトガル語)等 | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 教員年齢:30~60歳代 1~4年(一人の教員が全科目を指導)教員数:18名 5年以上数学専科教員数:4名 1~4年を指導している教員の多くはインドネシア占領時代にあった職業訓練校(高校レベル)で教授法を学んでおり、5年以上を指導している教員の中には、大学で教育を学んだことがある人もわずかにいる。 | | | | 5) 活動使用言語 (ポルトガル語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・数) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経歴 (指導経験) (2年以上) 理由:教員に対して指導するため 理由: | | | | 活動上の單車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 單車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性半乾燥気候) 気温(18~33℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 21 日

| | | | | | | |
|-----------------------------|---|---|--|---|---|---------------------------|
| 要請番号(JL 026 - 13- B - 04) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G159) | <input checked="" type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 期間 | JOCV/SV 26 / 1 26 / 2 26 / 3 | 日系/短期 |
| 東ティモール | 数学教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 1 | 2 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | | | | |
| | 2) 配属先名 (日本語) ティリ県教育局(主な活動先はファロール小中一貫校) | | | | | <input type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 ティリ JICA事務所の所在地(ティリ, ファロール)から 北 方向 0 . Km 主要都市(ティリ)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先であるティリ県教育局は県内の教育機関を統括しており、学校運営や施設の管理、教員向け各種研修等を実施している。主な活動先となるファロール小中一貫校は、現在、52名の教員と日本の幼稚園および小・中学生にあたる児童・生徒約1,850名が在籍している大規模校である。児童・生徒数に対して教室数が足りないため3部制が取られている。世界銀行、USAID、UNESCO、ロータリークラブ等から新たな教室の建設やコンピュータ導入に関する支援を受けたことがある。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 東ティモールにおける算数・数学教育が抱える問題は深刻で、社会の各方面でその影響が見られる。まず、教員自身の算数・数学に関する知識不足が課題となっており、教員が指導内容を理解しないまま児童・生徒へ指導したり、分からない内容は指導しなかったりすることが頻繁にある。また、授業の進め方は低学年の指導であっても教科書を読み流すだけで、黒板もあまり使用されることがなく、児童・生徒の理解を深めるための授業の工夫を目にするのはほとんどない。このため、児童・生徒は十分な基礎知識が身につかないまま学校を卒業していつている状況であることから、ボランティアの要請に至った。ボランティアは実態把握を行ったうえで活動重点学年を決定し、根気強く指導に携わることが期待されている。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 1. 模範授業を実施し、指導方法等の助言・支援を行う。 2. 教員に対して個別に授業内容等の指導・助言を行う。 3. 県教育局主催の算数・数学教育に関わる研修の企画・運営に協力する。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 ホワイトボード、文房具、教科書(ポルトガル語)等 | | | | | |
| 要請概要 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 全教員数:52名(うち15名は無給ボランティア、男性12名、女性40名) 教員年齢:23~68歳(40~50歳代の教員が多い) 中高年の教員の多くはインドネシア占領時代にあった職業訓練校(高校レベル)で教授法を学んだ経験があり、若い教員の中には大学で教員免許や学士号を取得した人がわずかにいる。 | | | | 5) 活動使用言語 (ポルトガル語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: D) 又は (レベル:) | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・数) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (指導経験) (2年以上) 理由:教員に対して指導するため 理由: | | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | |
| 地域概況 | 気候(熱帯性半乾燥気候) 気温(18~33 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | 水道(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | |
| 特記事項 | 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) | | | | | |

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 6 月 19 日

| | | | | | | |
|------------------------------|-------------------|---|---|---------|--------|-----------|
| 要請番号(JL 051 - 13 - B - 15) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G159) | <input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 交替 2 代目 | <input checked="" type="radio"/> 2 年 <input type="radio"/> 1 年 <input type="radio"/> ヶ月 | JOCV/SV | 日系/短期 | |
| バングラ デシュ | 数学教育 | | | 1 | 26 / 3 | 年 月 から |
| | | | | 2 | / | |
| | | 3 | / | | | |

| | |
|-----------------------|--|
| 配 属 先 概 要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 首相府 NGO局 |
| | 2) 配属先名 (日本語) NGO ブラック <input checked="" type="radio"/> NGO |
| | 3) 任地 北ダッカ市内 JICA事務所の所在地(北ダッカ市)から 北 方向 0 Km 主要都市(北ダッカ市)までの交通手段及び所要時間(徒歩 で約 0 時間) |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 バングラデシュに拠点を置き、貧困削減を目指してアフリカやアフガニスタンなどでも活動を展開している国際的にも知名度の高いNGOである。1972年に設立され、コミュニティレベルにおいて農業、保健・衛生、青少年活動などへの支援、人材研修や調査研究などを実施。またこうした活動においてマイクロファイナンスの提供も行っており、自立的なコミュニティ発展を長年支援している。(http://www.brac.net/) |

| | |
|------------------|--|
| 要 請 概 要 | 1) 要請理由・背景 同国では、政府が直接運営しているセカンダリースクールの数は全体の2%のみであり、多くはコミュニティ等によって運営されている。同NGOでは2001年から中等教育への支援を開始し、授業の質的な改善を目標として非政府系学校における中心教科の能力向上を支援しているほか、政府とも連携しながら学校改善に取り組んでいる。中等教育における数学はレベルが上がるにつれ理解するのが困難となり、多くの生徒が数学を学ぶ楽しさを感じていないだけでなく、教師も教えることの困難に直面している。そのため、生徒がわかりやすく数学を学ぶことができるよう、授業環境の改善を目的に、ボランティアの要請がなされた。 |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 同NGOが支援するセカンダリースクール(6-10年生)の学習環境や生徒の理解度、教師の指導レベルなどを理解したうえで、以下の教育(教員)の質の向上に貢献する活動を行う。 ①同NGOで使用されている数学用マルチメディア教材が効果的に活用されているか観察し、より実践的な活用方法をアドバイスする。 ②数学教材の改善を提案する。 ③数学の理解を困難にしている問題点を見つけ出してそれを教師研修にフィードバックするなど、教師が質の高い授業を展開できるように支援する。 |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 授業教材、コンピュータ |
| | 4) 配属先同僚及び活動対象者 ・Sector Specialist(部署リーダー)7名:修士号取得 経験5~13年 ・Trainer(現地教諭を指導)13名:修士号取得 経験4~7年 ・現地小学校教諭 |

| | | |
|-----------------------|--|--|
| 資 格 条 件 等 | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問を記入する) ・免許 (中高・数) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 () () 理由: ・経験 (実務経験) (5年以上) 理由:現場教員に対して指導を行うため 理由: | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input type="radio"/> 自転車 <input checked="" type="radio"/> 不要 |
| | | 現職教員特別参加制度 |
| | | <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 |

| | |
|------|---|
| 地域概況 | 気候(亜熱帯モンスーン) 気温(10~40 ℃位) 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 通信(<input checked="" type="checkbox"/> インターネット可 <input checked="" type="checkbox"/> 電話可 <input type="checkbox"/> 無線) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) |
|------|---|

| | |
|------|--|
| 特記事項 | |
|------|--|

平成 25 年度 秋 募集ボランティア要望調査票

| | |
|--------|------|
| 事務局記入欄 | 受験番号 |
|--------|------|



長期 (長期 JV)

記入日:平成 25 年 8 月 6 日

| | | | | | | |
|------------------------------|--|--|--|---|---------|-------|
| 要請番号(JL 066 - 13 - B - 24) | | 区分 (長期のみ) | 派遣希望 期間 | 派遣希望時期 | | |
| 国名 | 職種 (コード G159) | <input type="radio"/> グループ型 <input checked="" type="radio"/> 個別 | <input checked="" type="radio"/> 新規 <input type="radio"/> 交替 代目 | 1 | JOCV/SV | 日系/短期 |
| スリランカ | 数学教育 | | | <input checked="" type="radio"/> 2年 <input type="radio"/> 1年 <input type="radio"/> ヶ月 | 26 / 1 | 年 月 日 |
| 配属先概要 | 1) 受入省庁名 (日本語) 教育省 | | 26 / 2 | | から | |
| | 2) 配属先名 (日本語) 数学局(ジャフナ教育事務所) | | 26 / 3 | | | |
| | 3) 任地 ジャフナ県ジャフナ JICA事務所の所在地(コロンボ)から 北 方向 400 Km 主要都市(コロンボ)までの交通手段及び所要時間(バス で約 12 時間) | | | | | |
| | 4) 配属先の規模・事業内容 配属先はスリランカの公的教育を監督する教育省内の一部局。中学・高等数学教育向上のために教育事務所の指導主事や研修を通じた教師への指導、学生対象の補習、数学ラボの設置などを行っている。JICAは2003年から3年間小中理数科マスタープラン作成を支援、2005年より3年間学校運営改善プロジェクトを実施し、100マス計算、研究授業などの普及にあたった。現在も数学向上のために協力隊員5名が活動している。 | | | | | |
| 要請概要 | 1) 要請理由・背景 2009年に30年近く続いたスリランカの内戦が終結した。長年の紛争で荒廃した北部地域は他の地域に比べ経済・社会開発が遅れている。根深い民族問題もあり、民族間の和解を念頭においた復興支援が求められている。スリランカにおいて中学の卒業レベルにあたる共通テストの合格率が50%以下という結果が長年続いており、数学教育の向上が課題となっている。ジャフナ地域は全国平均合格率51%に対して71%と教育水準が高いが、農業従事者の多いコーバイ地区のみ同合格率が38%と著しく低い。同地区の数学教育向上を支援するためにボランティアが要請された。 | | | | | |
| | 2) 予定されている活動内容(最終的な活動内容は、赴任後に配属先と協議し決定します。) 以下の活動を行う。 1. 対象地域の学校を巡回し、中学生(6~9年生)に対する数学教育の現状と問題点を調査する。 2. 数学教育向上のための計画を立案し実施する。 3. 生徒を対象とした補習、数学教師を対象としたワークショップやセミナーを実施する。 ※5)について本邦語学訓練では英語学習、現地語学訓練ではタミル語学習となる。 | | | | | |
| | 3) ボランティアが使用する機材の機種名・型式、設備等 黒板、チョーク | | | | | |
| 資格条件等 | 4) 配属先同僚及び活動対象者 同僚:州教育局数学補佐、男性1名、 教育事務所指導主事、男性2名、50代 指導対象:各学校の数学教員、男女多数、20~50代 生徒(6~9年生) | | | 5) 活動使用言語 (英語) 6) 生活使用言語 (その他) 7) 選考指定言語 英語 (レベル: B) 又は (レベル:) | | |
| | 条件及びその理由(カッコ内が空欄の場合は、当該条件は不要または不問となります) ・免許 (中・数) 又は () ・性別 () 理由: ・学歴 (大卒) () 理由:同僚が大卒以上であるため ・経歴 () () 理由: 理由: | | | 活動上の単車/自転車の必要性 <input type="radio"/> 単車 <input checked="" type="radio"/> 自転車 <input type="radio"/> 不要 現職教員特別参加制度 <input type="radio"/> 可 <input checked="" type="radio"/> 不可 | | |
| 地域概況 | 気候(熱帯) 気温(25~33 ℃位) | | 電気(<input type="radio"/> 安定 <input checked="" type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) 水道(<input checked="" type="radio"/> 安定 <input type="radio"/> 不安定 <input type="radio"/> なし) | | | |
| 特記事項 | | | | | | |